

# スモン調査研究協議会研究報告書

No.8

昭和 46 年度疫学部会研究報告

昭和 47 年 3 月

スモン調査研究協議会

## 目 次

疫学部会報告（要旨）	重松 逸造	1
SMON 患者全国実態調査成績	重松逸造ほか	3
全国スモン患者のキノホルム剤服用状況調査成績	山本俊一ほか	81
I. 戸田・蕨地区における疫学的研究		
II. キノホルム投与状況と発症との関連についての理論的考察		
	山本俊一ほか	161
大都市における SMON 発生の疫学的研究（その 1）	青木国雄ほか	229
大都市における SMON 発生の疫学的研究（その 2）	青木国雄ほか	239
大都市における SMON 発生の疫学的研究（その 3）	青木国雄ほか	249
キノホルムとスモン発症に関する臨床疫学的研究	青木国雄ほか	257
岡山県における SMON の疫学的研究	緒方正名ほか	269

## 序

昭和46年度スモン調査研究協議会研究報告を逐次出版し、No.8 疫学部会研究報告集を送ることになった。

昭和44年9月2日に本協議会がスタートしてから、足掛け3年間この種の研究としては異常な速さで、病因問題の主要な部分を明らかにし得たのは一つに会員諸氏の真しな努力によるものである。昭和46年度の研究報告はこれら研究成果のエッセンスを集録したもので、今後も重要な記録として残るであろう。

昭和47年度から特定疾患対策室が誕生し、他の7疾患と共に今後の研究は特定疾患研究の一環として取扱われるようになるので、スモン調査研究協議会としての研究はこの研究報告で一応終止符をうつことになるのである。さる昭和47年3月13日の本協議会総会において「スモンと診断された患者の大多数はキノホルム剤の服用によつて神経障害を起こしたものと判断される」と述べたのはいわばその総括的なまとめであつたのである。

この際スモン調査研究協議会の研究が比較的成果をあげた理由を考えておくことは無駄ではあるまい。理由は多々あろうが、私が思うのにプロジェクト研究でありながら、各研究者が自由なふん囲気の下におかれ頻繁な情報交換による緊密なチームワークの下に研究が進められたのが最大の理由である。この教訓は、今後の難病のプロジェクト研究に生かされるべきである。単なる大型予算が獲得されただけでは研究の成果は期待できないと思う。

しかしながら、未だ残された問題も多々あつて、特定疾患研究スモン班に引継がれているわけである。とくに治療法の開発という面では、病因研究の華々しさに比べ、十分とはいえなかつた。残された大きな問題の一つである。

とまれ、ここに内容の豊かな昭和46年度スモン調査研究協議会研究報告の刊行をみるに至つたのは会の世話役として、誇らしく思うものである。

昭和47年3月

スモン調査研究協議会

会長 甲野礼作

## 昭和46年度研究会・会議開催記録

昭和46年 4月16日	幹事会	国立予防衛生研究所
5月13日	キノホルム部会打合会	国立予防衛生研究所
6月2日	ウイルス研究者懇談会	国立予防衛生研究所
6月30日	幹事会	国立予防衛生研究所
7月24日	キノホルム部会研究会	日本都市センター
8月5日	微生物部会研究会	国立予防衛生研究所
8月24日	治療・予後部会研究会	雅叙園観光ホテル
9月29日	幹事会	国立予防衛生研究所
9月30日	疫学部会研究会	国立公衆衛生院
10月19日	微生物部会研究会	国立予防衛生研究所
12月14日	治療・予後部会研究会	日本都市センター
12月15日	キノホルム部会研究会	日本都市センター
12月16日	病理部会研究会	国立予防衛生研究所
12月17日	病理部会研究会	国立予防衛生研究所
12月21日	幹事会	国立予防衛生研究所
昭和47年 1月19日	草案作成小委員会	赤門学士会館
1月28日	幹事会	国立予防衛生研究所
2月19日	微生物部会研究会	日本都市センター
2月19日	病理部会研究会	日本都市センター
2月19日	幹事会	日本都市センター
2月26日	治療・予後グループ長打合会	日本都市センター
2月27日	治療・予後部会研究会	日本都市センター
2月27日	疫学・保健社会部会研究会	日本都市センター
2月28日	キノホルム部会研究会	日本都市センター
2月29日	キノホルム部会研究会	日本都市センター
2月29日	幹事会	日本都市センター
3月21日	幹事会	国立予防衛生研究所
3月13日	総会	日本都市センター

# スモン調査研究協議会名簿 (昭和46年度)

(46. 9. 1 現在)

◎ 会長      △ 幹事      □ 監事  
○ 部会長    ※ ブロック長

氏名	名	称	職名	〒	所在地	電話
<b>北海道</b>						
飯田	広夫	北海道大学医学部細菌学教室	教授	060	札幌市北15条西7丁目	011(711)2111
伊東	弓多果	伊東内科医院	院長	085	釧路市住吉町9	0154(41)6027
石井	慶蔵	北海道大学医学部公衆衛生学教室	教授	060	札幌市北15条西7丁目	011(711)2111
※金光	正次	札幌医科大学衛生学教室	教授	060	札幌市南1条西17丁目	011(611)2111
<b>東北</b>						
石田	名香雄	東北大学医学部細菌学教室	教授	980	仙台市星陵町2-1	0222(34)1111
※杉山	尚	東北大学医学部温泉医学研究施設 鳴子分院	教授	989-68	玉造郡鳴子町新屋敷67-1	022982-2531
<b>北陸・信越</b>						
小宅	洋	新潟大学脳研究所神経病理学教室	教授	951	新潟市旭町通1	0252(23)6161
※椿	忠雄	新潟大学脳研究所神経内科教室	教授	951	新潟市旭町通1	0252(23)6161
<b>関東</b>						
青山	友三	東京大学医科学研究所病理学研究部	教授	108	東京都港区白金台4-6-1	03(443)8111
○△江頭	靖之	国立予防衛生研究所病理部	部長	141	東京都品川区上大崎2-10-35	03(444)2181
△池田	良雄	国立衛生試験所毒性部	部長	158	東京都世田谷区上用賀1-18-1	03(700)1141
上田	喜一	東京歯科大学衛生学教室	教授	101	東京都千代田区三崎町2-9-18	03(262)3421
浮田	忠之進	東京大学薬学部衛生裁判化学教室	教授	113	東京都文京区本郷7-3-1	03(812)2111
浦久保	五郎	国立衛生試験所放射線化学部	部長	158	東京都世田谷区上用賀1-18-1	03(700)1141
太田	邦夫	東京大学医学部病理学教室	教授	113	東京都文京区本郷7-3-1	03(812)2111
尾形	学	東京大学農学部家畜微生物学教室	教授	113	東京都文京区弥生町1-1-1	03(812)2111
奥田	邦雄	千葉大学医学部内科	教授	280	千葉市亥鼻町313	0472(22)7171
小沢	敦	国立東京第二病院細菌科	主任	152	東京都目黒区東ヶ丘2-5-1	03(411)0111
河合	忠	日本大学医学部駿河台病院臨床病理科	助教授	101	東京都千代田区神田駿河台1-8-13	03(293)1711
◎○甲野	礼作	国立予防衛生研究所ウイルス中央検査部	部長	190-12	武蔵村山市中藤3260	0425(61)0771
越島	新三郎	国立東京第一病院神経科	医長	162	東京都新宿区戸山町1	03(202)7181
斎藤	守	東京大学医科学研究所癌体質学研究部	教授	108	東京都港区白金台4-6-1	03(443)8111
○△重松	逸造	国立公衆衛生院疫学部	部長	108	東京都港区白金台4-6-1	03(441)7111
△※白木	博次	東京大学医学部脳研究所病理部	教授	113	東京都文京区本郷7-3-1	03(812)2111

氏名	職名	所在地	電話
多ヶ谷 勇	国立予防衛生研究所腸内ウイルス部	部長 190-12武蔵村山市中藤3260	0425(61)0771
△田村 善蔵	東京大学薬学部薬品化学分析教室	教授 113東京都文京区本郷7-3-1	03(812)2111
富山 哲雄	東京大学医学部附属病院分院細菌血清検査室	主任 112東京都文京区目白台3-28-6	03(943)1151
△豊倉 康夫	東京大学医学部脳研究所神経内科	教授 113東京都文京区本郷7-3-1	03(812)2111
△中谷 林太郎	国立公衆衛生院衛生微生物学部	部長 108東京都港区白金台4-6-1	03(441)7111
花籠 良一	東京都立府中病院神経内科	医長 183府中市武蔵台2-9-2	0423(23)5111
花野 学	東京大学薬学部製剤学教室	教授 113東京都文京区本郷7-3-1	03(812)2111
本間 遜	東京大学医科学研究所細菌研究部	教授 108東京都港区白金台4-6-1	03(443)8111
松岡 理	放射線医学総合研究所障害基礎研究部第4室	室長 280千葉市穴川4-9-1	0472(51)2111
松橋 直	東京大学医科学研究所アレルギー部	教授 108東京都港区白金台4-6-1	03(443)8111
松山 春郎	脳性麻痺研究所病理部	部長 190-12武蔵村山市中藤3260	0425(61)2521
光岡 知足	理化学研究所動物薬理研究室	主任 351埼玉県和光市広沢2-1	0484(62)4038
宮坂 忠夫	東京大学医学部保健社会学教室	教授 113東京都文京区本郷7-3-1	03(812)2111
山田 英智	東京大学医学部解剖学教室	教授 113東京都文京区本郷7-3-1	03(812)2111
山本 俊一	東京大学医学部保健学科疫学教室	教授 113東京都文京区本郷7-3-1	03(812)2111
東 海			
青木 国雄	愛知県がんセンター研究所疫学部	部長 464名古屋市千種区田代町鹿子殿81-1159	052(762)6111
祖父江 逸郎	名古屋大学医学部第一内科	助教授 466名古屋市昭和区鶴舞町65	052(741)2111
※□高崎 浩	三重県立大学医学部付属病院	教授 514津市栄町1-96	05928(8)4111
永田 育也	名古屋大学医学部付属無菌動物研究施設	教授 466名古屋市昭和区鶴舞町65	052(741)2111
早瀬 正二	岐阜大学医学部付属病院内科学第二教室	教授 500岐阜市司町40	0582(65)1241
八木 国夫	名古屋大学医学部第一生化学教室	教授 466名古屋市昭和区鶴舞町65	052(741)2111
近 畿			
井上 幸重	京都大学ウイルス研究所	助教授 606京都市左京区聖護院川原町53	075(771)8111
右京 成夫	京都大学医学部第一内科	助手 606京都市左京区聖護院川原町53	075(771)8111
宇野 豊三	京都大学薬学部薬品分析教室	教授 606京都市左京区吉田下河達町	075(771)8111
奥野 良臣	大阪大学微生物病研究所	教授 565大阪府吹田市山田上	068(78)5121
○△※楠井 賢造	和歌山市立城南病院	院長 640和歌山市真砂町2-14	0734(24)5121
東 昇	京都大学ウイルス研究所	教授 606京都市左京区聖護院川原町53	075(771)8111
藤原 哲司	京都大学医学部付属病院第三内科	助手 606京都市左京区聖護院川原町53	075(771)8111
三輪谷 俊夫	大阪大学微生物病研究所	助教授 565大阪府吹田市山田上	068(78)5121

氏 名	名 称	職 名	〒 所 在 地	電 話
米 沢 猛	京都府立医科大学病理学教室	助教授	602京都市上京区河原町広小路	075(231)2311
<b>中国・四国</b>				
大 月 三 郎	岡山大学医学部神経精神医学教室	教 授	700岡山市鹿田町2-5-1	0862(23)7151
大 平 昌 彦	岡山大学医学部衛生学教室	教 授	700岡山市鹿田町2-5-1	0862(23)7151
大 藤 真	岡山大学医学部第三内科	教 授	700岡山市鹿田町2-5-1	0862(23)7151
大 村 一 郎	国立呉病院第一内科	医 長	737呉市青山町1-10	0822(22)3111
緒 方 正 名	岡山大学医学部公衆衛生学教室	教 授	700岡山市鹿田町2-5-1	0862(23)7151
小 川 勝 士	岡山大学医学部病理学教室	教 授	700岡山市鹿田町2-5-1	0862(23)7151
奥 田 覬 士	岡山大学医学部眼科	教 授	700岡山市鹿田町2-5-1	0862(23)7151
小 坂 淳 夫	岡山大学医学部第一内科	教 授	700岡山市鹿田町2-5-1	0862(23)7151
妹 尾 左知丸	岡山大学医学部病理学教室	教 授	700岡山市鹿田町2-5-1	0862(23)7151
俵 寿太郎	岡山大学医学部微生物学教室	教 授	700岡山市鹿田町2-5-1	0862(23)7151
△※平 木 潔	岡山大学医学部第二内科	教 授	700岡山市鹿田町2-5-1	0862(23)7151
三 好 和 夫	徳島大学医学部第一内科	教 授	770徳島市蔵本町3丁目	0886(54)3111
<b>九 州</b>				
井 形 昭 弘	鹿児島大学医学部第三内科	教 授	892鹿児島市城山町8-3	09922(23)3171
倉 恒 匡 徳	九州大学医学部公衆衛生学教室	教 授	812福岡市堅粕1276	092(64)1151
※黒 岩 義五郎	九州大学脳神経病研究所神経内科	教 授	812福岡市堅粕1276	092(64)1151
新 宮 正 久	久留米大学医学部微生物学教室	助教授	830久留米市旭町67	09422(5)3311
武 内 忠 男	熊本大学医学部病理学教室	教 授	860熊本市本荘430	0963(63)1111
中 村 昌 弘	久留米大学医学部微生物学教室	教 授	830久留米市旭町67	09422(5)3311
渡 辺 豊 輔	長崎大学熱帯医学研究所病理部	教 授	長崎市坂本町12-4	0958(44)2111

計 73 人

## 疫学部会報告（要旨）

重松逸造（国立公衆衛生院 疫学部）

### 1. 研究の目的

スモンを疫学的に研究することにあるが、具体的には次の3点を明らかにすることである。

- 1.1 スモンの発生と蔓延の実態を全国的に把握すること。
- 1.2 スモンの病因と発生条件（宿主要因、環境条件など）を疫学的に解明すること。
- 1.3 スモンの予防法を確立すること。

### 2. 研究の方法

- 2.1 スモン患者全国実態調査 昭和44年度には昭和42、43年の2年間に全国の医療機関に受診したすべてのスモン患者ならびに同容疑患者について、当協議会より配布した調査個人票を作成するよう、厚生省の協力を得て各都道府県、指定都市の衛生部局に依頼したが、昭和45、46年度には一部を改変した調査個人票を用いて、昭和44年1年間と45年6月末までの初診患者（容疑例を含む）は同年9月末までに、また45年7月分より現在までの初診患者には毎月分を翌月末までに提出するよう依頼した。
- 2.2 スモン患者のキノホルム剤服用状況調査 当協議会臨床班に協力して実施した調査で、昭和45年10月に臨床班員20氏を対象に、確実なスモン患者で、神経症状発症前後の服薬状況の明らかなものに限り、患者の病状とキノホルム剤服用状況の調査を依頼した。
- 2.3 全国スモン患者のキノホルム剤服用状況調査 全国の医療機関を対象に、2.2と全く同じ方法による調査を依頼した。
- 2.4 スモンの発生要因調査 疫学部会員が当協議会発足当初よりスモン多発地区において各個研究的に実施してきている調査で主として case history study の手法による宿主要因調査や生活環境要因調査、あるいはスモンとキノホルムの Dose-response やスモン発生の Time-space relationship などの検討が含まれる。

### 3. 研究の結果

- 3.1 スモンの発生と蔓延の実態 昭和47年2月末までに本協議会に報告されたスモン患者実数は9131名（確実5770名、容疑3361名）であるが、発病（神経症状発現）の年次別に見て最も多発したのは昭和44年の2312名（確実1459名、容疑853名）である。スモ

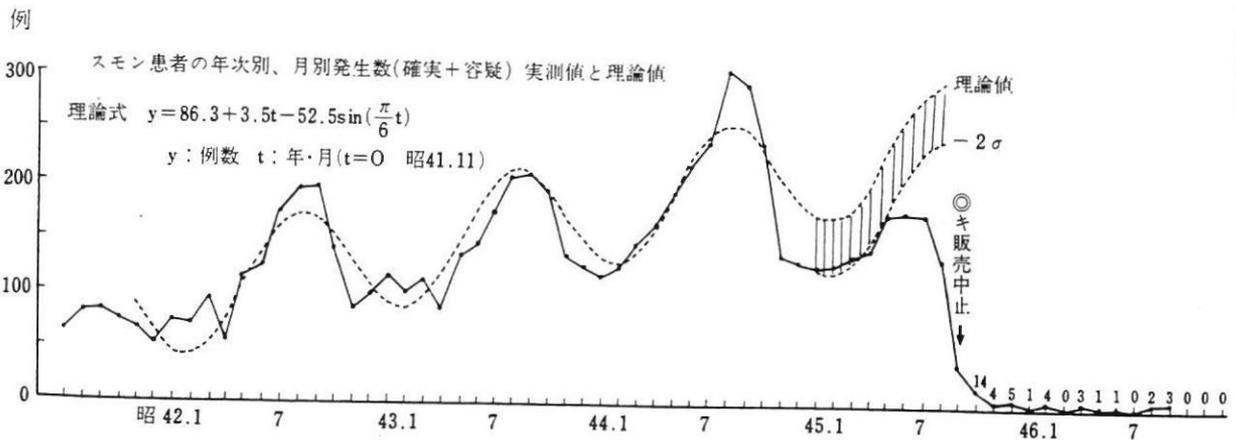
ン患者を人口対率でみて、女は男の約2倍、年令的には60才台にピークがあり、また地域的にはすべての都道府県に発生がみられるが、近畿、中、四国が特に高率となっていた。職業別には医療従事者、事務従事者、家庭の主婦の発生率が高い。

3.2 スモンの病因と発生条件 昭和45年9月8日に行なわれたキノホルム含有製剤の販売中止および使用見合せの行政措置は、疫学的にいて全国的規模で行なわれた一種のProspective study であるが、その結果スモン患者の発生は急減した。(下図参照)このことはキノホルム剤がスモンの発生と直接あるいは間接に関係のあることを意味しているが、スモンの発症とキノホルム投与量の間Dose-response relationship が成立することも全国調査および各個研究のいくつかで認められており、両者の間の因果関係を示唆しているといつてよい。スモン発症に関連する宿主と環境の諸条件については既に多くの要因が明らかにされている。

3.3 スモンの予防 キノホルム剤に対する上述の行政措置が極めて有効であったことは明らかである。

#### 4. 今後の問題点

- 4.1 キノホルム非服用スモン患者 (全国調査でスモン患者の約15%に存在)の検討
- 4.2 Dose-response の詳細な分析、特に小量発病者の問題
- 4.3 スモン発病条件の再検討 (性差、年令差、地域差等の説明)
- 4.4 スモン患者の追跡調査 (特にキノホルム服用量にみた病状経過と予後)



# SMON 患者全国実態調査成績

## 第1回調査（昭和42, 43年全受診患者調査）と 第2回調査（昭和44年以降新受診患者調査）の総括

— 昭和47年3月末現在 —

担当：重松逸造，柳川 洋，種村道彦，石川澄子（国立公衆衛生院疫学部）  
石丸隆治，谷 修一（厚生省公衆衛生局防疫課）

## 要 約

### 1 調査の目的

SMON患者ならびに同容疑患者の全国的な発生状況を把握するとともに、病状、経過、疫学的特性などを明らかにすること。

### 2 調査の方法

昭和45年3月20日に当協議会総会の席上で報告した第1回全国調査では、昭和42年1月1日～43年12月31日の2年間に全国の医療機関に受診したすべてのSMON患者ならびに同容疑患者（新来，再来，入院のすべてを含む）について、上記調査の報告書（昭和45年3月20日当協議会発行または当協議会報告書第1掲載）に添付した調査個人票を作成するよう、厚生省の協力を得て各都道府県，指定都市の衛生部局に依頼した。

昭和46年9月30日に報告した第2回全国調査の総括では別紙調査個人票を用いて昭和44年1月1日～45年6月30日の間の初診患者（容疑例を含む）を一括して45年9月末までに、また45年7月1日～46年3月31日の間の初診患者は毎月分を翌月末までに提出するよう依頼した。しかし実際にはキノホルム問題等のため調査個人票の一部改正を行なったこともあって、府県によって最終報告時期に差がみられ、前回の報告書を集計した昭和46年9月30日現在、最も遅い県では昭和45年3月まで、最も早い県では昭和46年6月まで報告されていた。また今回の報告書を集計した昭和47年6月30日現在、最も遅い県は昭和45年3月まで、最も早い県では昭和47年3月まで報告されていた。

なお、集計はこれまでに報告された重複例をすべて除外して行なった。

### 3 調査の結果

- (1) 調査個人票受理枚数（重複を含む）は、前回10,086枚、今回406枚、報告施設数は前回2,434施設、今回分を加えると2,512施設となる。各県別の最終報告年月日は14県が47年1月以降、6県が46年7月～12月となっており、その他の県は46年6月以前となっていた。（表1）
- (2) 現在までの総受理枚数は10,492枚、患者の実人員は前回報告分8,911名、今回までの増加分338名、計9,249名となる。（表2）

- (3) 全患者の9,249名(人口10万対9.2)のうちSMON確実例は5,839名, 同容疑例は3,410名であり, 初診年次の明らかなものについてみると, 41年以前1,349名, 42年1,374名, 43年1,794名, 44年2,418名と漸増しており, 45年1,652名とはじめて減少の傾向をみせ46年には95名と著減していた。なお47年は一部の府県のみより報告されており, 5名の患者がいた。また確実例に対して容疑例の占める割合は平均1.7:1で, 各年次とも大差はなかった。これらの成績を提出府県別(表3)患者の現住所別(表4, 図1, 2)および発病府県別(表5)に観察した。
- (4) 昭和42, 43年平均および44, 45年平均の提出府県別および現住所府県別初診患者率(確実+容疑)をみると全受診患者率(図1, 2)の場合とほぼ同じ傾向を示し, また42, 43年と44, 45年の間でも著明な変化はなく, 中部, 近畿, 中国, 四国に高率県が多くなっていた。なお, 46年, 47年はすべての府県で著明に減少していた。(表6, 図3, 4)
- (5) 月別年次別に初診患者数(確実+容疑)をみると, 42年は8月に, 43, 44年は9月にピークをつくりつつ年次とともに各月の患者数が増加している。45年は1, 2, 3月がそれ以前の3年間の同月よりも多くなっているが, 4月以降は他の年次と異なり, 増加傾向が鈍り7月までほぼ横ばいとなる。8月以降は7月までと比較して急減の傾向があることは確かである。(表7-1, 7-2, 図5-1, 5-2)以上を初診患者の発病月別にみると, 昭和45年10月以降, 特に46年に入ってから減少傾向はさらに著明で, 46年1月以降は僅か23名の発病者となっている。(表8-1, 8-2, 図6-1, 6-2)
- (6) 月別年次別にみた腹部症状と神経症状の発現状況は(5)の初診の場合よりピークが1月ぐらい前にずれているだけで, その他はほぼ同じ傾向にある。(表9, 10)
- (7) 腹部症状発現より神経症状発現まで, 腹部症状発現より初診まで, および神経症状発現より初診までの期間別患者数の分布は前回報告分とほぼ同様の傾向にあった。(表11, 12, 13)
- (8) 性, 年齢別全受診患者率(人口10万対)は前回同様男女とも60才台にピークをつくり, かつこの年齢層で男女間の開きが最も大きくなっている。全年令平均では男6.1, 女11.8である。初診患者率の場合も全受診患者率とほぼ同様の傾向を示しており, 昭和43年初診の率は全年令平均で男1.1, 女2.4, 昭和44年男1.5, 女3.1, 昭和45年男1.1, 女2.1となっていた。昭和46年以後は男女とも著減していた。(表14, 15, 16, 図7)
- (9) 職業別全受診患者率(人口10万対)は医療従事者(19.0)と事務(20.4)が最も高く, 主婦(15.0), その他の専門職(15.5), 無職, その他(16.0)などがこれに続いている。年次別初診患者率も同様の傾向にあった。(表17)
- (10) 性, 年齢別にみた受療状況, 症状, 経過等は前回と大差なかった。(表18)
- (11) 報告患者が臨床診断指針にどの程度合致しているかをみると, 確実例の場合腹部症状なしが1%, 神経症状の徐々に発現したものが20%, 知覚障害なしが2%, 異常知覚なしが5%等となっており, 容疑例の場合この順序にそれぞれ7%, 37%, 7%, 9%であった。(表19)

秘

スモン調査研究協議会

スモン(腹部症状を伴う脳脊髄炎症)調査個人票

(該当する欄に記入し、該当する記号を○でかこんでください。ただし※の枠内には記入しないでください。枠内の数字は集計のためのもので特別の意味はありません。この調査票はスモンの実態把握のためにのみ使用するものであり、その他の目的には使いません。又、個人の秘密は厳守致します。)

Form with fields for patient name, sex, birth date, address, symptoms, and diagnosis. Includes a 10-column grid for dates and a 50-56 numbered grid for clinical details.

スモンの臨床診断指針

スモン調査研究協議会

必発症状

- 1. 腹部症状(腹痛, 下痢など): おもむね、神経症状に先立つておこる。
2. 神経症状
a. 急性または亜急性に発現する。
b. 知覚障害が前景に立つ。両側性で、下半身、ことに下肢末端につよく、上界は不鮮明である。とくに、異常知覚(ものがついている、しめつけられる、ジンジンする、その他)を伴ない、これをもつて初発することが多い。

参考条項

(必発症状と併わせて、診断しきわめて大切である)

- 1. 下肢の深部知覚障害を呈することが多い。
2. 運動障害
a. 下肢の筋力低下がよくみられる。
b. 錐体路徴候(下肢腱反射の亢進、Babinski 現象など)を呈することが多い。
3. 上肢に軽度の知覚・運動障害を起こすことがある。
4. 次の諸症状を伴うことがある。
a. 両側性視力障害 b. 脳症状、精神症状
c. 緑色舌苔、緑便 d. 膀胱、直腸障害
5. 経過はおもむね遅延し、再燃することがある。
6. 血液像、脳液所見に著明な変化がない。
7. 小児には稀である。

左欄の各項目について、上記患者経過中の該当する症状の有無につき、下欄のあてはまるような数字をすべて○でかこんでください。数字は集計のためのもので特別の意味はありません。

必発症状

- 1. 腹部症状
1. あり (2. 腹痛 3. 下痢 4. その他 \_\_\_\_\_)
5. なし 0. 不明
2. 神経症状
発現状況: 6. 急性又は亜急性 7. 徐々 0. 不明
知覚障害: 8. あり (9. 両側性(必ずしも対称性でなくてもよい)
10. 下半身につよい 11. 上界不鮮明)
12. なし 0. 不明
異常知覚: 13. あり (14. ものがついている 15. しめつけられる)
16. ジンジンする 17. その他 \_\_\_\_\_)
18. なし 0. 不明

参考条項

- 1. 下肢の深部知覚障害(位覚 振動覚など)
19. あり 20. なし 0. 不明
2. 運動障害
下肢の筋力低下 21. あり 22. なし 0. 不明
錐体路徴候 23. あり (24. 下肢腱反射の亢進
25. Babinski 現象
26. その他 \_\_\_\_\_)
27. なし 0. 不明
3. 上肢の運動障害
28. あり 29. なし 0. 不明
" 知覚障害 30. あり 31. なし 0. 不明
4. 両側性視力障害
脳症状、精神症状 32. あり 33. なし 0. 不明
緑色舌苔 34. あり 35. なし 0. 不明
緑便 36. あり 37. なし 0. 不明
膀胱、直腸障害 38. あり 39. なし 0. 不明
40. あり 41. なし 0. 不明
5. 経過の遅延
42. あり 43. なし 0. 不明
再燃 44. あり 45. なし 0. 不明
6. 血液の異常所見
46. あり 47. なし 0. 不明
髄液の " 48. あり 49. なし 0. 不明

## スモン調査個人記録コード一覧表

\*新様式調査票のみで記録された項目  
\*\*旧様式調査票のみで記録された項目

コード№.	項 目	コ ー ド
1	提 出 府 県	2けたの府県 1～46
2	個 人	府県別に4けたの 一連番号
3	調 査 票 の 提 出 時 期	44：昭和44年度末集計時までに集まったもので初診が44.1.1以降のものを除く。 45：前回集計時までに集まって初診が昭和44.1.1以降のものおよび前回集計後に集まったすべての個人票
4	施 設	府県別に3けたの 一連番号
5	姓 名 の 頭 文 字	ローマ字の頭文字を 姓2けた 名2けた 計4けたの数字に変換したもの A：11 B：12 C：13 …… Z：36
6	性	0：不明 1：男 2：女
7	出 生 時 年 号	0：不明 1：明治 2：大正 3：昭和
8	出 生 年	2けたの数字 00：不明
9	出 生 月	〃 〃
10	出 生 日	〃 〃
11	初 診 時 満 年 令	〃 〃
12	職 業	00：不 明 01：医療従事者 02：管理的職業 03：事 務 04：販 売 05：農 林 業 06：採 鉱 採 石 07：運輸通信 08：工 員 09：サー ビス 10：分類不能の職業 11：主婦(69才まで) 12：01, 02以外の専門職 13：漁 業 14：その他, 無職 15：学 生
13	現 住 所 府 県	項目1と同じ
14	現 住 所 市 区 町 村	自治省都道府県市区町村コード(昭和45年4月1日)の第3けた, 4けた, 5けた, および検査数字の計4けたを用いた。

コードNo	項目	コ	ー	ド
15	発病地府県	項目1と同じ		
16	発病地市区町村	項目14と同じ		
17	腹部症状発現年	2けたの数字	00	:不明
18	腹部症状発現月	//	//	
19	神経症状発現年	//	//	
20	神経症状発現月	//	//	
21	初診年	//	//	
22	初診月	//	//	
23	初診日	//	//	
24	診断の確実性	1:確実 2:容疑 (不明はすべて2:容疑として処理した)		
25	受療状況	0:不明 1:入院 2:通院 3:その他		
26	歩行	0:不明 1:不能 2:かろうじて可 3:ほぼ正常~正常		
27	視力	0:不明 1:全盲 2:低下 3:正常		
28	経過	0:不明 1:死亡 2:悪化 3:不変 4:軽快 5:治ゆ		
29	家族からの発病	0:不明 1:あり 2:なし		
30*	腹部症状の有無	//		
31*	(項目30→1のものについて) 腹痛の有無	1:あり		
32*	(項目30→1のものについて) 下痢の有無	//		
33*	(項目30→1のものについて) その他の腹部症状の有無	//		
34*	神経症状の発現状況	0:不明 1:徐々 2:急性または亜急性		
35*	知覚障害の有無	0:不明 1:あり 2:なし		
36*	(項目35→1のものについて) 両側性かどうか	1:両側性		
37*	(項目35→1のものについて) 下半身につよいかどうか	1:下半身につよい		
38*	(項目35→1のものについて) 上界不鮮明かどうか	1:上界不鮮明		
39	異常知覚の有無	0:不明 1:あり 2:なし		
40*	(項目39→1のものについて) ものがついている	1:あり		

コードNo	項目	コ	ー	ド
41*	(項目39→1のものについて) しめつけられる	1:あり		
42*	(項目39→1のものについて) ジンジンする	//		
43*	(項目39→1のものについて) その他の異常知覚の有無	//		
44*	下肢の深部知覚障害の有無	0:不明 1:あり 2:なし		
45	下肢の筋力低下の有無	//		
46*	錐体路徴候の有無	//		
47	(項目46→1のものについて) 下肢腱反射の亢進	1:あり		
48*	(項目46→1のものについて) Babinski 現象	//		
49*	(項目46→1のものについて) その他の錐体路徴候の有無	//		
50*	上肢の運動障害の有無	0:不明 1:あり 2:なし		
51*	上肢の知覚障害の有無	//		
52*	両側性視力障害の有無	//		
53*	脳症状・精神症状の有無			
54*	緑色舌苔の有無	//		
55*	緑便の有無	//		
56	膀胱・直腸障害の有無	//		
57*	経過の遷延	//		
58*	再燃の有無	//		
59*	血液の異常所見	//		
60*	髄液の異常所見	//		
61	提出府県ブロック別	1:府県No.1      2:No.2~7      3:No.8~14 4:No.15~21      5:No.22~24      6:No.25~30 7:No.31~35      8:No.36~39      9:No.40~46		
62	現住所ブロック別	//		
63	発病住所ブロック別	//		
64	初診時満年齢3区分別	1:0~39才      2:40~59才 3:60才以上      4:不明		
65	腹部症状→神経症状の期間	(〔後者〕-〔前者〕)の月数に50を加える 腹部S40.1,神経S46.5のときは6年4カ月= 76カ月→76+50=126となる		

コードNo.	項目	コード
66	腹部症状→初診の時期	〃
67	神経症状→初診の時期	〃
68	出生時年号+出生年の複合コード	項目7×100+項目8
69	出生月+出生日の複合コード	項目9×100+項目10
70	姓のローマ字頭文字	項目5の姓の部分のみ
71	名のローマ字頭文字	項目5の名の部分のみ
72**	初診時の知覚障害の部位	0:不明 1:下腹部以上 2:そけい部以下 3:足首以下 4:その他
73**	初診時の運動障害(その他)	1:記入あり 2:記入なし
74**	初診時の膝蓋腱反射	0:不明 1:亢進 2:正常 3:減弱 4:消失
75**	初診時のアキレス腱反射	〃
76**	初診時のその他の神経症状	1:記入あり 2:記入なし
77**	経過中の神経症状の増悪	0:不明 1:あり 2:なし
78**	調査時の視力	0:不明 1:全盲 2:低下 3:正常
79**	剖 検	1:不明 2:あり 3:なし
80	初診時満年齢 5才区分別	0:不明 1:0~4才 2:5~9才 3:10~14才 4:15~19才 5:20~24才 6:25~29才 7:30~34才 8:35~39才 9:40~44才 10:45~49才 11:50~54才 12:55~59才 13:60~64才 14:65~69才 15:70~74才 16:75~79才 17:80才以上
81	発病地の市郡別	0:不明 1:7大都市 2:その他の市 3:郡部
82	医師の意見	1:記入あり 2:記入なし
83	腹部症状→神経症状の期間 (10区分別)	0:不明 1:同時期以前 2:同時期 3:1カ月 4:2カ月 5:3カ月 6:4~6カ月 7:7~12カ月 8:13~24カ月 9:25~36カ月 10:37カ月以上
84	腹部症状→初診の期間 (10区分別)	〃
85	神経症状→初診の期間 (10区分別)	〃
86	予 備	
87	〃	

コード№.	項 目	コ ー ド
88	予 備	
89	調 査 個 人 票 の 様 式	1 : 旧様式(第1回全国調査のみに使用) 2 : 新様式
90	同 一 個 人 の 重 複 結 合	1 : 重複なし 2 : 2枚重複 3 : 3枚…… 25 : 25枚以上
91	氏 名	片かなで 姓 名

表1 都道府県別スモン調査個人票受理数および施設数

区 分	前回(46.9.30現在)報告分		今回(47.6.30現在)報告分		
	受 理 数	報 告 施 設 数	受 理 数	今回までの延報告施設数	最 終 報 告 月 日
北海道	363	93	28	96	47. 4. 5提出
青森	25	13		13	46. 3. 31現在
岩手	63	28	9	28	47. 1. 5提出
宮城	47	29		29	45. 9. 28 "
秋田	115	20		20	45. 3. 20現在
山形	237	47	49	59	47. 4. 3提出
福島	122	38		38	46. 3. 22 "
茨城	32	19	3	21	46. 8. 31現在
栃木	60	40	1	40	47. 3. 31 "
群馬	25	11	2	11	46. 3. 27提出
埼玉	136	37	2	39	46. 10. 16 "
千葉	102	29	13	33	47. 2. 5 "
東京都	1192	192		192	46. 1. 31現在
神奈川県	255 { 85(横浜市) 190(神奈川県)	59		59	46. 4. 30 " 46. 3. 31 "
新潟	434	65		65	46. 3. 23提出
富山	62	23	14	26	46. 12. 31現在
石川	69	32		32	46. 3. 19提出
福井	101	36	4	38	47. 3. 31現在
山梨	33	13	1	14	46. 12. 24提出
長野	214	42		42	46. 2. 9 "
岐阜	198	50	8	53	46. 10. 26 "
静岡県	146	46	5	50	47. 3. 13 "
愛知県	705 { 300(名古屋市) 405(愛知県)	60	18 { 18	69	46. 10. 14 " 45. 11. 10 "
三重	226	29		29	46. 4. 20 "
滋賀	104	41	1	41	46. 5. 7提出
京都	363 { 293(京都市) 70(京都府)	60	22 { 22	63	47. 4. 10 " 45. 11. 19 "
大阪	1363 { 830(大阪府) 533(大阪市)	504	49 { 49	513	47. 4. 17 " 46. 3. 31現在
兵庫県	363 { 132(兵庫県) 231(神戸市)	164	39 { 6 33	182	47. 4. 4提出 47. 3. 14 "
奈良	104	8		8	45. 11. 20 "
和歌山	127	57		57	45. 11. 19 "
鳥取	42	10	1	11	46. 9. 27提出
島根	125	31		31	45. 10. 19 "
岡山	513	58	76	65	47. 2. 28 "
広島	200	23		23	45. 12. 31現在
山口	226	39		39	46. 2. 20提出
徳島	506	53	3	54	47. 2. 28提出
香川	108	40	4	40	46. 6. 30現在
愛媛	115	49		49	46. 3. 30 "
高知	110	30	2	31	47. 2. 8提出
福岡	365 { 222(北九州市) 143(福岡県)	69	40 { 16 24	80	47. 4. 15提出 47. 4. 19 "
佐賀	56	16		16	45. 12. 28 "
長崎	49	20	4	23	47. 4. 12 "
熊本	127	56		56	46. 5. 17 "
大分	91	27	8	32	47. 3. 9提出
宮崎	34	11		11	45. 3. 20現在
鹿児島	29	17		17	45. 8. 31 "
全 国	10,086	2,434	406	2,512	

表2 都道府県別スモン調査個人票受理数および実人員のうちわけ

区 分	受 理 数			実 人 員 ( 除 重 複 )		
	総 数	前 回 報 告 分	今 回 報 告 分	総 数	前 回 報 告 分	新 報 告、重 複 に よ る 再 除 外 な ど に よ る 増 減
北 海 道	391	363	28	382	357	+ 25
青 森	25	25		22	22	0
岩 手	72	63	9	61	55	+ 6
宮 城	47	47		47	47	0
秋 田	115	115		114	114	0
山 形	286	237	49	211	176	+ 35
福 島	122	122		115	115	0
茨 城	35	32	3	32	30	+ 2
栃 木	61	60	1	55	55	0
群 馬	27	25	2	26	24	+ 2
埼 玉	136	136	2	129	128	+ 1
千 葉	119	106	13	105	93	+ 12
東 京	1,192	1,192		988	988	0
神 奈 川	255	255		217	217	0
新 潟	434	434		386	386	0
富 山	76	62	14	75	62	+ 13
石 川	69	69		57	57	0
福 井	105	101	4	99	95	+ 4
山 梨	34	33	1	33	32	+ 1
長 野	214	214		200	200	0
岐 阜	206	198	8	189	181	+ 8
静 岡	151	146	5	140	135	+ 5
愛 知	723	705	18	713	698	+ 15
三 重	226	226		186	186	0
滋 賀	105	104	1	96	95	+ 1
京 都	385	363	22	352	336	+ 16
大 阪	1,412	1,363	49	1,191	1,158	+ 33
兵 庫	402	363	39	357	327	+ 30
奈 良	104	104		99	99	0
和 歌 山	127	127		104	104	0
鳥 取	43	42	1	34	33	+ 1
島 根	125	125		121	121	0
岡 山	589	513	76	578	502	+ 76
広 島	200	200		196	196	0
山 口	226	226		126	126	0
徳 島	509	506	3	423	420	+ 3
香 川	112	108	4	96	95	+ 1
愛 媛	115	115		104	104	0
高 知	112	110	2	110	108	+ 2
福 岡	405	365	40	337	303	+ 34
佐 賀	56	56		44	44	0
長 崎	53	49	4	51	47	+ 4
熊 本	127	127		100	100	0
大 分	99	91	8	90	82	+ 8
宮 崎	34	34		30	30	0
鹿 児 島	29	29		28	28	0
全 国	10,492	10,086	406	9,249	8,911	+338

表 3 提出府県別患者数

区 分	総 数	(人口 * 10万対)	確 実 例	容 疑 例	初 診 年 次								
					昭 4 1 以 前			昭 4 2			昭 4 3		
					総 数	確 実 例	容 疑 例	総 数	確 実 例	容 疑 例	総 数	確 実 例	容 疑 例
北海道	382	7.3	209	173	233	130	103	32	22	10	35	19	16
青森	22	1.5	12	10	5	3	2	3	2	1	5	2	3
岩手	61	4.4	28	33	3	1	2	11	4	7	14	4	10
宮城	47	2.6	30	17	2	1	1	13	11	2	14	8	6
秋田	114	9.1	15	99	2	1	1	3	2	1	2	1	1
山形	211	17.0	158	53	61	51	10	19	16	3	44	34	10
福島	115	5.8	76	39	5	5	0	16	10	6	19	15	4
茨城	32	1.5	11	21	5	3	2	4	1	3	4	2	2
栃木	55	3.6	32	23	15	8	7	8	7	1	7	4	3
群馬	26	1.6	14	12	7	4	3	2	2	0	3	0	3
埼玉	129	3.7	88	41	24	17	7	23	14	9	24	16	8
千葉	105	3.5	59	46	25	15	10	19	9	10	11	4	7
東京都	988	8.8	663	325	170	109	61	195	135	60	201	131	70
神奈川県	217	4.4	142	75	34	27	7	35	25	10	68	41	27
新潟	386	16.2	252	134	21	14	7	33	18	15	48	32	16
富山	75	7.3	41	34	11	8	3	24	14	10	15	4	11
石川	57	5.8	24	33	6	5	1	8	4	4	18	6	12
福井	99	13.3	49	50	14	7	7	15	8	7	32	17	15
山梨	33	4.3	13	20	2	0	2	6	3	3	12	6	6
長野	200	10.2	153	47	1	0	1	3	3	0	3	2	1
岐阜	189	11.0	137	52	26	20	6	30	24	6	40	27	13
静岡	140	4.6	82	58	30	20	10	24	15	9	36	16	20
愛知	713	14.0	671	42	73	70	3	52	48	4	94	88	6
三重	186	12.3	110	76	48	31	17	36	22	14	47	28	19
滋賀	96	11.2	59	37	13	8	5	16	13	3	24	15	9
京都	352	16.4	188	164	47	30	17	57	31	26	57	30	27
大阪	1,191	16.9	646	545	148	95	53	193	111	82	254	145	109
兵庫	357	8.1	180	177	51	34	17	52	23	29	59	36	23
奈良	99	11.4	80	19	12	9	3	22	14	8	28	23	5
和歌山	104	10.0	65	39	12	8	4	22	14	8	19	14	5
鳥取	34	5.9	22	12	3	2	1	3	1	2	10	7	3
島根	121	15.3	79	42	5	1	4	23	18	5	35	27	8
岡山	578	34.7	429	149	21	11	10	99	78	21	179	133	46
広島	196	8.3	101	95	2	2	0	58	0	58	41	14	27
山口	126	8.4	60	66	25	11	14	18	11	7	23	8	15
徳島	423	53.1	260	163	49	39	10	73	40	33	70	39	31
香川	96	10.6	62	34	14	10	4	10	9	1	28	19	9
愛媛	104	7.3	56	48	16	12	4	15	10	5	26	14	12
高知	110	13.8	69	41	1	0	1	17	14	3	16	10	6
福岡	337	8.5	218	119	43	25	18	42	29	13	58	41	17
佐賀	44	5.1	31	13	4	2	2	5	4	1	5	3	2
長崎	51	3.2	32	19	7	4	3	5	5	0	11	6	5
熊本	100	5.7	66	34	20	10	10	16	12	4	16	12	4
大分	90	7.7	40	50	24	9	15	9	3	6	22	9	13
宮崎	30	2.8	12	18	3	1	2	1	1	0	11	5	6
鹿児島	28	1.6	15	13	6	4	2	4	3	1	6	5	1
不明													
全 国	9,249	9.2	5,839	3,410	1,349	877	472	1,374	863	511	1,794	1,122	672

\* 昭和43年10月1日現在推計人口で計算した。

表3 提出府県別患者数(つづき)

区 分	初 診 年 次															S43.10.1 推計人口 (単位1000人)
	昭 44			昭 45			昭 46			昭 47			不 明			
	総 数	確実例	容疑例	総 数	確実例	容疑例	総 数	確実例	容疑例	総 数	確実例	容疑例	総 数	確実例	容疑例	
北海道	37	18	19	17	12	5	0	0	0	1	0	1	27	8	19	5,230
青森	5	3	2	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,430
岩手	23	10	13	5	4	1	4	4	0	0	0	0	1	1	0	1,397
宮城	16	8	8	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,783
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107	11	96	1,256
山形	61	40	21	21	15	6	4	2	2	0	0	0	1	0	1	1,246
福島	66	40	26	8	5	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1,968
茨城	12	3	9	6	1	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2,078
栃木	17	9	8	8	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,541
群馬	4	3	1	9	5	4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1,632
埼玉	41	29	12	9	5	4	1	1	0	0	0	0	7	6	1	3,468
千葉	22	17	5	24	11	13	3	2	1	0	0	0	1	1	0	3,003
東京	209	144	65	197	133	64	0	0	0	0	0	0	16	11	5	11,205
神奈川	54	33	21	24	15	9	1	0	1	0	0	0	1	1	0	4,935
新潟	133	90	43	147	96	51	1	0	1	0	0	0	3	2	1	2,387
富山	17	12	5	6	2	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1,024
石川	21	9	12	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	991
福井	10	6	4	24	10	14	2	0	2	0	0	0	2	1	1	745
山梨	11	4	7	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	764
長野	29	22	7	5	4	1	0	0	0	0	0	0	159	122	37	1,958
岐阜	52	40	12	40	25	15	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1,725
静岡	27	18	9	18	9	9	1	1	0	0	0	0	4	3	1	3,015
愛知	168	159	9	184	172	12	5	5	0	0	3	0	137	129	8	5,078
三重	32	17	15	19	10	9	0	0	0	0	0	0	4	2	2	1,514
滋賀	30	14	16	12	8	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	859
京都	90	47	43	85	41	44	9	4	5	0	0	0	7	5	2	2,147
大阪	247	124	123	280	134	146	27	10	17	0	0	0	42	27	15	7,030
兵庫	141	60	81	44	25	19	4	1	3	0	0	0	6	1	5	4,421
奈良	23	22	1	14	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	869
和歌山	34	21	13	17	8	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,036
鳥取	13	9	4	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	573
島根	45	25	20	12	7	5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	792
岡山	170	133	37	72	53	19	15	13	2	3	0	0	19	5	14	1,668
広島	74	65	9	19	18	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2,362
山口	39	21	18	21	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,505
徳島	134	86	48	93	54	39	0	0	0	0	0	0	4	2	2	797
香川	34	18	16	10	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	905
愛媛	33	13	20	13	6	7	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1,427
高知	31	20	11	44	24	20	1	1	0	0	0	0	0	0	0	797
福岡	99	72	27	84	44	40	10	6	4	0	0	0	1	1	0	3,988
佐賀	25	19	6	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	855
長崎	13	11	2	14	5	9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1,612
熊本	28	19	9	19	13	6	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1,746
大分	24	11	13	6	4	2	2	2	0	1	0	0	2	1	1	1,163
宮崎	15	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,073
鹿児島	9	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	1,797
不明																
全 国	2,418	1,552	866	1,652	1,019	633	95	56	39	5	4	1	562	346	216	100,794

表 4 現住所府県別患者数

区 分	総 数	人口* (10万対)	確実例	容疑例	初 診 年 次								
					昭 4 1 以 前			昭 4 2			昭 4 3		
					総 数	確実例	容疑例	総 数	確実例	容疑例	総 数	確実例	容疑例
北海道	377	7.2	212	165	230	130	100	30	20	10	37	21	16
青森	25	1.7	15	10	5	3	2	3	2	1	6	3	3
岩手	59	4.2	28	31	2	1	1	11	4	7	13	4	9
宮城	48	2.7	31	17	2	1	1	14	12	2	14	8	6
秋田	108	8.6	20	88	2	1	1	4	3	1	2	1	1
山形	212	17.0	158	54	61	51	10	18	15	3	44	34	10
福島	115	5.8	76	39	6	6	0	14	8	6	19	14	5
茨城	47	2.3	21	26	5	3	2	5	1	4	10	5	5
栃木	56	3.6	31	25	14	7	7	10	8	2	8	5	3
群馬	32	2.0	19	13	8	5	3	3	2	1	3	0	3
埼玉	150	4.3	104	46	31	23	8	30	21	9	27	17	10
千葉	128	4.3	74	54	30	18	12	21	10	11	17	9	8
東京	835	7.5	560	275	135	91	44	158	109	49	173	108	65
神奈川	261	5.3	170	91	38	27	11	49	35	14	67	42	25
新潟	323	13.5	201	122	20	13	7	30	15	15	47	31	16
富山	80	7.8	45	35	11	8	3	24	14	10	17	6	11
石川	51	5.1	22	29	6	5	1	8	4	4	16	5	11
福井	108	14.5	53	55	14	7	7	14	7	7	35	19	16
山梨	34	4.5	13	21	2	0	2	5	3	2	12	6	6
長野	210	10.7	159	51	1	0	1	5	4	1	6	5	1
岐阜	185	10.7	137	48	25	19	6	28	24	4	36	24	12
静岡	151	5.0	91	60	30	20	10	27	17	10	43	23	20
愛知	717	14.1	672	45	75	72	3	54	48	6	96	89	7
三重	190	12.5	111	79	47	30	17	36	22	14	47	27	20
滋賀	117	13.6	67	50	12	7	5	24	17	7	25	16	9
京都	311	14.5	165	146	44	26	18	47	27	20	53	27	26
大阪	1,082	15.4	595	487	133	85	48	186	109	77	225	125	100
兵庫	414	9.4	221	193	57	42	15	56	27	29	70	45	25
奈良	129	14.8	99	30	17	13	4	24	15	9	35	29	6
和歌山	104	10.0	63	41	11	7	4	21	13	8	19	14	5
鳥取	25	4.4	18	7	1	0	1	0	0	0	7	6	1
島根	132	16.7	83	49	7	3	4	25	18	7	40	29	11
岡山	569	34.1	417	152	20	10	10	98	77	21	181	132	49
広島	202	8.6	109	93	2	2	0	57	0	57	38	14	24
山口	135	9.0	68	67	29	13	16	17	10	7	25	11	14
徳島	389	48.8	243	146	47	37	10	61	34	27	60	36	24
香川	107	11.8	70	37	15	11	4	12	10	2	32	22	10
愛媛	113	7.9	58	55	15	11	4	19	12	7	29	14	15
高知	119	14.9	74	45	1	0	1	20	17	3	17	11	6
福岡	310	7.8	202	108	42	25	17	40	27	13	53	36	17
佐賀	41	4.8	27	14	3	2	1	4	3	1	3	2	1
長崎	59	3.7	34	25	8	4	4	6	5	1	13	7	6
熊本	98	5.6	64	34	20	10	10	16	12	4	16	12	4
大分	93	8.0	43	50	23	8	15	9	3	6	21	9	12
宮崎	31	2.9	14	17	2	1	1	2	2	0	11	5	6
鹿児島	28	1.6	16	12	5	4	1	4	3	1	6	5	1
不明	139		66	73	35	15	20	25	14	11	20	9	11
全 国	9,249	9.2	5,539	3,410	1,349	877	472	1,374	863	511	1,794	1,122	672

\* 昭和43年10月1日現在推計人口で率を計算した。

表 4 現住所府県別患者数(つづき)

区 分	初 診 年 次														
	昭 4 4			昭 4 5			昭 4 6			昭 4 7			不 明		
	総 数	確 実 例	容 疑 例	総 数	確 実 例	容 疑 例	総 数	確 実 例	容 疑 例	総 数	確 実 例	容 疑 例	総 数	確 実 例	容 疑 例
北海道	39	19	20	20	14	6	0	0	0	1	0	1	20	8	12
青森	5	3	2	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	23	10	13	5	4	1	4	4	0	0	0	0	1	1	0
宮城	16	8	8	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	96	11	85
山形	60	39	21	23	17	6	4	2	2	0	0	0	2	0	2
福島	65	40	25	10	7	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0
茨城	18	8	10	8	3	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0
栃木	16	8	8	8	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	6	6	0	11	6	5	0	0	0	0	0	0	1	0	1
埼玉	39	26	13	18	14	4	1	1	0	0	0	0	4	2	2
千葉	26	19	7	29	15	14	3	2	1	0	0	0	2	1	1
東京都	186	127	59	162	110	52	1	0	1	0	0	0	20	15	5
神奈川県	67	41	26	37	23	14	0	0	0	0	0	0	3	2	1
新潟	107	68	39	117	72	45	0	0	0	0	0	0	2	2	0
富山	18	13	5	8	3	5	2	1	1	0	0	0	0	0	0
石川	16	7	9	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	13	8	5	28	12	16	2	0	2	0	0	0	2	0	2
山梨	11	4	7	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	31	24	7	8	5	3	0	0	0	0	0	0	159	121	38
岐阜	53	42	11	42	27	15	0	0	0	0	0	0	1	1	0
静岡県	26	17	9	21	10	11	1	1	0	0	0	0	3	3	0
愛知	170	161	9	180	168	12	5	5	0	3	3	0	137	129	8
三重	36	19	17	19	11	8	1	0	1	0	0	0	4	2	2
滋賀	38	17	21	16	9	7	1	1	0	0	0	0	1	0	1
京都	79	44	35	75	33	42	7	3	4	0	0	0	6	5	1
大阪	217	107	110	261	135	126	20	8	12	0	0	0	40	26	14
兵庫	155	71	84	61	33	28	9	2	7	0	0	0	6	1	5
奈良	33	26	7	18	14	4	1	1	0	0	0	0	1	1	0
和歌山	35	21	14	18	8	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	12	9	3	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	46	25	21	13	7	6	0	0	0	0	0	0	1	1	0
岡山	167	129	38	69	50	19	12	11	1	0	0	0	19	5	14
広島	79	69	10	23	21	2	1	1	0	0	0	0	2	2	0
山口	41	23	18	22	10	12	1	1	0	0	0	0	0	0	0
徳島	132	86	46	85	48	37	0	0	0	0	0	0	4	2	2
香川	35	19	16	13	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	34	14	20	14	6	8	1	0	1	0	0	0	1	1	0
高知	34	20	14	46	25	21	1	1	0	0	0	0	0	0	0
福岡	88	69	19	77	39	38	9	5	4	0	0	0	1	1	0
佐賀	25	17	8	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	16	11	5	15	6	9	1	1	0	0	0	0	0	0	0
熊本	27	18	9	18	12	6	0	0	0	0	0	0	1	0	1
大分	25	12	13	10	7	3	2	2	0	1	1	0	2	1	1
宮崎	15	5	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	9	3	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
不明	25	16	9	14	9	5	4	2	2	0	0	0	16	1	15
全 国	2,418	1,552	866	1,652	1,019	633	95	56	39	5	4	1	562	346	216

表 5 発病府県別患者数

区 分	総 数	(人口* 10万対)	確実例	容 疑 例	初 診 年 次								
					昭 4 1 以 前			昭 4 2			昭 4 3		
					総 数	確実例	容 疑 例	総 数	確実例	容 疑 例	総 数	確実例	容 疑 例
北海道	392	7.5	215	177	234	130	104	32	22	10	37	21	16
青森	27	1.9	16	11	6	3	3	3	2	1	6	3	3
岩手	61	4.4	28	33	3	1	2	12	4	8	14	4	10
宮城	53	3.0	34	19	2	1	1	14	11	3	15	9	6
秋田	118	9.4	20	98	1	1	0	4	3	1	2	1	1
山形	198	15.9	151	47	53	47	6	20	17	3	42	33	9
福島	117	5.9	78	39	6	6	0	14	9	5	19	14	5
茨城	45	2.2	21	24	6	4	2	5	1	4	9	5	4
栃木	56	3.6	31	25	14	7	7	10	8	2	7	4	3
群馬	33	2.0	21	12	8	6	2	4	3	1	3	0	3
埼玉	148	4.3	101	47	34	24	10	30	21	9	26	17	9
千葉	128	4.3	73	55	30	18	12	19	9	10	17	8	9
東京都	861	7.7	575	286	144	93	51	163	110	53	180	113	67
神奈川県	264	5.3	171	93	40	28	12	52	37	15	64	39	25
新潟	323	13.5	203	120	21	14	7	29	15	14	49	33	16
富山	81	7.9	47	34	11	8	3	24	14	10	16	6	10
石川	55	5.5	23	32	6	5	1	8	4	4	17	5	12
福井	109	14.6	54	55	14	7	7	15	7	8	34	18	16
山梨	32	4.2	12	20	2	0	2	5	3	2	10	5	5
長野	213	10.9	161	52	1	0	1	6	5	1	6	5	1
岐阜	183	10.6	137	46	25	20	5	28	24	4	36	24	12
静岡県	147	4.9	90	57	31	20	11	25	17	8	44	24	20
愛知県	720	14.2	670	50	75	71	4	55	48	7	97	89	8
三重	191	12.6	114	77	48	31	17	36	22	14	48	28	20
滋賀	110	12.8	65	45	11	7	4	21	16	5	25	16	9
京都	328	15.3	173	155	46	29	17	51	28	23	56	29	27
大阪	1,103	15.7	610	493	141	89	52	194	114	80	241	136	105
兵庫	409	9.3	214	195	59	41	18	52	23	29	69	44	25
奈良	128	14.7	97	31	14	10	4	25	16	9	37	30	7
和歌山	103	9.9	64	39	11	8	3	22	14	8	18	13	5
鳥取	25	4.4	18	7	1	0	1	0	0	0	7	6	1
島根	127	16.0	79	48	6	3	3	24	17	7	37	27	10
岡山	581	34.8	427	154	21	10	11	98	77	21	183	135	48
広島	212	9.0	115	97	3	3	0	60	1	59	42	16	26
山口	135	9.0	69	66	30	14	16	17	10	7	25	11	14
徳島	404	50.7	247	157	48	37	11	67	36	31	64	36	28
香川	106	11.7	69	37	15	11	4	11	9	2	31	21	10
愛媛	112	7.8	61	51	17	13	4	20	14	6	26	13	13
高知	116	14.5	71	45	1	0	1	19	16	3	16	10	6
福岡	308	7.7	200	108	41	25	16	40	27	13	51	34	17
佐賀	45	5.3	29	16	4	2	2	4	3	1	3	2	1
長崎	57	3.5	33	24	7	4	3	5	5	0	13	7	6
熊本	94	5.4	60	34	21	11	10	16	12	4	12	8	4
大分	93	8.0	42	51	22	7	15	9	4	5	22	10	12
宮崎	72	6.7	35	37	10	4	6	2	2	0	13	6	7
鹿児島	26	1.4	15	11	5	4	1	4	3	1	5	4	1
不明													
全 国	9,249	9.2	5,839	3,410	1,349	877	472	1,374	863	511	1,794	1,128	672

\* 昭43年10月1日現在推計人口で率を計算した。

表5 発病府県別患者数(つづき)

区分	初 診 年 次														
	昭 4 4			昭 4 5			昭 4 6			昭 4 7			不 明		
	総 数	確 実 例	容 疑 例	総 数	確 実 例	容 疑 例	総 数	確 実 例	容 疑 例	総 数	確 実 例	容 疑 例	総 数	確 実 例	容 疑 例
北海道	39	18	21	22	16	6	0	0	0	1	0	1	27	8	19
青森	6	4	2	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	22	10	12	5	4	1	4	4	0	0	0	0	1	1	0
宮城	18	9	9	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107	11	96
山形	58	37	21	20	15	5	4	2	2	0	0	0	1	0	1
福島	67	41	26	10	7	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0
茨城	16	7	9	8	3	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0
栃木	17	9	8	8	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	6	6	0	11	6	5	0	0	0	0	0	0	1	0	1
埼玉	37	25	12	16	11	5	1	1	0	0	0	0	4	2	2
千葉	27	20	7	31	15	16	3	2	1	0	0	0	1	1	0
東京都	190	132	58	168	115	53	1	0	1	0	0	0	15	12	3
神奈川県	66	40	26	39	25	14	0	0	0	0	0	0	3	2	1
新潟	105	68	37	116	71	45	1	0	1	0	0	0	2	2	0
富山	18	13	5	10	5	5	2	1	1	0	0	0	0	0	0
石川	19	8	11	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	13	8	5	28	13	15	2	0	2	0	0	0	3	1	2
山梨	11	4	7	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	32	24	8	8	5	3	0	0	0	0	0	0	160	122	38
岐阜	53	42	11	40	26	14	0	0	0	0	0	0	1	1	0
静岡県	26	17	9	18	9	9	0	0	0	0	0	0	3	3	0
愛知県	170	160	10	182	169	13	5	5	0	0	0	0	136	128	8
三重	35	19	16	19	11	8	0	0	0	0	0	0	5	3	2
滋賀	36	16	20	16	9	7	1	1	0	0	0	0	0	0	0
京都	87	47	40	75	32	43	7	3	4	0	0	0	6	5	1
大阪	198	98	100	262	136	126	24	10	14	0	0	0	43	27	16
兵庫県	154	70	84	60	33	27	9	2	7	0	0	0	6	1	5
奈良	32	25	7	18	14	4	1	1	0	0	0	0	1	1	0
和歌山	34	21	13	18	8	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	12	9	3	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	45	24	21	14	7	7	0	0	0	0	0	0	1	1	0
岡山	171	132	39	73	53	20	13	12	1	3	3	0	19	5	14
広島	81	71	10	23	21	2	1	1	0	0	0	0	2	2	0
山口	39	22	17	22	10	12	2	2	0	0	0	0	0	0	0
徳島	133	86	47	88	50	38	0	0	0	0	0	0	4	2	2
香川	35	19	16	14	9	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	34	14	20	13	6	7	1	0	1	0	0	0	1	1	0
高知	33	20	13	45	24	21	1	1	0	0	0	0	1	0	1
福岡	91	71	20	76	38	38	8	4	4	0	0	0	1	1	0
佐賀	26	18	8	7	3	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0
長崎	17	11	6	15	6	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	26	17	9	18	12	6	0	0	0	0	0	0	1	0	1
大分	25	12	13	10	5	5	2	2	0	1	1	0	2	1	1
宮崎	45	21	24	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
鹿児島	9	3	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
不明															
全 国	2,418	1,552	866	1,652	1,019	633	95	56	39	5	4	1	562	346	216

表6 提出府県別，現住所府県別初診患者率

区分	提出府県別								現住所府県別							
	昭42	昭43	昭42+43	昭42.43 年平均率	昭44	昭45	昭44+45	昭44.45 年平均率	昭42	昭43	昭42+43	昭42.43 年平均率	昭44	昭45	昭44+45	昭44.45 年平均率
北海道	32	35	67	0.6	37	17	54	0.5	30	37	67	0.6	39	20	59	0.6
青森	3	5	8	0.3	5	4	9	0.3	3	6	9	0.3	5	6	11	0.4
岩手	11	14	25	0.9	23	5	28	1.0	11	13	24	0.9	23	5	28	1.0
宮城	13	14	27	0.8	16	2	18	0.5	14	14	28	0.8	16	2	18	0.5
秋田	3	2	5	0.2	0	0	0	0	4	2	6	0.2	4	0	4	0.2
山形	19	44	63	2.5	61	21	82	3.3	18	44	62	2.5	60	23	83	3.3
福島	16	19	35	0.9	66	8	74	1.9	14	19	33	0.8	65	10	75	1.9
茨城	4	4	8	0.2	12	6	18	0.4	5	10	15	0.4	18	8	26	0.6
栃木	8	7	15	0.5	17	8	25	0.8	10	8	18	0.6	16	8	24	0.8
群馬	2	3	5	0.2	4	9	13	0.4	3	3	6	0.2	6	11	17	0.5
埼玉	23	24	47	0.7	41	9	50	0.7	30	27	57	0.8	39	18	57	0.8
千葉	19	11	30	0.5	22	24	46	0.8	21	17	38	0.6	26	29	55	0.9
東京	195	201	396	1.8	209	197	406	1.8	158	173	331	1.5	186	162	348	1.6
神奈川	35	68	103	1.0	54	24	78	0.8	49	67	116	1.2	67	37	104	1.0
新潟	33	48	81	1.7	133	147	280	5.9	30	47	77	1.6	107	117	224	4.7
富山	24	15	39	1.9	17	6	23	1.1	24	17	41	2.0	18	8	26	1.3
石川	8	18	26	1.3	21	4	25	1.3	8	16	24	1.2	16	5	21	1.1
福井	15	32	47	3.2	10	24	34	2.3	14	35	49	3.3	13	28	41	2.8
山梨	6	12	18	1.2	11	2	13	0.9	5	12	17	1.1	11	4	15	1.0
長野	3	3	6	0.2	29	5	34	0.9	5	6	11	0.3	31	8	39	1.0
岐阜	30	40	70	2.0	52	40	92	2.7	28	36	64	1.9	53	42	95	2.8
静岡	24	36	60	1.0	27	18	45	0.7	27	43	70	1.2	26	21	47	0.8
愛知	52	94	146	1.4	168	184	352	3.5	54	96	150	1.5	170	180	350	3.4
三重	36	47	83	2.7	32	19	51	1.7	36	47	83	2.7	36	19	55	1.8
滋賀	16	24	40	2.3	30	12	42	2.4	24	25	49	2.9	38	16	54	3.1
京都	57	57	114	2.7	90	85	175	4.1	47	53	100	2.3	79	75	154	3.6
大阪	193	254	447	3.2	247	280	527	3.7	186	225	411	2.9	217	261	478	3.4
兵庫	52	59	111	1.3	141	44	185	2.1	56	70	126	1.4	155	61	216	2.4
奈良	22	28	50	2.9	23	14	37	2.1	24	35	59	3.4	33	18	51	2.9
和歌山	22	19	41	2.0	34	17	51	2.5	21	19	40	1.9	35	18	53	2.6
鳥取	3	10	13	1.1	13	5	18	1.6	0	7	7	0.6	12	5	17	1.5
島根	23	35	58	3.7	45	12	57	3.6	25	40	65	4.1	46	13	59	3.7
岡山	99	179	278	8.3	170	72	242	7.3	98	181	279	8.4	167	69	236	7.0
広島	58	41	99	2.1	74	19	93	2.0	57	38	95	2.0	79	23	102	2.2
山口	18	23	41	1.4	39	21	60	2.0	17	25	42	1.4	41	22	63	2.1
徳島	73	70	143	9.0	134	93	227	14.2	61	60	121	7.6	132	85	217	13.6
香川	10	28	38	2.1	34	10	44	2.4	12	32	44	2.4	35	13	48	2.7
愛媛	15	26	41	1.4	33	13	46	1.6	19	29	48	1.7	34	14	48	1.7
高知	17	16	33	2.1	31	44	75	4.7	20	17	37	2.3	34	46	80	5.0
福岡	42	58	100	1.3	99	84	183	2.3	40	53	93	1.2	88	77	165	2.1
佐賀	5	5	10	0.6	25	5	30	1.8	4	3	7	0.4	25	6	31	1.8
長崎	5	11	16	0.5	13	14	27	0.8	6	13	19	0.6	16	15	31	1.0
熊本	16	16	32	0.9	28	19	47	1.3	16	16	32	0.9	27	18	45	1.3
大分	9	22	31	1.3	24	6	30	1.3	9	21	30	1.3	25	10	35	1.5
宮崎	1	11	12	0.6	15	0	15	0.7	2	11	13	0.6	15	1	16	0.7
鹿児島	4	6	10	0.3	9	0	9	0.3	4	6	10	0.3	9	1	10	0.3
不明									25	20	45		25	14	39	
全 国	1,374	1,794	3,168	1.6	2,418	1,652	4,070	2.0	1,374	1,794	3,168	1.6	2,418	1,652	4,070	2.0

表7-1 発病府県別初診年月別患者数

(発病=神昏症状発現時) 確実例+容疑例

区分	総 数														昭 36 年 以 前													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	392	22	20	28	20	43	31	31	41	48	40	22	15	31	20	1	0	1	0	5	1	3	2	1	0	2	1	3
青森	27	1	2	2	4	1	2	2	4	1	2	3	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
岩手	61	4	3	4	2	5	6	1	6	11	7	7	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
宮城	53	0	4	4	8	5	6	2	8	7	3	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	118	0	0	1	1	2	1	0	1	1	0	2	2	107	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	198	4	15	12	18	18	21	17	25	22	16	8	13	4	6	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0
福島	117	4	6	6	7	10	13	9	8	22	22	7	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城	45	1	2	4	6	4	4	2	3	4	8	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	56	2	4	2	2	6	5	4	7	10	3	1	9	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
群馬	33	2	4	4	2	6	0	3	0	4	3	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	148	10	13	7	9	11	11	19	20	18	13	7	5	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
千葉	128	8	6	10	8	9	10	14	10	18	12	8	9	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
東京	861	56	54	67	51	72	68	95	99	100	66	56	59	18	7	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	3	0	0
神奈川	264	23	15	20	24	22	26	25	20	26	26	16	17	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
新潟	323	22	29	26	23	35	27	35	30	29	22	19	23	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山	81	5	1	6	12	3	12	12	10	9	3	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	55	9	5	2	6	2	7	5	4	1	8	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	109	4	6	9	9	13	11	7	12	11	6	7	10	4	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
山梨	32	1	4	4	2	4	2	2	1	4	2	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	213	3	3	8	4	5	2	7	4	6	7	2	2	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜	183	13	16	11	16	16	15	25	20	17	10	14	9	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
静岡	147	6	10	12	8	12	17	16	19	18	6	11	9	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
愛知	720	40	33	62	31	43	57	64	61	64	45	42	39	139	14	1	0	1	2	0	1	0	3	3	2	0	1	0
三重	191	14	14	20	9	16	18	19	16	19	13	20	8	5	7	1	0	1	0	0	3	0	0	0	1	1	0	0
滋賀	110	2	7	9	8	12	12	17	10	7	12	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都	328	26	20	26	28	25	27	38	29	31	32	22	18	6	6	0	0	0	1	0	1	1	2	1	0	0	0	0
大阪	1103	74	86	92	83	90	103	106	107	106	80	70	54	50	11	0	1	1	0	2	2	0	1	0	0	2	1	1
兵庫	409	26	23	28	31	37	46	38	37	51	35	29	22	6	3	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
奈良	128	3	10	5	12	10	19	12	15	12	9	15	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	103	9	5	8	7	13	9	13	12	9	11	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	25	3	0	2	1	2	1	4	2	2	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	127	10	6	12	8	9	15	12	15	8	18	6	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山	581	38	41	44	47	48	69	57	57	69	40	28	25	18	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
広島	212	15	14	16	23	15	20	12	21	21	28	16	8	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
山口	135	9	5	18	8	23	17	8	13	8	9	10	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
徳島	404	25	23	36	32	33	42	52	38	32	34	31	21	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
香川	106	8	3	11	8	13	5	12	14	16	9	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	112	6	4	2	10	14	11	17	11	14	10	6	6	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
高知	116	11	5	6	14	14	8	15	7	15	6	6	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	308	21	27	20	25	23	34	37	36	23	26	20	14	2	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0
佐賀	45	1	4	5	2	5	2	2	5	8	7	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	57	4	2	2	4	6	7	7	10	4	3	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	94	4	4	7	11	8	10	10	10	7	6	5	10	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
大分	93	7	5	11	9	10	10	11	10	5	9	1	3	2	5	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0
宮崎	72	4	4	8	6	4	10	9	9	9	1	3	4	1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
鹿児島	26	3	1	1	2	2	2	0	3	3	3	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全 国	9249	568	568	700	661	779	851	907	900	930	735	553	496	601	102	4	2	7	7	11	18	5	13	7	4	13	6	5

表7-1 発病府県別初診年月別患者数(つづき1)

(発病=神経症状発現時) 確実例+容疑例

区分	昭 3 7 年														昭 3 8 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	26	0	0	1	1	3	5	3	2	5	3	2	0	0	22	0	1	1	2	4	1	3	0	3	1	4	2	0
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山形	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	13	0	3	0	3	2	2	0	1	2	0	0	0	
福島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
茨城	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
埼玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
千葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	
東京	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	13	0	0	1	0	0	2	3	4	2	1	0	0	
神奈川	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
新潟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	
富山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福井	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岐阜	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
静岡	4	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	
愛知	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	5	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	
三重	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
滋賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	
大阪	3	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	14	0	0	2	3	2	0	0	0	3	1	2	1	
兵庫	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	7	1	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	0	
奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山口	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
徳島	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	
香川	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
愛媛	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
福岡	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長崎	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
熊本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	
大分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	1	0	1	2	1	1	0	0	0	0	
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全国	66	2	6	3	2	6	9	10	5	7	8	6	1	1	125	5	5	5	15	15	14	13	9	19	7	11	5	

表7-1 発病府県別初診年月別患者数(つづき2)

(発病=神経症状発現時) 確実例+容疑例

区分	昭 39 年														昭 40 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	41	4	2	5	2	1	4	1	2	4	8	3	4	1	66	4	4	4	4	7	5	5	12	6	8	4	3	0
青森	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	15	0	1	1	2	1	1	0	1	3	1	1	2	1
福島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0
茨城	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0
群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
埼玉	5	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	7	0	1	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0
千葉	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0	11	1	0	0	1	1	0	2	2	0	2	0	2	0
東京	15	1	1	0	0	2	0	4	3	1	1	1	1	0	42	3	3	2	4	5	2	5	4	5	3	4	2	0
神奈川	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	14	0	1	2	2	1	3	0	1	1	0	2	1	0
新潟	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
富山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
福井	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0
静岡	5	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	8	0	1	0	0	1	1	1	0	3	0	0	1	0
愛知	13	1	1	2	1	1	1	0	2	2	0	1	1	0	10	0	0	0	1	0	2	3	2	0	2	0	0	0
三重	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	15	3	0	4	0	1	1	1	1	2	0	2	0	0
滋賀	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
京都	8	0	0	1	2	0	0	0	0	2	1	1	1	0	11	1	0	0	2	0	2	1	0	3	1	0	1	0
大阪	20	0	1	0	0	0	6	1	3	5	2	2	0	0	39	3	1	3	3	1	2	3	5	3	5	5	4	1
兵庫	9	0	2	0	2	0	2	2	1	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	1	0	1	3	1	1	0	0
奈良	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	5	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0
和歌山	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	1	0	1	0	2	1	0	1	0	2	0	0
広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口	4	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0
徳島	5	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0	16	1	0	2	1	1	2	4	1	2	0	1	0	1
香川	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
愛媛	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	6	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	0	0
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	5	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	14	3	1	1	0	0	1	4	1	0	2	0	1	0
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	3	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
大分	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
全 国	175	7	9	11	11	8	26	15	16	17	22	17	14	2	352	22	19	24	26	25	35	36	39	44	29	29	18	4

表7-1 発病府県別初診年月別患者数(つづき3)

(発病=神経症状発現時) 確実例+容疑例

区分	昭 41 年														昭 42 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	59	4	8	5	1	3	6	4	10	9	5	3	1	0	32	4	0	4	2	5	1	3	4	5	3	1	0	0
青森	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
岩手	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	12	1	0	1	0	2	1	1	0	1	2	1	2	0
宮城	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	14	0	3	0	3	1	2	0	0	2	0	2	1	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
山形	15	0	2	1	2	4	1	1	0	0	2	0	2	0	20	1	2	0	1	2	3	2	2	2	3	1	1	0
福島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	14	1	0	2	1	0	1	0	3	1	2	3	0	0
茨城	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0
栃木	9	0	2	0	1	0	1	0	2	0	1	0	2	0	10	0	0	0	0	1	2	1	3	1	0	0	2	0
群馬	5	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0
埼玉	18	1	2	2	1	1	2	1	3	4	1	0	0	0	30	2	4	1	0	4	4	3	4	3	2	2	1	0
千葉	9	0	0	1	0	0	0	1	1	2	1	1	0	2	19	0	1	0	2	3	0	4	0	3	0	3	0	3
東京	64	3	2	4	1	3	3	7	8	11	7	9	6	0	163	7	9	9	11	13	16	17	23	19	12	10	16	1
神奈川	17	0	2	0	3	3	3	3	1	0	0	1	0	1	52	2	2	4	2	7	7	2	5	8	5	3	5	0
新潟	11	0	2	2	0	2	0	1	1	0	2	0	1	0	29	1	2	2	1	2	1	4	1	3	2	5	5	0
富山	11	1	0	0	2	1	1	2	1	0	3	0	0	0	24	0	0	0	3	2	7	4	3	3	0	0	2	0
石川	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	8	0	0	1	0	1	1	0	2	0	2	0	1	0
福井	5	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	15	0	0	0	0	2	3	0	3	1	2	1	3	0
山梨	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0
長野	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	2	0	0	1	0	2	0	0	0
岐阜	13	2	0	0	1	0	1	3	2	1	1	2	0	0	28	1	6	1	2	2	4	2	4	3	1	2	0	0
静岡	10	0	2	3	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	25	1	1	0	1	3	4	4	4	1	0	4	2	0
愛知	30	2	0	3	1	1	4	1	2	4	3	4	5	0	55	2	3	9	3	2	7	4	4	4	5	4	7	1
三重	21	1	0	2	1	1	4	2	1	3	2	3	1	0	36	1	5	3	1	3	3	7	3	3	2	3	2	0
滋賀	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	21	0	1	4	3	5	0	0	2	0	4	0	2	0
京都	13	0	1	1	0	0	2	3	0	0	2	2	2	0	51	2	0	4	3	3	4	3	8	7	7	3	7	0
大阪	54	1	3	6	4	2	6	3	9	4	3	7	6	0	194	6	17	10	10	13	22	24	24	20	20	12	14	2
兵庫	30	0	0	1	2	2	1	6	3	5	4	3	3	0	52	3	2	4	5	3	3	6	7	6	5	7	1	0
奈良	6	0	0	0	0	0	2	0	2	1	0	0	1	0	25	0	3	0	2	0	2	2	4	4	2	6	0	0
和歌山	8	1	0	0	0	0	2	0	2	1	2	0	0	0	22	1	3	0	2	2	1	4	2	1	3	1	2	0
鳥取	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	0	24	1	0	4	2	2	2	3	3	4	2	1	0	0
岡山	11	0	1	0	0	1	0	2	3	2	0	2	0	0	98	2	3	6	4	9	13	7	15	14	11	3	11	0
広島	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	60	6	6	6	8	3	6	2	11	6	5	1	0	0
山口	18	0	0	4	0	4	3	1	1	1	2	0	2	0	17	2	1	0	1	2	0	0	2	2	2	3	2	0
徳島	21	0	0	4	1	1	2	0	4	1	4	2	2	0	67	2	4	3	3	6	4	10	9	10	3	8	5	0
香川	6	0	0	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	11	1	0	1	0	2	1	2	1	2	0	1	0	0
愛媛	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	20	2	1	0	1	2	1	3	2	4	2	1	1	0
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	2	0	3	1	3	0	5	3	1	1	0
福岡	14	2	0	1	1	0	1	1	1	1	0	4	2	0	40	1	2	5	3	3	6	4	6	3	4	3	0	0
佐賀	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
長崎	5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	0	5	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
熊本	9	2	0	0	0	1	1	2	1	0	0	1	1	0	16	1	0	0	0	2	4	0	0	1	2	2	4	0
大分	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	9	1	1	1	1	0	0	3	2	0	0	0	0	0
宮崎	4	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
鹿児島	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0
全 国	529	21	33	43	24	34	49	51	62	56	53	52	48	3	1374	56	85	90	85	122	142	135	169	154	126	100	103	7

表7-1 発病府県別初診年月別患者数(つづき4)

(発病=神経症状発現時) 確定例+容疑例

区 分	昭 43 年													昭 44 年														
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	37	1	3	2	1	4	5	2	4	5	4	2	4	0	39	3	1	2	3	7	0	3	4	8	7	1	0	0
青森	6	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	6	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0
岩手	14	1	1	0	0	1	2	0	1	3	2	3	0	0	22	1	2	1	1	1	3	0	4	3	3	2	1	0
宮城	15	0	1	0	2	1	1	0	4	2	1	1	1	1	18	0	0	4	1	2	3	1	3	2	2	0	0	0
秋田	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0
山形	42	2	4	2	4	3	5	5	7	1	2	2	4	1	58	2	2	3	2	1	5	6	13	12	6	2	3	1
福島	19	3	1	1	3	3	2	1	0	4	1	0	0	0	67	0	3	2	2	5	5	8	3	17	18	3	1	0
茨城	9	0	1	0	1	2	1	0	0	1	0	0	3	0	16	1	0	0	2	0	1	1	2	2	5	1	1	0
栃木	7	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	17	0	0	2	1	2	0	2	0	5	1	0	4	0
群馬	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	1	0
埼玉	26	2	1	1	4	1	0	4	5	2	5	1	0	0	37	2	2	2	3	0	2	4	6	5	4	4	3	0
千葉	17	3	0	1	1	2	3	2	0	2	1	0	2	0	27	0	1	1	1	2	2	2	5	5	4	1	3	0
東京	180	11	11	18	6	16	12	14	27	17	19	12	17	0	190	12	10	12	13	14	11	20	16	27	20	17	16	2
神奈川	64	4	3	4	6	6	3	7	4	5	10	4	8	0	66	9	2	6	7	3	5	8	4	8	8	3	3	0
新潟	49	3	1	6	1	6	6	7	5	3	4	2	5	0	105	4	4	4	10	9	9	14	10	13	9	8	11	0
富山	16	1	1	2	2	0	2	0	3	3	0	1	1	0	18	1	0	4	4	0	2	1	1	2	0	0	3	0
石川	17	3	3	0	1	1	3	0	0	0	3	1	2	0	19	4	1	1	3	0	1	4	2	1	2	0	0	0
福井	34	1	2	4	3	5	1	3	4	2	1	4	4	0	13	1	0	2	1	0	1	2	2	1	0	1	2	0
山梨	10	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	11	0	2	1	1	2	0	1	0	2	1	1	0	0
長野	6	1	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	32	0	1	4	1	3	1	4	3	6	5	2	2	0
岐阜	36	4	3	3	2	5	0	3	4	4	3	2	3	0	53	2	2	3	2	5	4	7	7	6	4	6	5	0
静岡	44	2	0	3	3	2	3	4	8	11	3	5	0	0	26	1	3	2	2	2	2	1	6	1	2	0	4	0
愛知	97	7	3	8	5	9	6	6	6	9	17	12	8	1	170	14	5	9	6	9	20	22	16	22	12	18	17	0
三重	48	3	1	4	3	3	3	2	8	6	5	6	4	0	35	5	4	1	1	4	2	4	2	3	3	5	1	0
滋賀	25	1	1	3	4	2	0	4	2	3	0	3	2	0	36	1	1	1	0	3	8	3	6	4	5	1	3	0
京都	56	5	4	4	8	1	6	6	4	3	7	5	3	0	87	9	6	4	5	7	5	12	6	12	10	7	4	0
大阪	241	21	14	20	18	21	18	20	23	28	26	18	12	2	198	15	15	16	21	19	15	17	20	25	10	13	10	2
兵庫	69	2	4	5	5	5	7	8	6	7	9	5	6	0	154	11	9	7	7	19	21	11	14	25	14	9	7	0
奈良	37	2	3	1	3	2	6	2	4	3	4	5	2	0	32	0	1	2	3	2	4	6	4	3	2	3	2	0
和歌山	18	1	0	0	0	4	2	3	0	4	2	1	1	0	34	5	1	3	1	5	4	2	5	3	4	0	1	0
鳥取	7	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	1	1	0	12	2	0	0	0	1	1	2	2	1	1	1	1	0
島根	37	3	2	2	1	1	5	5	6	2	4	2	4	0	45	3	2	4	4	3	4	4	6	2	11	2	0	0
岡山	183	8	14	16	8	8	19	18	20	35	16	11	10	0	171	18	14	12	23	20	19	16	14	13	12	7	3	0
広島	42	1	2	0	5	0	7	5	3	5	7	5	2	0	81	5	4	6	7	5	5	3	6	9	16	10	4	1
山口	25	5	0	2	0	6	3	2	1	0	1	3	2	0	39	2	2	7	6	5	2	2	6	3	3	1	0	0
徳島	64	3	1	7	9	5	4	9	3	6	10	3	4	0	133	7	2	7	12	9	17	18	12	9	17	15	8	0
香川	31	3	1	3	1	2	0	4	4	5	4	1	2	1	35	2	0	4	5	3	2	5	5	6	3	0	0	0
愛媛	26	1	2	0	2	3	2	4	3	3	2	1	3	0	34	1	0	1	2	5	2	6	4	5	4	2	2	0
高知	16	0	1	1	3	2	1	2	1	2	2	1	0	0	33	1	1	1	1	3	3	5	1	5	1	4	7	0
福岡	51	2	0	6	5	4	7	4	7	4	7	3	2	0	91	1	8	4	5	9	8	10	13	10	11	5	7	0
佐賀	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	26	0	1	3	2	3	2	1	2	7	4	1	0	0
長崎	13	0	0	1	2	0	0	1	4	2	1	1	1	0	17	2	0	0	0	3	4	1	2	1	2	0	2	0
熊本	12	0	0	0	1	2	0	0	1	4	2	0	2	0	26	1	0	2	3	2	1	5	6	1	2	1	2	0
大分	22	2	1	4	1	3	2	1	2	1	3	1	1	0	25	0	3	2	1	2	3	3	4	3	3	0	1	0
宮崎	13	1	0	4	1	2	0	1	1	1	0	0	2	0	45	3	2	4	2	2	8	7	6	6	1	3	1	0
鹿児島	5	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	9	2	1	1	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0
全 国	1794	117	94	143	129	148	149	162	188	203	191	133	131	6	2418	153	118	157	178	204	218	255	255	307	254	164	149	6

表 7-1 発病府県別初診年月別患者数(つづき5)

(発病=神経症状発現時)確定例+容疑例

区 分	昭 45 年														昭 46 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	22	1	1	2	4	4	3	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森	6	1	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	5	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0
宮城	4	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	20	3	1	4	2	3	2	1	0	1	2	0	1	0	4	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0
福島	10	0	2	1	0	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城	8	0	1	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
栃木	8	1	1	0	0	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	11	1	1	3	2	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	16	2	3	1	1	3	2	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉	31	3	3	6	3	1	3	1	2	5	1	1	2	0	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京	168	18	17	19	16	18	22	24	14	17	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川	39	7	5	4	4	2	5	5	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟	116	11	20	11	11	15	11	8	11	8	5	3	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山	10	1	0	0	1	0	0	5	1	1	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
石川	5	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	28	1	1	2	4	5	4	1	3	3	1	1	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
山梨	4	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	8	0	0	2	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜	40	4	4	4	8	4	5	8	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡	18	2	3	3	1	1	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知	182	12	19	29	12	21	14	25	26	19	2	2	0	1	5	0	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
三重	19	0	4	5	2	2	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀	16	0	2	1	0	1	4	8	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都	75	9	9	12	6	12	4	10	8	3	1	1	0	0	7	0	0	0	1	1	1	2	1	0	1	0	0	0
大阪	262	26	29	28	22	29	30	38	21	16	10	8	5	0	24	2	4	6	2	1	1	1	1	1	3	1	1	0
兵庫	60	7	3	11	6	4	7	5	4	4	1	4	4	0	9	1	3	0	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0
奈良	18	1	1	1	4	5	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	18	1	1	4	4	2	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	5	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	14	3	2	2	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山	73	7	7	7	8	10	11	12	4	3	0	3	1	0	13	0	0	3	2	0	4	1	1	1	1	0	0	0
広島	23	3	2	4	2	6	2	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口	22	0	2	5	0	4	4	3	2	1	1	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島	88	12	15	13	5	10	9	10	9	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川	14	2	0	2	1	5	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	13	2	0	1	3	2	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
高知	45	10	3	2	9	5	3	5	5	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	76	9	15	2	10	7	9	11	7	3	0	2	1	0	8	2	0	0	1	0	0	2	0	1	2	0	0	0
佐賀	7	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
長崎	15	1	0	1	1	2	3	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	18	0	3	4	4	1	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	10	0	0	1	3	2	2	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
宮崎	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全 国	1652	168	185	205	170	199	180	217	139	107	32	26	19	5	95	9	12	11	11	7	10	8	5	9	9	2	2	0

表7-1 発病府県別初診年月別患者数(つづき6)

(発病=神経症状発現時) 確実例+容疑例

区分	昭和47年														年次不明													
	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	月不明	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	月不明
北海道	1	0	0	1											27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
宮城	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0											11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
山形	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
福島	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
茨城	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	0	0	0	0											4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
千葉	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
東京	0	0	0	0											15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
神奈川	0	0	0	0											3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
新潟	0	0	0	0											2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
富山	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	0	0	0	0											3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
山梨	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0											160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	160
岐阜	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
静岡	0	0	0	0											3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
愛知	0	0	0	0											136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136
三重	0	0	0	0											5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
滋賀	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都	0	0	0	0											6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
大阪	0	0	0	0											43	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	42
兵庫	0	0	0	0											6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
奈良	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
和歌山	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
岡山	3	3	0	0											19	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	18
広島	0	0	0	0											2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
山口	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島	0	0	0	0											4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
香川	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
高知	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
福岡	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
佐賀	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
大分	1	1	0	0											2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
宮崎	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鹿児島	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全国	5	4	0	1											562	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	560

表7-2 発病府県別初診年月別患者数

(発病=神経症状発現時) 確実例

区 分	總 数														昭 36 年 以 前													
	總数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	總数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	215	12	14	12	14	26	12	20	24	28	22	12	9	10	17	0	0	1	0	4	1	3	2	1	0	2	1	2
青 森	16	1	0	2	3	1	0	1	1	1	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩 手	28	1	3	2	2	3	1	0	1	7	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮 城	34	0	4	1	7	1	3	1	7	7	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋 田	20	0	0	1	0	2	1	0	1	1	0	2	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山 形	151	7	11	10	15	14	18	12	16	17	13	4	11	3	4	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
福 島	78	2	3	5	5	7	11	1	6	15	18	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨 城	21	0	2	2	2	1	2	1	2	2	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃 木	31	2	2	1	1	4	3	2	4	7	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群 馬	21	1	4	3	1	3	0	1	0	2	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼 玉	101	9	9	4	6	5	8	17	13	11	9	6	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
千 葉	73	5	4	6	5	4	4	9	5	8	8	5	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東 京	575	36	38	51	31	49	41	64	64	66	40	42	40	13	5	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0
神奈川	171	13	11	14	16	13	19	14	12	16	20	10	10	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
新 潟	203	12	18	17	17	22	14	22	19	18	15	11	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富 山	47	3	0	4	6	3	10	8	4	3	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石 川	23	2	1	1	2	1	2	3	1	1	4	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福 井	54	2	3	3	2	3	6	5	6	7	3	6	6	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
山 梨	12	0	1	0	0	3	1	1	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長 野	161	2	2	5	3	4	0	5	3	5	7	1	2	122	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐 阜	137	10	13	8	11	9	14	17	17	11	7	13	6	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
静 岡	90	4	3	7	6	4	11	12	10	12	5	6	7	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
愛 知	670	38	31	60	29	42	52	60	56	62	40	37	33	130	13	1	0	1	2	0	1	0	3	2	2	0	1	0
三 重	114	7	8	10	5	8	12	10	10	13	9	14	5	3	4	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0
滋 賀	65	1	5	8	3	10	3	9	5	3	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京 都	173	15	11	14	16	10	7	22	15	19	16	12	11	5	4	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0
大 阪	610	35	44	52	49	46	55	59	56	59	51	41	32	31	5	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0
兵 庫	214	16	12	16	18	19	14	21	19	29	17	17	15	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
奈 良	97	2	6	2	9	9	16	8	10	9	8	13	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	64	5	3	5	5	7	5	10	5	6	8	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥 取	18	2	0	2	0	2	0	4	1	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島 根	79	4	4	8	4	6	10	7	10	6	13	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡 山	427	26	32	35	38	38	48	45	43	50	34	14	20	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広 島	115	8	7	9	10	11	10	6	6	10	20	10	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
山 口	69	8	2	9	3	11	9	1	10	3	6	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳 島	247	17	13	27	22	20	27	28	20	17	22	18	13	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
香 川	69	8	2	9	6	9	2	7	6	9	7	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛 媛	61	0	1	2	6	6	6	12	5	8	7	2	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高 知	71	8	4	4	10	7	5	6	3	7	6	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福 岡	200	11	18	13	17	15	21	21	27	13	15	16	11	2	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
佐 賀	29	0	4	4	2	2	2	2	2	4	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長 崎	33	2	2	0	2	3	4	3	5	4	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊 本	60	3	3	4	6	5	8	8	4	3	6	2	7	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
大 分	42	3	3	5	6	7	2	7	2	1	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮 崎	35	2	2	5	2	1	7	4	4	4	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿 児 島	15	1	0	1	2	0	2	0	2	1	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全 国	5839	346	363	463	425	476	508	576	543	589	492	358	331	369	68	1	1	6	7	5	11	3	8	5	3	9	6	3

表7-2 発病府県別初診年月別患者数(つづき1)

(発病=神経症状発現時) 確実例

区分	昭 37 年														昭 38 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	15	0	0	0	1	2	2	3	0	3	3	1	0	0	14	0	1	1	1	3	0	3	0	2	0	2	1	0
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山形	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	12	0	2	0	3	2	2	0	1	2	0	0	0		
福島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
茨城	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
埼玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
千葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
東京	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0	2	2	0	1	0	0	0		
神奈川	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
新潟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0		
富山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
石川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
福井	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
岐阜	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
静岡	3	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0		
愛知	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0		
三重	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
滋賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
京都	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0		
大阪	3	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	10	0	0	1	2	1	0	0	0	2	1	2	1		
兵庫	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0		
奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
岡山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
山口	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
徳島	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0		
香川	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
愛媛	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
福岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
長崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
熊本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
大分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
全 国	41	1	4	0	1	4	5	9	2	4	6	4	1	76	4	4	3	8	8	9	10	3	13	3	7	3		

表 7 - 2 発病府県別初診年月別患者数(つづき 2)

(発病=神経症状発現時) 確実例

区 分	昭 39 年														昭 40 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	25	2	1	2	1	1	4	1	1	4	4	2	2	0	29	1	2	2	3	4	0	1	6	4	4	2	0	0
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
山形	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	14	0	1	1	2	1	1	0	1	3	0	1	2	1
福島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0
茨城	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
埼玉	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	6	0	1	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	0
千葉	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	7	1	0	0	0	1	0	1	1	0	2	0	1	0
東京	7	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1	0	1	0	30	1	3	2	3	3	2	4	3	3	1	3	2	0
神奈川	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	8	0	1	1	2	0	2	0	0	0	0	1	1	0
新潟	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
福井	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
静岡	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	4	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
愛知	13	1	1	2	1	1	1	0	2	2	0	1	1	0	8	0	0	0	1	0	2	2	2	0	1	0	0	0
三重	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	2	0	2	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0
滋賀	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
京都	7	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	1	1	0	6	1	0	0	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0
大阪	10	0	0	0	0	0	4	1	1	2	2	0	0	0	24	1	1	2	3	1	2	3	1	3	2	1	3	1
兵庫	6	0	1	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	0	0
奈良	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
和歌山	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0
広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
徳島	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	1	0	1	1	3	0	1	0	1	0	1
香川	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
愛媛	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	4	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	5	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	6	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	0
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	3	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
全 国	118	4	5	7	7	4	17	12	11	13	16	10	11	1	217	11	16	14	20	14	24	26	18	28	13	18	11	4

表7-2 発病府県別初診年月別患者数(つづき3)

(発病=神経症状発現時) 確実例

区 分	昭 41 年													昭 42 年															
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	
北海道	30	2	6	2	0	2	1	2	6	3	3	2	1	0	22	3	0	2	2	4	1	1	3	3	2	1	0	0	
青森	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	
宮城	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	11	0	3	0	3	0	1	0	0	2	0	1	1	0	
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
山形	14	0	1	1	2	4	1	1	0	0	2	0	2	0	17	1	1	0	1	2	2	2	2	2	2	1	1	0	
福島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9	1	0	2	0	0	1	0	2	1	1	1	0	0	
茨城	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
栃木	4	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	8	0	0	0	0	1	2	1	3	0	0	0	1	0	
群馬	4	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	
埼玉	13	1	2	2	0	1	2	1	2	2	0	0	0	0	21	1	4	1	0	2	3	2	3	2	2	1	0	0	
千葉	7	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	2	9	0	1	0	2	0	0	2	0	2	0	1	0	1	
東京	45	2	2	3	1	3	3	5	5	7	4	9	1	0	110	5	6	6	5	9	10	14	14	14	8	8	11	0	
神奈川	13	0	1	0	3	2	3	1	1	0	0	1	0	1	37	0	1	3	2	6	6	2	2	4	4	3	4	0	
新潟	8	0	2	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	15	0	1	2	1	1	1	1	0	1	1	2	4	0	
富山	8	1	0	0	1	1	1	2	0	0	2	0	0	0	14	0	0	0	1	2	5	3	1	1	0	0	1	0	
石川	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	
福井	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	1	1	0	
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	
岐阜	9	2	0	0	0	0	2	2	1	0	2	0	0	0	24	1	5	1	2	1	4	1	4	2	1	2	0	0	
静岡	7	0	1	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	17	1	1	0	1	1	2	3	2	1	0	3	2	0	
愛知	30	2	0	3	1	1	4	1	2	4	3	4	5	0	48	2	2	9	3	2	6	3	3	4	4	4	5	1	
三重	16	1	0	1	0	1	4	1	1	2	2	2	1	0	22	1	4	1	1	2	2	3	3	3	0	1	1	0	
滋賀	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	16	0	0	4	2	4	0	0	2	0	2	0	2	0	
京都	9	0	1	0	0	0	1	3	0	0	1	1	2	0	28	1	0	2	2	1	1	2	6	4	3	2	4	0	
大阪	37	1	2	5	2	1	6	1	6	4	0	6	3	0	114	3	11	6	6	6	14	10	15	13	13	8	7	2	
兵庫	20	0	0	1	1	1	3	3	4	2	2	2	0	0	23	0	1	2	4	2	0	3	3	4	2	2	0	0	
奈良	4	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	16	0	1	0	2	0	2	0	3	2	1	5	0	0	
和歌山	5	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	14	0	3	0	1	2	0	4	0	1	2	0	1	0	
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	17	0	0	3	1	1	2	2	3	4	1	0	0	0	
岡山	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	77	1	2	4	4	7	9	7	12	11	8	1	11	0	
広島	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
山口	9	0	0	0	0	3	1	1	1	1	2	0	0	0	10	2	1	0	0	1	0	0	1	1	2	1	1	0	
徳島	18	0	0	4	0	1	2	0	4	0	4	1	2	0	36	2	3	2	1	4	2	5	3	7	1	4	2	0	
香川	5	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	9	1	0	1	0	2	1	2	0	1	0	1	0	0	
愛媛	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	2	0	3	2	3	2	1	1	0	
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	2	0	1	1	3	0	4	3	1	1	0	
福岡	9	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	2	0	27	0	1	3	3	2	4	2	5	2	2	3	0	0	
佐賀	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
長崎	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	5	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
熊本	4	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	12	1	0	0	0	1	3	0	0	1	2	2	2	0	
大分	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮崎	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
鹿児島	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	
全 国	357	17	24	28	14	25	36	34	38	37	33	39	29	3	863	29	56	60	53	77	90	82	102	103	77	62	68	4	

表7-2 発病府県別初診年月別患者数(つづき4)

(発病=神経症状発現時) 確実例

区分	昭 43 年													昭 44 年														
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	21	1	2	1	1	0	1	2	4	3	2	0	4	0	18	2	1	0	2	3	0	1	1	4	4	0	0	0
青森	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0
岩手	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	10	0	2	1	1	0	0	0	1	2	2	0	1	0
宮城	9	0	1	0	2	0	0	0	3	2	0	0	1	0	9	0	0	1	0	1	2	0	3	2	0	0	0	0
秋田	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0
山形	33	2	4	2	3	2	4	5	5	0	2	0	3	1	37	1	1	2	1	0	5	2	7	8	5	1	3	1
福島	14	1	1	0	3	3	2	0	0	3	1	0	0	0	41	0	1	2	1	3	4	1	2	11	15	1	0	0
茨城	5	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	7	0	0	0	1	0	1	0	2	1	1	0	1	0
栃木	4	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	9	0	0	1	0	2	0	1	0	4	0	0	1	0
群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	1	0
埼玉	17	2	1	0	3	0	0	4	2	1	3	1	0	0	25	2	0	0	2	0	2	3	4	4	3	4	1	0
千葉	8	2	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	20	0	1	1	0	2	1	2	4	4	2	1	2	0
東京	113	6	6	14	3	11	8	8	17	11	9	9	11	0	132	8	8	12	7	8	4	15	12	17	16	10	14	1
神奈川	39	3	2	3	3	3	2	4	3	3	8	1	4	0	40	5	2	4	4	1	2	5	2	6	6	2	1	0
新潟	33	1	1	3	1	6	4	6	4	2	1	1	3	0	68	3	4	3	7	5	4	9	6	8	7	4	8	0
富山	6	0	0	1	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0	13	1	0	3	3	0	2	1	1	0	0	0	2	0
石川	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	8	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0
福井	18	0	1	3	0	1	1	1	2	2	1	3	3	0	8	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1	2	0
山梨	5	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0
長野	5	0	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	24	0	1	2	0	3	0	3	2	5	5	1	2	0
岐阜	24	3	2	1	2	3	0	2	3	3	2	2	1	0	42	2	1	3	1	3	4	7	6	3	3	5	4	0
静岡	24	2	0	2	2	1	2	1	3	8	2	1	0	0	17	1	0	1	2	0	2	1	5	0	2	0	3	0
愛知	89	6	3	8	5	9	6	6	5	9	15	10	6	1	160	14	4	9	6	9	17	21	16	22	11	16	15	0
三重	28	2	1	2	2	1	1	1	3	5	3	5	2	0	19	1	2	0	0	1	1	2	2	2	3	4	1	0
滋賀	16	1	1	3	1	2	0	1	1	1	0	3	2	0	16	0	1	0	0	2	3	0	2	2	3	1	2	0
京都	29	3	2	4	3	1	1	2	3	1	5	3	1	0	47	4	3	2	4	5	1	8	4	6	4	3	3	0
大阪	136	13	7	10	11	9	9	14	12	13	19	13	6	0	98	6	9	9	10	11	3	7	10	13	6	5	8	1
兵庫	44	2	1	5	1	5	4	4	3	4	5	5	0	0	70	7	5	2	3	9	4	7	7	10	6	5	5	0
奈良	30	1	3	1	2	2	4	2	3	2	4	4	2	0	25	0	0	1	1	1	4	5	4	3	2	3	1	0
和歌山	13	1	0	0	0	2	2	2	0	3	1	1	1	0	21	3	0	2	1	2	3	2	3	1	3	0	1	0
鳥取	6	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	9	2	0	0	0	1	0	2	1	1	1	1	0	0
島根	27	2	2	2	1	1	1	4	5	0	4	2	3	0	24	1	1	2	2	2	3	1	2	2	8	0	0	0
岡山	135	7	12	11	6	6	14	13	17	23	14	7	5	0	132	10	10	12	19	19	11	12	11	10	11	4	3	0
広島	16	1	1	0	2	0	3	1	0	3	4	0	1	0	71	5	4	5	5	5	4	3	5	6	16	10	2	1
山口	11	4	0	1	0	1	1	0	1	0	0	2	1	0	22	2	1	5	2	2	2	0	4	1	2	1	0	0
徳島	36	2	0	6	8	2	2	3	2	3	5	1	2	0	86	6	1	5	7	5	10	11	8	6	12	10	5	0
香川	21	3	1	3	0	1	0	3	2	2	4	1	1	0	19	2	0	3	5	1	0	1	2	3	2	0	0	0
愛媛	13	0	0	0	1	1	1	3	2	1	1	0	3	0	14	0	0	1	1	1	1	3	0	4	2	0	1	0
高知	10	0	1	1	3	1	1	0	0	1	2	0	0	0	20	0	1	1	0	1	1	3	1	2	1	4	5	0
福岡	34	1	0	4	3	3	4	1	7	3	4	3	1	0	71	1	7	4	4	7	7	9	10	5	8	3	6	0
佐賀	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	18	0	1	2	2	1	2	1	2	4	3	0	0	0
長崎	7	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	1	1	0	11	1	0	0	0	2	3	1	1	1	0	0	2	0
熊本	8	0	0	0	0	1	0	0	1	2	2	0	2	0	17	1	0	2	1	2	1	4	2	0	2	0	2	0
大分	10	0	1	3	1	3	0	1	0	0	1	0	0	0	12	0	1	0	1	1	2	2	2	1	2	0	0	0
宮崎	6	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	21	1	1	3	1	0	5	2	3	2	1	1	1	0
鹿児島	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
全 国	1122	76	62	102	79	86	85	97	117	123	129	86	78	2	1552	94	75	107	110	124	121	164	162	190	184	105	112	4

表7-2 発病府県別初診年月別患者数(つづき5)

(発病=神経症状発現時) 確実例

区 分	昭 45 年													昭 46 年															
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	
北海道	16	1	1	1	3	3	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森	4	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	4	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0
宮城	4	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	15	2	1	3	1	2	2	1	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
福島	7	0	1	1	0	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
栃木	3	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	6	1	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	11	2	1	1	1	1	1	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉	15	1	2	2	2	1	1	1	0	1	1	1	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京	115	14	13	12	12	15	12	13	11	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川	25	4	4	3	2	1	4	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟	71	7	10	6	8	8	5	5	7	6	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山	5	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
石川	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	13	0	1	0	2	2	2	1	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	5	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜	26	2	4	3	5	2	5	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡	9	0	0	2	1	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知	169	11	19	27	11	20	13	24	23	18	2	1	0	0	5	0	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0
三重	11	0	1	3	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀	9	0	1	1	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都	32	6	5	5	2	2	1	5	1	3	1	1	0	0	3	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
大阪	136	10	11	16	13	16	15	22	9	8	8	5	3	0	10	1	1	3	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
兵庫	33	5	3	6	5	1	2	2	1	3	1	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
奈良	14	1	0	0	4	5	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	8	0	0	2	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	3	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	7	1	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山	53	5	6	5	6	6	9	10	2	2	0	1	1	0	12	0	0	3	1	0	4	1	1	1	1	0	0	0	0
広島	21	2	2	4	2	5	2	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口	10	0	0	3	0	3	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島	50	6	8	9	5	6	7	5	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川	9	2	0	2	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	6	0	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知	24	8	2	0	7	3	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	38	5	9	1	6	3	3	5	5	0	0	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
佐賀	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
長崎	6	0	0	0	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	12	0	2	1	3	1	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	5	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
宮崎	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全 国	1019	102	111	128	117	124	103	134	79	67	24	17	11	2	56	3	5	8	8	5	7	5	3	6	4	1	1	0	

表7-2 発病府県別初診年月別患者数(つづき6)

(発病=神経症状発現時) 確実例

区分	昭 47 年													年 次 不 明														
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	0	0	0	0											8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
青森	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
宮城	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0											11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
山形	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
茨城	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	0	0	0	0											2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
千葉	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
東京	0	0	0	0											12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
神奈川	0	0	0	0											2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
新潟	0	0	0	0											2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
富山	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石川	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
山梨	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0											122	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122
岐阜	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
静岡	0	0	0	0											3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
愛知	0	0	0	0											128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	128
三重	0	0	0	0											3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
滋賀	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都	0	0	0	0											5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
大阪	0	0	0	0											27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
兵庫	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
奈良	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
和歌山	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
岡山	3	3	0	0											5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
広島	0	0	0	0											2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
山口	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島	0	0	0	0											2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
香川	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
高知	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
佐賀	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	1	1	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
宮崎	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鹿児島	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全 国	4	4	0	0											346	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	345

表8-1 発病府県別発病年月別患者数

確実例+存疑例

区分	総 数														昭 36 年 以 前														
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	
北海道	392	20	24	24	22	29	41	29	30	58	46	37	22	10	21	3	0	0	1	3	2	4	1	3	1	2	1	0	
青森	27	0	6	4	2	2	1	5	2	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手	61	2	2	2	2	5	4	7	7	12	6	4	4	4	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	
宮城	53	3	4	3	4	6	3	2	9	6	1	1	4	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
秋田	118	5	3	8	5	6	6	5	7	2	6	6	7	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山形	198	9	14	12	8	10	17	32	26	18	13	15	8	16	4	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
福島	117	7	3	8	8	8	5	17	12	15	14	3	6	11	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
茨城	45	5	3	4	2	2	3	3	2	3	12	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栃木	56	4	1	5	3	4	6	6	2	11	6	3	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
群馬	33	2	3	1	3	3	5	0	2	4	5	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
埼玉	148	8	14	7	8	7	15	13	18	16	14	6	9	13	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
千葉	128	7	6	13	8	9	10	13	15	14	8	12	5	8	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	
東京	861	47	47	65	61	61	66	87	124	84	72	49	57	41	14	0	0	2	1	0	2	2	0	0	1	2	1	3	
神奈川	264	20	14	22	22	24	17	29	22	30	19	16	17	12	5	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	0	
新潟	323	21	21	28	25	38	35	32	37	31	22	12	11	10	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
富山	81	7	3	1	6	8	6	14	12	6	4	4	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石川	55	2	6	3	1	2	8	7	8	5	8	0	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
福井	109	4	5	5	9	18	9	11	14	9	6	9	6	4	3	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
山梨	32	3	2	0	3	1	2	3	2	3	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長野	213	12	17	14	7	15	15	18	16	23	19	18	12	27	5	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	
岐阜	183	11	13	10	8	17	14	18	25	22	11	9	11	14	4	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	
静岡	147	10	11	3	10	8	13	10	17	23	6	10	12	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
愛知	720	43	41	39	30	54	70	86	86	60	55	42	46	68	20	0	0	1	1	2	4	6	3	1	1	1	0	0	
三重	191	16	7	19	8	16	19	17	15	21	19	13	12	9	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	
滋賀	110	4	8	8	7	13	14	7	12	6	13	4	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都	328	20	16	16	23	23	36	34	46	38	30	16	17	13	6	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	
大阪	1103	57	61	68	63	93	108	113	141	102	82	50	53	112	13	2	1	0	0	0	5	0	1	1	0	1	1		
兵庫	409	22	18	20	31	39	34	39	46	53	35	21	16	35	4	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0		
奈良	128	7	3	7	9	9	11	15	16	11	15	12	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
和歌山	103	4	5	6	4	6	12	19	11	13	7	4	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥取	25	1	0	0	1	3	1	4	4	3	5	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
島根	127	6	10	5	12	6	13	4	17	17	16	6	6	9	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
岡山	581	30	32	42	36	46	56	53	72	59	47	29	28	51	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
広島	212	13	13	12	17	14	29	20	23	19	14	14	12	12	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	
山口	135	4	12	10	6	12	14	17	11	10	10	8	10	11	6	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	2	
徳島	404	23	14	36	24	29	51	53	29	41	34	25	20	25	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
香川	106	2	4	7	7	13	11	15	15	10	12	3	2	5	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	
愛媛	112	3	5	5	4	10	16	12	16	13	10	5	6	7	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
高知	116	2	5	6	14	12	6	18	12	9	12	6	7	7	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
福岡	308	21	23	16	13	30	30	41	40	25	22	21	17	9	8	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	0	2	0	
佐賀	45	4	3	3	4	4	4	2	11	6	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長崎	57	7	3	3	5	6	6	4	5	4	4	2	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
熊本	94	7	6	4	6	9	12	7	9	5	12	5	9	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
大分	93	2	1	4	13	12	5	9	14	14	8	5	5	1	6	0	0	0	1	0	1	0	2	1	0	1	0	0	
宮崎	72	3	6	5	2	4	9	7	8	9	7	0	3	9	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
鹿児島	26	4	1	1	0	1	2	2	2	1	5	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全 国	9249	514	519	584	566	747	870	959	1070	944	781	516	492	987	153	6	4	5	9	9	29	24	15	9	7	9	10	17	

表8-1 発病府県別発病年月別患者数(つづき1)

確定例+容疑例

区分	昭 37 年													昭 38 年														
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	29	0	0	2	0	0	5	4	2	7	5	2	2	0	23	0	1	2	0	5	1	0	4	2	3	2	3	0
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
山形	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	12	0	1	2	0	3	2	0	0	1	2	1	0	0
福島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
茨城	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
栃木	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
埼玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
千葉	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
東京	5	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	17	1	0	0	1	1	2	2	5	1	2	1	0	1
神奈川	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
新潟	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
富山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	3	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	10	0	2	0	1	0	0	0	0	3	2	0	2	0
岐阜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
静岡	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
愛知	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	2	1	1	2	3	2	1	1	
三重	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
滋賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都	4	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	8	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	1	2	
大阪	14	1	1	0	2	2	3	3	0	1	1	0	0	15	0	1	1	1	1	2	1	2	3	0	0	1	2	
兵庫	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	1	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	1	0	
奈良	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
岡山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	
山口	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	
徳島	3	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	10	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	2	1	2
香川	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0
愛媛	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
佐賀	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長門	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
熊本	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
大分	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0	
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
全 国	98	3	3	5	4	6	11	16	5	13	11	8	4	9	166	2	5	7	7	14	18	16	20	20	15	11	15	19

表 8-1 発病府県別発病年月別患者数(つづき 2)

確実例+容疑例

区 分	昭 39 年														昭 40 年														
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	
北海道	43	0	4	2	1	3	3	2	3	7	8	6	4	0	74	3	4	4	1	4	10	4	8	12	10	9	5	0	
青森	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	7	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	2	0	0	7	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	
山形	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	9	0	0	1	1	0	0	2	3	0	0	1	1	0	
福島	3	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	9	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	2	
茨城	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
群馬	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
埼玉	5	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	12	0	1	0	0	1	2	1	1	1	3	0	1	1	
千葉	8	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	2	1	0	10	1	1	1	2	0	0	1	0	2	1	1	0	0	
東京	24	1	0	2	1	0	1	3	4	5	2	2	1	2	56	4	2	5	6	6	4	7	5	2	2	4	3	6	
神奈川	7	0	0	1	0	0	1	2	1	0	1	0	0	1	13	2	0	1	0	1	1	1	1	1	2	0	1	2	
新潟	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	10	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	1	2	1	
富山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石川	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
福井	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	
山梨	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
長野	8	0	1	0	0	0	1	2	2	0	0	1	0	1	24	1	4	2	0	0	1	3	2	1	2	2	2	4	
岐阜	6	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	
静岡	8	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	1	3	13	0	0	0	1	0	2	0	2	4	1	1	2	0	
愛知	15	2	0	1	0	1	2	1	3	1	1	1	2	0	20	0	2	1	1	1	1	4	3	0	0	4	2	1	
三重	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	8	0	0	1	0	1	1	1	1	2	0	1	0	0	
滋賀	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	6	0	0	1	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	
京都	6	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	1	0	0	16	1	2	0	1	0	2	1	6	1	1	0	0	1	
大阪	26	1	0	2	2	4	4	2	4	2	1	1	2	1	42	3	1	2	0	0	4	0	10	3	9	4	2	4	
兵庫	16	0	1	1	0	2	3	4	3	1	0	0	0	1	10	0	0	0	2	0	3	1	1	0	1	1	1	0	
奈良	5	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	6	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	
岡山	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	2	
広島	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1	
山口	6	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	3	1	1	0	1	0	0	0	0	
徳島	12	0	0	0	0	1	3	1	0	1	1	2	2	1	18	1	0	0	0	3	2	2	0	2	3	2	0	3	
香川	6	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
愛媛	5	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	
高知	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	
福岡	4	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	13	1	0	0	1	2	0	3	2	0	1	1	1	1	
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
長崎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	
熊本	3	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	
大分	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	2	0	7	0	0	0	2	1	1	0	2	1	0	0	0	0	
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	
鹿児島	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
全 国	260	8	7	13	10	16	29	30	34	30	25	20	21	17	451	23	21	25	21	29	48	40	56	41	48	36	30	33	

表8-1 発病府県別発病年月別患者数(つづき3)

確実例+容疑例

区分	昭 41 年														昭 42 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	71	6	8	4	5	3	6	6	7	11	4	6	5	0	31	1	2	3	1	6	4	4	2	5	3	0	0	0
青森	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
岩手	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	12	0	0	1	0	1	0	3	1	2	1	0	2	1
宮城	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	19	2	3	1	3	1	1	1	3	1	1	0	1	1
秋田	14	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0	2	2	2	18	0	1	4	1	4	1	0	1	0	2	2	2	0
山形	15	0	3	1	1	0	2	4	2	1	0	1	0	0	24	2	3	1	1	1	2	1	3	4	1	3	2	0
福島	10	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	1	1	2	15	2	0	1	0	1	0	1	4	2	2	2	0	0
茨城	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	2	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
栃木	10	0	0	1	2	0	1	0	0	3	1	0	2	0	8	0	0	0	0	2	0	3	0	2	1	0	0	0
群馬	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0
埼玉	18	0	4	1	1	0	2	2	2	2	1	2	1	0	31	2	3	2	0	2	4	2	3	5	2	3	3	0
千葉	10	0	0	1	0	1	1	0	2	1	2	1	1	0	16	1	0	2	0	3	1	4	1	1	1	2	0	0
東京	79	3	2	6	3	4	6	6	14	9	11	5	9	1	182	5	10	13	6	10	9	22	36	24	15	13	16	3
神奈川	25	2	2	2	4	4	3	1	2	2	0	2	0	1	47	3	3	2	3	3	4	6	4	6	6	2	5	0
新潟	14	1	0	0	0	2	2	1	2	1	1	3	1	0	24	2	1	0	1	1	2	4	1	6	2	2	2	0
富山	10	1	0	0	2	1	1	1	1	0	2	1	0	0	25	1	0	0	1	4	3	8	3	3	0	1	1	0
石川	4	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	6	0	1	1	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0
福井	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	16	0	0	0	0	1	2	1	3	3	3	1	2	0
山梨	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	6	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	0	1
長野	30	2	3	2	3	3	0	1	2	4	1	6	2	1	31	0	1	3	0	0	3	7	6	2	6	2	1	0
岐阜	14	0	1	0	1	0	2	1	1	3	3	1	1	0	34	2	2	2	0	5	0	7	2	5	3	2	3	1
静岡	12	1	0	0	1	1	0	0	2	2	1	1	2	1	21	1	1	0	0	0	3	3	1	7	1	1	2	1
愛知	43	3	3	1	3	4	5	4	6	6	0	4	2	2	102	12	5	11	2	6	7	8	13	10	9	5	12	2
三重	22	2	1	2	2	1	4	1	1	3	1	2	1	1	44	5	2	6	3	4	5	4	2	5	4	1	2	1
滋賀	6	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	18	2	0	1	2	4	1	2	1	0	3	0	2	0
京都	20	1	2	0	3	2	3	4	2	1	0	1	1	0	51	3	0	4	2	3	5	10	8	6	5	3	2	0
大阪	76	3	1	3	7	6	5	8	10	13	7	4	6	3	179	6	11	6	6	19	16	18	30	26	12	14	13	2
兵庫	35	0	1	0	3	2	2	2	4	6	9	5	1	0	45	2	2	0	4	4	5	5	5	9	4	2	3	0
奈良	9	0	0	1	1	0	2	0	3	1	0	0	1	0	25	0	0	1	0	3	1	2	3	5	6	4	0	0
和歌山	7	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	1	0	0	18	1	0	0	0	1	2	1	3	5	3	1	0	1
鳥取	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
島根	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	25	1	0	0	3	2	3	1	8	4	2	0	1	0
岡山	9	1	2	0	0	0	1	0	3	1	1	0	0	0	98	2	4	8	4	6	11	10	16	13	14	3	7	0
広島	16	1	1	1	1	0	2	2	3	1	1	1	1	1	53	4	6	6	3	4	5	5	5	8	3	1	1	2
山口	16	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2	1	2	0	16	1	2	0	0	1	0	3	2	0	0	4	3	0
徳島	47	2	2	4	1	2	7	6	1	5	9	4	4	0	55	3	3	6	2	2	5	9	5	10	5	1	4	0
香川	7	0	0	1	0	2	0	0	0	1	2	1	0	0	12	0	1	1	2	1	0	2	3	1	1	0	0	0
愛媛	6	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	1	0	0	23	1	0	1	0	1	3	2	4	6	2	0	1	2
高知	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	21	1	0	3	0	1	0	3	1	4	3	1	2	2
福岡	25	2	1	3	0	1	1	3	4	2	2	2	3	1	43	2	1	0	2	2	8	6	6	6	5	4	0	1
佐賀	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0
長崎	5	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
熊本	5	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	16	1	0	1	0	1	5	1	0	1	1	2	3	0
大分	5	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	8	0	0	1	3	1	0	0	1	0	1	1	0	0
宮崎	6	0	1	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	5	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1
鹿児島	5	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0
全 国	731	37	44	37	51	47	68	67	84	85	75	67	51	18	1452	74	73	93	58	113	124	173	195	199	142	85	98	25

表8-1 発病府県別発病年月別患者数(つづき4)

確定例+啓発例

区分	昭 43 年														昭 44 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	34	3	2	2	3	1	4	2	0	5	4	7	1	0	42	3	3	2	7	3	2	2	2	6	8	3	1	0
青森	6	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	5	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0
岩手	13	1	0	1	0	0	1	1	1	3	3	1	1	0	23	0	2	0	1	2	1	3	3	6	1	3	1	0
宮城	14	1	1	1	0	3	0	1	3	2	0	0	2	0	9	0	0	1	0	1	2	0	2	3	0	0	0	0
秋田	20	1	2	2	1	2	2	2	2	1	3	0	2	0	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	38	1	1	0	2	4	3	9	9	3	2	1	3	0	55	4	4	2	0	1	5	8	8	9	6	7	1	0
福島	17	2	0	2	3	3	0	1	1	0	1	0	4	0	47	2	2	0	4	1	4	9	5	10	9	0	1	0
茨城	8	0	0	0	1	0	1	1	1	2	1	0	1	0	16	1	0	1	0	1	2	0	1	0	7	2	1	0
栃木	9	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	11	0	0	2	0	1	0	0	0	4	1	3	0	0
群馬	5	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	2	1	0	0	3	3	0	1	0
埼玉	19	1	1	0	2	0	4	2	2	4	2	1	0	0	36	2	4	3	4	1	1	3	7	3	6	0	2	0
千葉	17	3	0	1	1	1	1	2	1	2	1	3	1	0	28	1	0	0	2	1	4	3	4	7	1	3	2	0
東京	172	13	14	8	4	13	18	11	24	18	22	11	11	5	167	8	10	14	20	10	9	17	20	18	13	11	16	1
神奈川	66	7	2	7	5	7	3	8	3	9	4	5	6	0	60	6	2	7	5	4	2	6	5	10	5	5	3	0
新潟	41	4	1	5	3	3	3	4	6	5	3	1	2	1	109	2	4	7	7	8	12	9	21	17	15	4	3	0
富山	14	1	1	0	0	2	1	1	3	2	1	2	0	0	14	1	2	1	3	1	1	1	2	1	1	0	0	0
石川	18	2	4	1	0	1	3	1	0	2	4	0	0	0	17	0	1	1	0	0	3	2	5	3	1	0	1	0
福井	29	0	1	2	3	4	2	3	4	2	1	5	2	0	19	3	0	1	1	3	3	2	1	2	1	1	1	0
山梨	8	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3	1	0	11	1	1	0	0	1	1	2	1	1	2	1	0	0
長野	38	6	3	2	1	4	2	1	3	7	1	5	2	1	39	1	2	4	5	6	6	3	1	5	6	2	3	0
岐阜	46	2	3	4	2	4	2	0	7	4	1	4	2	1	45	1	3	1	1	3	2	7	11	8	2	2	4	0
静岡	32	2	2	2	1	3	2	2	7	5	1	4	1	0	30	2	4	0	4	2	2	1	4	3	2	2	4	0
愛知	132	8	12	6	4	12	9	18	12	19	15	6	11	0	196	5	9	7	8	13	21	24	29	20	24	19	16	1
三重	49	4	1	4	1	3	3	2	5	6	9	5	6	0	41	3	2	3	0	6	2	5	4	5	5	4	2	0
滋賀	18	0	3	3	2	3	2	1	1	1	0	2	0	0	33	1	2	2	0	3	8	1	5	4	6	0	1	0
京都	70	6	4	4	3	3	7	9	11	5	9	3	6	0	82	5	2	2	3	5	6	6	9	18	11	8	6	1
大阪	193	13	10	17	7	15	13	22	25	21	27	13	9	1	227	13	15	16	19	20	22	22	28	23	22	11	16	0
兵庫	63	3	1	3	1	10	4	6	5	11	6	7	5	1	144	11	9	7	11	13	11	15	22	20	14	5	5	1
奈良	36	4	2	2	4	1	2	2	4	3	5	4	3	0	28	1	0	2	0	1	2	8	4	0	3	2	3	2
和歌山	18	1	0	0	0	2	3	5	1	4	0	1	1	0	29	1	2	3	2	2	2	6	3	3	4	1	0	0
鳥取	6	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	10	1	0	0	0	2	1	1	1	2	0	0	2	0
島根	25	1	2	1	1	0	3	1	2	5	3	1	5	0	52	3	6	4	7	2	4	2	5	7	9	3	0	0
岡山	178	6	9	12	9	13	12	18	19	27	22	17	13	1	167	13	13	15	17	21	21	12	23	12	8	6	6	0
広島	46	1	1	1	4	2	7	5	8	2	3	8	4	0	61	4	4	1	6	5	7	6	5	8	7	3	5	0
山口	22	1	4	1	0	2	1	2	2	2	3	2	2	0	32	0	4	4	5	2	3	3	4	3	2	1	1	0
徳島	61	5	6	3	2	0	8	4	8	5	8	7	5	0	120	3	1	15	11	13	17	18	8	15	8	7	4	0
香川	27	1	0	3	2	1	1	5	5	4	4	1	0	0	31	1	2	0	3	4	5	3	5	3	3	0	2	0
愛媛	20	1	2	1	0	1	1	3	6	0	2	2	1	0	36	1	2	2	2	4	7	4	3	4	3	1	3	0
高知	22	0	1	1	5	2	1	5	2	1	2	1	1	0	37	0	2	0	4	6	1	3	5	3	7	3	3	0
福岡	50	5	3	3	3	7	3	5	6	4	4	4	3	0	95	4	5	8	3	7	6	12	17	11	7	9	6	0
佐賀	5	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	24	2	0	2	2	4	1	1	8	3	1	0	0	0
長崎	13	2	0	2	0	0	1	1	1	3	1	0	2	0	12	2	0	0	1	1	2	1	2	0	3	0	0	0
熊本	18	1	0	0	3	2	1	0	1	0	6	0	4	0	23	0	0	0	0	2	0	4	7	3	3	2	2	0
大分	25	1	0	0	3	1	3	3	2	6	3	1	2	0	24	1	0	2	1	4	0	3	4	5	2	1	1	0
宮崎	16	0	2	0	0	1	1	0	1	5	3	0	1	2	34	3	3	4	2	3	6	3	6	3	1	0	0	0
鹿児島	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	6	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1
全 国	1770	117	103	112	88	136	144	174	208	212	197	139	127	13	2340	117	128	150	167	196	219	241	310	295	244	136	130	7

表 8-1 発病府県別発病年月別患者数(つづき 5)

確定例+容疑例

区 分	昭 45 年														昭 46 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	14	1	0	3	3	1	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森	6	0	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	5	1	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	3	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	18	2	2	4	1	1	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島	8	0	0	3	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城	5	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	10	3	1	0	0	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	5	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	11	3	1	1	1	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉	25	1	5	7	3	1	2	3	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
東京	125	12	9	15	18	17	15	14	15	7	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川	28	0	5	1	4	5	2	4	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟	110	11	15	15	12	23	16	10	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山	8	2	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	5	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	29	1	1	2	4	10	2	3	5	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	6	2	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜	28	5	4	3	3	4	6	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡	19	4	4	1	2	2	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知	117	13	10	11	11	15	19	19	16	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重	12	2	1	3	0	0	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀	16	0	2	1	3	2	2	2	4	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都	54	3	6	6	9	9	7	2	9	2	1	0	0	0	3	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
大阪	218	15	19	21	19	26	34	37	31	9	3	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
兵庫	51	5	3	9	9	7	5	3	5	4	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
奈良	14	1	1	0	4	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	16	1	2	3	2	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	4	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	7	1	2	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山	62	8	4	7	5	5	9	11	8	3	1	1	0	0	10	0	0	0	1	1	1	0	2	2	0	1	2	0
広島	14	3	0	2	2	2	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口	20	1	1	3	0	1	4	5	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島	58	9	2	6	8	7	7	11	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川	11	0	1	1	0	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	9	0	1	0	1	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知	23	1	2	2	5	2	3	6	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	62	7	11	2	4	9	10	12	3	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	4	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	14	2	1	0	3	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	15	3	2	2	2	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	5	0	1	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全 国	1276	126	126	137	148	178	178	177	141	37	16	4	6	2	23	1	5	0	3	3	2	0	2	3	0	1	3	0

表8-1 発病府県別発病年月別患者数(つづき6)

確定例+容疑例

区 分	昭 47 年													年 次 不 明															
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	
北海道	0	0	0	0											10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
青森	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
岩手	0	0	0	0											3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
宮城	0	0	0	0											6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
秋田	0	0	0	0											48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48
山形	0	0	0	0											16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
福島	0	0	0	0											3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
茨城	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
栃木	0	0	0	0											2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
群馬	0	0	0	0											2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
埼玉	0	0	0	0											11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
千葉	0	0	0	0											7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
東京	0	0	0	0											20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
神奈川	0	0	0	0											5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
新潟	0	0	0	0											5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
富山	0	0	0	0											7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
石川	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
福井	0	0	0	0											4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
山梨	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
長野	0	0	0	0											19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
岐阜	0	0	0	0											9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
静岡	0	0	0	0											7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
愛知	0	0	0	0											60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
三重	0	0	0	0											6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
滋賀	0	0	0	0											9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
京都	0	0	0	0											8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
大阪	0	0	0	0											98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98
兵庫	0	0	0	0											32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
奈良	0	0	0	0											4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
和歌山	0	0	0	0											8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
鳥取	0	0	0	0											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0											9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
岡山	0	0	0	0											47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47
広島	0	0	0	0											5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
山口	0	0	0	0											6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
徳島	0	0	0	0											17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
香川	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
愛媛	0	0	0	0											5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
高知	0	0	0	0											5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
福岡	0	0	0	0											5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
佐賀	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
長崎	0	0	0	0											3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
熊本	0	0	0	0											3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
大分	0	0	0	0											1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
宮崎	0	0	0	0											4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
鹿児島	0	0	0	0											4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
全 国	0	0	0	0											529	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	527

表8-2 発病府県別発病年月別患者数

確 実 例

区 分	總 数														昭 36 年 以 前														
	總数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	總数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	
北海道	215	13	10	11	12	16	24	16	17	36	24	20	11	5	15	1	0	0	0	0	2	2	3	1	3	1	2	0	0
青森	16	0	4	1	2	2	1	2	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手	28	1	2	1	1	3	1	3	1	8	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮城	34	2	3	1	4	5	2	0	7	5	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
秋田	20	2	0	4	2	4	3	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山形	151	6	9	10	7	9	16	25	20	14	10	10	4	11	3	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
福島	78	6	2	6	4	6	3	13	9	7	8	1	5	8	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
茨城	21	1	2	2	2	1	2	2	1	1	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栃木	31	3	0	3	0	3	3	4	1	8	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
群馬	21	1	3	0	1	3	2	0	2	2	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
埼玉	101	4	13	5	7	3	10	10	12	12	10	2	5	8	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
千葉	73	4	3	8	7	4	5	7	9	9	5	3	3	6	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
東京	575	31	41	47	36	38	41	68	80	55	42	35	37	24	10	0	0	1	0	0	2	2	0	0	1	2	0	2	
神奈川	171	13	8	15	18	15	9	17	15	20	12	11	13	5	5	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	0	
新潟	203	9	17	20	17	25	20	19	25	19	13	6	9	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
富山	47	4	2	1	4	4	6	7	7	1	4	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石川	23	1	4	3	1	1	5	4	4	2	4	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
福井	54	4	2	1	4	10	3	6	6	5	3	5	3	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
山梨	12	2	0	0	1	0	1	1	2	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長野	161	10	15	11	7	10	10	15	14	19	16	12	10	12	3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
岐阜	137	8	12	9	2	13	10	13	21	13	10	8	8	10	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
静岡	90	5	7	2	6	4	8	9	7	14	6	4	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
愛知	670	37	38	37	28	49	65	76	83	58	52	41	42	64	19	0	0	1	1	1	4	6	3	1	1	1	0	0	
三重	114	8	3	9	7	9	14	7	10	16	9	12	8	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
滋賀	65	2	6	5	5	9	6	5	6	2	9	4	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都	173	14	9	9	12	9	13	20	24	25	13	9	10	6	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
大阪	610	32	31	41	43	48	60	70	77	64	45	28	24	47	5	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	
兵庫	214	13	11	13	16	20	14	19	28	25	17	13	12	13	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
奈良	97	6	2	6	7	9	10	13	11	5	9	10	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
和歌山	64	3	2	5	2	3	9	12	8	8	4	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥取	18	1	0	0	1	3	0	4	2	2	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
島根	79	2	7	2	7	5	8	4	11	11	11	3	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡山	427	18	25	34	30	39	42	38	55	48	31	18	22	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
広島	115	8	5	4	10	8	13	10	14	10	8	7	10	8	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
山口	69	2	11	6	4	3	8	8	4	5	4	6	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
徳島	247	13	9	21	18	16	33	35	14	22	23	14	15	14	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
香川	69	2	4	5	4	11	7	9	7	6	8	3	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
愛媛	61	1	2	2	3	7	7	8	9	10	4	2	2	4	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
高知	71	1	2	3	9	5	2	10	7	7	10	6	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福岡	200	16	16	13	8	18	15	30	27	16	14	15	10	2	4	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	
佐賀	29	2	1	3	3	2	4	2	6	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長崎	33	3	2	1	2	5	4	2	3	3	1	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
熊本	60	6	4	2	6	7	7	4	4	3	5	4	6	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
大分	42	1	0	1	6	8	2	3	8	7	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
宮崎	35	1	4	4	1	2	3	5	2	5	4	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
鹿児島	15	2	1	1	0	0	1	2	1	0	4	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全 国	5839	324	352	385	376	474	530	636	684	612	478	329	316	343	94	2	1	3	5	6	18	19	7	8	6	6	5	8	

表8-2 発病府県別発病年月別患者数(つづき1)

確 実 例

区 分	昭 37 年														昭 38 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	21	0	0	1	0	0	4	3	2	5	4	0	2	0	11	0	0	0	0	3	0	0	2	1	1	1	3	0
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	12	0	1	2	0	3	2	0	0	1	2	1	0	0
福島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
埼玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
千葉	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
東京	3	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	2	2	3	0	0	1	0	0
神奈川	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
新潟	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
富山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	3	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	9	0	2	0	1	0	0	0	0	3	2	0	1	0
岐阜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
静岡	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
愛知	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	2	1	1	1	3	2	1	1
三重	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1
大阪	10	1	1	0	2	1	1	3	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	1	1	2	1	2	2	0	0	0	1
兵庫	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
岡山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
山口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
徳島	3	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	2
香川	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
愛媛	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全 国	75	3	3	2	3	5	8	14	4	9	8	6	4	6	103	1	3	3	4	8	12	12	14	12	10	8	8	8

表8-2 発病府県別発病年月別患者数(つづき2)

確 実 例

区 分	昭 39 年														昭 40 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	25	0	2	1	0	2	2	2	2	6	3	4	1	0	33	2	2	1	0	2	4	1	5	5	6	2	3	0
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
山形	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	9	0	0	1	1	0	0	2	3	0	0	1	1	0
福島	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	2
茨城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
群馬	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
埼玉	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	0	1	0	0	1	1	1	1	1	2	0	1	0
千葉	6	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	5	0	1	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0
東京	14	1	0	0	1	0	0	3	4	2	2	0	0	1	44	3	2	5	4	5	3	4	5	2	2	2	3	4
神奈川	3	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8	1	0	1	0	1	0	0	1	0	2	0	0	2
新潟	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	9	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	2	1
富山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
福井	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
山梨	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	7	0	1	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	1	19	1	3	2	0	0	1	3	2	1	2	2	2	0
岐阜	5	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
静岡	6	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	2	8	0	0	0	0	0	2	0	1	2	1	0	2	0
愛知	15	2	0	1	0	1	2	1	3	1	1	1	2	0	17	0	2	1	0	1	1	3	3	0	0	3	2	1
三重	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	7	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0
滋賀	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
京都	5	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	7	1	1	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0
大阪	15	1	0	0	2	3	3	2	1	2	0	1	0	0	22	1	1	1	0	0	3	0	4	2	4	3	1	2
兵庫	10	0	1	1	0	0	2	2	3	1	0	0	0	0	5	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	0
奈良	4	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	4	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
岡山	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1
広島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
山口	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
徳島	6	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	2	0	13	1	0	0	0	2	0	1	0	2	2	2	0	3
香川	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
愛媛	4	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
高知	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
福岡	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	9	1	0	0	0	1	0	2	2	0	1	0	1	1
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
長崎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
熊本	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0
鹿児島	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全 国	164	7	5	6	7	11	18	22	26	20	15	9	11	7	288	15	16	20	11	20	26	26	36	24	28	20	25	21

表8-2 発病府県別発病年月別患者数(つづき3)

確 実 例

区 分	昭 41 年														昭 42 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	32	2	4	3	2	1	3	3	1	7	1	4	1	0	20	1	1	1	1	4	4	1	2	3	2	0	0	0
青森	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
岩手	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0
宮城	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	12	2	2	0	3	1	1	0	2	1	0	0	0	0
秋田	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0	0	3	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0
山形	12	0	2	1	1	0	2	4	1	1	0	0	0	0	21	2	2	1	1	1	2	1	2	4	1	3	1	0
福島	6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	2	12	2	0	1	0	1	0	1	3	2	1	1	0	0
茨城	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
栃木	6	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	6	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0
群馬	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
埼玉	12	0	4	1	1	0	1	2	0	2	0	0	1	0	23	1	3	2	0	1	4	0	3	4	2	2	1	0
千葉	5	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	7	1	0	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0
東京	57	2	2	4	2	4	6	6	9	7	6	4	4	1	123	3	6	10	4	5	8	18	23	16	9	9	12	0
神奈川	19	1	1	2	4	3	3	0	2	0	0	2	0	1	36	1	2	2	2	2	3	4	2	6	6	2	4	0
新潟	9	0	0	0	0	2	0	1	1	1	1	2	1	0	13	1	0	0	1	0	1	2	0	5	2	0	1	0
富山	7	1	0	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0	0	15	1	0	0	1	3	3	4	1	1	0	1	0	0
石川	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	1	2	0
山梨	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
長野	28	2	3	2	3	3	0	0	2	4	1	6	2	0	23	0	1	3	0	0	0	7	6	1	4	1	0	0
岐阜	11	0	1	0	0	0	2	0	1	2	3	1	1	0	28	2	2	1	0	5	0	5	2	3	3	2	2	1
静岡	12	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1	1	2	0	15	0	1	0	0	0	3	3	1	4	1	0	1	1
愛知	39	2	3	1	3	4	4	4	6	6	0	4	1	1	98	11	5	10	2	5	7	7	13	10	9	5	12	2
三重	20	2	1	1	2	1	4	1	1	2	1	2	1	1	23	1	1	2	2	2	3	1	1	5	2	1	2	0
滋賀	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	14	1	0	1	2	3	1	2	1	0	2	0	1	0
京都	15	1	2	0	2	2	2	3	1	1	0	0	1	0	30	2	0	3	0	1	1	7	5	6	3	1	1	0
大阪	54	2	1	2	5	4	5	4	8	12	2	3	4	2	113	3	6	4	4	11	9	15	22	17	7	7	8	0
兵庫	21	0	1	0	2	1	0	1	3	4	6	2	1	0	27	2	1	0	3	3	3	1	3	6	3	0	2	0
奈良	6	0	0	1	0	0	2	0	1	1	0	0	1	0	14	0	0	0	0	3	1	1	1	2	3	3	0	0
和歌山	4	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	1	0	0	11	1	0	0	0	0	1	1	3	3	2	0	0	0
鳥取	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
島根	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	17	0	0	0	1	2	3	1	6	3	1	0	0	0
岡山	6	1	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	77	0	3	6	3	6	10	7	14	12	9	2	5	0
広島	7	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0	1	1	8	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	1	2
山口	10	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	8	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	3	1	0
徳島	36	2	2	1	1	2	6	5	0	5	5	3	4	0	28	2	1	4	0	0	3	5	1	4	4	1	3	0
香川	6	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2	1	0	0	11	0	1	1	2	1	0	2	2	1	1	0	0	0
愛媛	4	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	14	0	0	1	0	0	2	1	3	6	1	0	0	0
高知	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1	0	2	0	0	0	3	1	3	3	1	2	2
福岡	15	2	0	3	0	0	1	1	1	1	2	2	2	0	28	2	1	0	1	1	5	3	5	4	2	4	0	0
佐賀	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
長崎	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
熊本	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	12	1	0	1	0	1	3	1	0	1	0	2	2	0
大分	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0
宮崎	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
鹿児島	4	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
全 国	494	23	34	26	35	37	50	47	50	64	43	43	32	10	956	47	44	63	36	70	86	115	136	139	89	55	64	12

表8-2 発病府県別発病年月別患者数(つづき4)

確 実 例

区 分	昭 43 年														昭 44 年													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明
北海道	20	3	0	1	3	1	1	0	0	3	2	5	1	0	23	3	1	1	4	1	1	2	1	3	4	2	0	0
青森	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
岩手	4	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	11	0	2	0	0	1	0	0	1	4	1	1	1	0
宮城	7	0	1	0	0	2	0	0	2	1	0	0	1	0	8	0	0	1	0	1	1	0	2	3	0	0	0	0
秋田	5	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	31	1	1	0	2	4	3	7	8	1	1	1	2	0	35	2	2	2	0	0	4	5	5	7	5	3	0	0
福島	12	2	0	1	2	2	0	0	1	0	1	0	3	0	27	2	1	0	1	1	2	6	3	5	5	0	1	0
茨城	4	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	1	0
栃木	4	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8	0	0	1	0	1	0	0	0	3	1	2	0	0
群馬	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	2	0	0	0	2	3	0	1	0
埼玉	14	1	1	0	2	0	2	2	2	3	1	0	0	0	23	0	3	1	3	1	1	2	3	2	5	0	2	0
千葉	9	2	0	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	18	1	0	0	2	0	3	2	3	5	0	1	1	0
東京	106	6	13	4	2	7	8	9	14	11	13	8	7	4	110	7	10	11	11	5	5	10	11	14	6	9	11	0
神奈川	40	4	1	5	5	5	0	6	1	6	0	2	5	0	41	6	1	4	4	2	2	2	4	8	3	3	2	0
新潟	29	3	1	4	2	2	3	3	5	3	1	0	2	0	66	2	3	5	6	6	5	4	14	8	8	3	2	0
富山	6	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1	0	0	11	1	2	1	2	0	1	1	2	0	1	0	0	0
石川	6	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	7	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	0	0	0
福井	12	0	1	0	1	0	0	2	2	2	1	3	0	0	11	3	0	0	1	2	1	1	0	2	1	0	0	0
山梨	3	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
長野	25	4	3	1	1	1	2	1	1	5	1	2	2	0	29	1	1	2	0	4	5	2	1	4	5	1	3	0
岐阜	27	1	3	4	0	3	2	0	6	2	1	3	1	1	37	1	3	1	0	3	2	6	8	6	2	2	3	0
静岡	15	1	1	2	0	1	1	1	3	3	1	1	0	0	16	1	2	0	3	1	0	1	1	1	2	1	3	0
愛知	123	7	10	6	4	11	9	16	11	18	14	6	11	0	183	3	9	7	8	12	19	21	29	20	22	19	13	1
三重	26	2	0	1	1	1	2	1	2	5	3	5	3	0	23	2	0	2	0	3	1	1	4	3	3	3	1	0
滋賀	11	0	3	2	1	3	0	0	0	0	0	2	0	0	14	0	1	0	0	0	4	0	2	2	4	0	1	0
京都	41	4	2	4	2	2	3	5	7	4	4	1	3	0	37	3	0	1	1	2	2	3	4	8	4	6	3	0
大阪	115	9	6	11	6	8	9	15	11	11	18	7	4	0	112	7	7	10	10	5	10	10	14	14	13	6	6	0
兵庫	40	3	1	2	0	7	3	4	3	3	3	6	5	0	65	5	6	3	3	2	5	7	14	8	5	3	3	1
奈良	29	3	2	2	4	1	1	2	3	2	3	4	2	0	25	1	0	2	0	1	2	7	4	0	2	2	3	1
和歌山	13	0	0	0	0	2	3	2	1	3	0	1	1	0	17	1	0	2	1	1	1	5	2	2	2	0	0	0
鳥取	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	7	1	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	1	0
島根	19	1	2	1	1	0	1	1	2	3	2	1	4	0	30	0	3	1	5	1	2	2	3	4	7	1	0	0
岡山	127	4	7	8	7	10	10	14	14	20	15	8	9	1	131	7	10	13	15	19	14	10	18	9	5	5	6	0
広島	24	1	1	1	2	1	2	2	4	2	2	3	3	0	54	4	3	1	6	5	6	4	5	7	6	3	4	0
山口	14	1	4	1	0	0	0	1	1	2	2	1	1	0	15	0	4	2	3	0	1	2	0	1	0	1	1	0
徳島	33	3	4	2	2	0	5	1	4	1	5	3	3	0	76	0	1	7	8	6	14	13	6	9	6	4	2	0
香川	18	1	0	2	1	1	0	4	3	2	3	1	0	0	17	1	2	0	1	3	3	1	2	1	1	0	2	0
愛媛	11	1	1	0	0	1	1	3	2	0	1	0	1	0	14	0	1	1	1	3	2	1	2	1	1	1	0	0
高知	11	0	1	1	3	1	0	1	1	0	2	1	0	0	34	0	0	0	2	3	0	3	4	3	5	3	1	0
福岡	35	2	1	3	2	4	1	5	5	3	3	4	2	0	66	4	4	6	3	6	3	11	10	6	5	5	3	0
佐賀	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	17	1	0	2	1	2	1	1	6	2	1	0	0	0
長崎	5	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	8	0	0	0	1	1	2	1	2	0	1	0	0	0
熊本	13	0	0	0	3	2	0	0	1	0	4	0	3	0	14	0	0	0	0	2	0	3	3	2	1	2	1	0
大分	11	1	0	0	2	1	2	1	0	3	1	0	0	0	13	0	0	0	1	3	0	1	4	2	2	0	0	0
宮崎	7	0	1	0	0	0	1	0	0	3	2	0	0	0	16	1	2	3	1	2	1	1	2	2	1	0	0	0
鹿児島	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
全 国	1119	76	75	74	65	85	83	116	124	132	118	83	81	7	1481	71	84	95	109	117	128	155	203	186	153	95	82	3

表8-2 発病府県別発病年月別患者数(つづき5)

確 実 例

区 分	昭 45 年													昭 46 年															
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	
北海道	10	1	0	2	2	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森	4	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手	5	1	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮城	3	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山形	12	1	1	3	0	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福島	6	0	0	2	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
茨城	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栃木	3	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
群馬	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
埼玉	8	2	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
千葉	14	0	2	3	3	1	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東京	86	9	8	12	11	12	7	11	11	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
神奈川	14	0	3	0	2	2	1	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新潟	67	2	13	10	6	14	11	5	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富山	3	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石川	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福井	16	1	0	1	2	8	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山梨	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長野	5	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岐阜	17	3	3	3	1	2	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
静岡	12	2	3	0	2	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
愛知	105	12	9	10	10	14	17	16	14	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三重	8	1	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
滋賀	11	0	1	1	2	2	0	2	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都	22	2	4	1	5	2	2	1	4	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大阪	111	8	7	13	13	15	16	20	14	2	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
兵庫	28	2	1	7	6	6	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
奈良	12	1	0	0	3	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
和歌山	10	1	1	3	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥取	3	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
島根	5	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡山	45	6	4	7	4	3	6	6	4	3	1	1	0	0	10	0	0	0	1	1	1	0	2	2	0	1	2	0	
広島	12	2	0	2	1	2	3	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山口	10	1	1	1	0	0	2	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
徳島	34	5	1	5	7	4	2	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
香川	6	0	1	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
愛媛	4	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高知	10	0	1	0	4	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福岡	38	5	10	1	2	4	5	8	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
佐賀	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長崎	7	1	0	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
熊本	10	3	1	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大分	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全 国	788	79	84	93	99	113	100	109	82	16	7	3	2	1	15	0	3	0	2	2	1	0	2	2	0	1	2	0	

表8-2 発病府県別発病年月別患者数(つづき6)

確 実 例

区 分	昭 47 年													年 次 不 明													
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月不明	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	0	0	0	0										5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
青森	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0										2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
宮城	0	0	0	0										3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
秋田	0	0	0	0										2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
山形	0	0	0	0										11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
福島	0	0	0	0										1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
茨城	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	0	0	0	0										8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
千葉	0	0	0	0										5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
東京	0	0	0	0										14	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	12
神奈川	0	0	0	0										2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
新潟	0	0	0	0										2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
富山	0	0	0	0										3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
石川	0	0	0	0										1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
福井	0	0	0	0										2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
山梨	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0										10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
岐阜	0	0	0	0										7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
静岡	0	0	0	0										5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
愛知	0	0	0	0										57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57
三重	0	0	0	0										1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
滋賀	0	0	0	0										2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
京都	0	0	0	0										5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
大阪	0	0	0	0										42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
兵庫	0	0	0	0										12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
奈良	0	0	0	0										2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
和歌山	0	0	0	0										4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
鳥取	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	0	0	0	0										4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
岡山	0	0	0	0										24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
広島	0	0	0	0										2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
山口	0	0	0	0										1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
徳島	0	0	0	0										7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
香川	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛	0	0	0	0										4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
高知	0	0	0	0										3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
福岡	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	0	0	0	0										1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
長崎	0	0	0	0										3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
熊本	0	0	0	0										2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
大分	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎	0	0	0	0										1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鹿児島	0	0	0	0										2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
全 国	0	0	0	0										262	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	260

表9 月別腹部症状発現状況

区分	総数	月 別														
		計 (除不明)	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	不明	
確 実 例 十 次 別 (再 掲 例)	総 数	9,249	7,866 (100.0)	547 (7.0)	567 (7.2)	580 (7.4)	615 (7.4)	770 (9.8)	981 (12.5)	860 (10.9)	974 (12.4)	651 (8.3)	524 (6.7)	403 (5.1)	394 (5.0)	1,383
	昭42年	1,400	1,359 (100.0)	81 (6.0)	100 (7.4)	90 (6.6)	82 (6.0)	117 (8.6)	162 (8.6)	167 (12.3)	195 (14.3)	130 (9.6)	93 (6.8)	66 (4.9)	76 (5.6)	41
	43	1,646	1,618 (100.0)	100 (6.2)	110 (6.8)	103 (6.4)	111 (6.9)	144 (8.9)	175 (10.8)	174 (10.8)	201 (12.4)	159 (9.8)	126 (7.8)	101 (6.2)	114 (7.0)	28
	44	1,992	1,982 (100.0)	131 (6.6)	129 (6.5)	134 (6.8)	172 (8.7)	186 (9.4)	207 (10.4)	230 (11.6)	277 (14.0)	198 (10.0)	127 (6.4)	110 (5.5)	81 (4.1)	10
	45	980	979 (100.0)	138 (14.1)	108 (11.0)	134 (13.7)	121 (12.4)	151 (15.4)	145 (14.8)	96 (9.8)	57 (5.8)	14 (1.4)	6 (0.6)	3 (0.3)	6 (0.6)	1
	46	21	21 (100.0)	1 (4.8)	5 (23.8)	1 (4.8)	1 (4.8)	5 (23.8)	1 (4.8)	2 (9.5)	2 (9.5)	1 (4.8)	0	0	2 (9.5)	0
	47	0	0	0	0	0										
確 実 例 (再 掲 例)	総 数	5,839	5,285 (100.0)	359 (6.9)	387 (7.5)	415 (8.0)	404 (7.8)	503 (9.7)	607 (11.7)	575 (11.1)	637 (12.3)	415 (8.0)	354 (6.8)	262 (5.1)	267 (5.1)	654
	昭42年	936	910 (100.0)	55 (6.0)	68 (7.5)	61 (6.7)	59 (6.5)	84 (9.2)	108 (11.9)	98 (10.8)	137 (15.1)	86 (9.5)	54 (5.9)	52 (5.7)	48 (5.3)	26
	43	1,072	1,052 (100.0)	64 (6.1)	81 (7.7)	73 (6.9)	76 (7.2)	82 (7.8)	96 (9.1)	125 (11.9)	130 (12.4)	98 (9.3)	87 (8.3)	58 (5.5)	82 (7.8)	20
	44	1,312	1,307 (100.0)	84 (6.4)	81 (6.2)	98 (7.5)	111 (8.5)	120 (9.2)	128 (9.8)	160 (12.2)	182 (13.9)	121 (9.3)	92 (7.0)	70 (5.4)	60 (4.6)	5
	45	615	614 (100.0)	87 (14.2)	70 (11.4)	98 (16.0)	78 (12.7)	95 (15.5)	82 (13.4)	52 (8.5)	36 (5.9)	7 (1.1)	3 (0.5)	3 (0.5)	3 (0.5)	1
	46	16	16 (100.0)	1 (6.3)	3 (18.8)	1 (6.3)	0	4 (25.0)	1 (6.3)	1 (6.3)	2 (12.5)	1 (6.3)	0	0	2 (12.5)	0
	47	0	0	0	0	0										

表 1 0 月別神經症狀發現狀況

区 分	總 數	月 別												不 明		
		計 (除不明)	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12	
確 實 例 十 容 疑 例	總 數	9,249	8,562 (100.0)	514 (6.0)	519 (6.1)	584 (6.8)	566 (6.6)	747 (8.7)	870 (10.2)	959 (11.2)	1,070 (12.5)	944 (11.0)	781 (9.1)	516 (6.0)	492 (5.7)	687
	昭42年	1,452	1,427 (100.0)	74 (5.2)	73 (5.1)	93 (6.5)	58 (4.1)	113 (7.9)	124 (8.7)	173 (12.1)	195 (13.7)	199 (13.9)	142 (10.0)	85 (6.0)	98 (6.9)	25
	43	1,770	1,757 (100.0)	117 (6.7)	103 (5.9)	112 (6.4)	88 (5.0)	136 (7.7)	144 (8.2)	174 (9.9)	208 (11.8)	212 (12.1)	197 (11.2)	139 (7.9)	127 (7.2)	13
	44	2,340	2,333 (100.0)	117 (5.0)	128 (5.5)	150 (6.4)	167 (7.2)	196 (8.4)	219 (9.4)	241 (10.3)	310 (13.3)	295 (12.6)	244 (10.5)	136 (5.8)	130 (5.6)	7
	45	1,276	1,274 (100.0)	126 (9.9)	126 (9.9)	137 (10.8)	148 (11.6)	178 (14.0)	178 (14.0)	177 (13.9)	141 (11.1)	37 (2.9)	16 (1.3)	4 (0.3)	6 (0.5)	2
	46	23	23 (100.0)	1 (4.3)	5 (21.7)	0	3 (13.0)	3 (13.0)	2 (8.7)	0	2 (8.7)	3 (13.0)	0	1 (4.3)	3 (13.0)	0
	47	0	0	0	0	0										
確 實 例	總 數	5,839	5,496 (100.0)	324 (5.9)	352 (6.4)	385 (7.0)	376 (6.8)	474 (8.6)	530 (9.6)	636 (11.6)	684 (12.4)	612 (11.1)	478 (8.7)	329 (6.0)	316 (5.7)	343
	昭42年	956	944 (100.0)	47 (5.0)	44 (4.7)	63 (6.7)	36 (3.8)	70 (7.4)	86 (9.1)	115 (12.2)	136 (14.4)	139 (14.7)	89 (9.4)	55 (5.8)	64 (6.8)	12
	43	1,119	1,112 (100.0)	76 (6.8)	75 (6.7)	74 (6.7)	65 (5.8)	85 (7.6)	83 (7.5)	116 (10.4)	124 (11.2)	132 (11.9)	118 (10.6)	83 (7.5)	81 (7.3)	7
	44	1,481	1,478 (100.0)	71 (4.8)	84 (5.7)	95 (6.4)	109 (7.4)	117 (7.9)	128 (8.7)	155 (10.5)	203 (13.7)	186 (12.6)	153 (10.4)	95 (6.4)	82 (5.5)	3
	45	788	787 (100.0)	79 (10.0)	84 (10.7)	93 (11.8)	99 (12.6)	113 (14.4)	100 (12.7)	109 (13.9)	82 (10.4)	16 (2.0)	7 (0.9)	3 (0.4)	2 (0.3)	1
	46	15	15 (100.0)	0	3 (20.0)	0	2 (13.3)	2 (13.3)	1 (6.7)	0	2 (13.3)	2 (13.3)	0	1 (6.7)	2 (13.3)	0
	47	0	0	0	0	0										

表11. 腹部症状発現より神経症状発現までの期間別患者数

確実例+容疑例

区 分	総 数	期 間 別											期 間 不 明	
		計 (除不明)	同時期 以 前	同時間	1ヵ月	2	3	4~6	7~12	13~24	25~36	37ヵ月 以 上		
総 数	9,249	7,900 (100.0)	172 (2.2)	2,697 (34.1)	2,317 (29.3)	842 (10.7)	411 (5.2)	560 (7.1)	369 (4.7)	258 (3.3)	107 (1.4)	167 (2.1)	1,349	
初 診 年 次	総 数 (除初診年次不明)	8,687	7,572 (100.0)	166 (2.2)	2,582 (34.1)	2,240 (29.6)	804 (10.6)	385 (5.1)	538 (7.1)	354 (4.7)	241 (3.2)	104 (1.4)	1,588 (2.1)	1,115
	昭 41 以前	1,349	1,188 (100.0)	17 (1.4)	362 (30.5)	345 (29.0)	122 (10.3)	59 (5.0)	94 (7.9)	64 (5.4)	46 (3.9)	33 (2.8)	46 (3.9)	161
	42	1,374	1,213 (100.0)	32 (2.6)	387 (31.9)	364 (30.0)	136 (11.2)	65 (5.4)	89 (7.3)	53 (4.4)	47 (3.9)	23 (1.9)	17 (1.4)	161
	43	1,794	1,535 (100.0)	31 (2.0)	525 (34.2)	437 (28.5)	173 (11.3)	84 (5.5)	106 (6.9)	89 (5.8)	59 (3.8)	13 (0.8)	18 (1.2)	259
	44	2,418	2,113 (100.0)	48 (2.3)	748 (35.4)	646 (30.6)	214 (10.1)	105 (5.0)	133 (6.3)	95 (4.5)	50 (2.4)	23 (1.1)	51 (2.4)	305
	45	1,652	1,434 (100.0)	35 (2.4)	532 (37.1)	420 (29.3)	152 (10.6)	70 (4.9)	107 (7.5)	49 (3.4)	33 (2.3)	12 (0.8)	24 (1.7)	218
	46	95	84 (100.0)	3 (3.6)	24 (28.6)	28 (33.3)	6 (7.1)	2 (2.4)	9 (10.7)	4 (4.8)	6 (7.1)	0	2 (2.4)	11
	47	5	5 (100.0)	0	4 (80.0)	0	1 (20.0)	0	0	0	0	0	0	0
	昭42+43 (再 掲)	3,168	2,748 (100.0)	63 (2.3)	912 (33.2)	801 (29.1)	309 (11.2)	149 (5.4)	195 (7.1)	142 (5.2)	106 (3.9)	36 (1.3)	35 (1.3)	420
	昭44+45 (再 掲)	4,070	3,547 (100.0)	83 (2.3)	1,280 (36.1)	1,066 (30.1)	366 (10.3)	175 (4.9)	240 (6.8)	144 (4.1)	83 (2.3)	35 (1.0)	75 (2.1)	523

表1 1. 腹部症状発現より神経症状発現までの期間別患者数(つづき)

確実例のみ(再掲)

区 分	総 数	期 間 別											期 間 不 明	
		計 (除不明)	同時期 以 前	同時間	1ヵ月	2	3	4~6	7~12	13~24	25~36	37ヵ月 以 上		
総 数	5,839	5,226 (100.0)	92 (1.8)	1,739 (33.3)	1,640 (30.7)	577 (11.0)	289 (5.5)	353 (6.8)	240 (4.6)	165 (3.2)	61 (1.2)	106 (2.0)	613	
初 診 年 次	総 数 (除初診年次不明)	5,493	4,999 (100.0)	88 (1.8)	1,652 (33.0)	1,552 (31.0)	549 (11.1)	275 (5.5)	340 (6.8)	232 (4.6)	155 (3.1)	58 (1.2)	98 (2.0)	494
	昭 4 1 以前	877	800 (100.0)	9 (1.1)	247 (30.9)	247 (30.9)	84 (10.5)	38 (4.8)	60 (7.5)	42 (5.3)	27 (3.4)	15 (1.9)	31 (3.9)	77
	4 2	863	787 (100.0)	13 (1.7)	249 (31.6)	251 (31.9)	88 (11.2)	47 (6.0)	52 (6.6)	33 (4.2)	33 (4.2)	13 (1.7)	8 (1.0)	76
	4 3	1,122	1,003 (100.0)	17 (1.7)	321 (32.0)	302 (30.1)	120 (12.0)	58 (5.8)	69 (6.9)	63 (6.3)	35 (3.5)	8 (0.8)	10 (1.0)	119
	4 4	1,552	1,419 (100.0)	29 (2.0)	476 (33.5)	458 (32.3)	151 (10.6)	76 (5.4)	86 (6.1)	62 (4.4)	31 (2.2)	17 (1.2)	33 (2.3)	133
	4 5	1,019	933 (100.0)	18 (1.9)	342 (36.7)	272 (29.2)	102 (10.9)	54 (5.8)	70 (7.5)	30 (3.2)	25 (2.7)	5 (0.5)	15 (1.6)	86
	4 6	56	53 (100.0)	2 (3.8)	14 (26.4)	22 (41.5)	3 (5.7)	2 (3.8)	3 (5.7)	2 (3.8)	4 (7.5)		1 (1.9)	3
	4 7	4	4 (100.0)	0	3 (75.0)	0	1 (25.0)	0	0	0	0	0	0	0
	昭42+43 (再 掲)	1,985	1,790 (100.0)	30 (1.7)	570 (31.8)	553 (30.9)	208 (11.6)	105 (5.9)	121 (6.8)	96 (5.4)	68 (3.8)	21 (1.2)	18 (1.0)	195
	昭44+45 (再 掲)	2,571	2,352 (100.0)	47 (2.0)	818 (34.8)	730 (31.0)	253 (10.8)	130 (5.5)	156 (6.6)	92 (3.9)	56 (2.4)	22 (0.9)	48 (2.0)	219

表12. 腹部症状発現より初診までの期間別患者数

確実例+容疑例

区 分	総 数	期 間 別											期 間 不 明	
		計 (除不明)	同時期 以 前	同時間	1ヵ月	2	3	4~6	7~12	13~24	25~36	37ヵ月 以 上		
総 数	9,249	7,614 (100.0)	798 (10.5)	2,317 (30.4)	1,112 (14.6)	531 (7.0)	326 (4.3)	610 (8.0)	659 (8.7)	514 (6.8)	290 (3.8)	457 (6.0)	1,635	
初 診 年 次	総 数 (除初診年次不明)	8,687	7,614 (100.0)	798 (10.5)	2,317 (30.4)	1,112 (14.6)	531 (7.0)	326 (4.3)	610 (8.0)	659 (8.7)	514 (6.8)	290 (3.8)	457 (6.0)	1,073
	昭 41 以前	1,349	1,160 (100.0)	230 (19.8)	414 (35.7)	141 (12.2)	65 (5.6)	36 (3.1)	62 (5.3)	82 (7.1)	58 (5.0)	38 (3.3)	34 (2.9)	189
	42	1,374	1,236 (100.0)	146 (11.8)	407 (32.9)	186 (15.0)	88 (7.1)	50 (4.0)	95 (7.7)	92 (7.4)	82 (6.6)	49 (4.0)	41 (3.3)	138
	43	1,794	1,568 (100.0)	163 (10.4)	538 (34.3)	209 (13.3)	105 (6.7)	59 (3.8)	125 (8.0)	125 (8.0)	96 (6.1)	51 (3.3)	97 (6.2)	226
	44	2,418	2,135 (100.0)	188 (8.8)	641 (30.0)	338 (15.8)	156 (7.3)	93 (4.4)	164 (7.7)	172 (8.1)	144 (6.7)	80 (3.7)	159 (7.4)	283
	45	1,652	1,428 (100.0)	69 (4.8)	315 (22.1)	231 (16.2)	116 (8.1)	86 (6.0)	158 (11.1)	172 (12.0)	115 (8.1)	58 (4.1)	108 (7.6)	224
	46	95	82 (100.0)	2 (2.4)	2 (2.4)	5 (6.1)	1 (1.2)	2 (2.4)	5 (6.1)	16 (19.5)	18 (22.0)	14 (17.1)	17 (20.7)	13
	47	5	5 (100.0)	0	0	2 (40.0)	0	0	1 (20.0)	0	1 (20.0)	0	1 (20.0)	0
	昭42+43 (再 掲)	3,168	2,804 (100.0)	309 (11.0)	945 (33.7)	395 (14.1)	193 (6.9)	109 (3.9)	220 (7.8)	217 (7.7)	178 (6.3)	100 (3.6)	138 (4.9)	364
	昭44+45 (再 掲)	4,070	3,563 (100.0)	257 (7.2)	956 (26.8)	569 (16.0)	272 (7.6)	179 (5.0)	322 (9.0)	344 (9.7)	259 (7.3)	138 (3.9)	267 (7.5)	507

表1 2. 複部症状発現より初診までの期間別患者数(つづき)

確実例のみ(再掲)

区 分	総 数	期 間 別											期 間 不 明	
		計 (除不明)	同時期 以 前	同時間	1ヵ月	2	3	4～6	7～12	13～24	25～36	37ヵ月 以 上		
総 数	5,839	5,020 (100.0)	505 (10.1)	1,467 (29.2)	738 (14.7)	363 (7.2)	227 (4.5)	408 (8.1)	455 (9.1)	359 (7.2)	189 (3.8)	309 (6.2)	819	
初 診 年 次	総 数 (除初診年次不明)	5,493	5,020 (100.0)	505 (10.1)	1,467 (29.2)	738 (14.7)	363 (7.2)	227 (4.5)	408 (8.1)	455 (9.1)	359 (7.2)	189 (3.8)	309 (6.2)	473
	昭 4 1 以前	877	789 (100.0)	148 (18.8)	287 (36.4)	92 (11.7)	50 (6.3)	26 (3.3)	40 (5.1)	56 (7.1)	37 (4.7)	24 (3.0)	29 (3.7)	88
	4 2	863	796 (100.0)	89 (11.2)	262 (32.9)	135 (17.0)	58 (7.3)	34 (4.3)	58 (7.3)	61 (7.7)	48 (6.0)	31 (3.9)	20 (2.5)	67
	4 3	1,122	1,019 (100.0)	102 (10.0)	331 (32.5)	138 (13.5)	68 (6.7)	38 (3.7)	82 (8.0)	93 (9.1)	69 (6.8)	36 (3.5)	62 (6.1)	103
	4 4	1,552	1,430 (100.0)	119 ( 8.3)	410 (28.7)	221 (15.5)	106 (7.4)	67 (4.7)	114 (8.0)	120 (8.4)	107 (7.5)	53 (3.7)	113 (7.9)	122
	4 5	1,019	929 (100.0)	45 ( 4.8)	176 (18.9)	145 (15.6)	80 (8.6)	60 (6.5)	111 (11.9)	115 (12.4)	86 (9.3)	38 (4.1)	73 (7.9)	90
	4 6	56	53 (100.0)	2 ( 3.8)	1 ( 1.9)	5 ( 9.4)	1 ( 1.9)	2 ( 3.8)	2 ( 3.8)	10 (18.9)	11 (20.8)	7 (13.2)	12 (22.6)	3
	4 7	4	4 (100.0)	0	0	2 (50.0)	0	0	1 (25.0)	0	1 (25.0)	0	0	0
	昭 4 2 + 4 3 (再 掲)	1,985	1,815 (100.0)	191 (10.5)	593 (32.7)	273 (15.0)	126 (6.9)	72 (4.0)	140 (7.7)	154 (8.5)	117 (6.4)	67 (3.7)	82 (4.5)	170
	昭 4 4 + 4 5 (再 掲)	2,571	2,359 (100.0)	164 ( 7.0)	586 (24.8)	366 (15.5)	186 (7.9)	127 (5.4)	225 (9.5)	235 (10.0)	193 (8.2)	91 (3.9)	186 (7.9)	212

表13. 神経症状発現より初診までの期間別患者数

確実例+容疑例

区 分	総 数	期 間 別											期 間 不 明	
		計 (除不明)	同時期 以 前	同時間	1カ月	2	3	4~6	7~12	13~24	25~36	37カ月 以 上		
総 数	9,249	8,250 (100.0)	2,846 (28.4)	2,388 (28.9)	867 (10.5)	346 (4.2)	249 (3.0)	486 (5.9)	560 (6.8)	433 (5.2)	218 (2.6)	357 (4.3)	999	
初 診 年 次	総 数 (除初診年次不明)	8,687	8,250 (100.0)	2,346 (28.4)	2,388 (28.9)	867 (10.5)	346 (4.2)	249 (3.0)	486 (5.9)	560 (6.8)	433 (5.2)	218 (2.6)	357 (4.3)	437
	昭 41以前	1,349	1,209 (100.0)	565 (46.7)	318 (26.3)	97 (8.0)	36 (3.0)	15 (1.2)	35 (2.9)	66 (5.5)	32 (2.6)	26 (2.2)	19 (1.6)	140
	42	1,374	1,317 (100.0)	416 (31.6)	415 (31.5)	121 (9.2)	57 (4.3)	40 (3.0)	80 (6.1)	71 (5.4)	64 (4.9)	21 (1.6)	32 (2.4)	57
	43	1,794	1,709 (100.0)	524 (30.7)	529 (31.0)	145 (8.5)	55 (3.2)	53 (3.1)	84 (4.9)	119 (7.0)	83 (4.9)	47 (2.8)	70 (4.1)	85
	44	2,418	2,331 (100.0)	612 (26.3)	681 (29.2)	265 (11.4)	109 (4.7)	73 (3.1)	136 (5.8)	135 (5.8)	133 (5.7)	66 (2.8)	121 (5.2)	87
	45	1,652	1,595 (100.0)	227 (14.2)	435 (27.3)	236 (14.8)	85 (5.3)	67 (4.2)	145 (9.1)	150 (9.4)	99 (6.2)	50 (3.1)	101 (6.3)	57
	46	95	84 (100.0)	2 (2.4)	10 (11.9)	1 (1.2)	3 (3.6)	1 (1.2)	6 (7.1)	19 (22.6)	21 (25.0)	8 (9.5)	13 (15.5)	11
	47	5	5 (100.0)	0	0	2 (40.0)	1 (20.0)	0	0	0	1 (20.0)	0	1 (20.0)	0
	昭42+43 (再 掲)	3,168	3,026 (100.0)	940 (31.1)	944 (31.2)	266 (8.8)	112 (3.7)	93 (3.1)	164 (5.4)	190 (6.3)	147 (4.9)	68 (2.2)	102 (3.4)	142
	昭44+45 (再 掲)	4,070	3,826 (100.0)	839 (21.4)	1,116 (28.4)	501 (12.8)	194 (4.9)	140 (3.6)	281 (7.2)	285 (7.3)	232 (5.9)	116 (3.0)	222 (5.7)	144

表13. 神経症状発現より初診までの期間別患者数(つづき)

確実例のみ(再掲)

区 分	総 数	期 間 別											期 間 不 明	
		計 (除不明)	同時期 以 前	同時間	1ヵ月	2	3	4~6	7~12	13~24	25~36	37ヵ月 以 上		
総 数	5,839	5,282 (100.0)	1,489 (28.2)	1,492 (28.2)	576 (10.9)	231 (4.4)	157 (3.0)	308 (5.8)	371 (7.0)	291 (5.5)	141 (2.7)	226 (4.3)	557	
初 診 年 次	総 数 (除初診年次不明)	5,493	5,282 (100.0)	1,489 (28.2)	1,492 (28.2)	576 (10.9)	231 (4.4)	157 (3.0)	308 (5.8)	371 (7.0)	291 (5.5)	141 (2.7)	226 (4.3)	211
	昭 41以前	877	806 (100.0)	365 (45.3)	207 (25.7)	71 ( 8.8)	32 (4.0)	11 (1.4)	20 (2.5)	44 (5.5)	24 (3.0)	17 (2.1)	15 (1.9)	71
	42	863	837 (100.0)	261 (31.2)	281 (33.6)	88 (10.5)	32 (3.8)	23 (2.7)	46 (5.5)	44 (5.3)	35 (4.2)	11 (1.3)	16 (1.9)	26
	43	1,122	1,079 (100.0)	328 (30.4)	324 (30.0)	94 ( 8.7)	33 (3.1)	32 (3.0)	59 (5.5)	77 (7.1)	56 (5.2)	35 (3.2)	41 (3.8)	43
	44	1,552	1,511 (100.0)	396 (26.2)	425 (28.1)	171 (11.3)	72 (4.8)	45 (3.0)	87 (5.8)	94 (6.2)	98 (6.5)	42 (2.8)	81 (5.4)	41
	45	1,019	991 (100.0)	137 (13.8)	250 (25.2)	149 (15.0)	58 (5.9)	46 (4.6)	92 (9.3)	100 (10.1)	65 (6.6)	31 (3.1)	63 (6.4)	28
	46	56	54 (100.0)	2 ( 3.7)	5 ( 9.3)	1 ( 1.9)	3 (5.6)	0	4 (7.4)	12 (22.2)	12 (22.2)	5 (9.3)	10 (18.5)	2
	47	4	4 (100.0)	0	0	2 (50.0)	1 (25.0)	0	0	0	1 (25.0)	0	0	0
	昭42+43 (再 掲)	1,985	1,916 (100.0)	589 (30.7)	605 (31.6)	182 ( 9.5)	65 (3.4)	55 (2.9)	105 (5.5)	121 (6.3)	91 (4.7)	46 (2.4)	57 (3.0)	69
	昭44+45 (再 掲)	2,571	2,502 (100.0)	47 ( 2.0)	818 (34.8)	730 (31.0)	253 (10.8)	130 (5.5)	156 (6.6)	92 (3.9)	56 (2.4)	22 (0.9)	48 (2.0)	69

表14. 性，年令別患者数

区 分	總 数	男女計																		確実例+容疑例		
		年 令																		80才以上	年 令不明	
		計 (除不明)	0~4才	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79				
總 数	9,249	9,211 (1000)	3 (0.0)	10 (0.1)	30 (0.3)	189 (2.1)	375 (4.1)	513 (5.6)	643 (7.0)	833 (9.0)	951 (10.3)	898 (9.7)	888 (9.6)	1,128 (12.2)	1,015 (11.0)	881 (9.6)	505 (5.5)	257 (2.8)	92 (1.0)	38		
初 診	總 数 (除初診年次不明)	8,687	8,661 (1000)	3 (0.0)	10 (0.1)	29 (0.3)	171 (2.0)	345 (4.0)	492 (5.7)	606 (7.0)	785 (9.1)	886 (10.2)	845 (9.8)	837 (9.7)	1,062 (12.3)	961 (11.1)	820 (9.5)	478 (5.5)	243 (2.8)	88 (1.0)	26	
	昭 41 以前	1,349	1,344 (1000)	1 (0.0)	0	2 (0.1)	19 (1.4)	45 (3.3)	73 (5.4)	84 (6.3)	122 (9.1)	141 (10.5)	147 (10.9)	129 (9.6)	162 (12.1)	157 (11.7)	127 (9.4)	71 (5.3)	47 (3.5)	17 (1.3)	5	
	42	1,374	1,367 (1000)	1 (0.0)	5 (0.4)	5 (0.4)	33 (2.4)	65 (4.8)	75 (5.5)	107 (7.8)	121 (8.9)	145 (10.6)	126 (9.2)	128 (9.4)	175 (12.8)	130 (9.5)	135 (9.9)	71 (5.2)	32 (2.3)	13 (1.0)	7	
	43	1,794	1,786 (1000)	0	1 (0.1)	8 (0.4)	31 (1.7)	71 (4.0)	99 (5.5)	105 (5.9)	173 (9.7)	185 (10.4)	154 (8.6)	169 (9.5)	219 (12.3)	228 (12.8)	169 (9.5)	100 (5.6)	55 (3.1)	19 (1.1)	8	
	44	2,418	2,412 (1000)	1 (0.0)	2 (0.1)	11 (0.5)	52 (2.2)	92 (3.8)	139 (5.8)	178 (7.4)	210 (8.7)	253 (10.5)	245 (10.2)	248 (10.3)	296 (12.3)	241 (10.0)	220 (9.1)	133 (5.5)	63 (2.6)	28 (1.2)	6	
	45	1,652	1,652 (1000)	0	2 (0.1)	3 (0.2)	35 (2.1)	66 (4.0)	98 (5.9)	123 (7.4)	155 (9.4)	156 (9.4)	165 (10.0)	153 (9.3)	191 (11.6)	195 (11.8)	156 (9.4)	99 (6.0)	46 (2.8)	9 (0.5)	0	
	46	95	95 (1000)	0	0	0	1 (1.1)	6 (6.3)	8 (8.4)	9 (9.5)	4 (4.2)	6 (6.3)	8 (8.4)	8 (8.4)	18 (18.9)	8 (8.4)	13 (13.7)	4 (4.2)	0	2 (2.1)	0	
	47	5	5 (1000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (40.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	0	0	0	0	0	
	次 年	昭 42+43 (再 掲)	3,168	3,153 (1000)	1 (0.0)	6 (0.2)	13 (0.4)	64 (2.0)	136 (4.3)	174 (5.5)	212 (6.7)	294 (9.3)	330 (10.5)	280 (8.9)	297 (9.4)	394 (12.5)	356 (11.4)	304 (9.6)	171 (5.4)	87 (2.8)	32 (1.0)	15
		昭 44+45 (再 掲)	4,070	4,064 (1000)	1 (0.0)	4 (0.1)	14 (0.3)	87 (2.1)	158 (3.9)	237 (5.8)	301 (7.4)	365 (9.0)	409 (10.1)	410 (10.1)	401 (9.9)	487 (12.0)	436 (10.7)	376 (9.3)	232 (5.7)	109 (2.7)	37 (0.9)	6

表14. 性，年令別患者数（つづき1）

区 分	総 数	男																			年 令
		確実例+容疑例																			
		年 令 別																			
計 (除不明)	0~4才	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80才 以上	不 明			
総 数	3,064	3,052 (100.0)	1 (0.0)	4 (0.1)	18 (0.6)	97 (3.2)	123 (4.0)	214 (7.0)	273 (8.9)	322 (10.6)	353 (11.6)	290 (9.5)	271 (8.9)	301 (9.9)	285 (9.3)	258 (8.5)	146 (4.8)	80 (2.6)	16 (0.5)	12	
初 年 次	総 数 (除初診年次不明)	2,855	2,849 (100.0)	1 (0.0)	4 (0.1)	17 (0.6)	89 (3.1)	110 (3.9)	206 (7.2)	254 (8.9)	305 (10.7)	326 (11.4)	267 (9.4)	250 (8.8)	281 (9.9)	274 (9.6)	235 (8.2)	141 (4.9)	75 (2.6)	14 (0.5)	6
	昭 41 以前	419	419 (100.0)	0	0	2 (0.5)	7 (1.7)	12 (2.9)	29 (6.9)	35 (8.4)	49 (11.7)	53 (12.6)	43 (10.3)	32 (7.6)	43 (10.3)	36 (8.6)	39 (9.3)	24 (5.7)	14 (3.3)	1 (0.2)	0
	42	484	483 (100.0)	0	2 (0.4)	3 (0.6)	15 (3.1)	28 (5.8)	32 (6.6)	49 (10.1)	46 (9.5)	54 (11.2)	44 (9.1)	39 (8.1)	57 (11.8)	46 (9.5)	35 (7.2)	22 (4.6)	8 (1.7)	3 (0.6)	1
	43	561	558 (100.0)	0	1 (0.2)	5 (0.9)	16 (2.9)	25 (4.5)	45 (8.1)	36 (6.5)	62 (11.1)	66 (11.8)	37 (6.6)	54 (9.7)	53 (9.5)	69 (12.4)	44 (7.9)	28 (5.0)	15 (2.7)	2 (0.4)	3
	44	780	778 (100.0)	1 (0.1)	0	6 (0.8)	31 (4.0)	22 (2.8)	60 (7.7)	75 (9.6)	75 (9.6)	96 (12.3)	77 (9.9)	73 (9.4)	74 (9.5)	65 (8.4)	64 (8.2)	33 (4.2)	20 (2.6)	6 (0.8)	2
	45	570	570 (100.0)	0	1 (0.2)	1 (0.2)	20 (3.5)	20 (3.5)	37 (6.5)	55 (9.6)	71 (12.5)	55 (9.6)	63 (11.1)	47 (8.2)	46 (8.1)	55 (9.6)	46 (8.1)	33 (5.8)	18 (3.2)	2 (0.4)	0
	46	40	40 (100.0)	0	0	0	0	3 (7.5)	3 (7.5)	4 (10.0)	2 (5.0)	2 (5.0)	3 (7.5)	5 (12.5)	7 (17.5)	3 (7.5)	7 (17.5)	1 (2.5)	0	0	0
	47	1	1 (100.0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (100.0)	0	0	0	0	0	0
	昭 42+43 (再 掲)	1,045	1,041 (100.0)	0	3 (0.3)	8 (0.8)	31 (3.0)	53 (5.1)	77 (7.4)	85 (8.2)	108 (10.4)	120 (11.5)	81 (7.8)	93 (8.9)	110 (10.6)	115 (11.0)	79 (7.6)	50 (4.8)	23 (2.2)	5 (0.5)	4
昭 44+45 (再 掲)	1,350	1,348 (100.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	7 (0.5)	51 (3.8)	42 (3.1)	97 (7.2)	130 (9.6)	146 (10.8)	151 (11.2)	140 (10.4)	120 (8.9)	120 (8.9)	120 (8.9)	110 (8.2)	66 (4.9)	38 (2.8)	8 (0.6)	2	

表14. 性，年令別患者数（つづき2）

女 確実例+容疑例

区 分	総 数	年 令 別																		年 令 不 明		
		計 (除不明)	0~4才	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80才 以上			
総 数	6,143	6,118 (1000)	2 (0.0)	6 (0.1)	12 (0.2)	91 (1.5)	250 (4.1)	298 (4.9)	368 (6.0)	511 (8.4)	596 (9.7)	602 (9.8)	613 (10.0)	821 (13.4)	727 (11.9)	615 (10.1)	356 (5.8)	174 (2.8)	76 (1.2)	25		
初 診 年 次	総 数 (除初診年次不明)	5,791	5,772 (1000)	2 (0.0)	6 (0.1)	12 (0.2)	81 (1.4)	233 (4.0)	285 (4.9)	350 (6.1)	480 (8.3)	558 (9.7)	572 (9.9)	583 (10.1)	776 (13.4)	684 (11.9)	577 (10.0)	334 (5.8)	165 (2.9)	74 (1.3)	19	
	昭 41 以前	929	924 (1000)	1 (0.1)	0	0	12 (1.3)	33 (3.6)	44 (4.8)	49 (5.3)	73 (7.9)	88 (9.5)	104 (11.3)	97 (10.5)	119 (12.9)	121 (13.1)	87 (9.4)	47 (5.1)	33 (3.6)	16 (1.7)	5	
	42	886	881 (1000)	1 (0.1)	3 (0.3)	2 (0.2)	18 (2.0)	37 (4.2)	43 (4.9)	58 (6.6)	75 (8.5)	91 (10.3)	81 (9.2)	89 (10.1)	118 (13.4)	83 (9.4)	100 (11.4)	49 (5.6)	23 (2.6)	10 (1.1)	5	
	43	1,231	1,226 (1000)	0	0	3 (0.2)	15 (1.2)	46 (3.8)	54 (4.4)	69 (5.6)	111 (9.1)	119 (9.7)	116 (9.5)	114 (9.3)	166 (13.5)	159 (13.0)	125 (10.2)	72 (5.9)	40 (3.3)	17 (1.4)	5	
	44	1,614	1,610 (1000)	0	2 (0.1)	5 (0.3)	20 (1.2)	69 (4.3)	79 (4.9)	101 (6.3)	135 (8.4)	157 (9.8)	164 (10.2)	172 (10.7)	220 (13.7)	174 (10.8)	150 (9.3)	98 (6.1)	42 (2.6)	22 (1.4)	4	
	45	1,073	1,073 (1000)	0	1 (0.1)	2 (0.2)	15 (1.4)	45 (4.2)	60 (5.6)	68 (6.3)	84 (7.8)	100 (9.3)	102 (9.5)	106 (9.9)	142 (13.2)	140 (13.0)	109 (10.2)	65 (6.1)	27 (2.5)	7 (0.7)	0	
	46	54	54 (1000)	0	0	0	1 (1.9)	3 (5.6)	5 (9.3)	5 (9.3)	2 (3.7)	3 (5.6)	5 (9.3)	3 (5.6)	11 (20.4)	5 (9.3)	6 (11.1)	3 (5.6)	0	2 (3.7)	0	
	47	4	4 (1000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (50.0)	0	2 (50.0)	0	0	0	0	0	0
	昭 42+43 (再 掲)	2,117	2,107 (1000)	1 (0.0)	3 (0.1)	5 (0.2)	33 (1.6)	83 (3.9)	97 (4.6)	127 (6.0)	186 (8.8)	210 (10.0)	197 (9.3)	203 (9.6)	284 (13.5)	242 (11.5)	225 (10.7)	121 (5.7)	63 (3.0)	27 (1.3)	10	
昭 44+45 (再 掲)	2,687	2,683 (1000)	0	3 (0.1)	7 (0.3)	35 (1.3)	114 (4.2)	139 (5.2)	169 (6.3)	219 (8.2)	257 (9.6)	266 (9.9)	278 (10.4)	362 (13.5)	314 (11.7)	259 (9.7)	163 (6.1)	69 (2.6)	29 (1.1)	4		

表15. 性，年 令 別 患 者 数

区 分	総 数	年 令 別																		年 令		
		計 (除不明)	0~4才	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80才 以上		不 明	
総 数	5,839	5,821 (1000)	1 (0.0)	4 (0.1)	20 (0.3)	106 (1.8)	243 (4.2)	331 (5.7)	411 (7.1)	544 (9.3)	608 (10.4)	562 (9.7)	583 (10.0)	723 (12.4)	646 (11.1)	553 (9.5)	309 (5.3)	133 (2.3)	44 (0.8)	18		
初 診 年 次	総 数 (除初診年次不明)	5,493	5,481 (1000)	1 (0.0)	4 (0.0)	19 (0.3)	95 (1.7)	230 (4.2)	321 (5.9)	387 (7.1)	511 (9.3)	568 (10.4)	529 (9.7)	548 (10.0)	682 (12.4)	611 (11.1)	515 (9.4)	292 (5.3)	127 (2.3)	41 (0.7)	12	
	昭 41 以前	877	875 (1000)	0	0	2 (0.2)	10 (1.1)	31 (3.5)	44 (5.0)	56 (6.4)	84 (9.6)	96 (11.0)	102 (11.7)	88 (10.1)	105 (12.0)	104 (11.9)	74 (8.5)	47 (5.4)	24 (2.7)	8 (0.9)	2	
	42	863	858 (1000)	1 (0.1)	1 (0.1)	2 (0.2)	19 (2.2)	45 (5.2)	51 (5.9)	57 (6.6)	79 (9.2)	93 (10.8)	68 (7.9)	85 (9.9)	121 (14.1)	84 (9.8)	85 (9.9)	44 (5.1)	17 (2.0)	6 (0.7)	5	
	43	1,122	1,117 (1000)	0	1 (0.1)	2 (0.2)	18 (1.6)	51 (4.6)	67 (6.0)	70 (6.3)	113 (10.1)	114 (10.2)	96 (8.6)	104 (9.3)	134 (12.0)	135 (12.1)	112 (10.0)	61 (5.5)	32 (2.9)	7 (0.6)	5	
	44	1,552	1,552 (1000)	0	1 (0.1)	11 (0.7)	26 (1.7)	56 (3.6)	91 (5.9)	120 (7.7)	138 (8.9)	170 (11.0)	162 (10.4)	162 (10.4)	189 (12.2)	160 (10.3)	143 (9.2)	77 (5.0)	29 (1.9)	17 (1.1)	0	
	45	1,019	1,019 (1000)	0	1 (0.1)	2 (0.2)	22 (2.2)	45 (4.4)	62 (6.1)	76 (7.5)	95 (9.3)	94 (9.2)	97 (9.5)	101 (9.9)	126 (12.4)	120 (11.8)	90 (8.8)	60 (5.9)	25 (2.5)	3 (0.3)	0	
	46	56	56 (1000)	0	0	0	0	2 (3.6)	6 (10.7)	8 (14.3)	2 (3.6)	1 (1.8)	4 (7.1)	6 (10.7)	6 (10.7)	7 (12.5)	11 (19.6)	3 (5.4)	0	0	0	
	47	4	4 (1000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	0	0	0	0	0	
	次	昭 42+43 (再 掲)	1,985	1,975 (1000)	1 (0.1)	2 (0.1)	4 (0.2)	37 (1.9)	96 (4.9)	118 (6.0)	127 (6.4)	192 (9.7)	207 (10.5)	164 (8.3)	189 (9.6)	255 (12.9)	219 (11.1)	197 (10.0)	105 (5.3)	49 (2.5)	13 (0.7)	10
		昭 44+45 (再 掲)	2,571	2,571 (1000)	0	2 (0.1)	13 (0.5)	48 (1.9)	101 (3.9)	153 (6.0)	196 (7.6)	233 (9.1)	264 (10.3)	259 (10.1)	263 (10.2)	315 (12.3)	280 (10.9)	233 (9.1)	137 (5.3)	54 (2.1)	20 (0.8)	0

表15. 性，年 令 別 患 者 数 (つづき1)

男 確実例のみ(再掲)

区 分	総 数	年 令 別																		年 令 不 明	
		計 (除不明)	0~4才	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80才 以 上		
総 数	1890	1884 (1000)	0	2 (0.1)	11 (0.6)	55 (2.9)	81 (4.3)	134 (7.1)	180 (9.6)	201 (10.7)	227 (12.0)	174 (9.2)	176 (9.3)	177 (9.4)	176 (9.3)	151 (8.0)	89 (4.7)	40 (2.1)	10 (0.5)	6	
初 診	総 数 (除初診年次不明)	1756 (1000)	0	2 (0.1)	10 (0.6)	49 (2.8)	76 (4.3)	130 (7.4)	169 (9.6)	189 (10.8)	209 (11.9)	159 (9.1)	160 (9.1)	164 (9.4)	167 (9.5)	136 (7.8)	85 (4.9)	38 (2.2)	9 (0.5)	4	
	昭 41 以前	273 (1000)	0	0	2 (0.7)	4 (1.5)	9 (3.3)	17 (6.2)	25 (9.2)	32 (11.7)	39 (14.3)	32 (11.7)	22 (8.1)	27 (9.9)	16 (5.9)	28 (10.3)	13 (4.8)	6 (2.2)	1 (0.4)	0	
	42	305 (1000)	0	1 (0.3)	1 (0.3)	10 (3.3)	19 (6.3)	22 (7.2)	28 (9.2)	28 (9.2)	37 (12.2)	22 (7.2)	28 (9.2)	34 (11.2)	34 (11.2)	21 (6.9)	14 (4.6)	4 (1.3)	1 (0.3)	1	
	43	337 (1000)	0	1 (0.3)	1 (0.3)	9 (2.7)	18 (5.4)	29 (8.7)	24 (7.2)	40 (12.0)	35 (10.5)	24 (7.2)	32 (9.6)	28 (8.4)	40 (12.0)	25 (7.5)	16 (4.8)	11 (3.3)	1 (0.3)	3	
	44	485 (1000)	0	0	6 (1.2)	14 (2.9)	14 (2.9)	38 (7.8)	52 (10.7)	46 (9.5)	67 (13.8)	47 (9.7)	46 (9.5)	43 (8.9)	42 (8.7)	34 (7.0)	24 (4.9)	6 (1.2)	6 (1.2)	0	
	45	331 (1000)	0	0	0	12 (3.6)	16 (4.8)	22 (6.6)	36 (10.9)	43 (13.0)	30 (9.1)	33 (10.0)	28 (8.5)	29 (8.8)	32 (9.7)	22 (6.6)	17 (5.1)	11 (3.3)	0	0	
	46	24 (1000)	0	0	0	0	0	2 (8.3)	4 (16.7)	0	1 (4.2)	1 (4.2)	4 (16.7)	2 (8.3)	3 (12.5)	6 (25.0)	1 (4.2)	0	0	0	
	47	1 (1000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1000)	0	0	0	0	0	0	
	次 診	昭 42+43 (再 掲)	642 (1000)	0	2 (0.3)	2 (0.3)	19 (3.0)	37 (5.8)	51 (8.0)	52 (8.2)	68 (10.7)	72 (11.3)	46 (7.2)	60 (9.4)	62 (9.7)	74 (11.6)	46 (7.2)	30 (4.7)	15 (2.4)	2 (0.3)	4
		昭 44+45 (再 掲)	816 (1000)	0	0	6 (0.7)	26 (3.2)	30 (3.7)	60 (7.4)	88 (10.8)	89 (10.9)	97 (11.9)	80 (9.8)	74 (9.1)	72 (8.8)	74 (9.1)	56 (6.9)	41 (5.0)	17 (2.1)	6 (0.7)	0

表15. 性，年令別患者数（つづき2）

女 確実例のみ（再掲）

区 分	総 数	年 令 別																		年 令 不 明	
		計 (除不明)	0~4才	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80才 以上		
総 数	3,926	3,915 (100.0)	1 (0.0)	2 (0.1)	9 (0.2)	50 (1.3)	161 (4.1)	196 (5.0)	230 (5.9)	343 (8.8)	381 (9.7)	385 (9.8)	405 (10.3)	543 (13.9)	469 (12.0)	396 (10.1)	219 (5.6)	91 (2.3)	34 (0.9)	11	
初 診 年 次	総 数 (除初診年次不明)	3,714	3,707 (100.0)	1 (0.0)	2 (0.1)	9 (0.2)	45 (1.2)	153 (4.1)	190 (5.1)	217 (5.9)	322 (8.7)	359 (9.7)	367 (9.9)	386 (10.4)	515 (13.9)	443 (12.0)	373 (10.1)	206 (5.6)	87 (2.3)	32 (0.9)	7
	昭 41 以前	604	602 (100.0)	0	0	0	6 (1.0)	22 (3.7)	27 (4.5)	31 (5.1)	52 (8.6)	57 (9.5)	70 (11.6)	66 (11.0)	78 (13.0)	88 (14.6)	46 (7.6)	34 (5.6)	18 (3.0)	7 (1.2)	2
	42	555	552 (100.0)	1 (0.2)	0	1 (0.2)	9 (1.6)	26 (4.7)	29 (5.3)	29 (5.3)	51 (9.2)	56 (10.1)	46 (8.3)	57 (10.3)	87 (15.8)	49 (8.9)	64 (11.6)	30 (5.4)	12 (2.2)	5 (0.9)	3
	43	783	781 (100.0)	0	0	1 (0.1)	9 (1.2)	33 (4.2)	38 (4.9)	46 (5.9)	73 (9.3)	79 (10.1)	71 (9.1)	71 (9.1)	106 (13.6)	95 (12.2)	87 (11.1)	45 (5.8)	21 (2.7)	6 (0.8)	2
	44	1,054	1,054 (100.0)	0	1 (0.1)	5 (0.5)	11 (1.0)	41 (3.9)	53 (5.0)	67 (6.4)	92 (8.7)	103 (9.8)	113 (10.7)	115 (10.9)	145 (13.8)	118 (11.2)	104 (9.9)	52 (4.9)	23 (2.2)	11 (1.0)	0
	45	683	683 (100.0)	0	1 (0.1)	2 (0.3)	10 (1.5)	29 (4.2)	39 (5.7)	40 (5.9)	52 (7.6)	64 (9.4)	64 (9.4)	73 (10.7)	95 (13.9)	88 (12.9)	67 (9.8)	43 (6.3)	13 (1.9)	3 (0.4)	0
	46	32	32 (100.0)	0	0	0	0	2 (6.3)	4 (12.5)	4 (12.5)	2 (6.3)	0	3 (9.4)	2 (6.3)	4 (12.5)	4 (12.5)	5 (15.6)	2 (6.3)	0	0	0
	47	3	3 (100.0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (66.7)	0	1 (33.3)	0	0	0	0	5
	昭 42+43 (再 掲)	1,338	1,333 (100.0)	1 (0.1)	0	2 (0.2)	18 (1.4)	59 (4.4)	67 (5.0)	75 (5.6)	124 (9.3)	135 (10.1)	117 (8.8)	128 (9.6)	193 (14.5)	144 (10.8)	151 (11.3)	75 (5.6)	33 (2.5)	11 (0.8)	5
	昭 44+45 (再 掲)	1,737	1,737 (100.0)	0	2 (0.1)	7 (0.4)	21 (1.2)	70 (4.0)	92 (5.3)	107 (6.2)	144 (8.3)	167 (9.6)	177 (10.2)	188 (10.8)	240 (13.8)	206 (11.9)	171 (9.8)	95 (5.5)	36 (2.1)	14 (0.8)	0

表 1 6 性，年令別受診患者率（人口 1 0 万対）

確実例+容疑例

区 分	總 數	年 令 別																		年令 不明		
		總 數 (除不明)	0~4才	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80才 以上			
昭和 4 4 年 推計人口 (單位 1,000人)	50,431	50,431	4,472	4,044	4,053	4,929	5,101	4,550	4,113	4,050	3,582	2,517	2,114	2,050	1,723	1,386	923	510	315			
男	全 受 診	3,064 (6.1)	3,052 (6.1)	1 (0.0)	4 (0.1)	18 (0.4)	97 (2.0)	123 (2.4)	214 (4.7)	273 (6.6)	322 (8.0)	353 (9.9)	290 (11.5)	271 (12.8)	301 (14.7)	285 (16.5)	258 (18.6)	146 (15.8)	80 (15.7)	16 (5.1)	12	
	年 次 別 初 診	昭 4 2	484 (1.0)	483 (1.0)	0 (0.0)	2 (0.0)	3 (0.1)	15 (0.3)	28 (0.5)	32 (0.7)	49 (1.2)	46 (1.1)	54 (1.5)	44 (1.7)	39 (1.8)	57 (2.8)	46 (2.7)	35 (2.5)	22 (2.4)	8 (1.6)	3 (1.0)	1
		4 3	561 (1.1)	558 (1.1)	0 (0.0)	1 (0.0)	5 (0.1)	16 (0.3)	25 (0.5)	45 (1.0)	36 (0.9)	62 (1.5)	66 (1.8)	37 (1.5)	54 (2.6)	53 (2.6)	69 (4.0)	44 (3.2)	28 (3.0)	15 (2.9)	2 (0.6)	3
		4 4	780 (1.5)	778 (1.5)	1 (0.0)	0 (0.0)	6 (0.1)	31 (0.6)	22 (0.4)	60 (1.3)	75 (1.8)	75 (1.9)	96 (2.7)	77 (3.1)	73 (3.5)	74 (3.6)	65 (3.8)	64 (4.6)	33 (3.6)	20 (3.9)	6 (1.9)	2
		4 5	570 (1.1)	570 (1.1)	0 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	20 (0.4)	20 (0.4)	37 (0.8)	55 (1.3)	71 (1.8)	55 (1.6)	63 (2.5)	47 (2.2)	46 (2.2)	55 (3.2)	46 (3.3)	33 (3.6)	18 (3.5)	2 (0.6)	0
昭和 4 4 年 推計人口 (單位 1,000人)	52,216	52,216	4,230	3,890	3,912	4,779	5,047	4,642	4,153	4,021	3,652	3,117	2,538	2,365	1,896	1,551	1,115	712	597			
女	全 受 診	6,143 (11.8)	6,118 (11.7)	2 (0.0)	6 (0.2)	12 (0.3)	91 (1.9)	250 (5.0)	298 (6.4)	368 (8.9)	511 (12.7)	596 (16.3)	602 (19.3)	613 (24.2)	821 (34.7)	727 (38.3)	615 (39.7)	356 (31.9)	174 (24.4)	76 (12.7)	25	
	年 次 別 初 診	昭 4 2	886 (1.7)	881 (1.7)	1 (0.0)	3 (0.1)	2 (0.1)	18 (0.4)	37 (0.7)	43 (0.9)	58 (1.4)	75 (1.9)	91 (2.5)	81 (2.6)	89 (3.5)	118 (5.0)	83 (4.4)	100 (6.4)	49 (4.4)	23 (3.2)	10 (1.7)	5
		4 3	1,231 (2.4)	1,226 (2.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.1)	15 (0.3)	46 (0.9)	54 (1.2)	69 (1.7)	111 (2.8)	119 (3.3)	116 (3.7)	114 (4.5)	166 (7.0)	159 (8.4)	125 (8.1)	72 (6.5)	40 (5.6)	17 (2.8)	5
		4 4	1,614 (3.1)	1,610 (3.1)	0 (0.0)	2 (0.1)	5 (0.1)	20 (0.4)	69 (1.4)	79 (1.7)	101 (2.4)	135 (3.4)	157 (4.3)	164 (5.3)	172 (6.8)	220 (9.3)	174 (9.2)	150 (9.7)	98 (8.8)	42 (5.9)	22 (3.7)	4
		4 5	1,073 (2.1)	1,073 (2.1)	0 (0.0)	1 (0.0)	2 (0.1)	15 (0.3)	45 (0.9)	60 (1.3)	68 (1.6)	84 (2.1)	100 (2.7)	102 (3.3)	106 (4.2)	142 (6.0)	140 (7.4)	109 (7.0)	65 (5.8)	27 (3.8)	7 (1.2)	0

表 1 7 職 業 別 患 者 数

全 例

区 分	昭40.10.1 国勢調査人口 (推計値) 単位1,000人	全 例		昭42+43 初診 (再掲)		昭44+45 初診 (再掲)	
		患 者 数	人口10万対率 (%)	患 者 数	年 平 均 人口10万対率	患 者 数	年 平 均 人口10万対率
医 療 従 事 者	676.5	129	19.0	49	3.6	60	4.4
そ の 他 の 専 門 職	2,002.3	310	15.5	94	2.3	151	3.8
管 理	1,414.9	119	8.4	40	1.4	53	1.9
事 務	6,181.6	1,263	20.4	483	3.9	507	4.1
販 売	5,586.8	311	5.6	119	1.0	114	1.0
農 林	11,114.0	594	5.3	203	0.9	283	1.3
漁 業	562.0	17	3.0	7	0.6	7	0.6
採 鉱	227.9	18	7.9	3	0.6	13	2.9
運 輸	2,075.9	132	6.4	42	1.0	69	1.7
工 員	14,326.8	388	2.7	133	0.5	177	0.6
サ ー ビ ス	3,441.2	172	5.0	47	0.7	91	1.3
主 婦	※14,822.6	2,229	15.0	807	2.7	956	3.2
無 職 ・ そ の 他	※13,260.0	2,083	16.0	672	2.5	905	3.4
児 童 ・ 生 徒 ・ 学 生	※2,114.30	189	0.9	59	0.1	96	0.2
分 類 不 能		186		38		121	
無 記 入		1,109		372		467	

表18 主な項目の性，年齢別集計成績

新・旧両調査票共通項目のみ  
(コード/625~29, 39, 45, 56, 83~85)

区分	総数	625 受療状況					626 歩行 (新; 診断時, 旧; 調査時)						
		計 (除不明)	1 入院	2 通院	3 その他	不明	計 (除不明)	1 不能	2 かろうじて可	3 ほぼ正常 ~正常	不明		
総数	9,249	8,322 (100.0)	2,621 (31.5)	3,771 (45.3)	1,935 (23.2)	922	8,178 (100.0)	1,144 (14.0)	2,526 (30.9)	4,508 (55.1)	1,071		
性・年齢別 (除性年齢不明)	総数	9,170	8,262 (100.0)	2,604 (31.5)	3,737 (45.2)	1,921 (23.3)	908	8,118 (100.0)	1,134 (14.0)	2,510 (30.9)	4,474 (55.1)	1,052	
	男	~39才	2,590	2,312 (100.0)	647 (28.0)	1,082 (46.8)	583 (25.2)	278	2,263 (100.0)	204 (9.0)	564 (24.9)	1,495 (66.1)	327
	女	40~59	3,847	3,471 (100.0)	1,100 (31.7)	1,600 (46.1)	771 (22.2)	376	3,413 (100.0)	404 (11.8)	1,076 (31.5)	1,933 (56.6)	434
	計	60才~	2,733	2,479 (100.0)	857 (34.6)	1,055 (42.6)	567 (22.9)	254	2,442 (100.0)	526 (21.5)	870 (35.6)	1,046 (42.8)	291
	男	総数	3,052	2,726 (100.0)	789 (28.9)	1,310 (48.1)	627 (23.0)	326	2,705 (100.0)	298 (11.0)	744 (27.5)	1,663 (61.5)	347
	女	~39才	1,052	937 (100.0)	243 (25.9)	451 (48.1)	243 (25.9)	115	926 (100.0)	73 (7.9)	202 (21.8)	651 (70.3)	126
	男	40~59	1,215	1,082 (100.0)	322 (29.8)	525 (48.5)	235 (21.7)	133	1,078 (100.0)	94 (8.7)	302 (28.0)	682 (63.3)	137
	女	60才~	785	707 (100.0)	224 (31.7)	334 (47.2)	149 (21.1)	78	701 (100.0)	131 (18.7)	240 (34.2)	330 (47.1)	84
女	総数	6,118	5,536 (100.0)	1,815 (32.8)	2,427 (43.8)	1,294 (23.4)	582	5,413 (100.0)	836 (15.4)	1,766 (32.6)	2,811 (51.9)	705	
女	~39才	1,538	1,375 (100.0)	404 (29.4)	631 (45.9)	340 (24.7)	163	1,337 (100.0)	131 (9.8)	362 (27.1)	844 (63.1)	201	
女	40~59	2,632	2,389 (100.0)	1,778 (32.6)	1,075 (45.0)	536 (22.4)	243	2,335 (100.0)	310 (13.0)	774 (33.1)	1,251 (53.6)	297	
女	60才	1,948	1,772 (100.0)	633 (35.7)	721 (40.7)	418 (23.6)	176	1,741 (100.0)	395 (22.7)	630 (36.2)	716 (41.1)	207	

表18 主な項目の性、年齢別集計成績(つづき1)

新・旧両調査票共通項目のみ

区分	総数	表27 視力 (新;診断時,旧;調査時)					表28 経過							
		計 (除不明)	1 全盲	2 低下	3 正常	不明	計 (除不明)	1 死亡	2 悪化	3 不変	4 軽快	5 治ゆ	不明	
総数	9,249	7,946 (100.0)	213 (2.7)	1,734 (21.8)	5,999 (75.5)	1,303	7,914 (100.0)	503 (6.4)	476 (6.0)	2,454 (31.0)	4,138 (52.3)	343 (4.3)	1,335	
性・年齢別 (除性年齢不明)	男	総数	9,170 (100.0)	212 (2.7)	1,719 (21.8)	5,954 (75.5)	1,285	7,853 (100.0)	499 (6.4)	472 (6.0)	2,436 (31.0)	4,105 (52.3)	341 (4.3)	1,317
		～39才	2,590 (100.0)	43 (1.9)	382 (17.2)	1,790 (80.8)	375	2,192 (100.0)	65 (3.0)	99 (4.5)	524 (23.9)	1,311 (59.8)	193 (8.8)	398
		40～ 59才	3,847 (100.0)	101 (3.1)	682 (20.6)	2,524 (76.3)	540	3,285 (100.0)	154 (4.7)	195 (5.9)	1,072 (32.6)	1,757 (53.5)	107 (3.3)	562
		60才～	2,733 (100.0)	68 (2.9)	655 (27.7)	1,640 (69.4)	370	2,376 (100.0)	280 (11.8)	178 (7.5)	840 (35.4)	1,037 (43.6)	41 (1.7)	357
		総数	3,052 (100.0)	71 (2.7)	587 (22.3)	1,972 (75.0)	422	2,634 (100.0)	168 (6.4)	150 (5.7)	822 (31.2)	1,354 (51.4)	140 (5.3)	418
	男	～39才	1,052 (100.0)	18 (2.0)	172 (19.0)	716 (79.0)	146	904 (100.0)	26 (2.9)	40 (4.4)	222 (24.6)	537 (59.4)	79 (8.7)	148
		40～ 59才	1,215 (100.0)	38 (3.7)	210 (20.2)	790 (76.1)	177	1,048 (100.0)	46 (4.4)	60 (5.7)	359 (34.3)	540 (51.5)	43 (4.1)	167
		60才～	785 (100.0)	15 (2.2)	205 (29.9)	466 (67.9)	99	682 (100.0)	96 (14.1)	50 (7.3)	241 (35.3)	277 (40.6)	18 (2.6)	103
	女	総数	5,118 (100.0)	141 (2.7)	1,132 (21.5)	3,982 (75.8)	836	5,219 (100.0)	331 (6.3)	322 (6.2)	1,614 (30.9)	2,751 (52.7)	201 (3.9)	899
		～39才	1,538 (100.0)	25 (1.9)	210 (16.0)	1,074 (82.0)	229	1,288 (100.0)	39 (3.0)	59 (4.6)	302 (23.4)	774 (60.1)	114 (8.9)	250
		40～ 59才	2,632 (100.0)	63 (2.8)	472 (20.8)	1,734 (76.4)	363	2,237 (100.0)	108 (4.8)	135 (6.0)	713 (31.9)	1,217 (54.4)	64 (2.9)	395
		60才～	1,948 (100.0)	53 (3.2)	450 (26.8)	1,174 (70.0)	271	1,694 (100.0)	184 (10.9)	128 (7.6)	599 (35.4)	760 (44.9)	23 (1.4)	254

表18 主な項目の性、年齢別集計成績(つづき2)

新・旧両調査票共通項目のみ

区分	総数	㊦29 家族からの発病				㊦39 異常知覚の有無				㊦45 下肢筋力低下の有無					
		計 (除不明)	1 あり	2 なし	不明	計 (除不明)	1 あり	2 なし	不明	計 (除不明)	1 あり	2 なし	不明		
総数	9,249	7,630 (100.0)	234 (3.1)	7,396 (96.9)	1,619	8,498 (100.0)	7,943 (93.5)	555 (6.5)	751	8,287 (100.0)	5,832 (70.4)	2,455 (29.6)	962		
性・年齢別 (除性年齢不明)	男	総数	9,170	7,577 (100.0)	233 (3.1)	7,344 (96.9)	1,593	8,431 (100.0)	7,886 (93.5)	545 (6.5)	739	8,223 (100.0)	5,789 (70.4)	2,434 (29.6)	947
		～39才	2,590	2,107 (100.0)	82 (3.9)	2,025 (96.1)	483	2,387 (100.0)	2,199 (92.1)	188 (7.9)	203	2,338 (100.0)	1,503 (64.3)	835 (35.7)	252
	女	40～59才	3,847	3,172 (100.0)	89 (2.8)	3,083 (97.2)	675	3,543 (100.0)	3,337 (94.2)	206 (5.8)	304	3,438 (100.0)	2,361 (68.7)	1,077 (31.3)	409
		60才～	2,733	2,298 (100.0)	62 (2.7)	2,236 (97.3)	435	2,501 (100.0)	2,350 (94.0)	151 (6.0)	232	2,447 (100.0)	1,925 (78.7)	522 (21.3)	286
		総数	3,052	2,500 (100.0)	74 (3.0)	2,426 (97.0)	552	2,799 (100.0)	2,603 (93.0)	196 (7.0)	253	2,712 (100.0)	1,796 (66.2)	916 (33.8)	340
		～39才	1,052	852 (100.0)	28 (3.3)	824 (96.7)	200	961 (100.0)	883 (91.9)	78 (8.1)	91	938 (100.0)	559 (59.6)	379 (40.4)	114
	男	40～59才	1,215	987 (100.0)	20 (2.0)	967 (98.0)	228	1,119 (100.0)	1,049 (93.7)	70 (6.3)	96	1,080 (100.0)	711 (65.8)	369 (34.2)	135
		60才～	785	661 (100.0)	26 (3.9)	635 (96.1)	124	719 (100.0)	671 (93.3)	48 (6.7)	66	694 (100.0)	526 (75.8)	168 (24.2)	91
		総数	6,118	5,077 (100.0)	159 (3.1)	4,918 (96.9)	1,041	5,632 (100.0)	5,283 (93.8)	349 (6.2)	486	5,511 (100.0)	3,993 (72.5)	1,518 (27.5)	607
		～39才	1,538	1,255 (100.0)	54 (4.3)	1,201 (95.7)	283	1,426 (100.0)	1,316 (92.3)	110 (7.7)	112	1,400 (100.0)	944 (67.4)	456 (32.6)	138
	女	40～59才	2,632	2,185 (100.0)	69 (3.2)	2,116 (96.8)	447	2,424 (100.0)	2,288 (94.4)	136 (5.6)	208	2,358 (100.0)	1,650 (70.0)	708 (30.0)	274
		60才～	1,948	1,637 (100.0)	36 (2.2)	1,601 (97.8)	311	1,782 (100.0)	1,679 (94.2)	103 (5.8)	166	1,753 (100.0)	1,399 (79.8)	354 (20.2)	195

表18 主な項目の性、年齢別集計成績(つづき3)

新・旧両調査票共通項目のみ

区 分	総 数	※56 勝敗・直腸障害				
		計 (除不明)	1 あり	2 なし	不 明	
総 数	9,249	8,072 (100.0)	1,492 (18.5)	6,580 (81.5)	1,177	
性・年齢別 (除性・年齢不明)	女	総 数	8,009 (100.0)	1,480 (18.5)	6,529 (81.5)	1,161
		～39才	2,275 (100.0)	355 (15.6)	1,920 (84.4)	315
		40～ 59才	3,847 (100.0)	570 (16.9)	2,801 (83.1)	476
		60才～	2,733 (100.0)	555 (23.5)	1,808 (76.5)	370
		計	9,170	2,275	355	1,920
	男	総 数	2,652 (100.0)	518 (19.5)	2,134 (80.5)	400
		～39才	1,052 (100.0)	924 (17.1)	158 (82.9)	128
		40～ 59才	1,215 (100.0)	172 (16.3)	880 (83.7)	163
		60才～	785 (100.0)	676 (27.8)	188 (72.2)	109
		計	3,052	2,652	518	2,134
女	総 数	5,357 (100.0)	962 (18.0)	4,395 (82.0)	761	
	～39才	1,538 (100.0)	1,351 (14.5)	197 (85.4)	187	
	40～ 59才	2,632 (100.0)	2,319 (17.2)	398 (82.8)	313	
	60才～	1,948 (100.0)	1,687 (21.8)	367 (78.2)	261	
	計	6,118	5,357	962	4,395	761

表18 主な項目の性，年齢別集計成績（つづき4）

新・旧両調査票共通項目のみ

区分	総数	表18 腹部症状 → 神経症状の期間 (10区分別)											期間 不明	
		計 (除不明)	1 同時期 以前	2 同時期	3 1ヶ月	4 2	5 3	6 4~6	7 7~12	8 13~24	9 25~36	10 37カ月 以上		
総数	9,249	7,900 (100.0)	172 (2.2)	2,697 (34.1)	2317 (29.3)	842 (10.7)	411 (5.2)	560 (7.1)	369 (4.7)	258 (3.3)	107 (1.4)	167 (2.1)	1,349	
性 ・ 年 令 別  (除 性 年 令 不 明)	男 計	総数	9,170 (100.0)	171 (2.2)	2,678 (34.2)	2,296 (29.3)	831 (10.6)	410 (5.2)	557 (7.1)	364 (4.6)	257 (3.3)	106 (1.4)	165 (2.1)	1,335
		~39才	2,590 (100.0)	43 (1.9)	733 (32.7)	665 (29.7)	235 (10.5)	117 (5.2)	175 (7.8)	114 (5.1)	82 (3.7)	32 (1.4)	43 (1.9)	351
		40~ 59才	3,847 (100.0)	74 (2.3)	1,115 (34.0)	945 (28.8)	352 (10.7)	181 (5.5)	231 (7.1)	155 (4.7)	110 (3.4)	38 (1.2)	75 (2.3)	571
		60才~	2,733 (100.0)	54 (2.3)	830 (35.8)	686 (29.6)	244 (10.5)	112 (4.8)	151 (6.5)	95 (4.1)	65 (2.8)	36 (1.2)	47 (2.0)	413
	女 計	総数	3,052 (100.0)	39 (1.5)	913 (35.8)	723 (28.4)	270 (10.6)	136 (5.3)	172 (6.8)	112 (4.4)	87 (3.4)	36 (1.4)	59 (2.3)	505
		~39才	1,052 (100.0)	10 (1.1)	306 (34.4)	252 (28.3)	89 (10.0)	49 (5.5)	71 (8.0)	46 (5.2)	41 (4.6)	11 (1.2)	15 (1.7)	162
		40~ 59才	1,215 (100.0)	20 (2.0)	362 (35.6)	297 (29.2)	110 (10.8)	58 (5.7)	59 (5.8)	48 (4.7)	24 (2.4)	15 (1.5)	25 (2.5)	197
		60才~	785 (100.0)	9 (1.4)	245 (38.3)	174 (27.2)	71 (11.1)	29 (4.5)	42 (6.6)	18 (2.8)	22 (3.4)	10 (1.6)	19 (3.0)	146
	除 性 年 令 不 明	総数	6,118 (100.0)	132 (2.5)	1,765 (33.4)	1,573 (29.7)	561 (10.6)	274 (5.2)	385 (7.3)	252 (4.8)	170 (3.2)	70 (1.3)	106 (2.0)	830
		~39才	1,538 (100.0)	33 (2.4)	427 (21.7)	413 (30.6)	146 (10.8)	68 (5.0)	104 (7.7)	68 (5.0)	41 (3.0)	21 (1.6)	28 (2.1)	189
		40~ 59才	2,632 (100.0)	54 (2.4)	753 (33.3)	648 (28.7)	242 (10.7)	123 (5.4)	172 (7.6)	107 (4.7)	86 (3.8)	23 (1.0)	50 (2.2)	374
		60才~	1,948 (100.0)	45 (2.7)	585 (34.8)	512 (30.5)	173 (10.3)	83 (4.9)	109 (6.5)	77 (4.6)	43 (2.6)	26 (1.5)	28 (1.7)	267

表18 主な項目の性、年齢別集計成績(つづき5)

新・旧両調査票共通項目のみ

区分	総数	※84 腹部症状 → 初診の期間 (10区分別)											期間不明	
		計 (除不明)	1 同時 以前	2 同時期	3 1ヶ月	4 2	5 3	6 4~6	7 7~12	8 13~24	9 25~36	10 37カ月 以上		
総数	9,249	7,614 (100.0)	798 (10.5)	2,317 (30.4)	1,112 (14.6)	531 (7.0)	326 (4.3)	610 (8.0)	659 (8.7)	514 (6.8)	290 (3.8)	457 (6.0)	1,635	
性・年齢別 (除性年齢不明)	女計	総数	9,170 (100.0)	796 (10.5)	2,301 (30.4)	1,101 (14.6)	526 (7.0)	323 (4.3)	606 (8.0)	652 (8.6)	509 (6.7)	289 (3.8)	455 (6.0)	1,612
		~39才	2,590 (100.0)	154 (7.1)	685 (31.4)	352 (16.1)	172 (7.9)	95 (4.4)	186 (8.5)	200 (9.2)	149 (6.8)	75 (3.4)	113 (5.2)	409
		40~ 59才	3,847 (100.0)	336 (10.7)	905 (28.8)	453 (14.4)	220 (7.0)	148 (4.7)	270 (8.6)	296 (9.4)	205 (6.5)	126 (4.0)	188 (6.0)	700
		60才~	2,733 (100.0)	306 (13.7)	711 (31.9)	296 (13.3)	134 (6.0)	80 (3.6)	150 (6.7)	156 (7.0)	155 (7.0)	88 (3.9)	154 (6.9)	503
	男	総数	3,052 (100.0)	269 (11.0)	713 (29.2)	338 (13.9)	154 (6.3)	104 (4.3)	199 (8.2)	224 (9.2)	189 (7.7)	96 (3.9)	133 (6.3)	613
		~39才	1,052 (100.0)	60 (6.9)	260 (29.9)	127 (14.6)	53 (6.1)	39 (4.5)	84 (9.7)	83 (9.6)	79 (9.1)	31 (3.6)	53 (6.1)	183
		40~ 59才	1,215 (100.0)	121 (12.6)	262 (27.2)	131 (13.6)	68 (7.1)	50 (5.2)	77 (8.0)	95 (9.9)	67 (7.0)	42 (4.4)	50 (5.2)	252
		60才~	785 (100.0)	88 (14.5)	191 (31.5)	80 (13.2)	33 (5.4)	15 (2.5)	38 (6.3)	46 (7.6)	43 (7.1)	23 (3.8)	50 (8.2)	178
	女	総数	6,118 (100.0)	527 (10.3)	1,588 (31.0)	763 (14.9)	372 (7.3)	219 (4.3)	407 (8.0)	428 (8.4)	320 (6.3)	193 (3.8)	302 (5.9)	999
		~39才	1,538 (100.0)	94 (7.2)	425 (32.4)	225 (17.1)	119 (9.1)	56 (4.3)	102 (7.8)	117 (8.9)	70 (5.3)	44 (3.4)	60 (4.6)	226
		40~ 59才	2,632 (100.0)	215 (9.8)	643 (29.4)	322 (14.7)	152 (7.0)	98 (4.5)	193 (8.8)	201 (9.2)	138 (6.3)	84 (3.8)	138 (6.3)	448
		60才~	1,948 (100.0)	218 (13.4)	520 (32.0)	216 (13.3)	101 (6.2)	65 (4.0)	112 (6.9)	110 (6.8)	112 (6.9)	65 (4.0)	104 (6.4)	325

表18 主な項目の性、年齢別集計成績(つづき6)

新・旧両調査票共通項目のみ

区分	総数	85 神経症状 → 初診の期間											期間不明		
		計 (除不明)	1 同時期 以前	2 同時期	3 1ヶ月	4 2	5 3	6 4~6	7 7~12	8 13~24	9 25~36	10 37ヶ月 以上			
総数	9,249	8,250 (100.0)	2,346 (28.4)	2,388 (28.9)	867 (10.5)	346 (4.2)	249 (3.0)	486 (5.9)	560 (6.8)	433 (5.2)	218 (2.6)	357 (4.3)	999		
性 ・ 年 令 別  (除 性 年 令 不 明)	男 女 計	総数	9,170	8,187 (100.0)	2,332 (28.5)	2,367 (28.9)	861 (10.5)	342 (4.2)	247 (3.0)	482 (5.9)	554 (6.8)	431 (5.3)	217 (2.7)	354 (4.3)	983
		~39才	2,590	2,329 (100.0)	625 (26.8)	737 (31.6)	268 (11.5)	106 (4.6)	67 (2.9)	145 (6.2)	155 (6.7)	112 (4.8)	41 (1.8)	73 (3.1)	261
		40~ 59才	3,847	3,431 (100.0)	938 (27.3)	950 (27.7)	378 (11.0)	160 (4.7)	108 (3.1)	212 (6.2)	243 (7.1)	190 (5.5)	107 (3.1)	145 (4.2)	416
		60才~	2,733	2,427 (100.0)	769 (31.7)	680 (28.0)	215 (8.9)	76 (3.1)	72 (3.0)	125 (5.2)	156 (6.4)	129 (5.3)	69 (2.8)	136 (5.6)	306
	男	総数	3,052	2,698 (100.0)	743 (27.5)	760 (28.2)	295 (10.9)	116 (4.3)	88 (3.3)	173 (6.4)	186 (6.9)	158 (5.9)	69 (2.6)	110 (4.1)	354
		~39才	1,052	943 (100.0)	232 (24.6)	293 (31.1)	102 (10.8)	43 (4.6)	33 (3.5)	71 (7.5)	56 (5.9)	59 (6.3)	18 (1.9)	36 (3.8)	109
		40~ 59才	1,215	1,065 (100.0)	298 (28.0)	270 (25.4)	128 (12.0)	53 (5.0)	36 (3.4)	69 (6.5)	81 (7.6)	62 (5.8)	34 (3.2)	34 (3.2)	150
		60才~	785	690 (100.0)	213 (30.9)	197 (28.6)	65 (9.4)	20 (2.8)	19 (2.8)	33 (4.9)	49 (7.1)	37 (5.4)	17 (2.5)	40 (5.8)	95
	女	総数	6,118	5,489 (100.0)	1,589 (28.9)	1,607 (29.3)	566 (10.3)	226 (4.1)	159 (2.9)	309 (5.6)	368 (6.7)	273 (5.0)	148 (2.7)	244 (4.4)	629
		~39才	1,538	1,386 (100.0)	393 (28.4)	444 (32.0)	166 (12.0)	63 (4.5)	34 (2.5)	74 (5.3)	99 (7.1)	53 (3.8)	23 (1.7)	37 (2.7)	152
		40~ 59才	2,632	2,366 (100.0)	640 (27.0)	680 (28.7)	250 (10.6)	107 (4.5)	72 (3.0)	143 (6.0)	162 (6.8)	128 (5.4)	73 (3.1)	111 (4.7)	266
		60才~	1,948	1,737 (100.0)	556 (32.0)	483 (27.8)	150 (8.6)	56 (3.2)	53 (3.1)	92 (5.3)	107 (6.2)	92 (5.3)	52 (3.0)	96 (5.5)	211

表19 主な項目の単純集計成績

新様式調査票のみの項目について\*

区 分	確実例+容疑例	確 実 例	容 疑 例	
総 数	(4939) 9,249	(3190) 5,839	(1749) 3,410	
腹 部 症 状 （再掲）	1. あ り	(3,601)	(2,425)	(1,176)
	2. な し	(115)	(30)	(85)
	不 明	(1253) 5,533	(715) 3,384	(538) 2,149
	腹痛あり	(2,603)	(1,832)	(771)
	下痢あり	(2,514)	(1,708)	(806)
その他の腹部症状あり	(313)	(208)	(105)	
発 現 状 況 （再掲）	1. 徐 々	(917)	(473)	(444)
	2. 急性または亜急性	(2,620)	(1,877)	(743)
	不 明	(1432) 5,712	(920) 3,489	(612) 2,223
知 覚 障 害 （再掲）	1. あ り	(3,666)	(2,433)	(1,233)
	2. な し	(150)	(57)	(93)
	不 明	(1153) 5,433	(680) 3,349	(473) 2,084
	両側性のもの	(2,737)	(1,894)	(843)
	下半身につよい	(3,221)	(2,175)	(1,046)
上界不鮮明	(1,169)	(809)	(360)	
異 常 知 覚 （再掲）	1. あ り	7,943	5,224	2,719
	2. な し	555	288	267
	不 明	751	327	424
	ものがついている	(1,352)	(1,017)	(335)
	しめつけられる	(981)	(788)	(193)
	ジンジンする	(2,044)	(1,347)	(697)
その他の異常あり	(381)	(233)	(148)	
下 肢 の 深 部 障 害	1. あ り	(1,925)	(1,445)	(480)
	2. な し	(1,208)	(712)	(496)
	不 明	(1830) 6,116	(1013) 3,682	(823) 2,434

\* 旧様式で提出された分は全て不明として処理されている。

\*\* 表39異常知覚は新旧両様式共に集計した。ただし、再掲の項目は新様式のみ。

表19 主な項目の単純集計成績(つづき1)

新様式調査票のみの項目について

区 分	確実例+容疑例	確 実 例	容 疑 例	
総 数	(4969) 9,249	(3170) 5,839	(1799) 3,410	
筋力低下 下肢の	1. あ り	5,832	3,915 ✓	1,917 ✓
	2. な し	2,455	1,443	1,012
	不 明	962	481	481
錐体路徴候 4646 4649	1. あ り	(2,118)	(1,533) ✓	(585) ✓
	2. な し	(1,357)	(779) ✓	(578)
	不 明	(1494) 5,774	(853) 3,527	(636) 2,247
	(再掲) 下肢腱反対・亢進あり	(1,546)	(1,147) ✓	(399) ✓
	Babinski (+)	(521)	(371) ✓	(150) ✓
その他の錐体路徴候あり	(113)	(77) ✓	(36)	
運動障害 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000	1. あ り	(270)	(178) ✓	(92)
	2. な し	(3360)	(2207)	(1153)
	不 明	(1339) 5,619	(755) 3,454	(554) 2,165
51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000	1. あ り	(547)	(365) ✓	(182) ✓
	2. な し	(3054)	(2002) ✓	(1052)
	不 明	(1368) 5,648	(803) 3,472	(565) 2,176
52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432				

表19 主な項目の単純集計成績(つづき2)

新様式調査票のみの項目について

区 分		確実例+容疑例	確 実 例	容 疑 例
総 数		(4969) 9,249	(3170) 5,839	(1799) 3,410
㊦55 緑 便	1. あ り	(188)	(147) ✓	(41)
	2. な し	(2,755)	(1,812)	(943)
	不 明	(2026) 6,306	(1211) 3,880	(815) 2,426
㊦56 直腸 障害脱	1. あ り	1,492	1,011	481
	2. な し	6,580	4,152	2,428
	不 明	1,176	675	501
㊦57 遷延 の	1. あ り	(2,388)	(1,636) ✓	(752)
	2. な し	(831)	(522)	(309)
	不 明	(1750) 6,030	(1012) 3,681	(738) 2,349
㊦58 再 燃	1. あ り	(676)	(519) ✓	(157)
	2. な し	(2,270)	(1,519) ✓	(751)
	不 明	(2023) 6,303	(1132) 3,801	(891) 2,502
㊦59 異血 液 常の	1. あ り	(193)	(123) ✓	(70)
	2. な し	(2,476)	(1,695)	(781)
	不 明	(2300) 6,580	(1352) 4,021	(948) 2,559
㊦60 異髓 液 常の	1. あ り	(66)	(32)	(34)
	2. な し	(1,775)	(1,234)	(541)
	不 明	(3125) 7,408	(1904) 4,573	(1224) 2,835

図1 昭和43年末現在全受診患者率(確実+容疑)

患者の現住所府県別(奈良県は推定値)

全国(除奈良県)4,280名(人口10万対4.4)(昭和45年3月20日報告時)

"(含奈良県)4,343名( " 4.5)(昭和45年11月協議会報告書  
No.1作成時)

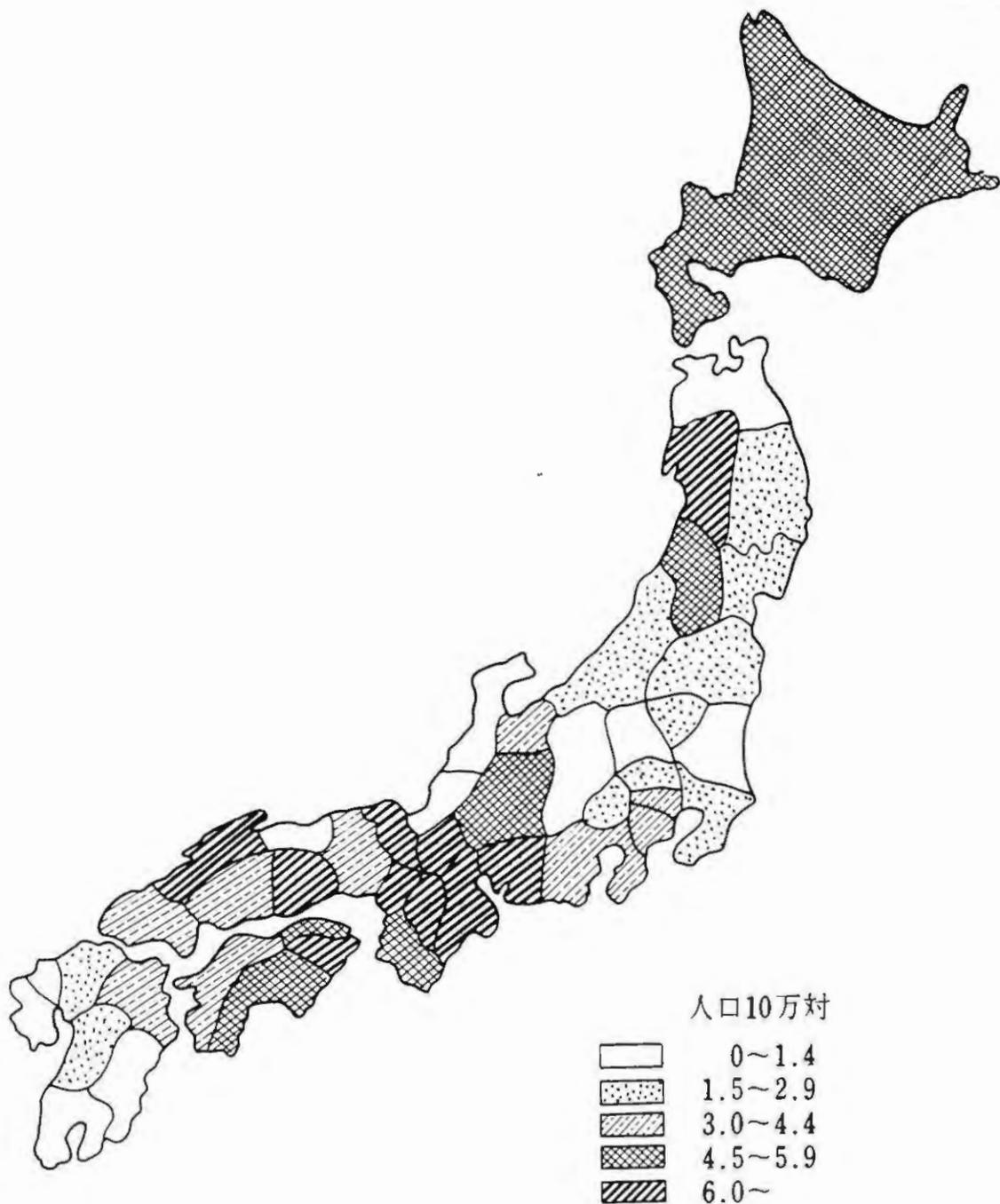


図2 全受診患者率(确实+容疑)

患者の現住所府県別

全国9,249名(人口10万対9.2)

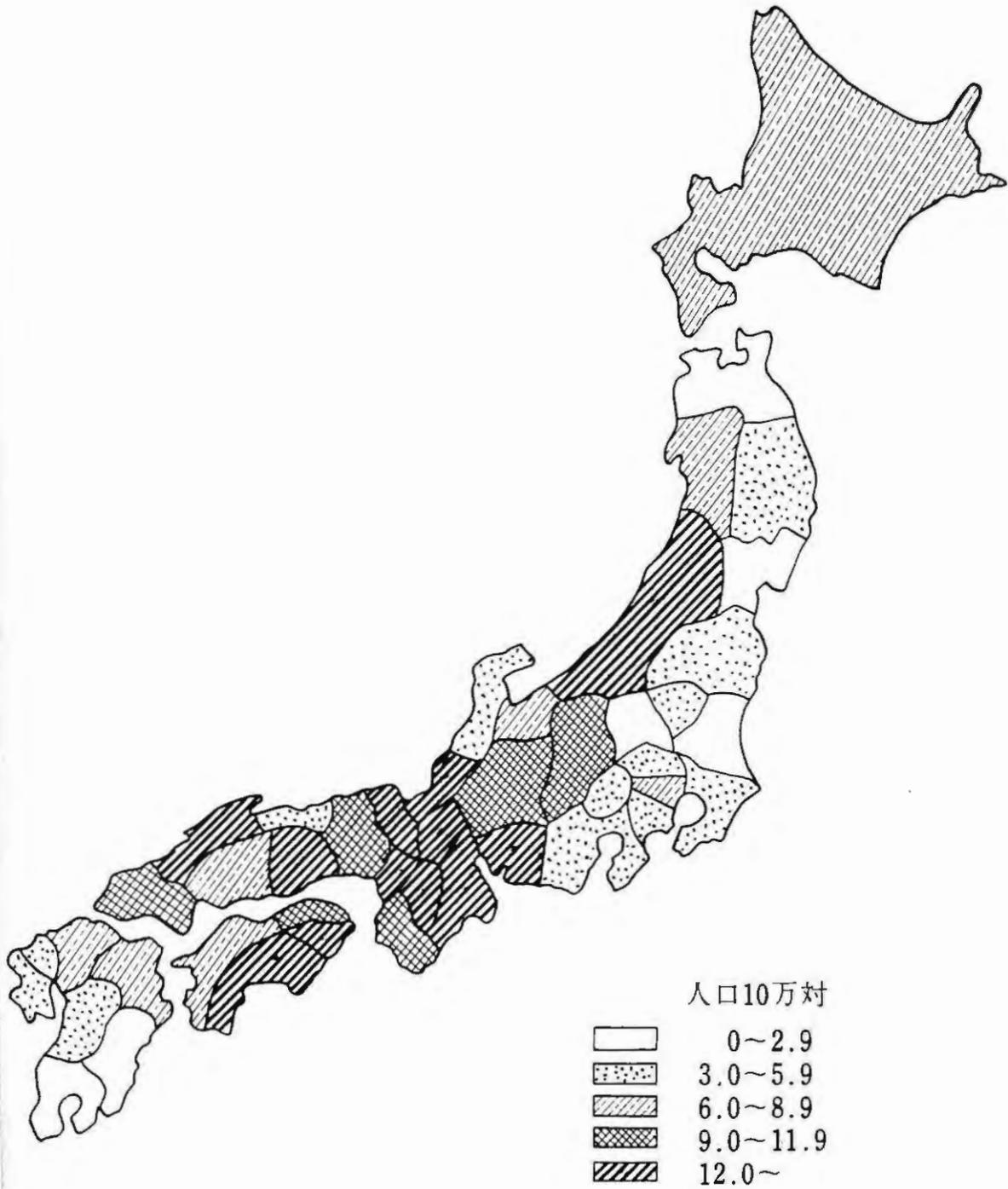


図3 初診患者率(確実+容疑)

(昭42、43平均)

患者の現住所府県別

全国 昭42：1,374名 計3,168名(年平均人口10万対1.6)  
昭43：1,794名

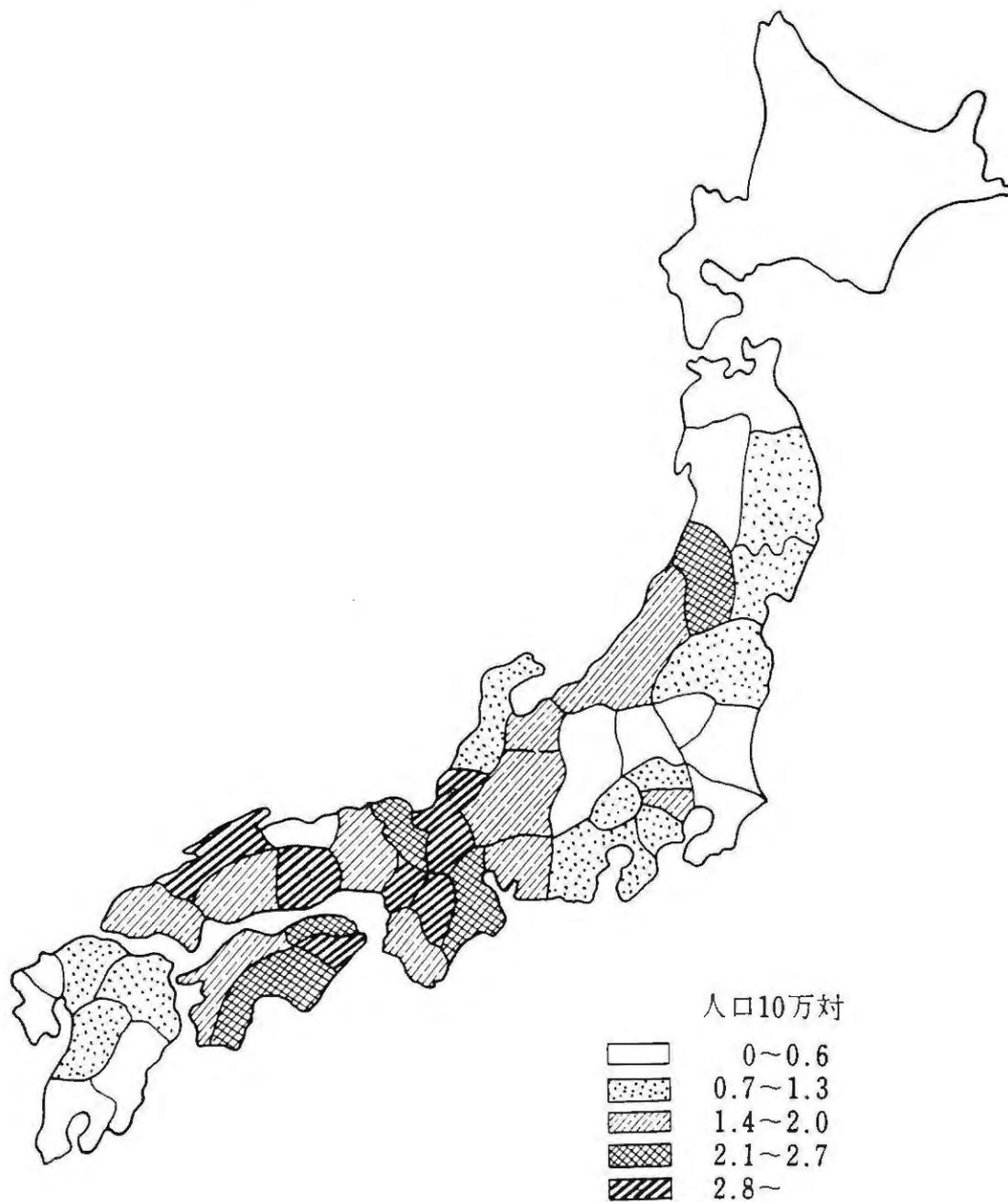


図4 初診患者率(確実+容疑)

(昭44、45平均)

患者の現住所府県別

全国 昭44：2,418名 計4,070名(年平均人口10万対2.0)  
昭45：1,652名

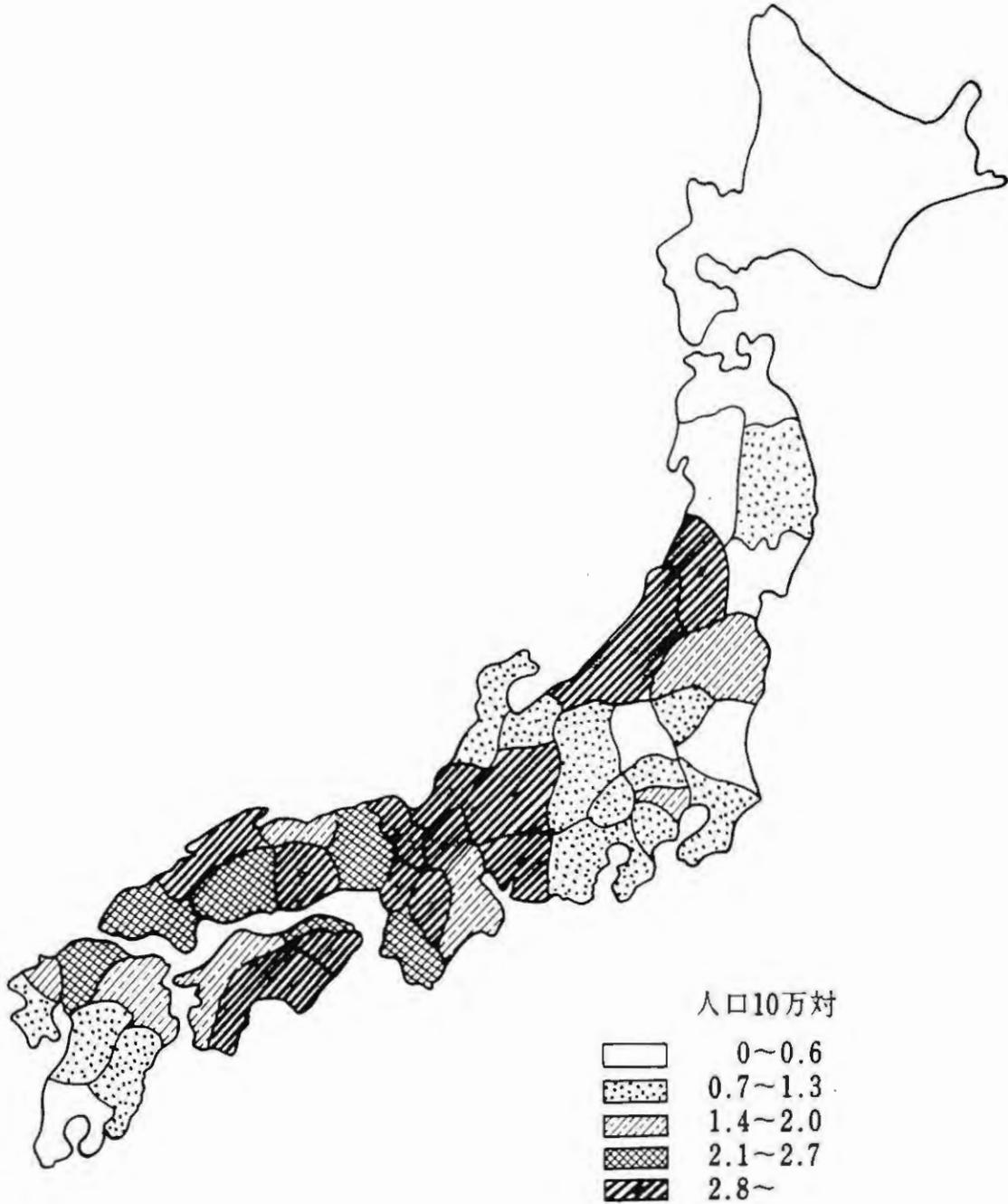


図5-1 半年別初診患者数(确实+容疑9,249名中初診年月不明603名を除く8,646名について)

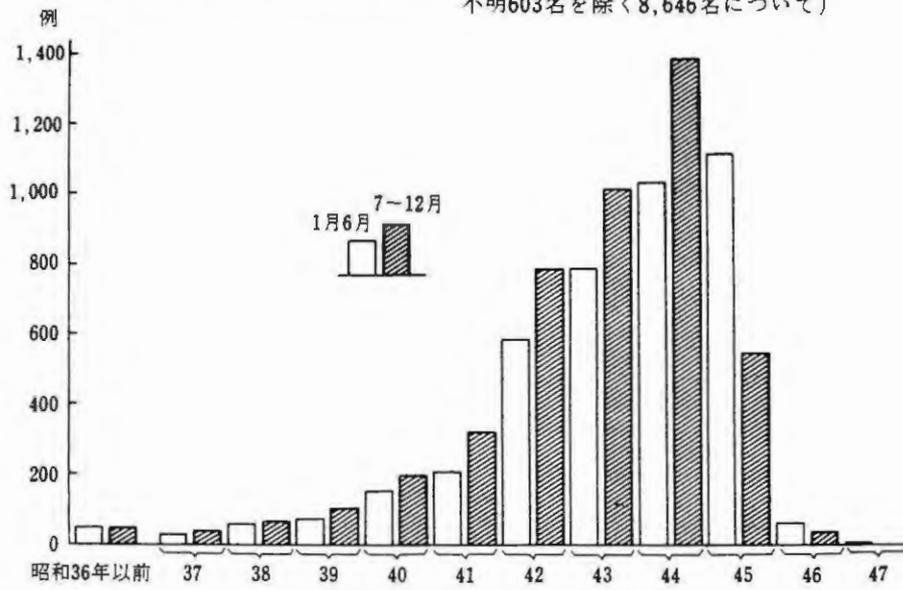


図5-2 年次別月別初診患者数(确实+容疑) 昭和42~47年

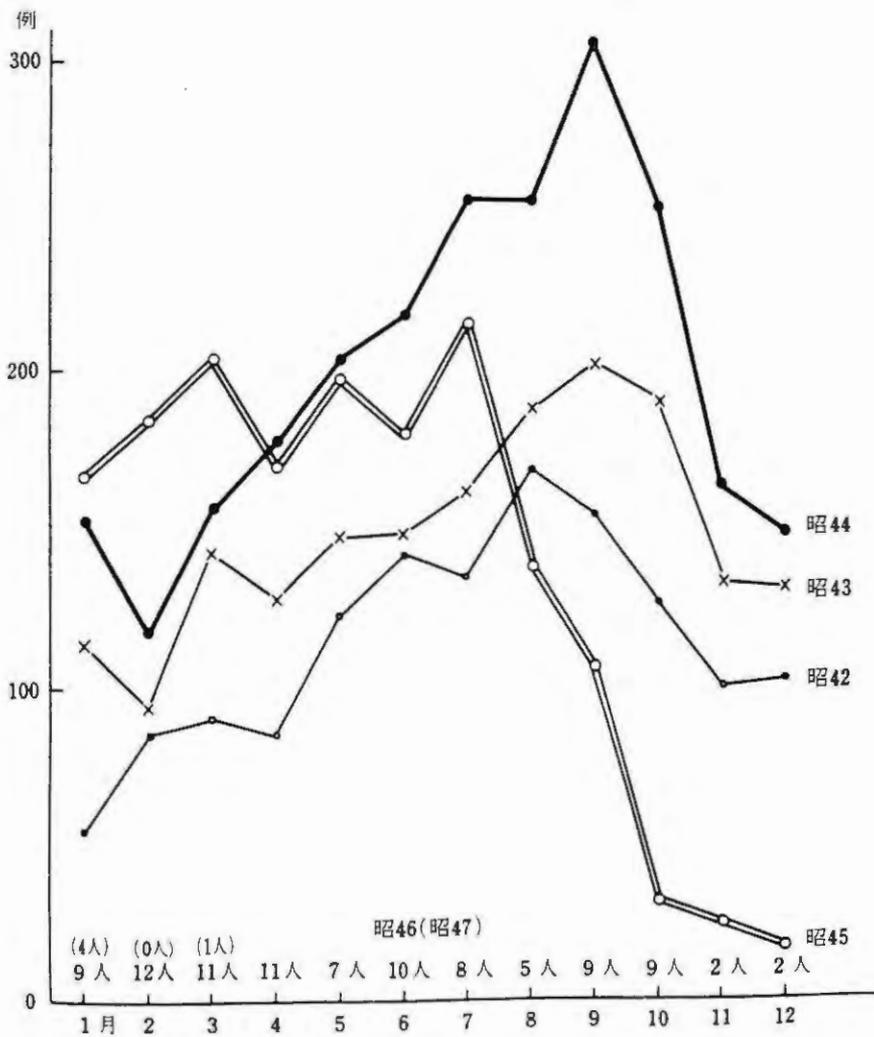


図6-1 半年別発病患者数  
 (确实+容疑9,249名中発病年月不明687名を除く8,562名について)  
 (発病=神経症状発現)

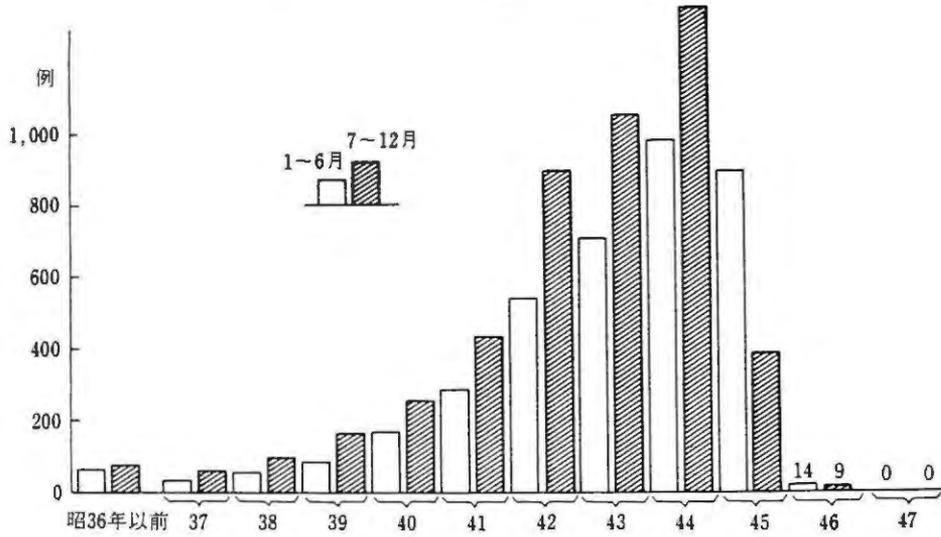


図6-2 年次別月別発病患者数(确实+容疑)  
 昭和42~47年  
 (発病=神経症状発現)

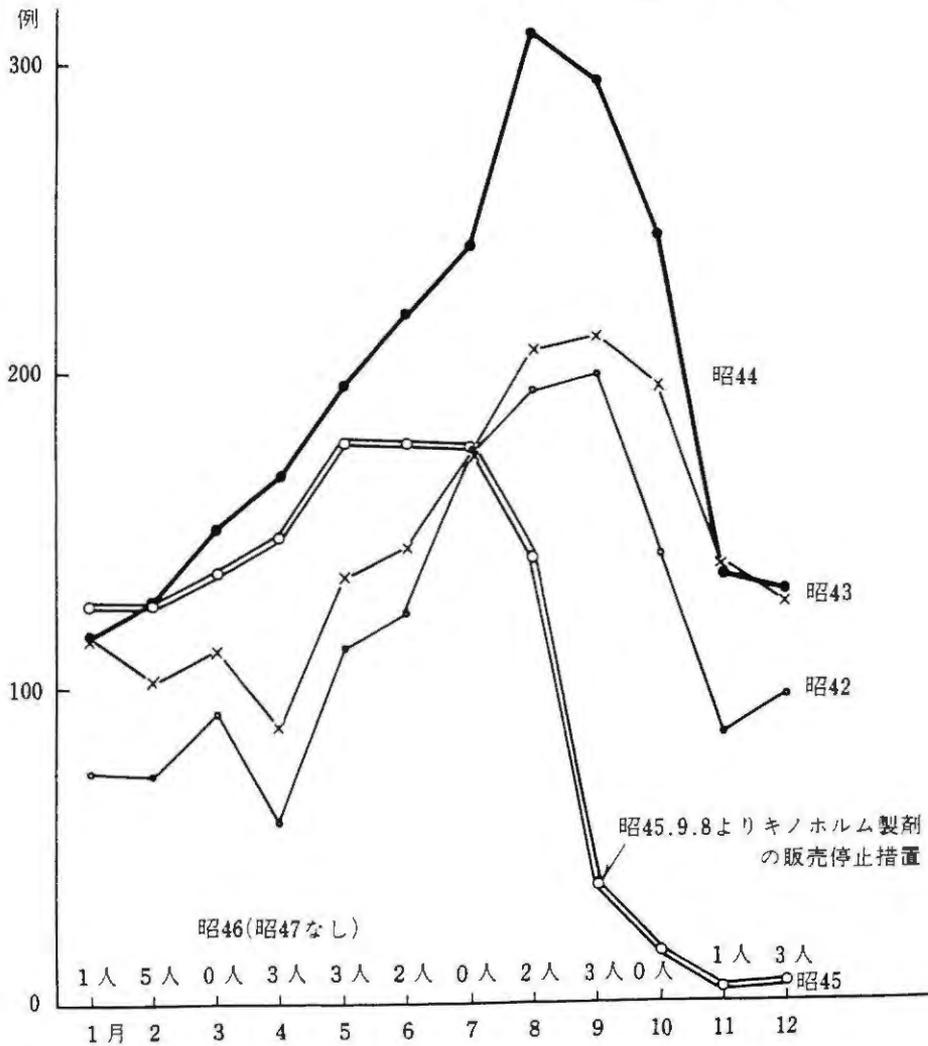
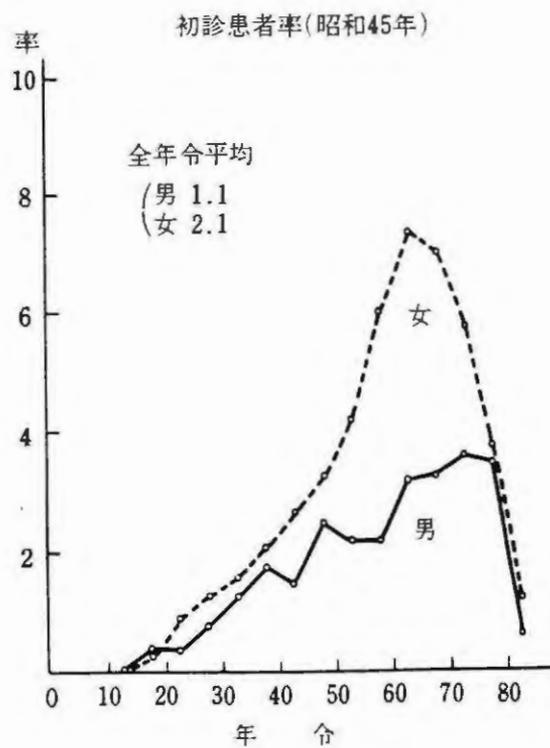
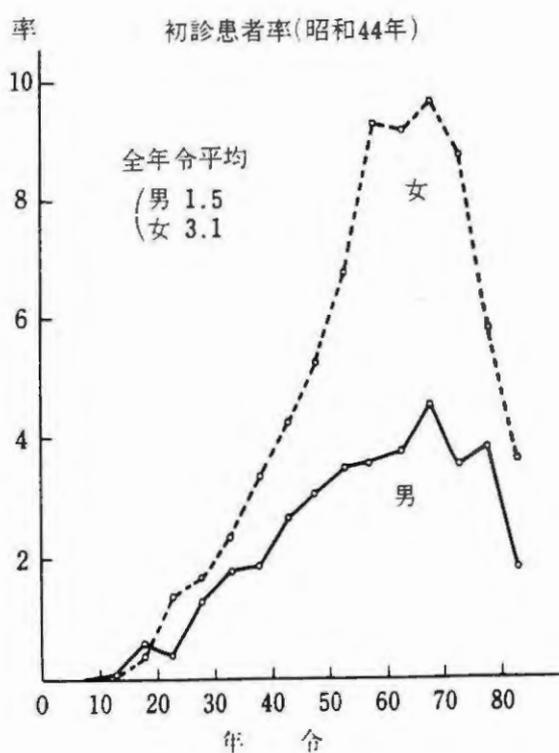
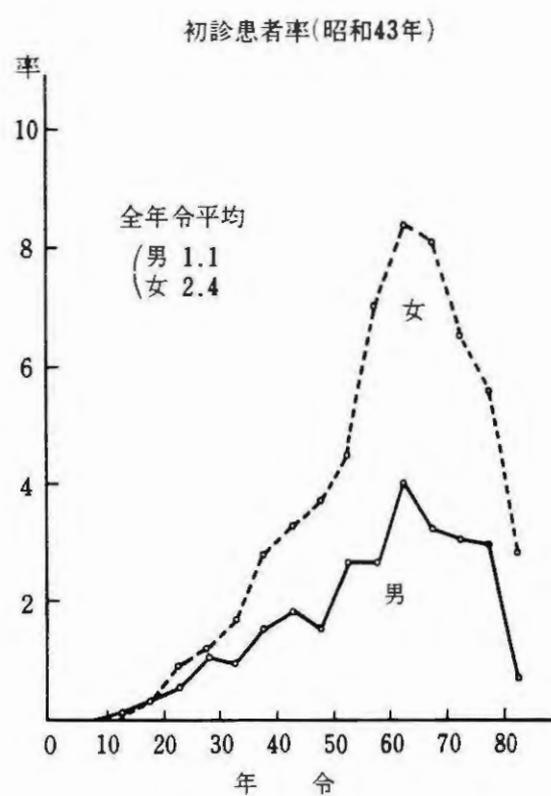
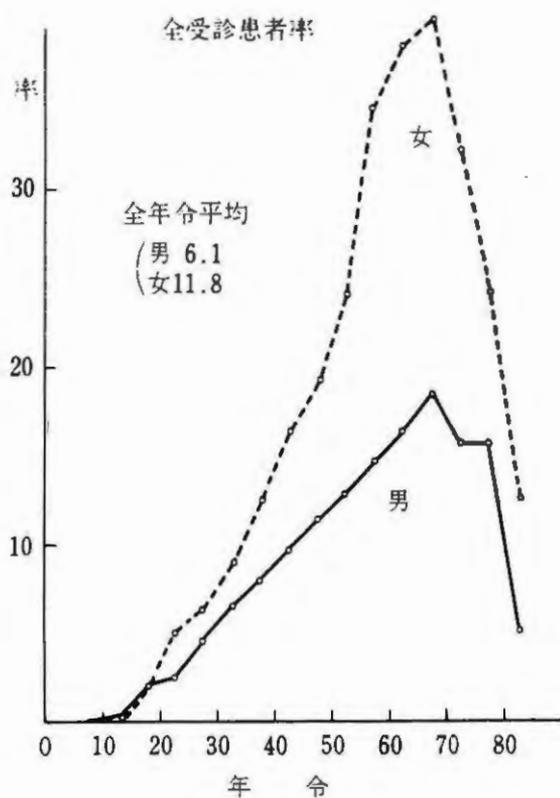


図7 性・年令別受診患者数



# 全国スモン患者のキノホルム剤服用状況調査成績

昭和47年2月27日，スモン調査研究協議  
会疫学・臨床合同部会研究会で発表

スモン調査研究協議会疫学部会

集計解析：山本俊一，中江公裕  
(東京大学 医学部 保健学科 疫学教室)

## 目次

要約

添付(調査票)

別紙1 (調査依頼状)

別紙2 (集計用コード一覧)

表 1. 県別・受領調査表枚数並びに報告医療機関数

表 2. 性，年齢構成

表 3. 初診年・神経症状発現年別，患者数

表 4. 神経症状発現前6ヶ月，神経症状発現後のキノホルム使用状況別，患者数

表 5. 神経症状発現前・後のキノホルム使用状況

表 6. 神経症状発現前・後および前後計別キノホルム使用量の分布

表 7. 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別，下痢の強さ

表 8. 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別，下痢の強さ

表 9. 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別，下痢の強さ

表 10. 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別，腹痛の強さ

表 11. 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別，腹痛の強さ

表 12. 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別，腹痛の強さ

表 13. 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別，知覚障害の範囲

表 14. 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別，知覚障害の範囲

表 15. 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別，知覚障害の範囲

表 16. 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別，運動障害の程度

表 17. 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別，運動障害の程度

- 表 1 8. 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別, 運動障害の程度
- 表 1 9. 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別, 視力障害の程度
- 表 2 0. 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別, 視力障害の程度
- 表 2 1. 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別, 視力障害の程度
- 表 2 2. 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別, 緑色舌苔の合併
- 表 2 3. 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別, 緑色舌苔の合併
- 表 2 4. 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別, 緑色舌苔の合併
- 表 2 5. 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別, 経過
- 表 2 6. 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別, 経過
- 表 2 7. 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別, 経過
- 表 2 8. 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別, 重症度
- 表 2 9. 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別, 重症度
- 表 3 0. 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別, 重症度
- 表 3 1. 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別, 再燃
- 表 3 2. 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別, 再燃
- 表 3 3. 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別, 再燃
- 表 3 4. 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別, 手術の既往歴と術後のキノホルム使用状況
- 表 3 5. 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別, 手術の既往歴と手術後のキノホルム使用状況
- 表 3 6. 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別, 手術の既往歴と手術後のキノホルム使用状況
- 表 3 7. 性, 年齢別神経症状発現前6ヶ月のキノホルム使用状況
- 表 3 8. 下痢の程度別, 神経症状発現前におけるキノホルム服用量別, 知覚障害の範囲
- 表 3 9. 下痢の程度別, 神経症状発現前におけるキノホルム服用量別, 運動障害の程度
- 表 4 0. 下痢の程度別, 神経症状発現前におけるキノホルム服用量別, 視力障害の程度
- 表 4 1. 下痢の程度別, 神経症状発現前におけるキノホルム服用量別, 重症度
- 表 4 2. 下痢の程度別, 神経症状発現前におけるキノホルム服用量別, 再燃
- 表 4 3. 下痢の強さと腹痛の強さの関係
- 表 4 4. 腹痛の程度別, 神経症状発現前におけるキノホルム服用量別, 重症度

- 表 4 5. 下痢の程度別, 神経症状発現前におけるキノホルム服用量別, 経過
- 表 4 6. 手術後におけるキノホルム使用の有無と神経症状の程度
- a) 知覚障害
  - b) 運動障害
  - c) 視力障害
  - d) 再燃
- 表 4 7. スモン患者 1 5 2 7 例中の死亡者 9 9 名についての分析
- 表 4 8. 相関表
- 表 4 9. キノホルム製剤別, 腹部症状発現から神経症状発現までの期間
- 表 5 0. ブロック別, 腹部症状発現から神経症状発現までの期間別患者数
- 表 5 1. 病院別, 腹部症状発現から神経症状発現迄の期間別患者数
- 表 5 2. 初診一神経症状発現の時期的前後の別による神経症状発現前 6 ヶ月キノホルム使用の有無(全国)
- 表 5 3. 初診一神経症状発現の時期的前後の別による神経症状発現前 6 ヶ月キノホルム使用の有無(ブロック別)
- 表 5 4. 初診一神経症状発現の時期的前後の別による神経症状発現前 6 ヶ月キノホルム使用の有無(県別)
- 表 5 5. 初診一神経症状発現の時期的前後の別による神経症状発現前 6 ヶ月キノホルム使用の有無(病院別)
- 表 5 6. 全国, キノホルム製剤別, 神経症状発現前 6 ヶ月のキノホルム使用量(全国)
- 表 5 7. キノホルム製剤別, 神経症状発現前 6 ヶ月のキノホルム使用量(県別)
- 表 5 8. キノホルム製剤別, 神経症状発現前 6 ヶ月のキノホルム使用量(病院別)
- 表 5 9. キノホルム製剤別, 1 日投与量・投与日数
- 表 6 0. キノホルム製剤別・神経症状発現前 6 ヶ月のキノホルム使用量(ブロック別)

- 図 1 キノホルム剤種類別，神経症状発現前6ヶ月，1日投与量・投与日数の分布
- 図 2 患者発生数と軽症患者の比率の年次変動
- 図 3 県別，軽症患者の比率
- 図 4 病院別，軽症患者の比率
- 図 5 初診－神経症状発現の時期的前後別にみたキノホルム使用の有無（全国・病院別）
- 図 6 初診－神経症状発現の時期的前後別にみたキノホルム使用の有無（ブロック別）
- 図 7 県別，神経症状発現前6ヶ月キノホルム平均使用量の分布
- 図 8 病院別，神経症状発現前6ヶ月，キノホルム平均使用量の分布
- 図 9 腹部症状発現から神経症状発現迄の期間別患者分布（全国）
- 図 10 神経症状発現前6ヶ月のキノホルム使用の有無別，腹部症状発現から神経症状発現迄の期間別患者分布
- 図 11 神経症状発現前6ヶ月キノホルム投与量別患者分布（全国）
- 図 12 神経症状発現前6ヶ月キノホルム投与量別患者分布（性別）
- 図 13 神経症状発現前6ヶ月キノホルム投与量別患者分布（年齢別）
- 図 14 神経症状発現前6ヶ月キノホルム投与量別患者分布（キノホルム製剤別）
- 図 15 神経症状発現前6ヶ月キノホルム投与量別患者分布（ブロック別，北海道－中部北陸）
- 図 16 神経症状発現前6ヶ月キノホルム投与量別患者分布（ブロック別，近畿－九州）
- 図 17 岡山県I病院におけるSMON例および非SMON例に対するキノホルム投与パターン

## 要 約

### 1. 調査の目的

全国のSMON患者のキノホルム剤服用状況を調査し、両者の因果関係を検討すること。

### 2. 調査の経過

この調査の第1回は、既に昭和45年に、SMON調査研究協議会臨床班所属の班員18氏によって行われた。今回は、昭和46年に、引き続き、18班員を含む全国医師に協力を求めて行ったもので、いわば第2回の調査成績である。

### 3. 調査の方法

昭和 年 月、各都道府県衛生部と医師会の協力を得て、別紙添付の調査票を各医師に送付し、記載を依頼した。提出された記載済調査票は、重松班員の許で整理し、山本班員が集計を担当して東京大学、医学部、疫学教室において集計した。

### 4. 調査の結果

表1～60の通り

### 5. 調査の総括

- (1) 今回の調査標本である2456例は、都道府県別患者分布に比例して抽出されてはおらず、大阪、兵庫、岡山、広島（四県で全体の38%）等、関西の府県に偏在する傾向があり、その意味での偏りがみうけられる。
- (2) しかし一般的に、スモンを示す実態像には、著明な地域差はみられないので、このことは、大きな問題ではないと考えられる。むしろ、2456例という多数患者についての調査ができたことは、大きな収穫であったと言える。
- (3) 臨床班員によって昭和45年度に行われた第1回調査と、今回の全国調査とをくらべると、今回は対象数では約2.5倍と多くなっているが、データの精度の点では、逆に前者に劣ると思われる。しかし得られた結果について比較してみると、両者はほとんど大差ない成績である。このことは、この2回にわたる調査結果に対する信頼性を裏書きするものであると思われる。
- (4) ただ、調査結果の解釈にあたっては、記載の不明確さ、サンプル数の不均一さ、対照群を欠くことなどの理由のために、慎重でなければならず、今回の結果は、他の疫学調査の結果と併せて検討することによって、はじめてその意味する所を正しく評価することができると思われる。

- (5) 以上のような点をふまえた上で、今回の成績を検証してみると、神経症状発現前6ヶ月にキノホルムを「服用した」ものは75.1%（前回調査82.2%）、「確実に服用していない」と報告されたものは14.6%（前回14.8%）、服用不明・不確実10.3%（前回3.0%）であり、不明・不確実が上まわった分だけ、服用ありが減っている。
- (6) 「神経症状発現前にキノホルム使用あり」群の1273例（表6）について、使用量の分布をみると、使用総量21～40gにモードをもつ対数正規分布様の分布がみられる。ところが神経症状発現後のキノホルム使用量の分布は、正規分布その他の確率分布型を推定するには程遠い不規則なものであった。
- (7) 使用キノホルム量と、スモンの各症候（下痢・腹痛・知覚障害・運動障害・視力障害・緑色舌苔）の程度、経過、重症度、再燃の有無、既往の手術あるいは性、年齢との関係を、キノホルム使用の有無が明らかな1527例について観察した結果（表7～48） 視力障害の程度、緑色舌苔の合併率、重症度及び再燃率については、神経症状発現前のキノホルム使用量との間には相関がみられないにもかかわらず、神経症状発現前・後の総量との間には、正の相関が認められた。
- (8) 神経症状発現前6ヶ月にキノホルムを使用した者の中で、量的記載の明らかなものは1007名いるが（表56）、その使用平均量は40.1g/人（標準偏差56.6g）である。これを性別にみると男（40.4g）、女（39.9g）で、男女によるキノホルムの投与量に差はない。又、年齢別に39才以下と40才以上についてみても、39才以下のスモン群（平均38.8g/人）と、40才以上のスモン群（平均40.7g/人）との間に有意差を認め得ない。
- (9) キノホルム製剤別の神経症状発現前6ヶ月のキノホルム使用者内訳は、エマホルム散の452例（45%）、エンテロビオフォルム散の254例（25.2%）、強力メキサホルム錠の104例（10.3%）などとなっている。また、神経症状発現前6ヶ月の使用量をみてみると、メキサホルム散が、平均7.0g/人と他のキノホルム製剤とくらべてきわだって小さい値であり、この点については、今後色々の角度から検討する必要があると思われる。
- (10) SMONの報告数が少ない都道府県程軽症患者の割合が低い傾向がある。
- (11) SMONの神経症状発現が初診前に起った群と、初診後に起った群とをくらべると、後者の方がキノホルム服用率について地域間の偏りが少なく、神経症状発現前6ヶ月のキノホルム「使用あり」は78.7%～93.1%、（平均86.4%）であった。
- (12) 神経症状発現前6ヶ月のキノホルム使用総量別に患者分布をみると、性別・年齢別・地区ブロック別・キノホルム製剤別に関係なく一様に21～40gにモードをもつ対数正規分布様の分布を示す。



スモン調査研究協議会

スモン患者のキノホルム剤服用状況調査票

(確実なスモン患者で、発病前後の服薬状況の明らかなものを対象とする。)
(従って、出来れば貴施設の自験例であることが望ましい。)

貴施設名
所在地

調査担当者氏名
記載年月日 昭和 年 月 日

Form with fields for patient name, sex, birth date, residence, symptoms, and medication history. Includes a table for medication details and a section for neurological symptoms.

注：腹部症状というのは スモンに直接関連があると思われる腹部症状という意味に解して下さい。

別紙1

スモン発第1号

昭和46年7月15日

都道府県  
各 衛生主管部(局)長 殿  
指定都市

スモン調査研究協議会

会長 甲野礼作

#### スモン患者調査等の依頼について

スモンの調査研究につきましては、平素からご協力を賜わりお蔭をもちまして調査研究が円滑に推進していることを感謝致しております。

さて、スモン患者および患者のキノホルム剤服用状況調査につきましては、従来からご協力を頂き実施致しておるところであります。本年度においても患者の実態を把握し、疫学的解析の資料とするため昨年度と同様別添調査票のとおり、調査を実施致したいと存じますので、ご多用中誠に恐縮ですが、下記事項にご留意のうえ、本調査に格別のご協力をお願い申し上げます。

#### 記

本症の特殊性にかんがみ調査の実施方法等について、医師会、大学、主要病院等と調査前に十分協議を行なわれ調査洩れのないように注意して下さい。

#### 1. 調査対象

昭和46年4月1日から昭和47年3月31日までの間に各都道府県、指定都市管内の医療機関で受診したスモン患者およびその疑いのあるもの（ただし、患者のキノホルム服用状況調査については、確実なスモン患者で発病前後のキノホルム剤の服用状況の明らかなもの）のうち、当該医療機関における初診の者をすべて調査の対象として下さい。

#### 2. 調査事項

1の調査対象者につき、別添スモン調査個人票およびスモン患者のキノホルム剤服用状況調査票に掲げる調査事項に基づいて調査して下さい。

#### 3. 調査票の作成

各医療機関で受診したそれぞれの患者について、1枚の調査票を作成して下さい。ただし、2カ所以上の医療機関で受診したことが明らかな者については、受診医療機関ごとにそれぞれ作成して下さい。

#### 4. 報 告

本年度の調査結果報告につきましては、昭和46年4月1日から同年8月31日までの分を同年9月30日まで一括して、また、昭和46年9月以降の分につきましては、月毎に翌月末日までに1月分を取りまとめのうえ、それぞれ厚生省公衆衛生局防疫課予防係あて送付して下さい。

#### 5. そ の 他

上記の調査対象（昭和46年4月1日以降の分）について、すでに報告してある場合は、それ以後のものについて調査のうえ報告して下さい。

## スモン患者のキノホルム剤服用状況調査票集計用コード一覧表

別紙 2.

No.	項 目	コ ラ ム	コ ー ド
1	府 県 番 号	1, 2	2けたの数
2	患 者 番 号	3, 4, 5	3けたの数
3	性 別	7	1) 男            2) 女            3) 不明
4	神経症状発現時年齢	8, 9	2桁 (年齢不明 00)
5	初 診 年	10, 11	2桁 (年不明 99)
6	腹部症状発現年	12, 13	2桁 (年不明 99)
7	腹部症状発現月	14, 15	2桁 (月不明 99)
8	腹部症状発現日	16, 17	2桁 (日不明 99)
9	神経症状発現年	18, 19	2桁 (年不明 99)
10	神経症状発現月	20, 21	2桁 (月不明 99)
11	神経症状発現日	22, 23	2桁 (日不明 99)
12	初診日と神経症状発現日との 期的前後の関係	25	1) 初診 → 神経症状発現 2) 神経症状発現 → 初診 3) 前後不明
13	神経症状発現前キノホルム1日 投与量	26, 27, 28 29	4桁 (不明は9.99 なし=0.00)
14	神経症状発現前キノホルム投与日数	30, 31, 32	3桁 (不明は999 なし=0)
15	神経症状発現前の使用キノホルム 剤(以下⊕略)の種類	33, 34	1) キノホルム 2) エマホルム 3) エマ ホルム錠 4) エマホルムP 5) エンテロ ビオフォルム 6) エンテロビオフォルム錠 7) メキサホルム 8) メキサホルム錠 9) 強力メキサホルム 10) 強力メキサホ ルム錠 11) 以上2種以上の併用 12) そ の他, 不明 13) キノホルム使用なし
16	神経症状発現前6ヶ月以内⊕剤 服用の有無	35, 36	1桁目 1) 確実になし 2) ないらしいが 不確明 3) あり 4) 不明 2桁目 確実になしの裏づけ 1) 患者から直接 2) 主治医のカ ルテ 3) その他不明 4) 患者と主治医のカルテ
17	神経症状発現後の⊕剤服用の有 無	37, 38	1桁目 1) 確実になし 2) ないらしいが 不確実 3) あり 4) 不明

No.	項 目	コ ラ ム	コ ー ド
			2桁目 確実になしの裏づけ 1) 患者から直接 2) 主治医のカルテ 3) その他不明 4) 患者と主治医のカルテ
18	神経症状発現前㊟剤服用総量	39, 40	0) 確実になし 1) 1~10g 2) 11~20g 3) 21~40g 4) 41~60g 5) 60~100g 6) 101~140g 7) 141~220g 8) 221~300g 9) 301~460g 10) 461g以上 11) 服用あり量不明 12) 不明(不明, 不確実)
19	神経症状発現後㊟剤服用総量	41, 42	0) 確実になし 1) 1~10g 2) 11~20g 3) 21~40g 4) 41~60g 5) 61~100g 6) 101~140g 7) 141~220g 8) 221~300g 9) 301~460g 10) 461g以上 11) 服用あり量不明 12) 不明(不明, 不確実)
20	神経症状発現前後の㊟剤服用総量	53, 54	0) 確実になし 1) 1~10g 2) 11~20g 3) 21~40g 4) 41~60g 5) 61~100g 6) 101~140g 7) 141~220g 8) 221~300g 9) 301~460g 10) 461g以上 11) 服用あり量不明 12) 不明(不明, 不確実)
21	下痢	55	1) なし 2) + 3) ++ 4) +++ 5) 不明 6) あり強さ不明
22	腹痛	56	1) なし 2) + 3) ++ 4) +++ 5) 不明 6) あり強さ不明
23	知覚障害の範囲	57	1) なし 2) 足関節まで 3) 膝まで 4) そけい部まで 5) へそまで 6) その他 7) 不明
24	運動障害の程度	58	1) なし 2) 下肢の脱力 3) 歩行困難 4) 起立不能 5) その他 6) 不明
25	視力障害の程度	59	1) なし 2) 軽度 3) 中等度 4) 高度 5) 不明
26	緑色舌苔の合併	60	1) なし 2) 軽度 3) 中等度 4) 高度 5) 不明
27	経過	61 62	1桁目 1) 不明 2) 悪化 3) 不変 4) 軽快 5) 治ゆ 6) 死亡 2桁目 軽快のみについて

No.	項 目	コ ラ ム	コ ー ド
			1) 数ヶ月で 2) 1年位で 3) 数年で 4) 記入なし, 不明
28	重症度(総合印象)	63	1) 軽症 2) 中等症 3) 重症 4) 記入なし, 不明
29	再 燃	64	1) なし 2) あり 3) 記入なし, 不明
30	神経症状発現前6ヶ月以内の手術の既往歴と術後のキノホルム剤の使用	65 66	1 桁目 1) なし 2) あり 3) 記入なし, 不明 2 桁目 ありのみについて 1) ⊕剤使用せず 2) ⊕剤使用した 3) 記入なし, 不明
31	病 院 名	67	0) 報告数19以下の病院 1) ~19) 報告数20以上の病院名コード
32	姓 名	2枚目のカード 1~20	1) ~51) あいうえお順 但し濁音は清音としてコード化
33	年 号 ( 生 年 )	21	1) 明治 2) 大正 3) 昭和
34	生年月日	22~27	6桁 (生年不明 99) (生月不明 99) (生日不明 99)

表1 県別・受領調査表枚数並びに報告医療機関数

	報告総数	重複チェックで おとした数	集計総数	報告医 療機 関 数	内 訳				
					30名以 上報告	29~20 名報告	19~10 名報告	9~5名 報 告	4名以下 報 告
全 国	2,488	32	2,456	671	11	8	23	62	567
北海道	130	3	127	47	1	0	0	3	43
青 森	23	0	23	11	0	0	0	2	9
岩 手	25	1	24	14	0	0	0	1	13
宮 城	29	0	29	21	0	0	0	0	21
山 形	94	2	92	20	1	0	1	0	18
福 島	84	3	81	37	0	0	1	3	33
茨 城	11	0	11	6	0	0	0	0	6
栃 木	33	0	33	23	0	0	0	1	22
群 馬	17	0	17	9	0	0	0	1	8
埼 玉	42	0	42	18	0	0	0	2	16
千 葉	29	0	29	17	0	0	0	1	16
神奈川	26	0	26	13	0	0	0	1	12
新 潟	118	0	118	21	1	1	2	2	15
富 山	26	0	26	8	0	0	1	0	7
福 井	50	1	49	22	0	0	0	4	18
山 梨	14	0	14	6	0	0	0	1	5
岐 阜	78	4	74	16	0	2	0	2	12
静 岡	56	0	56	21	0	0	0	5	16
愛 知	91	1	90	26	0	1	0	4	21
三 重	43	0	43	4	0	1	1	0	2
滋 賀	68	1	67	24	0	0	1	4	19
京 都	84	0	84	13	0	1	4	1	7
大 阪	407	6	401	62	5	1	3	2	51
兵 庫	115	1	114	51	0	0	1	6	44
奈 良	8	0	8	2	0	0	0	1	1
和歌山	47	0	47	19	0	0	1	0	18
鳥 取	11	0	11	6	0	0	0	0	6
島 根	78	3	75	19	0	1	2	0	16
岡 山	210	2	208	6	2	0	2	1	1
広 島	210	2	208	21	1	0	0	1	19
徳 島	29	0	29	10	0	0	0	2	8
香 川	33	0	33	17	0	0	0	2	15
愛 媛	35	0	35	12	0	0	1	1	10
高 知	33	0	33	11	0	0	1	2	8
福 岡	50	0	50	14	0	0	1	3	10
長 崎	21	1	20	10	0	0	0	1	9
大 分	24	1	23	10	0	0	0	2	8
鹿 児 島	6	0	6	4	0	0	0	0	4

表2 性・年齢構成

区分	総数	年齢別									年齢不明
		全年令	0~9才	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70才以上	
男女計	2456	2355	0	77	234	415	458	545	428	198	101
	%	100%	0	3.3	9.9	17.6	19.5	23.1	18.2	8.4	
男	718	687	0	38	67	160	136	131	112	43	31
	%	100%	0	5.5	9.8	23.3	19.8	19.1	16.3	6.3	
女	1735	1665	0	39	167	255	321	413	316	154	70
	%	100%	0	2.3	10.0	15.3	19.3	24.8	19.0	9.3	
男女不明	3	3	0	0	0	0	1	1	0	1	0

表3 初診年・神経症状発現年別患者数

区分	総数	年次別												年次不明
		全年次合計	昭和36年以前	37年	38	39	40	41	42	43	44	45	46	
初診年	2456	2395	34	26	33	52	111	178	365	489	669	434	4	61
	%	100%	1.4	1.1	1.4	2.2	4.6	7.4	15.2	20.4	27.9	18.1	0.2	
神経症状発現年	2456	2376	12	21	35	59	131	192	352	503	667	401	3	80
	%	100%	0.5	0.9	1.5	2.5	5.5	8.1	14.8	21.2	28.1	16.9	0.1	

表4 神経症状発現前6ヶ月・神経症状発現後のキノホルム使用状況別患者数

区分	総数	㊦薬剤使用状況別								使用状況不明	
		総数(除不明)	確実になし						ないらしいが不確実		あり
			計	なしの裏づけ							
神経症状発現前6ヶ月の間	2456	1839	269	41	52	153	23	189	1381	617	
	%	100%	14.6					10.3	75.1		
			100%	15.2	19.3	56.9	8.6				
神経症状発現後	2456	2029	496	43	25	374	54	94	1439	427	
	%	100%	24.5					4.6	70.9		
			100%	8.7	5.0	75.4	10.9				

表5 神経症状発現前・後のキノホルム使用状況

区 分		神経症状発現後					
		総 数	除不確実・不明			ないらし いが不確実	不 明
			計	確実になし	あ り		
神経 症状 発現 前 6 ヶ 月	総 数	2456	1935	496	1439	94	427
	除 計	1650	1527	332	1195	21	102
	不不 確確 実実 明明	269	254	174	80	3	12
	あ り	1381	1273	158	1115	18	90
	ないらしが不確実	189	127	64	63	49	13
	不 明	617	281	100	181	24	312

以下表47まで□の中について集計分析

表6 神経症状発現前・後および前後計別キノホルム使用量の分布

区 分		神経症状発現前			神経症状発現後			神経症状発現前後		
総 数		1527			1527			1527		
確 実 に な し		254			332			174		
あ り ( 合 計 )		1273	100%		1195	100%		1353	100%	
あ り の 内 訳	計	950	74.6	100%	921	77.1	100%	1113	82.3	100%
	1~10g	136		14.3	187		20.3	51		4.6
	11~20	195		20.5	119		12.9	87		7.8
	21~40	349		36.7	127		13.8	196		17.6
	41~60	122		12.8	84		9.1	142		12.8
	61~100	75		7.9	92		10.0	172		15.5
	101~140	37		3.9	57		6.2	97		8.7
	141~220	27		2.8	97		10.5	122		11.0
	221~300	8		0.8	53		5.8	89		8.0
	301~460	1		0.1	50		5.4	76		6.8
461~	0		0.0	55		6.0	81		7.3	
あ り 量 不 明		323	25.4		274	22.9		240	17.7	

表7 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別下痢の強さ

神経症状発現前6ヶ月Ⓔ	神経症状発現後Ⓔ	総数	総数 (除不明)	なし	下痢あり					不明
					計	+	++	+++	強さ不明	
総数	総数	1527	1443	337	1106	619	295	98	94	84
		%	100%	23.4	76.6	42.9	20.4	6.8	6.5	
	確実になし	332	315	89	226	131	55	18	22	17
		%	100%	28.3	71.7	41.6	17.5	5.7	7.0	
	あり	1195	1128	248	880	488	240	80	72	67
		%	100%	22.0	78.0	43.3	21.3	7.1	6.4	
確実になし	総数	254	241	81	160	99	35	13	13	13
		%	100%	33.6	66.4	41.1	14.5	5.4	5.4	
	確実になし	174	163	63	100	62	20	10	8	11
		%	100%	38.7	61.3	38.0	12.3	6.1	4.9	
	あり	80	78	18	60	37	15	3	5	2
		%	100%	23.1	76.9	47.4	19.2	3.8	6.4	
あり	総数	1273	1202	256	946	520	260	85	81	71
		%	100%	21.3	78.7	43.3	21.6	7.1	6.7	
	確実になし	158	152	26	126	69	35	8	14	6
		%	100%	17.1	82.9	45.4	23.0	5.3	9.2	
	あり	1115	1050	230	820	451	225	77	67	65
		%	100%	21.9	78.1	43.0	21.4	7.3	6.4	

表8 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別下痢の強さ

神経症状発現前6ヶ月Ⓔ	総数	総数 (除不明)	なし	あり					不明	
				計	+	++	+++	強さ不明		
総数	1527	1443	337	1106	619	295	98	94	84	
	%	100%	23.4	76.6	42.9	20.4	6.8	6.5		
確実になし	254	241	81	160	99	35	13	13	13	
	%	100%	33.6	66.4	41.1	14.5	5.4	5.4		
あり	総数	1273	1202	256	946	520	260	85	81	71
		%	100%	21.3	78.7	43.3	21.6	7.0	6.7	
	20g以下	328	314	68	246	135	68	23	20	14
		%	100%	21.7	78.3	43.0	21.7	7.3	6.4	
	21~60g	475	453	87	366	198	108	36	24	22
		%	100%	19.2	80.8	43.7	23.8	7.9	5.3	
	60g以上	148	146	32	114	64	31	10	9	2
		%	100%	21.9	78.1	43.8	21.2	6.8	6.2	
	量不明	322	289	69	220	123	53	16	28	33
		%	100%	23.9	76.1	42.6	18.3	5.5	9.7	

表9 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別下痢の強さ

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明	
				計	+	++	+++	強さ不明		
総 数	1527	1443	337	1106	619	295	98	94	84	
	%	100%	23.4	76.6	42.9	20.4	6.8	6.5		
確実になし	174	163	63	100	62	20	10	8	11	
	%	100%	38.7	61.3	38.0	12.3	6.1	4.9		
あ	総 数	1353	1280	274	1006	557	275	88	86	73
	%	100%	21.4	78.6	43.5	21.5	6.9	6.7		
40g以下	332	318	66	252	138	76	17	21	14	
	%	100%	20.8	79.2	43.4	23.9	5.3	6.6		
41~140g	412	390	84	306	166	86	28	26	22	
	%	100%	21.5	78.5	42.6	22.1	7.2	6.7		
141g以上	366	344	76	268	147	71	31	19	22	
	%	100%	22.1	77.9	42.7	20.6	9.0	5.5		
り	量不明	243	228	48	180	106	42	12	20	15
	%	100%	21.1	78.9	46.5	18.4	5.3	8.8		

表10 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別腹痛の強さ

神経症状発 現前6ヶ月	神経症状 発現後	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明
					計	+	++	+++	強さ不明	
総 数	総数	1527	1439	192	1247	735	286	128	98	88
		%	100%	13.3	86.7	51.1	19.9	8.9	6.8	
	確実になし	332	312	58	254	156	56	21	21	20
		%	100%	18.6	81.4	50.0	17.9	6.7	6.7	
あ り	1195	1127	134	993	579	230	107	77	68	
	%	100%	11.9	88.1	51.4	20.4	9.5	6.8		
確実になし	総 数	254	241	59	182	121	35	10	16	13
		%	100%	24.4	75.6	50.0	14.5	4.1	6.6	
	確実になし	174	162	45	117	81	21	6	9	12
		%	100%	27.8	72.2	50.0	13.0	3.7	5.6	
あ り	80	79	14	65	40	14	4	7	1	
	%	100%	17.7	82.3	50.6	17.7	5.1	8.9		
あ り	総 数	1273	1198	133	1065	614	251	118	82	75
		%	100%	11.1	88.9	54.3	21.0	9.8	6.8	
	確実になし	158	150	13	137	75	35	15	12	8
		%	100%	8.7	91.3	50.0	23.3	10.0	8.0	
あ り	1115	1048	120	928	539	216	103	70	67	
	%	100%	11.5	88.5	51.4	20.6	9.8	6.7		

表11 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別腹痛の強さ

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明	
				計	+	++	+++	強さ不明		
総 数	1527	1439	192	1247	735	286	128	98	88	
	%	100%	13.3	86.7	51.1	19.9	8.9	6.8		
確実になし	254	241	59	182	121	35	10	16	13	
	%	100%	24.5	75.5	50.2	14.5	4.1	6.6		
あ	総 数	1273	1198	133	1065	614	251	118	82	
	%	100%	11.1	88.9	51.3	21.0	9.8	6.8	7.5	
20g以下	328	318	32	286	159	76	31	20		
	%	100%	10.1	89.9	50.0	23.9	9.7	6.3	10	
21~60g	475	452	49	403	224	100	53	26		
	%	100%	10.8	89.2	49.6	22.1	11.7	5.8	23	
り	61g以上	148	143	19	124	72	30	14	8	
	%	100%	13.3	86.7	50.3	21.0	9.8	5.6	5	
量不明	322	285	33	252	159	45	20	28		
	%	100%	11.6	88.4	55.8	15.8	7.0	9.8	37	

表12 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別腹痛の強さ

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明	
				計	+	++	+++	強さ不明		
総 数	1527	1439	192	1247	735	286	128	98	88	
	%	100%	13.3	86.7	51.1	19.9	8.9	6.8		
確実になし	174	162	45	117	81	21	6	9	12	
	%	100%	27.8	72.2	50.0	13.0	3.7	5.6		
あ	総 数	1353	1277	147	1130	654	265	122	89	76
	%	100%	11.5	88.5	51.2	20.8	9.6	7.0		
40g以下	332	322	37	285	166	70	31	18	10	
	%	100%	11.5	88.5	51.6	21.7	9.6	5.6		
41~140g	412	389	44	345	185	85	47	28	23	
	%	100%	11.3	88.7	47.6	21.9	12.1	7.2		
り	140g以上	366	346	41	305	171	77	31	26	20
	%	100%	11.8	88.2	49.4	22.3	9.0	7.5		
量不明	243	220	25	195	132	33	13	17	23	
	%	100%	11.4	88.6	60.0	15.0	5.9	7.7		

表13 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別知覚障害の範囲

神経症状発現前6ヶ月	神経症状発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あり						不明
					計	足関節まで	膝まで	それい部まで	へそまで	他	
総数	総数	1527	1468	16	1452	139	340	500	414	59	59
		%	100%	1.1	98.9	9.5	23.2	34.1	28.2	4.0	
	確実になし	332	315	9	306	33	87	108	65	13	17
		%	100%	2.9	97.1	10.5	27.6	34.3	20.6	4.1	
あり	1195	1153	7	1146	106	253	392	349	46	42	
	%	100%	0.6	99.4	9.2	21.9	34.0	30.3	4.0		
確実になし	総数	254	244	8	236	32	64	73	50	17	10
		%	100%	3.3	96.7	13.1	26.2	29.9	20.5	7.0	
	確実になし	174	164	8	156	18	39	54	33	12	10
		%	100%	4.9	95.1	11.0	23.8	32.9	20.1	7.3	
あり	80	80	0	80	14	25	19	17	5	0	
	%	100%	0	100.0	17.5	31.3	23.8	21.3	6.3		
あり	総数	1273	1224	8	1216	107	276	427	364	42	49
		%	100%	0.7	99.3	8.7	22.5	34.9	29.7	3.4	
	確実になし	158	151	1	150	15	48	54	32	1	7
		%	100%	0.7	99.3	9.9	31.8	35.8	21.2	0.7	
あり	1115	1073	7	1066	92	228	373	332	41	42	
	%	100%	0.7	99.3	8.6	21.2	34.8	30.9	3.8		

表14 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別知覚障害の範囲

区分	総数	総数 (除不明)	なし	あり						不明	
				計	足関節まで	膝まで	それい部まで	へそまで	その他		
総数	1527	1468	16	1452	139	340	500	414	59	59	
	%	100%	1.1	98.9	9.5	23.2	34.1	28.2	4.0		
確実になし	254	244	8	236	32	64	73	50	17	10	
	%	100%	3.3	96.7	13.1	26.2	29.9	20.5	7.0		
あり	総数	1273	1224	8	1216	107	276	427	364	42	49
	%	100%	0.7	99.3	8.7	22.5	34.9	29.7	3.4		
20g以下	328	320	3	317	26	70	114	96	11	8	
	%	100%	0.9	99.1	8.1	21.9	35.6	30.0	3.4		
21~60g	475	460	1	459	39	99	163	137	21	15	
	%	100%	0.2	99.8	8.5	21.5	35.4	29.8	4.6		
61g以上	148	147	0	147	15	40	46	42	4	1	
	%	100%	0	100.0	10.2	27.2	31.3	28.6	2.7		
量不明	322	297	4	293	27	67	104	89	6	25	
	%	100%	1.3	98.7	9.1	22.6	35.0	30.0	2.0		

表15 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別知覚障害の範囲

区分	総数	総数 (除不明)	なし	あり						不明
				計	足関節 まで	膝まで	それい 部まで	へそまで	その他	
総数	1527	1468	16	1452	139	340	500	414	59	59
	%	100%	1.1	98.9	9.5	23.2	34.1	28.2	4.0	
確実になし	174	164	8	156	18	39	54	33	12	10
	%	100%	4.9	95.1	11.0	23.8	32.9	20.1	7.3	
あり	1353	1304	8	1296	121	301	446	381	47	49
	%	100%	0.6	99.4	9.3	23.1	34.2	29.2	3.6	
40g以下	332	320	5	315	30	85	116	73	11	12
	%	100%	1.6	98.4	9.4	26.6	36.2	22.8	3.4	
41~140	412	396	1	395	38	76	139	121	21	16
	%	100%	0.3	99.7	9.6	19.2	35.1	30.6	5.3	
141g以上	366	356	2	354	32	85	107	118	12	10
	%	100%	0.6	99.4	9.0	23.9	30.1	33.1	3.4	
量不明	243	232	0	232	21	55	84	69	3	11
	%	100%	0	100.0	9.1	23.7	36.2	29.7	1.3	

表16 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別運動障害の程度

神経症状発 現前6ヶ月	神経症 状発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あり					不明
					計	下肢の 脱力	歩行困難	起立不能	その他	
総数	総数	1527	1477	247	1230	314	532	368	16	50
	%	100%	16.7	83.3	21.3	36.0	24.9	1.1		
	確実になし	332	320	62	258	79	111	63	5	12
	%	100%	19.4	80.6	24.7	34.7	19.7	1.6		
あり	1195	1157	185	972	235	421	305	11	38	
	%	100%	16.0	84.0	20.3	36.4	26.4	1.0		
確実になし	総数	254	244	45	199	56	85	54	4	10
	%	100%	18.4	81.6	23.0	34.8	22.1	1.6		
	確実になし	174	166	28	138	37	63	34	4	8
	%	100%	16.9	83.1	22.3	38.0	20.5	2.4		
あり	80	78	17	61	19	22	20	0	2	
	%	100%	21.8	78.2	24.4	28.2	25.6	0		
あり	総数	1273	1233	202	1031	258	447	314	12	40
	%	100%	16.4	83.6	20.9	36.3	25.5	1.0		
	確実になし	158	154	34	120	42	48	29	1	4
	%	100%	22.1	77.9	27.3	31.2	18.8	0.6		
あり	1115	1079	168	911	216	399	285	11	36	
	%	100%	15.6	84.4	20.0	37.0	26.4	1.0		

表17 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別運動障害の程度

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明	
				計	下肢の 脱 力	歩行困難	起立不能	その他		
総 数	1527	1477	247	1230	314	532	368	16	50	
	%	100%	16.7	83.3	21.3	36.0	24.9	1.1		
確実になし	254	244	45	199	56	85	54	4	10	
	%	100%	18.4	81.6	23.0	34.8	22.1	1.6		
あ	総 数	1273	1233	202	1031	258	447	314	12	40
	%	100%	16.4	83.6	20.9	36.3	25.5	1.0		
20g以下	328	322	60	262	62	110	87	3	6	
	%	100%	18.6	81.4	19.3	34.2	27.0	0.9		
21~60g	475	464	73	391	102	167	119	3	11	
	%	100%	15.7	84.3	22.0	36.0	25.6	0.6		
り	61g以上	148	147	21	126	35	51	39	1	1
	%	100%	14.3	85.7	23.8	34.7	26.5	0.7		
量不明	322	300	48	252	59	119	69	5	22	
	%	100%	16.0	84.0	19.7	39.7	23.0	1.7		

表18 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別運動障害の程度

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明	
				計	下肢の 脱 力	歩行困難	起立不能	その他		
総 数	1527	1477	247	1230	314	532	368	16	50	
	%	100%	16.7	83.3	21.3	36.0	24.9	1.1		
確実になし	174	166	28	138	37	63	34	4	8	
	%	100%	16.9	83.1	22.3	38.0	20.5	2.4		
あ	総 数	1353	1311	219	1092	277	469	334	12	42
	%	100%	16.7	83.3	21.1	35.8	25.5	0.9		
40g以下	332	325	61	264	76	118	68	2	7	
	%	100%	18.8	81.2	23.4	36.3	20.9	0.6		
41~140g	412	398	60	338	85	138	112	3	14	
	%	100%	15.1	84.9	21.4	34.7	28.1	0.8		
り	141g以上	366	355	61	294	72	117	103	2	11
	%	100%	17.2	82.8	20.3	33.0	29.0	0.6		
量不明	243	233	37	196	44	96	51	5	10	
	%	100%	15.9	84.1	18.9	41.2	21.9	2.1		

表19 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別・視力障害の程度

神経症状発現前 6ヶ月	神経症状発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あり				不明
					計	軽度	中等度	高度	
総数	総数	1527	1442	1023	419	207	88	124	85
		%	100%	70.9	29.1	14.4	6.1	8.6	
	確実になし	332	307	241	66	43	12	11	25
		%	100%	78.5	21.5	14.0	3.9	3.6	
あり	1195	1135	782	353	164	76	113	60	
	%	100%	68.9	31.1	14.4	6.7	10.0		
確実になし	総数	254	236	173	63	34	15	14	18
		%	100%	73.3	26.7	14.4	6.4	5.9	
	確実になし	174	159	120	39	24	9	6	15
		%	100%	75.5	24.5	15.1	5.7	3.8	
あり	80	77	53	24	10	6	8	3	
	%	100%	68.8	31.2	13.0	7.8	10.4		
あり	総数	1273	1206	850	356	173	73	110	67
		%	100%	70.5	29.5	14.3	6.1	9.1	
	確実になし	158	148	121	27	19	3	5	10
		%	100%	81.8	18.2	12.8	2.0	3.4	
あり	1115	1058	729	329	154	70	105	57	
	%	100%	68.9	31.1	14.6	6.6	9.9		

表20 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別視力障害の程度

区分	総数	総数 (除不明)	なし	あり				不明	
				計	軽度	中等度	高度		
総数	1527	1442	1023	419	207	88	124	85	
	%	100%	70.9	29.1	14.4	6.1	8.6		
確実になし	254	236	173	63	34	15	14	18	
	%	100%	73.3	26.7	14.4	6.4	5.9		
あり	総数	1273	1206	850	356	173	73	110	67
		%	100%	70.5	29.5	14.3	6.1	9.1	
	20g以下	328	311	231	80	41	17	22	17
		%	100%	74.3	25.7	13.2	5.5	7.1	
	21~60g	475	461	338	123	58	28	37	14
		%	100%	73.3	26.7	12.6	6.1	8.0	
	61g以上	148	142	97	45	19	9	17	6
		%	100%	68.3	31.7	13.4	6.3	12.0	
	量不明	322	292	184	108	55	19	34	30
		%	100%	63.0	37.0	18.8	6.5	11.6	

表2 1 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別視力障害の程度

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り				不 明	
				計	軽 度	中等度	高 度		
総 数	1527	1442	1023	419	207	88	124	85	
	%	100%	70.9	29.1	14.4	6.1	8.6		
確実になし	174	159	120	39	24	9	6	15	
	%	100%	75.5	24.5	15.1	5.7	3.8		
あ	総 数	1353	1283	903	380	183	79	118	70
	%	100%	70.4	70.4	29.5	14.3	6.2	9.2	
40g以下	332	315	251	64	39	13	12	17	
	%	100%	79.7	20.3	12.4	4.1	3.8		
41~140g	412	394	295	99	50	27	22	13	
	%	100%	74.9	25.1	12.7	6.9	5.6		
り	140g以上	366	348	211	137	53	23	61	18
	%	100%	60.6	39.4	15.2	6.6	17.5		
量不明	243	226	146	80	41	16	23	17	
	%	100%	64.6	35.4	18.1	7.1	10.2		

表2 2 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別・緑色舌苔の合併

神経症状発 現前6ヶ月	神経症状 発 現 後	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り				不 明
					計	軽 度	中等度	高 度	
総 数	総 数	1527	1164	966	198	99	75	24	363
		%	100%	83.0	17.0	8.5	6.4	2.1	
	確実になし	332	266	253	13	5	4	4	66
		%	100%	95.1	4.9	1.9	1.5	1.5	
	あ り	1195	898	713	185	94	71	20	297
		%	100%	79.4	20.6	10.5	7.9	2.2	
確実になし	総 数	254	210	193	17	5	5	7	44
		%	100%	91.9	8.1	2.4	2.4	3.3	
	確実になし	174	146	142	4	1	1	2	28
		%	100%	97.3	2.7	0.7	0.7	1.4	
	あ り	80	64	51	13	4	4	5	16
		%	100%	79.7	20.3	6.3	6.3	7.8	
あ り	総 数	1273	954	773	181	94	70	17	319
		%	100%	81.0	19.0	9.9	7.3	1.8	
	確実になし	158	120	111	9	4	3	2	38
		%	100%	92.5	7.5	3.3	2.5	1.7	
	あ り	1115	834	662	172	90	67	15	281
		%	100%	79.4	20.6	10.8	8.0	1.8	

表 2 3 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別緑色舌苔の合併

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り				不 明	
				計	軽 度	中 等 度	高 度		
総 数	1527	1164	966	198	99	75	24	363	
	%	100%	83.0	17.0	8.5	6.4	2.1		
確実になし	254	210	193	17	5	5	7	44	
	%	100%	91.9	8.1	2.4	2.4	3.3		
あ	総 数	1273	954	773	181	94	70	17	319
	%	100%	81.0	81.0	19.0	9.9	7.3	1.8	
20 g 以下	328	237	194	43	22	17	4	91	
	%	100%	81.9	18.1	9.3	7.2	1.7		
21 ~ 60 g	475	341	272	69	36	26	7	134	
	%	100%	79.8	20.2	10.6	7.6	2.1		
り	61 g 以上	148	104	85	19	12	5	2	44
	%	100%	81.7	18.3	11.5	4.8	1.9		
量 不 明	322	272	222	50	24	22	4	50	
	%	100%	81.6	18.4	8.8	8.1	1.5		

表 2 4 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別緑色舌苔の合併

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り				不 明	
				計	軽 度	中 等 度	高 度		
総 数	1527	1164	966	198	99	75	24	363	
	%	100%	83.0	17.0	8.5	6.4	2.1		
確実になし	174	146	142	4	1	1	2	28	
	%	100%	97.3	2.7	0.7	0.7	1.4		
あ	総 数	1353	1018	824	194	98	74	22	335
	%	100%	80.9	80.9	19.1	9.6	7.3	2.2	
40 g 以下	332	241	209	32	14	15	3	91	
	%	100%	86.7	13.3	5.8	6.2	1.2		
41 ~ 140 g	412	312	259	53	28	19	6	100	
	%	100%	83.0	17.0	9.0	6.1	1.9		
り	141 g 以上	366	269	196	73	38	27	8	97
	%	100%	72.9	27.1	14.1	10.0	3.0		
量 不 明	243	196	160	36	18	13	5	47	
	%	100%	81.6	18.4	9.2	6.6	2.6		

表25 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別経過

神経症状発現前6ヶ月	神経症状発現後	総数	総数 (除不明)	治ゆ	軽快	不変	悪化	死亡	不明
総数	総数	1527	1439	60	827	398	55	99	88
		%	100%	4.2	57.5	27.7	3.8	6.9	
	確実になし	332	318	17	195	87	9	10	14
		%	100%	5.4	61.3	27.4	2.8	3.1	
	あり	1195	1121	43	632	311	46	89	74
		%	100%	3.8	56.4	27.8	4.1	7.9	
確実になし	総数	254	240	20	133	65	9	13	14
		%	100%	8.4	55.4	27.0	3.8	5.4	
	確実になし	174	164	14	89	48	6	7	10
		%	100%	8.6	54.2	29.2	3.7	4.2	
	あり	80	76	6	44	17	3	6	4
		%	100%	7.9	57.9	22.4	3.9	7.9	
あり	総数	1273	1199	40	694	333	46	86	74
		%	100%	3.3	57.8	27.9	3.8	7.2	
	確実になし	158	154	3	106	39	3	3	4
		%	100%	1.8	68.8	25.9	1.8	1.8	
	あり	1115	1045	37	588	294	43	83	70
		%	100%	3.5	56.1	28.4	4.1	7.9	

表26 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別経過

区分	総数	総数 (除不明)	治ゆ	軽快	不変	悪化	死亡	不明	
総数	1527	1439	60	827	398	55	99	88	
	%	100%	4.2	57.5	27.7	3.8	6.9		
確実になし	254	240	20	133	65	9	13	14	
	%	100%	8.3	55.4	27.1	3.8	5.4		
あり	総数	1273	1199	40	694	333	46	86	74
		%	100%	3.3	57.9	27.8	3.8	7.2	
	20g以下	328	306	15	183	73	11	24	22
		%	100%	4.9	59.8	23.9	3.6	7.8	
	21~60g	475	452	12	269	122	15	34	23
		%	100%	2.7	59.5	27.0	3.3	7.5	
	61g以上	148	139	5	75	43	7	9	9
		%	100%	3.6	54.0	30.9	5.0	6.5	
	量不明	322	302	8	167	95	13	19	20
		%	100%	2.6	55.3	31.5	4.3	6.3	

表 27 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別経過

区 分	総 数	総 数 (除不明)	治 ゆ	軽 快	不 変	悪 化	死 亡	不 明
総 数	1527	1439	60	827	398	55	99	88
	%	100%	4.2	57.5	27.7	3.8	6.9	
確実になし	174	164	14	89	48	6	7	10
	%	100%	8.5	54.3	29.3	3.7	4.3	
あ	総 数	1353	1275	46	738	350	49	78
	%	100%	100%	3.6	57.9	27.5	3.8	7.2
り	40g以下	332	310	14	194	76	7	19
	%	100%	100%	4.5	62.6	24.5	2.3	6.1
り	41~140g	412	390	13	233	101	12	31
	%	100%	100%	3.3	59.7	25.9	3.1	7.9
り	141g以上	366	347	10	184	106	20	27
	%	100%	100%	2.9	53.0	30.5	5.8	7.8
り	量不明	243	228	9	127	67	10	15
	%	100%	100%	3.9	55.7	29.4	4.4	6.6

表 28 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別重症度

神経症状発 現前6ヶ月	神経症状 発 現 後	総 数	総 数 (除不明)	軽 症	中 等 度	重 症	不 明
総 数	総 数	1527	1450	549	591	310	77
		%	100%	37.9	40.8	21.4	
	確実になし	332	319	147	140	32	13
		%	100%	46.1	43.9	10.0	
あ	り	1195	1131	402	451	278	64
		%	100%	35.5	39.9	24.6	
確実になし	総 数	254	243	115	93	35	11
		%	100%	47.3	38.3	14.4	
	確実になし	174	166	76	69	21	8
		%	100%	45.8	41.6	12.7	
あ	り	80	77	39	24	14	3
		%	100%	50.6	31.2	18.2	
あ	総 数	1273	1207	434	498	275	66
		%	100%	36.0	41.3	22.8	
	確実になし	158	153	71	71	11	5
		%	100%	46.4	46.4	7.2	
あ	り	1115	1054	363	427	264	61
		%	100%	34.4	40.5	25.0	

表 29 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別重症度

区 分	総 数	総 数 (除不明)	軽 症	中等症	重 症	不 明	
総 数	1527	1450	549	591	310	77	
	%	100%	37.9	40.8	21.4		
確実になし	254	243	115	93	35	11	
	%	100%	47.3	38.3	14.4		
あ           り	総 数	1273	1207	434	498	275	66
		%	100%	36.0	41.3	22.8	
	40 g 以下	328	317	122	125	70	11
		%	100%	38.5	39.4	22.1	
	41~140g	475	457	155	193	109	18
		%	100%	33.9	42.2	23.9	
	141 g 以上	148	140	52	55	33	8
		%	100%	37.1	39.3	23.6	
	量 不 明	322	293	105	125	63	29
		%	100%	35.8	42.7	21.5	

表 30 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別重症度

区 分	総 数	総 数 (除不明)	軽 症	中等症	重 症	不 明	
総 数	1527	1450	549	591	310	77	
	%	100%	37.9	40.8	21.4		
確実になし	174	166	76	69	21	8	
	%	100%	45.8	41.6	12.7		
あ           り	総 数	1353	1284	473	522	289	69
		%	100%	36.8	40.7	22.5	
	20 g 以下	332	319	135	138	46	13
		%	100%	42.3	43.3	14.4	
	21~60 g	412	392	127	177	88	20
		%	100%	32.4	45.2	22.4	
	61 g 以上	366	347	134	106	107	19
		%	100%	38.6	30.5	30.8	
	量 不 明	243	226	77	101	48	17
		%	100%	34.1	44.7	21.2	

表3 1 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別再燃

神経症状発現前 6カ月	神経症状発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あり	不明
総数	総数	1527	1331	1118	213	196
		%	100%	84.0	16.0	14.7
	確実になし	332	292	264	28	40
		%	100%	90.4	9.6	13.7
	あり	1195	1039	854	185	156
		%	100%	82.2	17.8	15.0
確実になし	総数	254	222	188	34	32
		%	100%	84.7	15.3	14.4
	確実になし	174	148	134	14	26
		%	100%	90.5	9.5	17.6
	あり	80	74	54	20	6
		%	100%	73.0	27.0	8.1
あり	総数	1273	1109	930	179	164
		%	100%	83.9	16.1	14.8
	確実になし	158	144	130	14	14
		%	100%	90.3	9.7	9.7
	あり	1115	965	800	165	150
		%	100%	82.9	17.1	15.5

表3 2 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別再燃

区分	総数	総数 (除不明)	なし	あり	不明	
総数	1527	1331	1118	213	196	
	%	100%	84.0	16.0		
確実になし	254	222	188	34	32	
	%	100%	84.7	15.3		
あり	総数	1273	1109	930	179	164
		%	100%	83.9	16.1	
	20g以下	328	286	245	41	42
		%	100%	85.7	14.3	
	21~60g	475	422	350	72	53
		%	100%	82.9	17.1	
60g以上	148	130	108	22	18	
	%	100%	83.1	16.9		
不明	322	271	227	44	51	
	%	100%	83.8	16.2		

表 3 3 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別再燃

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り	不 明	
総 数	1527	1331	1118	213	196	
	%	100%	84.0	16.0		
確 実 に な し	174	148	134	14	26	
	%	100%	90.5	9.5		
あ	総 数	1353	1183	984	199	170
	%	100%	83.2	16.8		
40 g 以下	332	294	262	32	38	
	%	100%	89.1	10.9		
41~140 g	412	362	309	53	50	
	%	100%	85.4	14.6		
り	141g 以上	366	326	246	80	40
	%	100%	75.5	24.5		
量 不 明	243	201	167	34	42	
	%	100%	83.1	16.9		

表 3 4 神経症状発現前後におけるキノホルム使用有無別手術の既往歴と術後のキノホルム使用状況

神経症状発 現前6カ月	神経症状 発 現 後	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り			不 明	
					計	手術後のキノホルム使用			
						な し	あ り		不 明
総 数	総 数	1527	1404	1268	136	38	80	18	123
		%	100%	90.3	9.7	2.7	5.7	1.3	8.8
	確 実 に な し	332	314	291	23	16	5	2	18
		%	100%	92.7	7.3	5.1	1.6	0.6	5.7
	あ り	1195	1090	977	113	22	75	16	105
		%	100%	89.6	10.4	2.0	6.9	1.5	9.6
確 実 に な し	総 数	254	236	217	19	15	2	2	18
		%	100%	91.9	8.1	6.4	0.8	0.8	7.6
	確 実 に な し	174	163	149	14	12	0	2	11
		%	100%	91.4	8.6	7.4	0	1.2	6.7
	あ り	80	73	68	5	3	2	0	7
		%	100%	93.2	6.8	4.1	2.7	0	9.6
あ り	総 数	1273	1168	1051	117	23	78	16	105
		%	100%	90.0	10.0	2.0	6.7	1.4	9.0
	確 実 に な し	158	151	142	9	4	5	0	7
		%	100%	94.0	6.0	2.6	3.3	0	4.6
	あ り	1115	1017	909	108	19	73	16	98
		%	100%	89.4	10.6	1.9	7.2	1.6	9.6

表35 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別手術の既往歴と手術後のキノホルム使用状況

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り			不 明		
				計	手術後のキノホルム使用				
					な し	あ り		不 明	
総 数	1527	1404	1268	136	38	80	18	123	
	%	100%	90.3	9.7	2.7	5.7	1.3		
確実になし	254	236	217	19	15	2	2	18	
	%	100%	91.9	8.1	6.4	0.8	0.8		
あ	総 数	1273	1168	1051	117	23	78	16	105
		%	100%	90.0	10.0	2.0	6.7	1.4	
あ	20g以下	328	294	276	18	3	13	2	34
		%	100%	93.9	6.1	1.0	4.4	0.7	
あ	21~60g	475	440	406	34	9	21	4	35
		%	100%	92.3	7.7	2.0	4.8	0.9	
り	61g以上	148	129	123	6	1	2	3	19
		%	100%	95.3	4.7	0.8	1.6	2.3	
り	量不明	322	305	246	59	10	42	7	17
		%	100%	80.7	19.3	3.3	13.8	2.3	

表36 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別手術の既往歴と手術後のキノホルム使用状況

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り			不 明		
				計	手術後のキノホルム使用				
					な し	あ り		不 明	
総 数	1527	1404	1268	136	38	80	18	123	
	%	100%	90.3	9.7	2.7	5.7	1.3		
確実になし	174	163	149	14	12	0	2	11	
	%	100%	91.4	8.6	7.4	0	1.2		
あ	総 数	1353	1241	1119	122	26	80	16	112
		%	100%	90.2	9.8	2.1	6.4	1.3	
あ	40g以下	332	311	287	24	9	14	1	21
		%	100%	92.3	7.7	2.9	4.5	0.3	
あ	41~140g	412	372	332	40	6	31	3	40
		%	100%	89.2	10.8	1.6	8.3	0.8	
り	141g以上	366	336	307	29	3	22	4	30
		%	100%	91.4	8.6	0.9	6.5	1.2	
り	量不明	243	222	193	29	8	13	8	21
		%	100%	86.9	13.1	3.6	5.9	3.6	

表 3 7 性 , 年令別神経症状発現前6カ月のキノホルム

使用状況 年令不明2名を除く

区 分	男		女		
	39才以下	40才以上	39才以下	40才以上	
総 数	169	278	306	772	
確実になし	22	66	47	119	
あ り 量 別	計	109	162	196	482
	1~10g	12	24	37	63
	11~20	23	28	42	102
	21~40	41	52	65	190
	41~60	15	33	22	52
	61~100	9	11	15	40
	101~140	3	7	7	20
	141~220	6	6	6	9
	221~300	0	1	2	5
	301~460	0	0	0	1
	461以上	0	0	0	0
あり量不明	38	50	63	171	

表38 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム服用量別知覚障害の範囲

下痢	薬剤の服用量	総数	総数 (除不明)	なし	あり						不明	
					計	足関節 まで	膝まで	それい 部まで	へそまで	その他		
-	総数	250	243	5	238	19	53	87	66	13	7	
		%	100%	2.1	97.9	7.8	21.8	35.8	27.2	5.3		
	確実になし	63	59	5	54	6	17	19	8	4	4	
		%	100%	8.5	91.6	10.2	28.8	32.2	13.6	6.8		
	20g以下	68	66	0	66	2	16	27	19	2	2	
		%	100%	0	100	3.0	24.2	40.9	28.8	3.0		
	21~60g	87	86	0	86	5	14	31	29	7	1	
		%	100%	0	100	5.8	16.3	36.0	33.7	8.1		
	61g以上	32	32	0	32	6	6	10	10	0	0	
		%	100%	0	100	18.8	18.8	31.3	31.3	0		
	+	総数	459	448	5	443	45	109	165	110	14	11
			%	100%	1.1	98.9	10.0	24.3	36.8	24.6	3.1	
確実になし		62	61	3	58	9	14	19	11	5	1	
		%	100%	4.9	95.1	14.8	23.0	31.1	18.0	8.2		
20g以下		135	134	1	133	12	27	51	40	3	1	
		%	100%	0.7	99.3	9.0	20.1	38.1	29.9	2.2		
21~60g		198	190	1	189	18	47	75	45	4	8	
		%	100%	0.5	99.5	9.5	24.7	39.5	23.7	2.1		
61g以上		64	63	0	63	6	21	20	14	2	1	
		%	100%	0	100	9.5	33.3	31.7	22.2	3.2		
++		総数	306	299	1	298	27	63	91	101	16	7
			%	100%	0.3	99.7	9.0	21.1	30.4	33.8	5.4	
	確実になし	30	30	0	30	3	6	8	10	3	0	
		%	100%	0	100	10.0	20.0	26.7	33.3	10.0		
	20g以下	91	87	1	86	9	19	25	29	4	4	
		%	100%	1.1	98.9	10.3	21.8	28.7	33.3	4.6		
	21~60g	144	141	0	141	12	29	45	47	8	3	
		%	100%	0	100	8.5	20.6	31.9	33.3	5.7		
	61g以上	41	41	0	41	3	9	13	15	1	0	
		%	100%	0	100	7.3	22.0	31.7	36.6	2.4		

表 3 9 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム服用量別運動障害の程度

下痢	薬剤の服用量	総数	総数 (除不明)	なし	あり					不明	
					計	下肢の脱力	歩行困難	起立不能	その他		
一	総数	250	244	45	199	47	82	65	5	6	
		%	100%	18.4	81.6	19.3	33.6	26.6	2.0		
	確実になし	63	59	11	48	14	20	11	3	4	
		%	100%	18.6	81.4	23.7	33.9	18.6	5.1		
	20g以下	68	68	9	59	14	24	21	0	0	
		%	100%	13.2	86.8	20.6	35.3	30.9	0		
	21~60g	87	85	18	67	15	27	23	2	2	
		%	100%	21.2	78.8	17.6	31.8	27.1	2.4		
	61g以上	32	32	7	25	4	11	10	0	0	
		%	100%	21.9	78.1	12.5	34.4	31.3	0		
	十	総数	459	450	73	377	120	153	100	4	9
			%	100%	16.2	83.8	26.7	34.0	22.2	0.9	
確実になし		62	61	11	50	15	22	12	1	1	
		%	100%	18.0	82.0	24.6	36.1	19.7	1.6		
20g以下		135	133	26	107	29	47	30	1	2	
		%	100%	19.5	80.5	21.8	35.3	22.6	0.8		
21~60g		198	193	25	168	59	64	44	1	5	
		%	100%	13.0	87.0	30.6	33.2	22.8	0.5		
61g以上		64	63	11	52	17	20	14	1	1	
		%	100%	17.5	82.5	27.0	31.7	22.2	1.6		
卅 ㄥ 卅		総数	306	301	40	261	50	117	92	2	5
			%	100%	13.3	86.7	16.6	38.9	30.6	0.7	
	確実になし	30	29	4	25	4	14	7	0	1	
		%	100%	13.8	86.2	13.8	48.3	24.1	0		
	20g以下	91	88	15	73	14	28	29	2	3	
		%	100%	17.0	83.0	15.9	31.8	33.0	2.3		
	21~60g	144	143	18	125	22	60	43	0	1	
		%	100%	12.6	87.4	15.4	42.0	30.1	0		
	61g以上	41	41	3	38	10	15	13	0	0	
		%	100%	7.3	92.7	24.4	36.6	31.7	0		

表40 下痢の程度別・神経症状発現前におけるキノホルム服用量別視力障害の程度

下痢	薬剤の服用量	総数	総数 (除不明)	なし	あり				不明	
					計	軽度	中等度	高度		
-	総数	250	237	173	64	31	18	15	13	
		%	100%	73.0	27.0	13.1	7.6	6.3		
	確実になし	63	57	46	11	6	4	1	6	
		%	100%	80.7	19.3	10.5	7.0	1.8		
	20g以下	68	64	45	19	9	5	5	4	
		%	100%	70.3	29.7	14.1	7.8	7.8		
	21~60g	87	85	60	25	13	8	4	2	
		%	100%	70.6	29.4	15.3	9.4	4.7		
	61g以上	32	31	22	9	3	1	5	1	
		%	100%	71.0	29.0	9.7	3.2	16.1		
	+	総数	459	443	332	111	56	23	32	16
			%	100%	74.9	25.1	12.6	5.2	7.2	
確実になし		62	59	44	15	6	5	4	3	
		%	100%	74.6	25.4	10.2	8.5	6.8		
20g以下		135	130	100	30	15	6	9	5	
		%	100%	76.9	23.1	11.5	4.6	6.9		
21~60g		198	192	146	46	25	9	12	6	
		%	100%	76.0	24.0	13.0	4.7	6.3		
61g以上		64	62	42	20	10	3	7	2	
		%	100%	67.7	32.3	16.1	4.8	11.3		
++		総数	306	292	216	76	34	18	24	14
			%	100%	74.0	26.0	11.6	6.2	8.2	
	確実になし	30	28	24	4	4	0	0	2	
		%	100%	85.7	14.3	14.3	0	0		
	20g以下	91	84	63	21	12	5	4	7	
		%	100%	75.0	25.0	14.3	6.0	4.8		
	21~60g	144	141	101	40	15	9	16	3	
		%	100%	71.6	28.4	10.6	6.0	11.4		
	61g以上	41	39	28	11	3	4	4	2	
		%	100%	71.8	28.2	7.7	10.3	10.3		

表 4 1 下痢の程度別・神経症状発現前におけるキノホルム服用量別重症度

下痢	薬剤の服用量	総 数	総 数 (除不明)	軽 症	中等症	重 症	不 明	
一	総 数	250	235	88	96	51	15	
		%	100%	37.5	40.9	21.7		
	確実になし	63	58	30	22	6	5	
		%	100%	51.7	37.9	10.3		
	20 g 以下	68	64	23	26	15	4	
		%	100%	35.9	40.6	23.4		
	21~60 g	87	84	23	39	22	3	
		%	100%	27.4	46.4	26.2		
	61 g 以上	32	29	12	9	8	3	
		%	100%	41.4	31.0	27.6		
	十	総 数	459	441	192	176	73	18
			%	100%	43.5	39.9	16.6	
確実になし		62	60	27	25	8	2	
		%	100%	45.0	41.7	13.3		
20 g 以下		135	130	57	49	24	5	
		%	100%	43.9	37.7	18.5		
21~60 g		198	192	79	82	31	6	
		%	100%	41.2	42.7	16.2		
61 g 以上		64	59	29	20	10	5	
		%	100%	49.2	33.9	17.0		
卅		総 数	306	300	85	133	82	6
			%	100%	28.3	44.3	27.3	
	確実になし	30	30	10	18	2	0	
		%	100%	33.3	60.0	6.7		
	20 g 以下	91	89	28	39	22	2	
		%	100%	31.5	43.8	24.7		
	21~60 g	144	140	39	57	44	4	
		%	100%	27.9	40.7	31.4		
	61 g 以上	41	41	8	19	14	0	
		%	100%	19.5	46.3	34.2		

表42 下痢の程度別・神経症状発現前におけるキノホルム服用量別再燃

下痢	薬剤の服用量	総数	総数 (除不明)	なし	あり	不明	
-	総数	250	219	196	23	31	
		%	100%	89.5	10.5		
	確実になし	63	54	52	2	9	
		%	100%	96.3	3.7		
	20g以下	68	62	55	7	6	
		%	100%	88.7	11.3		
	21~60g	87	76	66	10	11	
		%	100%	86.8	13.2		
	61g以上	32	27	23	4	5	
		%	100%	85.2	14.8		
	+	総数	459	403	352	51	56
			%	100%	87.3	12.7	
確実になし		62	54	48	6	8	
		%	100%	88.9	11.1		
20g以下		135	113	101	12	22	
		%	100%	89.4	10.6		
21~60g		198	179	154	25	19	
		%	100%	86.0	14.0		
61g以上		64	57	49	8	7	
		%	100%	86.0	14.0		
++ / +++		総数	306	274	216	58	32
			%	100%	78.8	21.2	
	確実になし	30	24	19	5	6	
		%	100%	79.2	20.8		
	20g以下	91	81	62	19	10	
		%	100%	76.5	23.5		
	21~60g	144	132	107	25	12	
		%	100%	81.1	18.9		
	61g以上	41	37	28	9	4	
		%	100%	75.7	24.3		

表 4 3 下痢の強さと腹痛の強さの関係

区 分	総 数	総 数 (除不明)	腹痛なし	腹 痛 あ り					不 明	
				計	+	++	+++	強さ不明		
総 数	1527	1429	192	1237	735	286	128	88	98	
	%	100%	13.4	86.6	51.4	20.0	9.0	6.2		
総 数 (除不明)	1433	1382	176	1206	718	284	123	81	51	
	%	100%	12.7	87.3	52.0	20.6	8.9	5.9		
下痢なし	337	313	52	261	143	72	43	3	24	
	%	100%	16.6	83.4	45.7	23.0	13.7	1.0		
下痢あり	計	1096	1069	124	945	575	212	80	78	27
		%	100%	11.6	88.4	53.8	19.8	7.5	7.3	
	+	619	608	77	531	422	66	26	17	11
		%	100%	12.7	87.3	69.4	10.9	4.3	2.8	
	++	295	288	29	259	120	109	23	7	7
		%	100%	10.1	89.9	41.7	37.8	8.0	2.4	
	+++	98	95	16	79	19	31	27	2	3
		%	100%	16.8	83.2	20.0	32.6	28.4	2.1	
	強さ不明	84	78	2	76	14	6	4	52	6
		%	100%	2.6	97.4	17.9	7.7	5.1	66.7	
	不 明	94	47	16	31	17	2	5	7	47
		%	100%	34.0	66.0	36.2	4.3	10.6	14.9	

表 4 4 腹痛の程度別：神経症状発現前におけるキノホルム服用量別重症度

腹痛	薬剤の服用量	総 数		軽 症	中等症	重 症	不 明	
		総 数	(除不明)					
一	総 数	145	138	51	63	24	7	
		%	100%	37.0	45.7	17.4		
	確実になし	45	41	17	17	7	4	
		%	100%	41.5	41.5	17.1		
	20 g 以下	32	32	10	16	6	0	
		%	100%	31.3	50.0	18.8		
	21~60g	49	49	15	24	10	0	
		%	100%	30.6	49.0	20.4		
	61 g 以上	19	16	9	6	1	3	
		%	100%	56.3	37.5	6.3		
	+	総 数	536	515	222	207	86	21
			%	100%	43.1	40.2	16.7	
確実になし		81	78	38	34	6	3	
		%	100%	48.7	43.6	7.7		
20 g 以下		159	150	72	57	21	9	
		%	100%	48.0	38.0	14.0		
21~60g		224	219	81	92	46	5	
		%	100%	37.0	42.0	21.0		
61 g 以上		72	68	31	24	13	4	
		%	100%	45.6	35.3	19.1		
++		総 数	331	321	87	133	101	10
			%	100%	27.1	41.4	31.5	
	確実になし	27	27	13	11	3	0	
		%	100%	48.2	40.7	11.1		
	20 g 以下	107	105	28	43	34	2	
		%	100%	26.7	41.0	32.4		
	21~60g	153	146	38	61	47	7	
		%	100%	26.0	41.8	32.2		
	61 g 以上	44	43	8	18	17	1	
		%	100%	18.6	41.9	39.5		

表45 下痢の程度別神経症状発現前におけるキノホルム服用量別経過

下痢	薬剤の服用量	総数	総数 (除不明)	治癒	軽快	不変	変化	死亡	不明	
-	総数	250	235	20	7	50	141	17	15	
		%	100%	8.5	3.0	21.3	60.0	7.2		
	確実になし	63	61	6	2	14	32	7	2	
		%	100%	9.8	3.3	23.0	52.5	11.5		
	20g以下	68	63	4	3	9	41	6	5	
		%	100%	6.4	4.8	14.3	65.1	9.5		
	21~60g	87	80	8	1	18	50	3	7	
		%	100%	10.0	1.3	22.5	62.5	3.8		
	61g以上	32	31	2	1	9	18	1	1	
		%	100%	6.5	3.2	29.0	58.1	3.2		
	+	総数	459	431	23	14	131	253	10	28
			%	100%	5.3	3.3	30.4	58.7	2.3	
確実になし		62	58	3	1	18	34	2	4	
		%	100%	5.2	1.7	31.0	58.6	3.5		
20g以下		135	127	9	5	39	72	2	8	
		%	100%	7.1	3.7	30.7	56.7	1.6		
21~60g		198	186	9	5	54	115	3	12	
		%	100%	4.8	2.7	29.0	61.8	1.6		
61g以上		64	60	2	3	20	32	3	4	
		%	100%	3.3	5.0	33.3	53.3	5.0		
++ { ###		総数	306	284	11	15	84	162	12	22
			%	100%	3.9	5.3	29.6	57.0	4.2	
	確実になし	30	29	0	1	11	14	3	1	
		%	100%	0	3.5	37.9	48.3	10.3		
	20g以下	91	84	6	3	18	53	4	7	
		%	100%	7.1	3.6	21.4	63.1	4.8		
	21~60g	144	133	3	8	43	75	4	11	
		%	100%	2.3	6.0	32.3	56.4	3.0		
	61g以上	41	38	2	3	12	20	1	3	
		%	100%	5.3	7.9	31.6	52.6	2.6		

表46-1 手術後におけるキノホルム使用の有無と神経症状の程度

a 知覚障害

区 分	総 数	な し	計	あ り					不 明
				足関節 ま で	膝 ま で	そけい 部 ま で	へそ ま で	そ の 他	
総 数	138	0	120	7	30	36	41	6	18
キノホルム使用	40	0	40	1	12	12	13	2	0
使 用 せ ず	80	0	62	5	16	19	18	4	18
不 明	18	0	18	1	2	5	10	0	0

表46-2 手術後におけるキノホルム使用の有無と神経症状の程度

b 運動障害

区 分	総 数	な し	計	あ り				不 明
				下 肢 脱 力	歩 行 困 難	起 立 不 能	そ の 他	
総 数	138	20	103	17	49	36	1	15
キノホルム使用	40	5	35	7	17	11	0	0
使 用 せ ず	80	14	51	8	23	19	1	15
不 明	18	1	17	2	9	6	0	0

表46-3 手術後におけるキノホルム使用の有無と神経症状の程度

c 視力障害

区 分	総 数	な し	計	あ り			不 明
				軽 度	中 等 度	高 度	
総 数	138	84	39	17	10	12	15
キノホルム使用	40	26	14	7	5	2	0
使 用 せ ず	80	48	19	6	4	9	13
不 明	18	10	6	4	1	1	2

表46-4 手術後におけるキノホルム使用の有無と神経症状の程度

d 再 燃

区 分	総 数	な し	あ り	不 明
総 数	138	98	11	29
キノホルム使用	40	32	4	4
使 用 せ ず	80	53	4	23
不 明	18	13	3	2

表47-1 スモン患者1527例(総数2456例中キノホルム服用の不確実および不明を除く)中の  
死亡者99名についての分析

区 分	男女計	男	女	
総 数	99	27	72	
年 令 別	0～9才	0	0	0
	10～19才	0	0	0
	20～29	2	0	2
	30～39	7	3	4
	40～49	14	4	10
	50～59	23	6	17
	60～69	26	9	17
	70才以上	24	4	20
	不 明	3	1	2

表47-2

区 分	男女計	男	女	
総 数	99	27	72	
初 診 年 次 別	昭和36年以前	7	2	5
	37	1	1	0
	38	1	0	1
	39	1	0	1
	40	5	1	4
	41	7	1	6
	42	19	6	13
	43	23	5	18
	44	26	9	17
	45	7	2	5
	46	0	0	0
	不 明	2	0	2

表47-3

区 分	男女計	男	女	
総 数	99	27	72	
知 覚 障 害 範 囲	な し	0	0	0
	足 関 節	1	0	1
	膝	3	2	1
	そけい部	24	5	19
	へ そ	59	16	43
	そ の 他	8	3	5
	不 明	4	1	3

表47-4

区 分	男女計	男	女	
総 数	99	27	72	
運 動 障 害 の 程 度	な し	0	0	0
	下肢の脱力	4	3	1
	歩行困難	21	7	14
	起立不能	69	17	52
	そ の 他	2	0	2
	不 明	3	0	3

表47-5

区 分	男女計	男	女	
総 数	99	27	72	
視 力 障 害	な し	35	10	25
	軽 度	12	3	9
	中 等 度	13	3	10
	高 度	33	9	24
	不 明	6	2	4

表 4 7 - 6

区 分	男女計	男	女	
総 数	99	27	72	
神 經 症 状 発 現 前 キ ノ ホ ル ム 使 用 量	確 実 に な し	13	2	11
	1~10 g	10	2	8
	11~ 20	14	3	11
	21~ 40	27	9	18
	41~ 60	7	3	4
	61~100	5	1	4
	101~140	3	1	2
	141~220	1	0	1
	221~300	0	0	0
	301~400	0	0	0
	401 以上	0	0	0
	不 明	19	6	13

\* キノホルム使用あり（量不明を除く）の

みの男女計平均=352g

表 4 7 - 7

区 分	男女計	男	女	
総 数	99	27	72	
神 經 症 状 発 現 後 キ ノ ホ ル ム 使 用 量	確 実 に な し	7	0	7
	1~10g	0	0	0
	11~ 20	5	1	4
	21~ 40	13	2	11
	41~ 60	9	2	7
	61~100	18	6	12
	101~140	5	1	4
	141~220	8	4	4
	221~300	7	3	4
	301~400	8	1	7
	401以上	4	0	4
	不 明	15	7	8

\* キノホルム使用あり（量不明を除く）

のみの男女計平均=137.9g

以上表2～表47までは，昭和45年度臨床班キノホルム調査委員会の報告（890名）との  
対比

表 4 8 相 関 表

相 関 係 数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	性 別	神経症 状発現 時年齢	初診年	腹部症 状発現 年	神経症 状発現 年	初診日 と神経 症状発 現日と の時期 的前後 の関係	⊕1日 投与量	⊕投与 日 数	神経症 状発現 前の⊕ 剤の種 類	神経症 状発現 前6ヶ 月以内 ⊕服用	神経症 状発現 後の ⊕服用
1 性 別	1.0	-0.028	-0.024	0.017	0.038	-0.050	-0.001	-0.007	0.019	0.052	-0.001
2 神経症状発現時年齢	-0.028	1.0	0.036	0.018	0.114	0.028	-0.045	-0.037	0.063	-0.03	-0.046
3 初 診 年	-0.024	0.036	1.0	0.065	0.056	*0.282	0.005	-0.037	0.076	0.012	-0.009
4 腹部症状発現年	0.017	0.018	0.065	1.0	*0.273	0.084	-0.01	0.019	0.059	-0.112	-0.114
5 神経症状発現年	0.038	0.114	0.056	0.273	1.0	0.076	0.046	-0.049	0.024	-0.063	-0.102
6 初診日と神経症状発現日との时期的前後の関係	-0.050	0.028	*0.282	0.084	0.076	1.0	0.047	-0.002	-0.064	*-0.229	-0.175
7 ⊕1日投与量	-0.001	-0.045	0.005	-0.01	0.046	0.047	1.0	-0.05	-0.129	0	-0.037
8 ⊕投与日数	-0.007	-0.037	-0.037	0.019	-0.049	-0.002	-0.05	1.0	0.045	0	0.039
9 神経症状発現前の⊕剤の種類	0.019	0.063	0.076	0.059	0.024	-0.064	-0.129	0.045	1.0	0.025	0.036
10 神経症状発現前6ヶ月以内⊕服用	0.052	-0.030	0.012	-0.112	-0.063	-0.229	0	0	0.025	1.0	*0.506
11 神経症状発現後の⊕服用	-0.001	-0.046	-0.009	-0.114	-0.102	-0.175	-0.037	0.039	0.036	0.506	1.0
12 神経症状発現前の⊕服用量	-0.043	-0.044	-0.059	0.038	-0.068	0.005	0.008	*0.638	0.012	0	0.034
13 病 院 名	0.005	0.001	0.064	0.016	0.047	*0.304	-0.010	0.019	0.179	0.028	-0.185
14 神経症状発現後⊕服用量	-0.042	-0.042	-0.086	0.038	-0.074	-0.092	-0.035	0.077	-0.147	-0.064	0.047
15 神経症状発現前後の⊕剤服用総量	-0.061	-0.061	-0.099	0.038	-0.105	-0.1	0.003	*0.313	-0.066	0.035	*0.339
16 下 痢	-0.019	0.011	-0.032	-0.099	0.028	-0.019	0.035	-0.014	-0.042	0.105	0.065
17 腹 痛	0.049	-0.034	-0.031	-0.148	-0.045	-0.15	-0.035	-0.081	0.004	0.153	0.079
18 知覚障害の範囲	0.051	-0.004	0	-0.013	-0.037	-0.025	0.083	-0.05	-0.068	0.119	0.105
19 運動障害の程度	0.105	-0.023	-0.001	-0.007	0.003	-0.09	0.096	0.017	-0.062	0.036	0.073
20 視 力 障 害	0.016	-0.045	-0.045	0.027	-0.03	-0.114	-0.006	0.036	-0.081	0.035	0.109
21 緑色舌苔の合併	-0.012	0.04	0.014	-0.04	-0.001	-0.065	-0.021	0.049	0.009	0.073	0.147
22 経 過	0.029	-0.057	-0.015	-0.031	-0.035	-0.051	0.074	0.069	-0.03	0.046	0.086
23											
24 重 症 度	0.051	-0.036	-0.022	-0.017	0.046	-0.08	0.064	0.017	-0.064	0.098	0.138
25 再 燃	0.025	-0.006	0.002	-0.073	-0.069	-0.02	-0.055	-0.016	-0.05	0.008	0.093
26 神経症状発現前6ヶ月以内の手術の既往歴と術後の⊕剤の使用	-0.089	0.015	0.021	0.104	0.014	-0.018	0.062	-0.024	0.151	0.022	0.042

注 \*印は相関係数の絶対値が0.2以上のもの

表4 8つづき

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
神経症 状発現 前の⑤ 服用量	病院名	神経症 状発現 後の⑤服 用量	神経症 状発現 前後の ⑤剤服 用総量	下痢	腹痛	知覚障 害の程 度	運動障 害の程 度	視力 障害	緑色舌 苔の合 併	経過		重症度	再燃	神経症 状6ヶ 月以内 の手術 の既往 歴と術 後の⑤ 剤の使用
-0.043	0.005	-0.042	-0.061	-0.019	0.049	0.051	0.105	0.016	-0.012	0.029		0.051	0.025	-0.089
-0.044	0.001	-0.042	-0.061	0.011	-0.034	-0.004	-0.023	-0.045	0.04	-0.057		-0.036	-0.006	0.015
-0.059	0.064	-0.086	-0.099	-0.032	-0.031	0	-0.001	-0.045	0.014	-0.015		-0.022	0.002	0.021
0.038	0.016	0.038	0.038	-0.099	-0.148	-0.013	-0.007	0.027	-0.04	-0.031		-0.017	-0.073	0.104
-0.068	0.047	-0.074	-0.105	0.028	-0.045	-0.037	0.003	-0.03	-0.001	-0.035		0.046	-0.069	0.014
0.005	0.304	-0.092	-0.1	-0.019	-0.15	-0.025	-0.09	-0.114	-0.065	-0.051		-0.08	-0.02	-0.018
0.008	-0.010	-0.035	0.003	0.035	-0.035	0.083	0.096	-0.006	-0.021	0.074		0.064	-0.055	0.062
*0.638	0.019	0.077	*0.313	-0.014	-0.081	-0.05	0.017	0.036	0.049	0.069		0.017	-0.016	-0.024
0.012	0.179	-0.147	-0.066	-0.042	0.004	-0.068	-0.062	-0.081	0.009	-0.03		-0.064	-0.05	0.151
0	0.028	-0.064	0.035	0.105	0.153	0.119	0.036	0.035	0.073	0.046		0.098	0.008	0.022
0.034	-0.185	0.047	*0.339	0.065	0.079	0.105	0.073	0.109	0.147	0.086		0.138	0.093	0.042
1.0	0.074	0.146	*0.485	0.01	-0.034	-0.04	-0.006	0.057	0	0.012		0	0.024	-0.008
0.074	1.0	*0.278	*0.268	-0.043	-0.098	0.061	0.025	-0.101	*0.23	-0.13		0.046	-0.181	-0.127
0.146	*0.278	1.0	*0.904	0.027	0.02	0.079	0.038	*0.262	0.169	0.077		0.098	0.135	0.004
*0.485	*0.268	*0.904	1.0	0.011	0.001	0.072	0.056	*0.23	0.126	0.1		0.123	0.139	0.016
0.01	-0.043	0.027	0.011	1.0	0.13	0.063	0.097	0.03	0.112	0.07		0.098	0.086	-0.076
-0.034	-0.098	0.02	0.001	0.13	1.0	0.187	0.145	0.073	0.151	0.023		0.171	0.098	0.073
-0.04	0.061	0.079	0.072	0.063	0.187	1.0	*0.51	*0.283	0.143	*0.249		*0.539	0.112	0.04
-0.006	0.025	0.038	0.056	0.097	0.145	*0.51	1.0	*0.391	0.166	*0.277		*0.682	0.109	0.041
0.057	-0.101	*0.262	*0.23	0.03	0.073	*0.283	*0.391	1.0	*0.227	*0.351		*0.503	0.123	0.031
0	-0.23	0.169	0.126	0.112	0.151	0.143	0.166	*0.227	1.0	0.154		*0.203	0.164	-0.024
0.012	-0.13	0.077	0.1	0.07	0.023	*0.249	*0.277	*0.351	0.154	1.0		*0.423	0.114	0.03
0	0.046	0.098	0.123	0.098	0.171	*0.539	*0.682	*0.503	*0.203	*0.423		1.0	0.178	0.072
0.024	-0.181	0.135	0.139	0.086	0.098	0.112	0.109	0.123	0.164	0.114		0.178	1.0	-0.052
-0.008	-0.127	0.004	0.016	-0.076	0.073	0.04	0.041	0.031	-0.024	0.03		0.072	-0.052	1.0

表49 キノホルム製剤別，腹部症状発現から神経症状発現までの期間

キノホルム製剤の種類	平均値 日/人	標備偏差	人数 ⊕不明・不 確実あり量 不明者並び に発現日不 明の者を除く	備考 ⊕以外の含有薬剤
1.キノホルム	55.1	80.5	24人	キノホルム100%
2.エマホルム散	67.6	207.2	373	1g中薬用石けん13mg・CMC
3.エマホルム錠	16.3	9.7	2	CMC等
4.エマホルムP	33.5	9.5	2	CMCブドウ糖
5.エンテロビオフォルム散	56.5	77.3	157	サバミン・デンプン等
6.エンテロビオフォルム錠	48.4	56.1	5	// //
7.メキサホルム	116.8	273.2	16	1g中エントベツクス10mgサバミン7mg
8.強力メキサホルム	32.0	75.9	30	1g中エントベツクス40mg
9.強力メキサホルム錠	57.8	92.3	63	1Tab中エントベツクス20mg
10.以上2種以上併用	106.1	210.1	64	

表50 ブロック別・腹部症状発現から神経症状発現迄の期間別患者数

地区ブロック	期間 平均値 日/人	期間標 準偏差	総数 (除不明)	期 間 区 分									日 数 不 明
				～0日	1～7	8～14	15～30	31～60	61～90	91 ～180	181 ～365	366日 以上	
全 国	55.8	180.8	1108人	93	115	124	303	255	81	70	41	26	1348
	%	100%		3.4	10.4	11.2	27.4	23.0	7.3	6.3	3.7	2.4	
北 海 道	46.5	64.4	64	0	7	6	18	19	8	5	0	1	63
	%	100%		0	10.9	9.4	28.1	29.7	12.5	7.8	0	1.6	
東 北	131.7	391.3	93	9	3	7	28	19	6	6	6	9	156
	%	100%		9.7	3.2	7.5	30.1	20.4	6.5	6.5	6.5	9.7	
関東・甲信越	60.9	217.4	93	9	10	7	27	26	5	4	4	1	197
	%	100%		9.7	10.8	7.5	29.0	28.0	5.4	4.3	4.3	1.1	
中部・北陸	59.9	80.9	170	11	8	15	48	45	9	19	12	3	168
	%	100%		6.5	4.7	8.8	28.2	26.5	5.3	11.2	7.1	1.8	
近 畿	50.4	200.0	325	24	42	44	89	63	34	15	7	7	396
	%	100%		7.4	12.9	13.5	27.4	19.4	10.5	4.6	2.2	2.2	
中 国	39.7	70.1	260	29	35	35	62	60	15	14	9	1	242
	%	100%		11.2	13.5	13.5	23.8	23.1	5.8	5.4	3.5	0.4	
四 国	62.5	135.6	61	7	4	6	20	11	4	2	3	4	69
	%	100%		11.5	6.6	9.8	32.8	18.0	6.6	3.3	4.9	6.6	
九 州	26.5	60.1	42	4	6	4	11	12	0	5	0	0	57
	%	100%		9.5	14.3	9.5	26.2	28.6	0	11.9	0	0	

表 5 1 病院別・腹部症状発現から神経症状発現迄の期間別患者数

病院別 (総数(除不明)20人以上)	期間 平均値 日/人	期間標 準偏差	総数 (除不明)	期間区分									日数 不明
				~0日	1~7	8~14	15~30	31~60	61~90	91~ 180	181 ~365	366日 以上	
HOSP-1	31.9	41.2	124	5	20	21	33	35	3	4	3	0	14
		%	100%	4.0	16.1	16.9	26.6	28.2	2.4	3.2	2.4	0	
HOSP-2	41.4	38.6	30	0	3	4	7	10	3	3	0	0	18
		%	100%	0	10.0	13.3	23.3	33.3	10.0	10.0	0	0	
HOSP-3	221.4	510.8	39	1	1	0	9	9	4	4	5	6	13
		%	100%	2.6	2.6	0	23.1	23.1	10.3	10.3	12.8	15.4	
HOSP-19	32.7	49.3	50	6	10	8	11	7	3	4	1	0	119
		%	100%	12.0	20.0	16.0	22.0	14.0	6.0	8.0	2.0	0	

表 5 2 初診→神経症状発現の時期的前後の別による神経症状発現前6ヶ月キノホルム使用の有無(全国)

区分	総数	総数 (除不明)	確実になし						ないら しいが 不確実	あり	不明	神経症状発現 前6ヶ月	
			計	「患者 から」 +「カル テ」	患 者 か ら	カル テ	不 明 其 他	⊕使用 量平均 値 g/人				人 数 (除あり 量不明, ないが 不確実)	
神経症状発現前6ヶ月	初診→ 神経症 状発現	1181	1092	102	16	14	65	7	46	944	89	35.1	855
		%	100%	9.3	1.5	1.3	6.0	0.6	4.2	86.4			
	神経症 状発現 →初診	1058	644	137	22	32	71	12	127	380	414	26.0	365
		%	100%	21.3	3.4	5.0	11.0	1.9	19.7	59.0			
	不 明	217	103	30	3	6	17	4	16	57	114	15.1	55
		%	100%	29.1	2.9	5.8	16.5	3.9	15.5	55.3			
神経症状発現後	初診→ 神経症 状発現	1181	1090	195	12	7	151	25	14	881	91		
		%	100%	17.9	1.1	0.6	13.9	2.3	1.3	80.8			
	神経症 状発現 →初診	1058	810	249	28	14	186	21	68	493	248		
		%	100%	30.7	3.5	1.7	23.0	2.6	8.4	60.9			
	不 明	217	129	52	3	4	37	8	12	65	88		
		%	100%	40.3	2.3	3.1	28.7	6.2	9.3	50.3			

注・表 5 2 , 表 5 4 , 表 5 5 における⊕使用量の計算には , 「⊕確実になし」をogとして含めている。

表 5 3 初診—神経症状発現の时期的前後の別による神経症状発現前 6ヶ月キノホルム使用の有無(ブロック別)

ブ ロ ッ ク	时期的前後の別	総 数	総 数 (除不明)	確 実 に な し					ないらしい が不確実	あ り	不 明
				計	「患者から」 + 「カルテ」	患者から	カルテ	不 明 その他			
北 海 道	初診→神経症状発現	59	44	1	0	0	1	0	2	41	15
		%	100%	2.3	0	0	2.3	0	4.5	93.1	
	神経症状発現→初診	26	10	0	0	0	0	0	2	8	16
		%	100%	0	0	0	0	0	2.0	8.0	
東 北	初診→神経症状発現	128	116	11	2	1	8	0	3	102	12
		%	100%	9.5	1.7	0.9	6.9	0	2.6	87.9	
	神経症状発現→初診	87	55	13	3	3	6	1	13	29	32
		%	100%	23.6	5.5	5.5	10.9	1.8	23.6	52.7	
関 東 甲 信 越	初診→神経症状発現	157	153	12	0	4	6	2	3	138	4
		%	100%	7.8	0	2.6	3.9	1.3	2.0	90.2	
	神経症状発現→初診	111	68	7	0	2	5	0	14	47	43
		%	100%	10.3	0	2.9	7.4	0	20.6	69.1	
中 部 北 陸	初診→神経症状発現	188	168	14	0	4	9	1	11	143	20
		%	100%	8.3	0	2.4	5.4	0.6	6.5	85.1	
	神経症状発現→初診	130	76	35	0	7	26	2	12	29	54
		%	100%	46.1	0	9.2	34.2	2.6	15.8	38.2	
近 畿	初診→神経症状発現	278	264	14	0	0	13	1	11	239	14
		%	100%	5.3	0	0	4.9	0.4	4.2	90.5	

近畿	神経症状発現→初診	395	259	40	4	14	15	7	51	168	136
		%	100%	15.4	1.5	5.4	5.8	2.7	19.7	64.9	
中	初診→神経症状発現	244	225	39	12	3	23	1	9	177	19
		%	100%	17.3	5.3	1.3	10.2	0.4	4.0	78.7	
国	神経症状発現→初診	218	119	35	13	5	17	0	20	64	99
		%	100%	29.4	10.9	4.2	14.3	0	16.8	53.8	
四	初診→神経症状発現	76	76	9	2	2	4	1	5	62	0
		%	100%	11.8	2.6	2.6	5.3	1.3	6.6	81.6	
国	神経症状発現→初診	48	30	3	0	0	2	1	11	16	18
		%	100%	10.0	0	0	6.7	3.3	36.7	53.3	
九	初診→神経症状発現	51	46	2	0	0	1	1	2	42	5
		%	100%	4.3	0	0	2.2	2.2	4.3	91.3	
州	神経症状発現→初診	43	27	4	2	1	0	1	4	19	16
		%	100%	14.8	7.4	3.7	0	3.7	14.8	70.4	

表 5 4 初診—神経症状発現の時期的前後の別による神経症状発現前 6 カ月キノホルム使用の有無  
( 県別 )

県別	時期的前後の別	総数	総数 (除不明)	⊕ 使用の有無				神経症状発現前 6 カ月の ⊕ 使用量 平均値 g/人	人数
				確実に なし	不確実	あり	不明		
北海道	初診→神経症状発現	59	44	1	2	41	15	42.8	27
		%	100%	2.3	4.5	93.2			
	神経症状発現→初診	26	10	0	2	8	16	101.7	5
		%	100%	0	20	80			
青森	初診→神経症状発現	9	8	1	2	5	1	37.2	4
		%	100%	12.5	25	62.5			
	神経症状発現→初診	11	8	3	4	1	3	2.7	4
		%	100%	37.5	50	12.5			
岩手	初診→神経症状発現	17	15	1	1	13	2	20.2	14
		%	100%	6.7	6.7	86.7			
	神経症状発現→初診	5	2	1	0	1	3	16.3	2
		%	100%	50	0	50			
宮城	初診→神経症状発現	14	14	1	0	13	0	31.2	13
		%	100%	7.1	0	92.9			
	神経症状発現→初診	14	11	2	4	5	3	19.3	6
		%	100%	18.2	36.4	45.5			
山形	初診→神経症状発現	64	63	7	0	56	1	50.6	55
		%	100%	11.1	0	88.9			
	神経症状発現→初診	20	16	2	1	13	4	26.2	9
		%	100%	12.5	6.3	81.3			
福島	初診→神経症状発現	24	16	1	0	15	8	13.1	5
		%	100%	6.3	0	93.8			
	神経症状発現→初診	37	18	5	4	9	19	4.5	6
		%	100%	27.8	22.2	50			
茨城	初診→神経症状発現	8	7	0	0	7	1	27.7	6
		%	100%	0	0	100			
	神経症状発現→初診	2	1	0	0	1	1		
		%	100%	0	0	100			
栃木	初診→神経症状発現	17	17	3	0	14	0	41.1	14
		%	100%	17.6	0	82.4			
	神経症状発現→初診	16	9	2	3	4	7	4.8	3
		%	100%	22.2	33.3	44.4			

	時期的前後の別	総数	総数 (除不明)	⊕使用の有無				神経症状発現前6カ月の⊕使用量 平均値 g/人	人数
				確実になし	不確実	あり	不明		
群馬	初診→神経症状発現	8	8	2	1	5	0	16.5	6
		%	100%	25	12.5	62.5			
馬	神経症状発現→初診	8	5	2	0	3	3	6.7	3
		%	100%	40	0	60			
埼玉	初診→神経症状発現	18	7	1	1	5	1	29.2	13
		%	100%	14.3	14.3	71.4			
玉	神経症状発現→初診	21	10	1	5	4	11	18.2	4
		%	100%	10	50	40			
千葉	初診→神経症状発現	15	14	1	0	13	1	30.7	9
		%	100%	7.1	0	92.9			
葉	神経症状発現→初診	12	8	1	5	2	4	15	2
		%	100%	12.5	62.5	25			
神奈川	初診→神経症状発現	7	7	0	1	6	0	231.4	6
		%	100%	0	14.3	85.7			
川	神経症状発現→初診	12	4	1	0	3	8	9.4	2
		%	100%	25	0	75			
新潟	初診→神経症状発現	80	80	5	0	75	0	28.6	40
		%	100%	6.3	0	93.8			
潟	神経症状発現→初診	31	29	0	0	29	2	43.0	18
		%	100%	0	0	100			
富山	初診→神経症状発現	8	6	1	2	3	2	45.6	3
		%	100%	16.7	33.3	50			
山	神経症状発現→初診	18	14	11	2	1	4	7.0	13
		%	100%	78.6	14.3	7.1			
福井	初診→神経症状発現	34	32	3	3	26	2	28.8	26
		%	100%	9.4	9.4	81.3			
井	神経症状発現→初診	14	8	4	4	0	6		4
		%	100%	50	50	0			
山梨	初診→神経症状発現	4	3	0	0	3	1	30.4	2
		%	100%	0	0	100			
梨	神経症状発現→初診	9	2	0	1	1	7		
		%	100%	0	50	50			
岐阜	初診→神経症状発現	44	39	1	2	36	5	44.1	36
		%	100%	2.6	5.1	92.3			

	時期的前後の別	総 数	総 数 (除不明)	⊕使用の有無				神経症状発 現前6カ月 の⊕使用 量平均値 g/人	人 数
				確実に な し	不 確 実	あ り	不 明		
岐 阜	神経症状発現→初診	24	13	0	0	13	11	55.2	9
		%	100%	0	0	100			
静	初診→神経症状発現	28	25	1	1	23	3	36.3	17
		%	100%	4	4	92			
岡	神経症状発現→初診	26	11	6	2	3	15	3.3	7
		%	100%	54.5	18.2	27.3			
愛	初診→神経症状発現	50	45	3	3	36	8	31.4	33
		%	100%	6.7	6.7	80			
知	神経症状発現→初診	35	19	4	4	11	16	7.4	6
		%	100%	21.1	21.1	57.9			
三	初診→神経症状発現	24	24	5	0	19	0	51.2	22
		%	100%	20.8	0	79.2			
重	神経症状発現→初診	13	11	10	0	1	2		10
		%	100%	90.9	0	9.1			
滋	初診→神経症状発現	29	27	1	1	25	2	45.1	21
		%	100%	3.7	3.7	92.6			
賀	神経症状発現→初診	35	18	5	6	7	17	19.9	11
		%	100%	27.8	33.3	38.9			
京	初診→神経症状発現	30	30	3	0	27	0	20.5	28
		%	100%	10	0	90			
都	神経症状発現→初診	51	33	5	5	23	18	31.1	20
		%	100%	15.2	15.2	69.7			
大	初診→神経症状発現	144	138	3	5	130	6	36.5	118
		%	100%	22	3.6	94.2			
阪	神経症状発現→初診	238	179	22	31	126	59	38.6	118
		%	100%	12.3	17.3	70.4			
兵	初診→神経症状発現	52	46	4	4	38	6	27.8	25
		%	100%	8.7	8.7	82.6			
庫	神経症状発現→初診	39	14	4	4	6	25		4
		%	100%	28.6	28.6	42.9			
奈	初診→神経症状発現	4	4	0	1	3	0	42.0	3
		%	100%	0	25	75			
良	神経症状発現→初診	4	4	1	3	0	0		1
		%	100%	25	75	0			

	時期的前後の別	総数	総数 (除不明)	㊦使用の有無				神経症状発 現前6カ月 の㊦使用 量平均値 g/人	人数
				確実に なし	不確実	あり	不明		
和歌山	初診→神経症状発現	19	19	3	0	16	0	27.8	17
		%	100%	15.8	0	84.2			
和歌山	神経症状発現→初診	28	11	3	2	6	17	22.4	8
		%	100%	27.3	18.2	54.5			
鳥取	初診→神経症状発現	6	6	0	0	6	0	23.6	4
		%	100%	0	0	100			
鳥取	神経症状発現→初診	4	3	0	1	2	1	14.2	2
		%	100%	0	33.3	66.7			
島根	初診→神経症状発現	25	25	4	4	17	0	45.4	18
		%	100%	16	16	68			
島根	神経症状発現→初診	50	43	16	6	21	7	14.0	28
		%	100%	37.2	14	48.8			
岡山	初診→神経症状発現	129	125	19	3	103	4	27.6	120
		%	100%	15.2	2.4	82.4			
岡山	神経症状発現→初診	64	29	14	10	5	35	1.8	17
		%	100%	48.3	34.5	17.2			
広島	初診→神経症状発現	84	69	16	2	51	15	22.5	49
		%	100%	23.2	2.9	73.9			
広島	神経症状発現→初診	100	44	5	3	36	56	27.1	15
		%	100%	11.4	6.8	81.8			
徳島	初診→神経症状発現	18	18	0	1	17	0	51.8	15
		%	100%	0	5.6	94.4			
徳島	神経症状発現→初診	10	6	0	0	6	4	57.9	4
		%	100%	0	0	100			
香川	初診→神経症状発現	17	17	4	0	13	0	28.8	16
		%	100%	23.5	0	76.5			
香川	神経症状発現→初診	15	9	1	3	5	6	20.3	4
		%	100%	11.1	33.3	55.6			
愛媛	初診→神経症状発現	26	26	3	1	22	0	24.0	24
		%	100%	11.5	3.8	84.6			
愛媛	神経症状発現→初診	7	4	0	2	2	3		
		%	100%	0	50	50			
高知	初診→神経症状発現	15	15	2	3	10	0	13.1	5
		%	100%	13.3	20	66.7			

	時期的前後の別	総数	総数 (除不明)	⊕使用の有無				神経症状発現前6カ月の⊕使用量 平均値 g/人	人数
				確実に なし	不確実	あり	不明		
高知	神経症状発現→初診	16	11	2	6	3	5	4.8	3
		%	100%	18.2	54.5	27.3			
福岡	初診→神経症状発現	31	27	1	1	25	4	31.1	24
		%	100%	3.7	3.7	92.6			
岡山	神経症状発現→初診	18	12	1	0	11	6	16.2	9
		%	100%	8.3	0	91.7			
長崎	初診→神経症状発現	9	9	0	0	9	0	74.3	8
		%	100%	0	0	100			
崎	神経症状発現→初診	11	9	2	2	5	2	9.4	6
		%	100%	22.2	22.2	55.6			
大分	初診→神経症状発現	9	8	1	1	6	1	13.8	7
		%	100%	12.5	12.5	75			
分	神経症状発現→初診	10	4	1	1	2	6		1
		%	100%	25	25	50			
鹿児島	初診→神経症状発現	2	2	0	0	2	0	34.2	2
		%	100%	0	0	100			
島	神経症状発現→初診	4	2	0	1	1	2	26.6	1
		%	100%	0	50	50			

表5 5 初診一神経症状発現の时期的前後の別による神経症状発現前6カ月キノホルム使用の有無(病院別)

病院	时期的前後の別	総数	総数 (除不明)	確実になし					ないらしいが 不确实	あり	不明		神経症状発 現前6カ月の ⊕使用量 平均値 g/人	人数
				計	「患者から」 + 「カルテ」	患者から	カルテ	不明 その他						
1	初診→神経症状発現	111	110	16	10	0	6	0	3	91	1		28.4	105
		%	100%	14.5	9.1	0	5.5	0	2.7	82.7				
	神経症状発現→初診	26	23	12	9	1	2	0	8	3	3		2.0	15
		%	100%	52.2	39.1	4.3	8.7	0	34.8	13.0				
2	初診→神経症状発現	24	12	0	0	0	0	0	0	12	12		45.1	5
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
	神経症状発現→初診	9	3	0	0	0	0	0	0	3	6		358.0	1
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
3	初診→神経症状発現	49	49	7	1	0	6	0	0	42	0		51.5	49
		%	100%	14.3	2.0	0	12.2	0	0	85.7				
	神経症状発現→初診	3	2	0	0	0	0	0	0	2	1		33.0	1
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
4	初診→神経症状発現	4	4	0	0	0	0	0	0	4	0		24.0	2
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
	神経症状発現→初診	26	25	0	0	0	0	0	0	25	1		43.0	18
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
5	初診→神経症状発現	22	22	1	0	0	1	0	0	21	0		25.5	7
		%	100%	4.5	0	0	4.5	0	0	95.5				
	神経症状発現→初診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		%												

病院	時期的前後の別	総数	総数 (除不明)	確実になし					ないらしいが 不确实	あり	不明		神経症状発 現前6カ月の ⊕使用 量 平均値 g/人	人数
				計	「患者から」 + 「カルテ」	患者から	カルテ	不明 その他						
6	初診→神経症状発現	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4			
	神経症状発現→初診	12	4	0	0	0	0	0	0	4	8	3.6	1	
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
7	初診→神経症状発現	24	24	0	0	0	0	0	1	23	0	36.5	23	
	神経症状発現→初診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		%	100%	0	0	0	0	0	4.2	95.8				
8	初診→神経症状発現	9	3	0	0	0	0	0	1	2	6			
	神経症状発現→初診	13	3	0	0	0	0	0	0	3	10			
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
9	初診→神経症状発現	5	5	4	0	0	4	0	0	1	0	16.8	5	
	神経症状発現→初診	10	9	9	0	0	9	0	0	0	1		9	
		%	100%	80.0	0	0	80.0	0	0	20.0				
10	初診→神経症状発現	7	7	0	0	0	0	0	0	7	0	15.7	7	
	神経症状発現→初診	16	4	0	0	0	0	0	0	4	12	61.1	2	
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
11	初診→神経症状発現	3	2	0	0	0	0	0	1	1	1			
		%	100%	0	0	0	0	0	50.0	50.0				

	神経症状発現→初診 経	41	39	2	0	1	1	0	23	14	2		56.0	15
		%	100%	5.1	0	2.6	2.6	0	59.0	35.9				
12	初診→神経症状発現	32	31	0	0	0	0	0	1	30	1		51.7	27
		%	100%	0	0	0	0	0	3.2	96.8				
	神経症状発現→初診	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0		107.8	2
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
13	初診→神経症状発現	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0		15.3	2
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
	神経症状発現→初診	29	25	2	2	0	0	0	0	23	4		29.7	21
		%	100%	8.0	8.0	0	0	0	0	92.0				
14	初診→神経症状発現	12	11	0	0	0	0	0	0	11	1		36.5	10
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
	神経症状発現→初診	44	27	0	0	0	0	0	0	27	17		46.8	19
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
15	初診→神経症状発現	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0		22.5	2
		%	100%	0	0	0	0	0	0	100				
	神経症状発現→初診	19	17	4	0	0	0	4	0	13	2		40.6	16
		%	100%	23.5	0	0	0	23.5	0	76.5				
16	初診→神経症状発現	44	42	1	0	0	1	0	2	39	2		41.3	35
		%	100%	2.4	0	0	2.4	0	4.8	92.9				
	神経症状発現→初診	30	22	0	0	0	0	0	4	18	8		42.9	13
		%	100%	0	0	0	0	0	18.2	81.8				
17	初診→神経症状発現	13	13	4	0	2	2	0	4	5	0		19.9	9
		%	100%	30.8	0	15.4	15.4	0	30.8	38.5				

病 院	時期的前後の別	総 数	総 数 (除不明)	確 実 に な し				な い ら し い が 不 確 実	あ り	不 明		神経症状発 現前6カ月 の <sup>④</sup> 使用 量 平均値 g/人	人 数
				計	「患者から」 + 「カルテ」	患者から	カルテ						
17	神経症状発現→初診	13	12	5	0	2	3	0	5	2	1	6.6	7
		%	100%	41.7	0	16.7	25.0	0	41.7	16.7			
18	初診→神経症状発現	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	神経症状発現→初診	22	2	0	0	0	0	0	2	0	20		
		%	100%	0	0	0	0	0	100	0			
19	初診→神経症状発現	63	49	13	2	1	10	0	2	34	14	21.6	32
		%	100%	26.5	4.1	2.0	20.4	0	4.1	69.4			
	神経症状発現→初診	90	38	2	1	1	0	0	3	33	52	35.1	11
		%	100%	5.3	2.6	2.6	0	0	7.9	86.8			

表5 6 全国キノホルム製剤別・神経症状発現前6ヶ月のキノホルム使用量(全国)

キノホルム剤の種類	1人当り神経症状発現前 6ヶ月キノホルム使用量			性別, 神経症状発現前6ヶ月キノホルム量 g/人						年令別, 神経症状発現前6ヶ月キノホルム量 g/人					
				男1人当りキノホルム量			女1人当りキノホルム量			40才以上キノホルム量			39才以下キノホルム量		
	平均値	標準偏差	⊕使用人数	平均値	標準偏差	⊕使用人数	平均値	標準偏差	⊕使用人数	平均値	標準偏差	⊕使用人数	平均値	標準偏差	⊕使用人数
キノホルム	53.9 <sup>g</sup>	43.0	39 <sup>人</sup>	61.3 <sup>g</sup>	57.7	10 <sup>人</sup>	51.3 <sup>g</sup>	36.2	29 <sup>人</sup>	54.5 <sup>g</sup>	38.2	20 <sup>人</sup>	53.2 <sup>g</sup>	47.5	19 <sup>人</sup>
エマホルム散	40.8	70.6	452	43.0	43.1	131	39.8	79.0	321	43.4	81.8	300	35.7	39.7	149
エマホルム錠	36.0	0	1				36.0	0	1	36.0	0	1			
エマホルムP	110.5	104.5	2				110.5	104.5	2	6.0	0	1	215.0	0	1
エンテロ・ビオ フォルム散	36.5	37.7	254	36.0	37.4	83	36.8	37.8	171	36.1	38.7	177	38.2	35.7	74
エンテロ・ビオ フォルム錠	21.9	8.8	5				21.9	8.8	5	21.9	8.8	5			
メキサホルム散	7.0	5.9	21	10.1	9.4	5	6.1	3.8	16	6.2	6.9	14	8.7	2.4	7
強力メキサホルム散	31.7	27.1	43	41.8	21.7	6	30.0	27.5	37	33.3	29.1	36	23.3	7.4	7
強力メキサホルム錠	38.8	39.0	104	31.3	17.6	31	41.9	44.7	73	40.2	35.4	73	34.7	46.7	30
以上2種以上の併用	53.9	55.7	86	50.7	41.6	24	55.5	60.6	61	51.6	55.9	61	59.3	55.8	24
全国的平均(⊕の 種類によらない値)	40.1	56.6	1007	40.4	40.0	290	39.9	62.1	716	40.7	62.1	688	38.8	42.7	311

表57 キノホルム製剤別・神経症状発現前6ヶ月のキノホルム使用量(県別)

県別			キノホルムの種類									
			キノホルム	エマホルム散	エマホルム錠	エマホルムP	エンテロビオフォルム散	エンテロビオフォルム錠	メキサホルム散	強力メキサホルム散	強力メキサホルム錠	2種以上の併用
北海道	平均量g/人	50.6	96.0	27.8			34.0		5.7	40.6	56.8	215.5
	標準偏差	63.7	0	29.0			31.0		0	19.7	39.1	101.1
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	38	1	10			13		1	7	3	3
青森	平均値g/人	39.9		10.8							49.6	
	標準偏差	32.6		0							32.2	
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	4		1							3	
岩手	平均値g/人	22.5		13.8			17.8				18.0	38.6
	標準偏差	14.5		8.7			14.7				10.8	15.9
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	14		7			2				2	3
宮城	平均値g/人	32.6	49.1	43.6	6.0	19.4		4.6	13.2	36.0		
	標準偏差	25.8	44.9	19.7	0	4.5		0	0	0		
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	16	2	7	1	3		1	1	1		
山形	平均値g/人	54.9		58.9			43.2		11.2	21.9	76.0	33.0
	標準偏差	59.0		60.9			20.5		0	12.8	83.0	0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	55		43			3		1	4	3	1
福島	平均値g/人	19.3	31.5	14.4								
	標準偏差	8.8	4.5	4.1								
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	7	2	5								
茨城	平均値g/人	27.7		16.6			33.2					
	標準偏差	14.7		9.4			13.7					
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	6		2			4					

栃	平均量g/人	49.1		33.0		215.0	36.8					
	標準偏差	57.0		31.9		0	16.1					
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	12		8		1	3					
木	平均量g/人	238		36.4			18.9					8.1
	標準偏差	22.6		31.0			1.1					0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	5		2			2					1
群	平均量g/人	29.0		6.3			30.6					29.5
	標準偏差	27.6		0			28.8					0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	16		1			14					1
馬	平均量g/人	34.0		34.5				30.0				
	標準偏差	36.4		38.6				0				
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	9		8				1				
崎	平均量g/人	201.0		201.0								
	標準偏差	429.7		429.7								
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	7		7								
玉	平均量g/人	36.4		21.7			49.6			21.0	41.0	35.5
	標準偏差	29.4		12.4			48.7			17.3	24.2	23.7
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	55		11			9			5	27	3
千	平均量g/人	30.4		39.6			21.3					
	標準偏差	9.2		0			0					
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	2		1			1					
葉	平均量g/人	56.8		56.8								
	標準偏差	49.6		49.6								
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	4		4								
神	平均量g/人											
	標準偏差											
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)											
奈	平均量g/人											
	標準偏差											
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)											
川	平均量g/人											
	標準偏差											
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)											
新	平均量g/人											
	標準偏差											
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)											
潟	平均量g/人											
	標準偏差											
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)											
山	平均量g/人											
	標準偏差											
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)											
梨	平均量g/人											
	標準偏差											
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)											
富	平均量g/人											
	標準偏差											
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)											
山	平均量g/人											
	標準偏差											
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)											

			キノホルムの種類									2種以上の併用
			キノホルム	エマホルム散	エマホルム錠	エマホルムP	エンテロビオフォルム散	エンテロビオフォルム錠	メキサホルム散	強力メキサホルム散	強力メキサホルム錠	
福井	平均量g/人	32.6		32.1			24.1		2.6	25.8	46.8	44.9
	標準偏差	34.4		26.9			16.4		0	0	47.6	51.3
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	23		8			6		1	1	3	4
岐阜	平均量g/人	45.9	67.8	56.1			36.8				29.9	43.4
	標準偏差	46.8	1.8	63.5			27.6				19.6	25.5
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	46	2	20			8				10	6
静岡	平均量g/人	37.1		44.5							18.0	
	標準偏差	39.5		44.0							7.9	
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	18		13							5	
愛知	平均量g/人	33.7	38.3	29.2			48.9				27.8	36.9
	標準偏差	23.1	12.7	9.1			44.8				12.8	16.9
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	33	2	15			6				7	3
三重	平均量g/人	66.3	84.0	49.9			83.2			63.3		187.7
	標準偏差	66.1	0	60.5			81.4			44.8		0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	17	1	10			2			3		1
滋賀	平均量g/人	43.4		63.9			21.9			14.4	23.9	62.2
	標準偏差	41.4		50.3			18.4			0	6.9	42.2
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	27		9			8			1	4	5
京都	平均量g/人	32.9	29.0	32.0	36.0		25.3	5.6			24.8	75.4
	標準偏差	26.6	0	14.1	0		17.1	0			11.3	44.6
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	41	1	10	1		18	1			5	5
大阪	平均量g/人	41.7	53.5	38.0			44.3	27.2	10.6	29.0	27.1	50.0
	標準偏差	44.4	47.0	38.7			48.4	0	7.9	17.8	20.8	51.1
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	215	22	56			93	1	7	10	6	20

兵 庫	平 均 量 g/人	33.4		30.6			43.4		10.3		33.0	31.9
	標 準 偏 差	24.5		12.5			34.7		1.3		13.8	18.2
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	22		6			7		2		2	5
奈 良	平 均 量 g/人	42.0		12.1			63.0					51.0
	標 準 偏 差	21.7		0			0					0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	3		1			1					1
和 歌 山	平 均 量 g/人	34.4	97.0	31.6			10.9		1.5		22.5	38.0
	標 準 偏 差	33.5	59.0	20.0			2.3		0		0.3	14.0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	19	2	6			3		1		2	5
鳥 取	平 均 量 g/人	20.5		15.4			8.7				15.6	52.1
	標 準 偏 差	15.3		7.4			0				0	0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	6		3			1				1	1
島 根	平 均 量 g/人	46.5	17.3	58.3			38.3		5.2	26.0		69.4
	標 準 偏 差	51.9	2.2	71.1			12.4		0	3.6		42.6
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	26	2	11			7		1	2		3
岡 山	平 均 量 g/人	31.9		32.6			17.9		7.0		12.0	35.9
	標 準 偏 差	30.4		31.2			0		1.9		0	10.5
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	105		97			1		2		1	4
広 島	平 均 量 g/人	34.3	56.4	30.4			34.0				41.2	31.9
	標 準 偏 差	23.3	13.1	28.4			21.2				3.7	0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	44	2	14			24				3	1
徳 島	平 均 量 g/人	53.1		28.3			16.1			49.6	65.0	112.2
	標 準 偏 差	67.2		5.2			9.9			42.0	92.9	76.5
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	19		4			2			5	6	2

## キノホルムの種類

			キノホルムの種類									
			キノホルム	エマホルム 散	エマホルム 錠	エマホルム P	エンテロビ オフォルム 散	エンテロビ オフォルム 錠	メキサホル ム散	強力メキサ ホルム散	強力メキサ ホルム錠	2種以上 の併用
香 川	平均量g/人	362		37.9			26.3				34.8	
	標準偏差	29.3		32.3			8.5				0	
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	15		12			2				1	
愛 媛	平均量g/人	27.5		27.3			22.5	23.3			22.8	37.9
	標準偏差	18.9		21.8			0	3.7			0	4.1
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	21		15			1	2			1	2
高 知	平均量g/人	20.0		14.7			35.9					
	標準偏差	11.7		8.5			0					
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	4		3			1					
福 岡	平均量g/人	28.8		28.1			14.4		2.1	26.4	60.9	10.7
	標準偏差	35.5		15.2			12.6		0.9	0	53.2	1.7
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	31		9			6		4	1	8	3
長 崎	平均量g/人	54.2		77.0			33.8			8.5		52.8
	標準偏差	69.7		82.8			0			1.4		0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	12		7			1			3		1
大 分	平均量g/人	16.5		19.6			8.0					21.2
	標準偏差	6.0		3.4			0.5					0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	7		4			2					1
鹿 児 島	平均量g/人	31.7		34.2								26.6
	標準偏差	10.9		12.6								0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	3		2								1

表 5 8 キノホルム製剤別・神経症状発現前 6 ヶ月のキノホルム使用量 (病院別)

病 院 別		キノホルムの種類									
		キノホルム	エマホルム 散	エマホルム 錠	エマホルム P	エンテロビ オフォルム 散	エンテロビ オフォルム 錠	メキサホル ム散	強力メキサ ホルム散	強力メキサ ホルム錠	2 種以上 の併用
1	平 均 量 g/人	32.6		32.4							47.8
	標 準 偏 差	31.7		31.8							0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	93		92							1
2	平 均 量 g/人	69.9				28.4					256.4
	標 準 偏 差	101.5				29.0					101.6
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	11				9					2
3	平 均 量 g/人	59.4		60.0							33.0
	標 準 偏 差	60.6		61.2							0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	43.0		42							1
4	平 均 量 g/人	41.1		19.8		59.7			23.4	55.8	19.2
	標 準 偏 差	41.5		7.6		69.0			18.5	32.2	7.3
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	20		3		4			4	7	2
5	平 均 量 g/人	29.7				38.7				28.0	
	標 準 偏 差	14.4				0				15.1	
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	6				1				5	
6	平 均 量 g/人	3.6		3.6							
	標 準 偏 差	0		0							
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	1		1							
7	平 均 量 g/人	36.5				40.0				29.9	43.4
	標 準 偏 差	24.8				28.1				19.6	25.5
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	23				7				10	6

病 院 別		キノホルムの種類									
		キノホルム	エマホルム 散	エマホルム 錠	エマホルム P	エンテロビ オフォルム 散	エンテロビ オフォルム 錠	メキサホル ム散	強力メキサ ホルム散	強力メキサ ホルム錠	2種以上 の併用
8	平 均 量g/人										
	標 準 偏 差										
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)										
9	平 均 量g/人	84.0	84.0								
	標 準 偏 差	0	0								
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	1	1								
10	平 均 量g/人	38.4		36.0		17.4	5.6				119.0
	標 準 偏 差	44.2		0		10.5	0				33.0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	10		1		6	1				2
11	平 均 量g/人	64.6	67.7					28.0			
	標 準 偏 差	54.3	55.5					0			
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	13	12					1			
12	平 均 量g/人	53.7				66.8		8.0	36.6		43.3
	標 準 偏 差	59.0				68.5		4.5	24.8		20.9
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	30				19		3	4		4
13	平 均 量g/人	31.2	21.0	25.9		36.1				54.0	
	標 準 偏 差	24.8	9.2	23.7		28.1				0	
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	21	4	6		10				1	
14	平 均 量g/人	43.9	27.0	67.9		37.9			28.4	8.8	41.7
	標 準 偏 差	51.4	0	74.6		38.2			3.4	4.4	22.2
	キノホルム使用あり人数 (除ざり量不明)	30	1	9		13			3	2	2

15	平均量g/人	49.7	38.0	38.7			114.5			16.2	28.2	9.0
	標準偏差	54.5	0	13.3			86.2			0	3.4	0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	14	1	6			3			1	2	1
16	平均量g/人	42.5		39.3			36.2		9.0			81.2
	標準偏差	38.7		20.9			24.9		0.9			72.1
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	48		14			25		2			7
17	平均量g/人	32.2					34.9					15.8
	標準偏差	11.3					9.9					0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	7					6					1
18	平均量g/人											
	標準偏差											
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)											
19	平均量g/人	37.2	69.5	36.2			36.1					
	標準偏差	22.4	0	25.3			20.9					
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	29	1	6			22					

表59 キノホルム製剤別・一日投与量・投与日数

キノホルム剤の種類	一日投与量		投与日数		人数 (除量不明)
	平均値 g/人	標準偏差	平均値 日/人	標準偏差	
キノホルム	1.71	1.36	39.1	39.2	39人
エマホルム散	13.7	0.49	32.4	54.3	452
エマホルム錠	0.90	0	40.0	0	1
エマホルムP	11.3	0.12	89.0	83.0	2
エンテロ・ビオフォルム散	12.1	0.31	30.9	31.9	254
エンテロ・ビオフォルム錠	1.37	0.54	17.2	9.4	5
メキサホルム散	0.28	0.26	27.3	17.3	21
強力メキサホルム散	0.96	0.32	40.2	41.7	43
強力メキサホルム錠	11.5	0.24	32.3	23.1	104
以上2種以上の併用	1.15	0.46	46.4	38.7	86

表 60 キノホルム製剤別・神経症状発現前6ヶ月のキノホルム使用量(ブロック別)

ブロック別			キノホルムの種類									
			キノホルム	エマホルム散	エマホルム錠	エマホルムP	エンテロビオフォルム散	エンテロビオフォルム錠	メキサホルム散	強力メキサホルム散	強力メキサホルム錠	2種以上の併用
全国	平均量g/人	40.1	53.9	40.8	36.0	110.5	36.5	21.9	7.0	31.7	38.8	53.9
	標準偏差	56.6	43.0	70.6	0	104.5	37.7	8.8	5.9	27.1	39.0	55.7
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	1007	39	452	1	2	254	5	21	43	104	86
北海道	平均量g/人	50.6	96.0	27.8			34.0		5.7	40.6	56.8	215.5
	標準偏差	63.7	0	29.0			31.0		0	19.7	39.1	101.1
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	38	1	10			13		1	7	3	3
東北	平均量g/人	43.3	40.3	48.4		6.0	27.9		7.9	20.2	49.9	37.2
	標準偏差	48.8	33.1	53.6		0	19.0		3.3	12.0	56.1	14.0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	96	4	63		1	8		2	5	9	4
関東甲信越	平均量g/人	45.7		58.4		215.0	35.6	30.0		21.0	41.0	28.8
	標準偏差	119.2		193.1		0	33.6	0		17.3	24.2	21.2
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	112		40		1	33	1		5	27	5
中部北陸	平均量g/人	42.5	59.2	44.6			40.9		2.6	53.9	29.0	52.7
	標準偏差	44.1	19.8	48.9			42.0		0	42.1	23.4	50.0
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	141	5	70			22		1	4	25	14
近畿	平均量g/人	39.8	56.0	38.7	36.0		39.6	16.4	9.6	27.7	26.0	50.9
	標準偏差	40.7	48.9	36.8	0		43.5	10.8	7.1	17.5	14.4	44.1
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	327	25	88	1		130	2	10	11	19	41

ブロック別			キノホルムの種類									
			キノホルム	エマホルム散	エマホルム錠	エマホルムP	エンテロビオフォルム散	エンテロビオフォルム錠	メキサホルム散	強力メキサホルム散	強力メキサホルム錠	2種以上の併用
中国	平均量g/人	34.2	36.8	34.2			33.7		6.4	26.0	30.2	48.4
	標準偏差	33.1	21.7	36.8			19.8		1.8	3.6	13.8	30.1
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	181	4	125			33		3	2	5	9
四国	平均量g/人	37.4		30.1			23.9	23.3		49.6	55.9	75.1
	標準偏差	44.1		25.2			10.1	3.7		42.0	82.0	65.7
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	59		34			6	2		5	8	4
九州	平均量g/人	33.1		42.6			15.2		2.1	13.0	60.9	22.1
	標準偏差	44.7		53.5			12.5		0.9	7.8	53.2	15.1
	キノホルム使用あり人数 (除あり量不明)	53		22			9		4	4	8	6

図1 キノホルム剤種類別、神経症状発現前6ヶ月、  
1日投与量・投与日数の分布

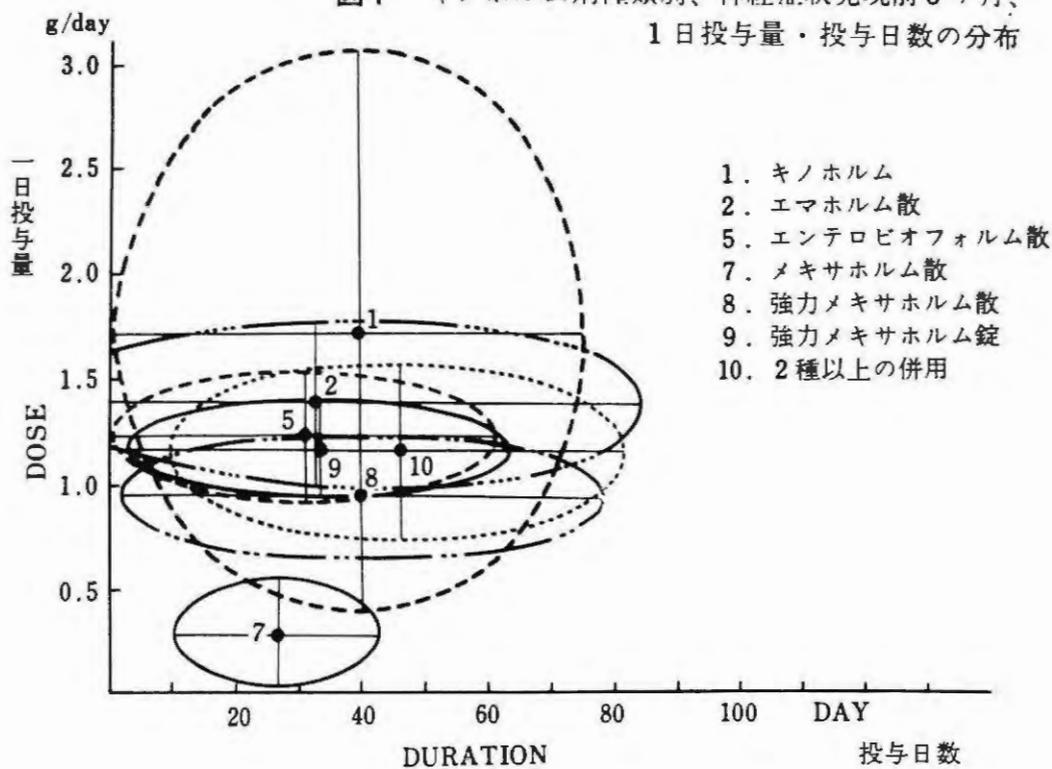
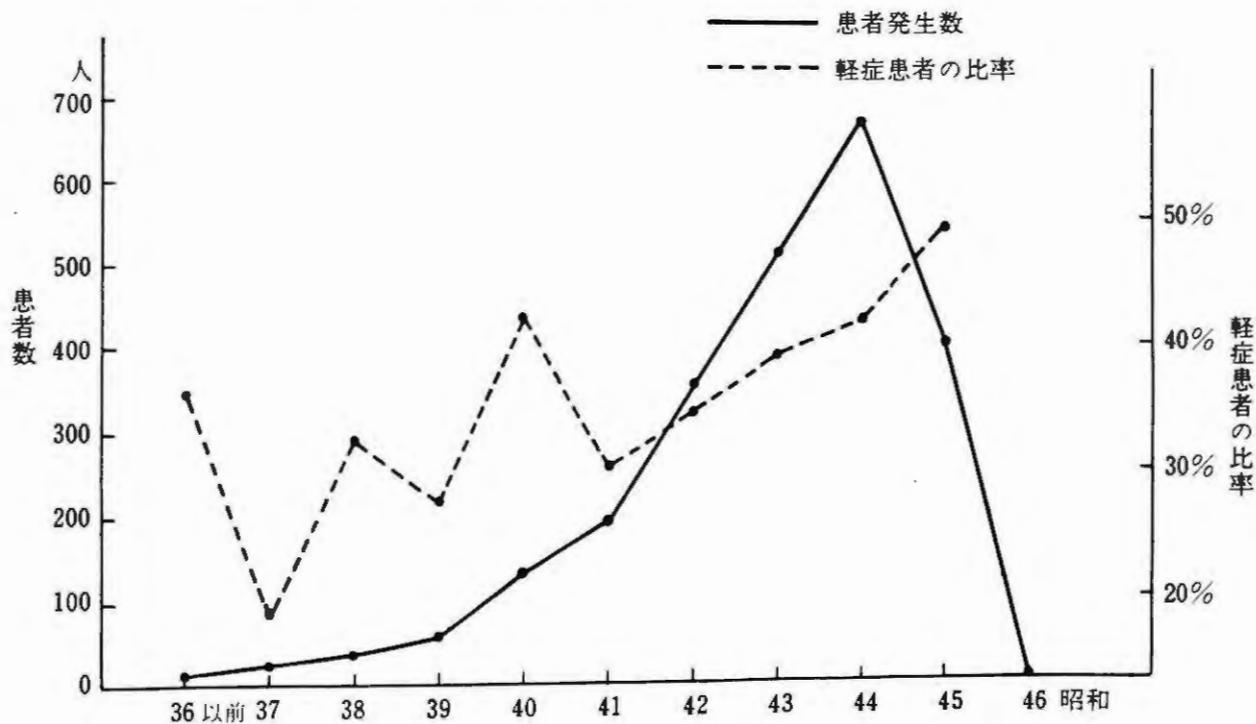


図2 患者発生数と軽症患者の比率の年次変動



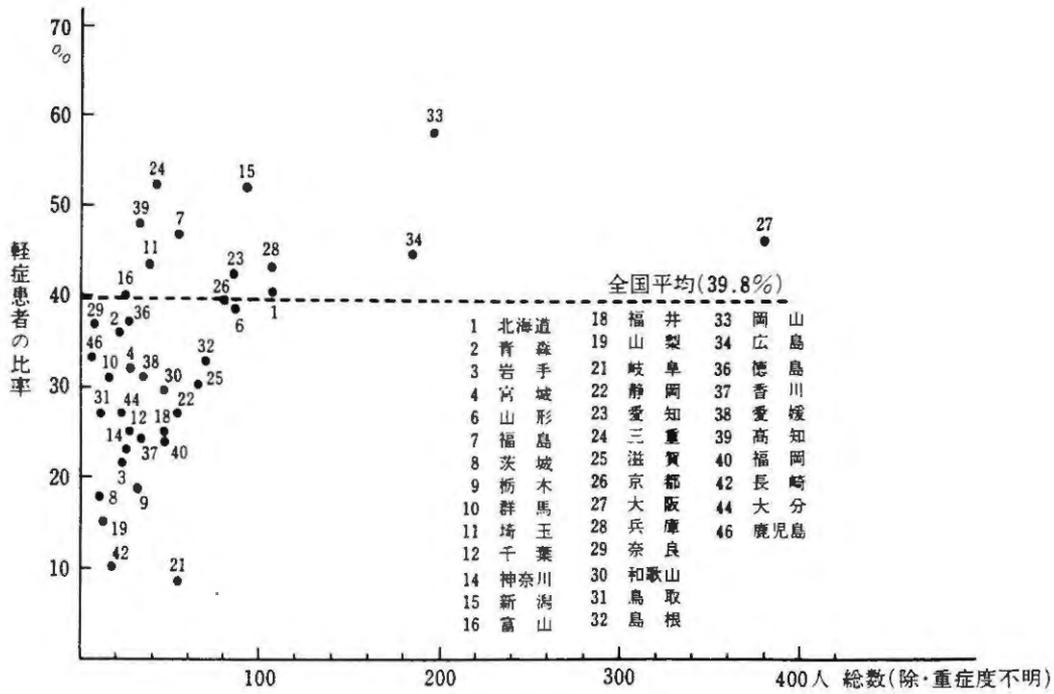


図3 県別・軽症患者の比率

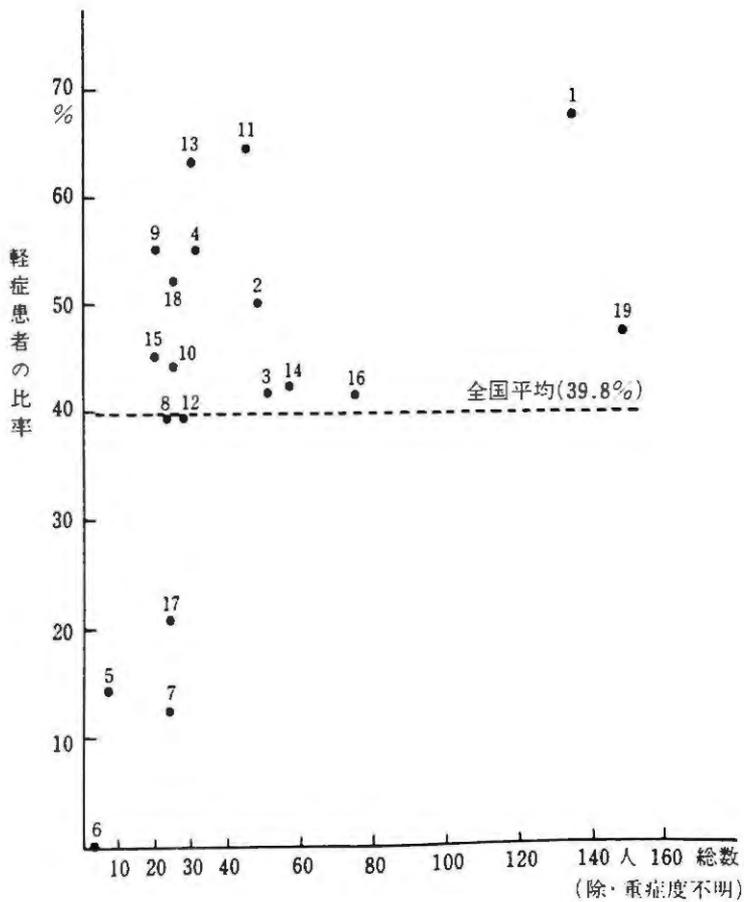


図4 病院別・軽症患者の比率

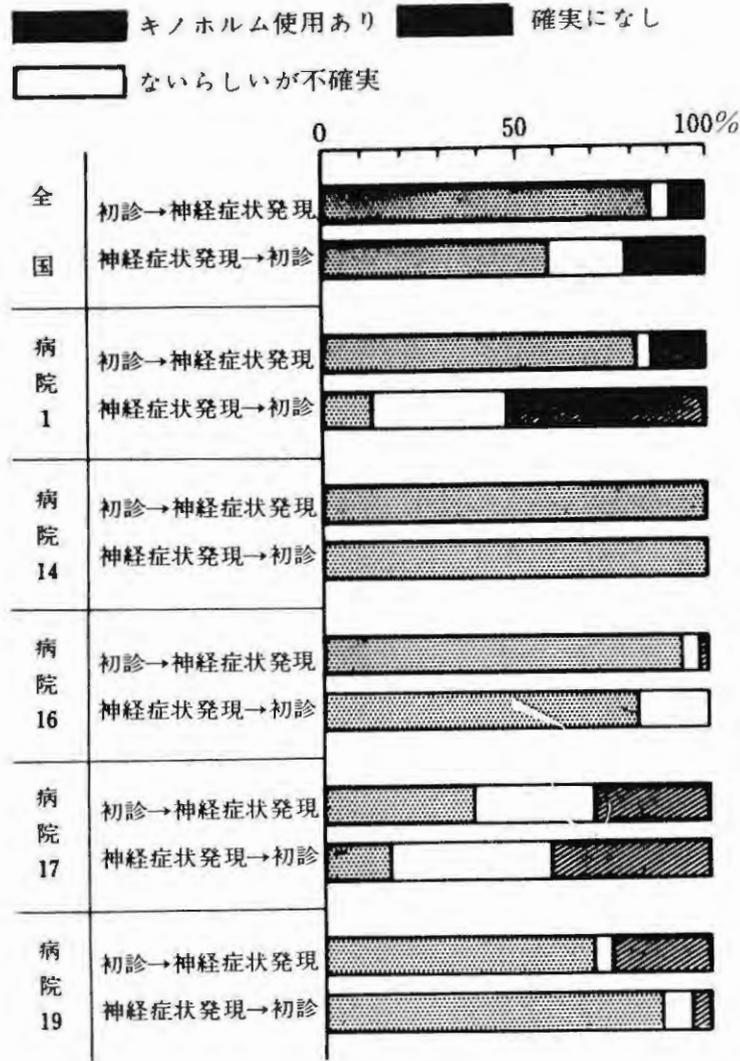


図5 初診—神経症状発現の時期的前後別にみた  
 ④使用の有無（全国病院別）

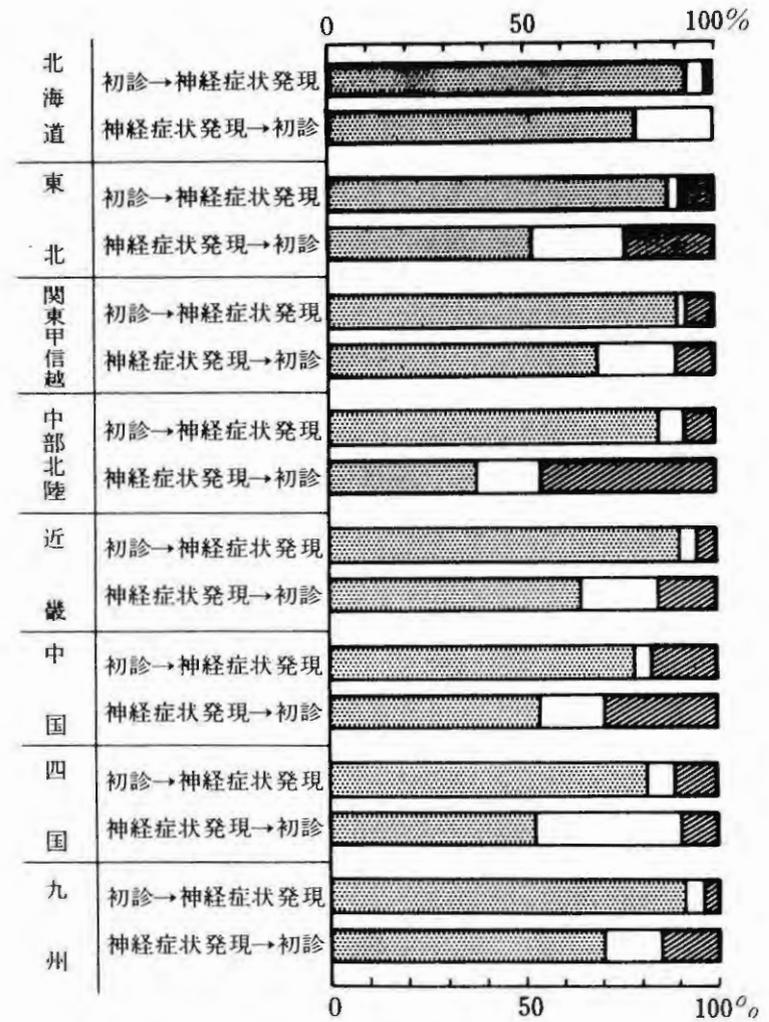


図6 初診—神経症状発現の時期的前後別にみた  
 ④使用の有無（ブロック別）

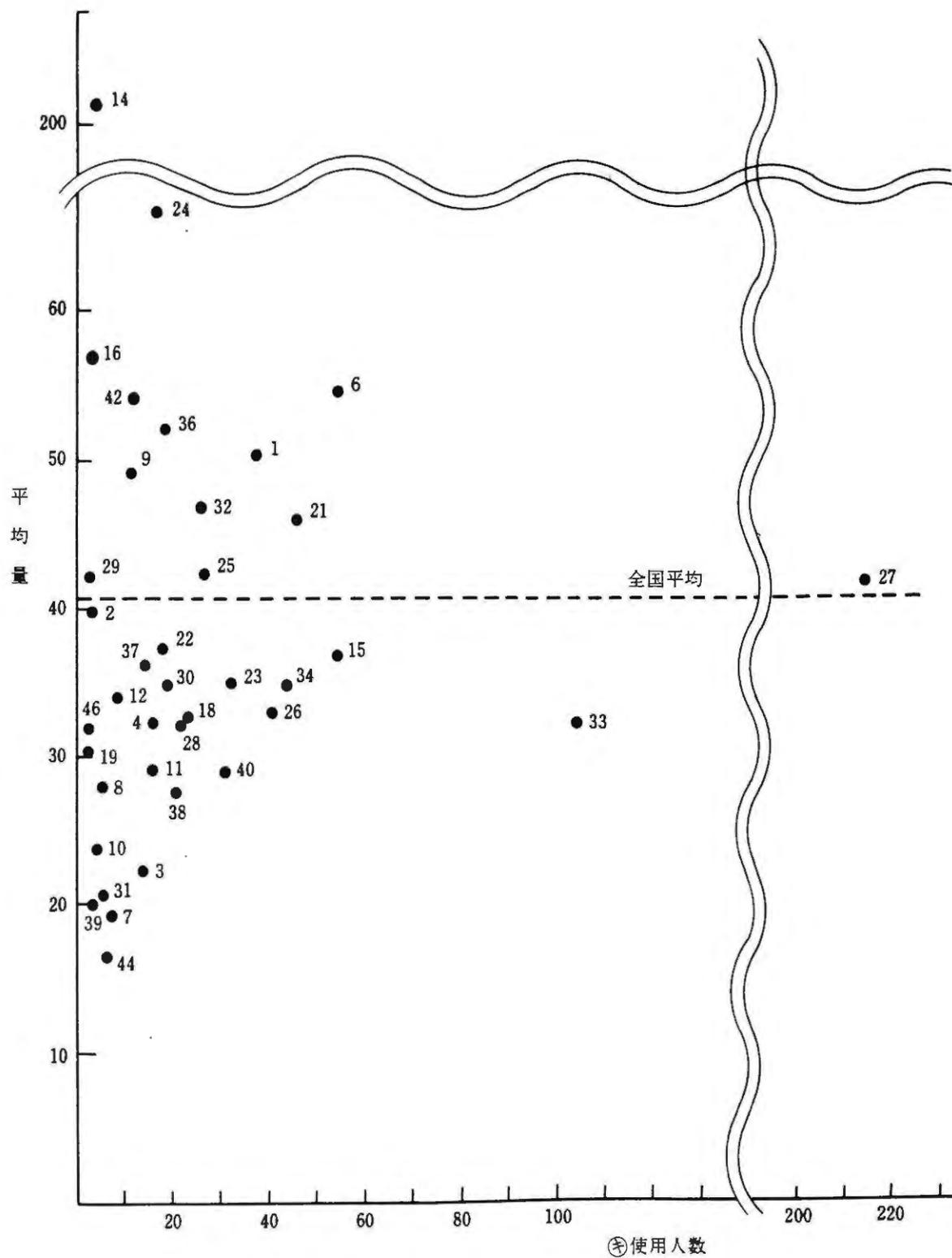


図7 県別神経症状発現前6ヶ月(⊕)平均使用量の分布

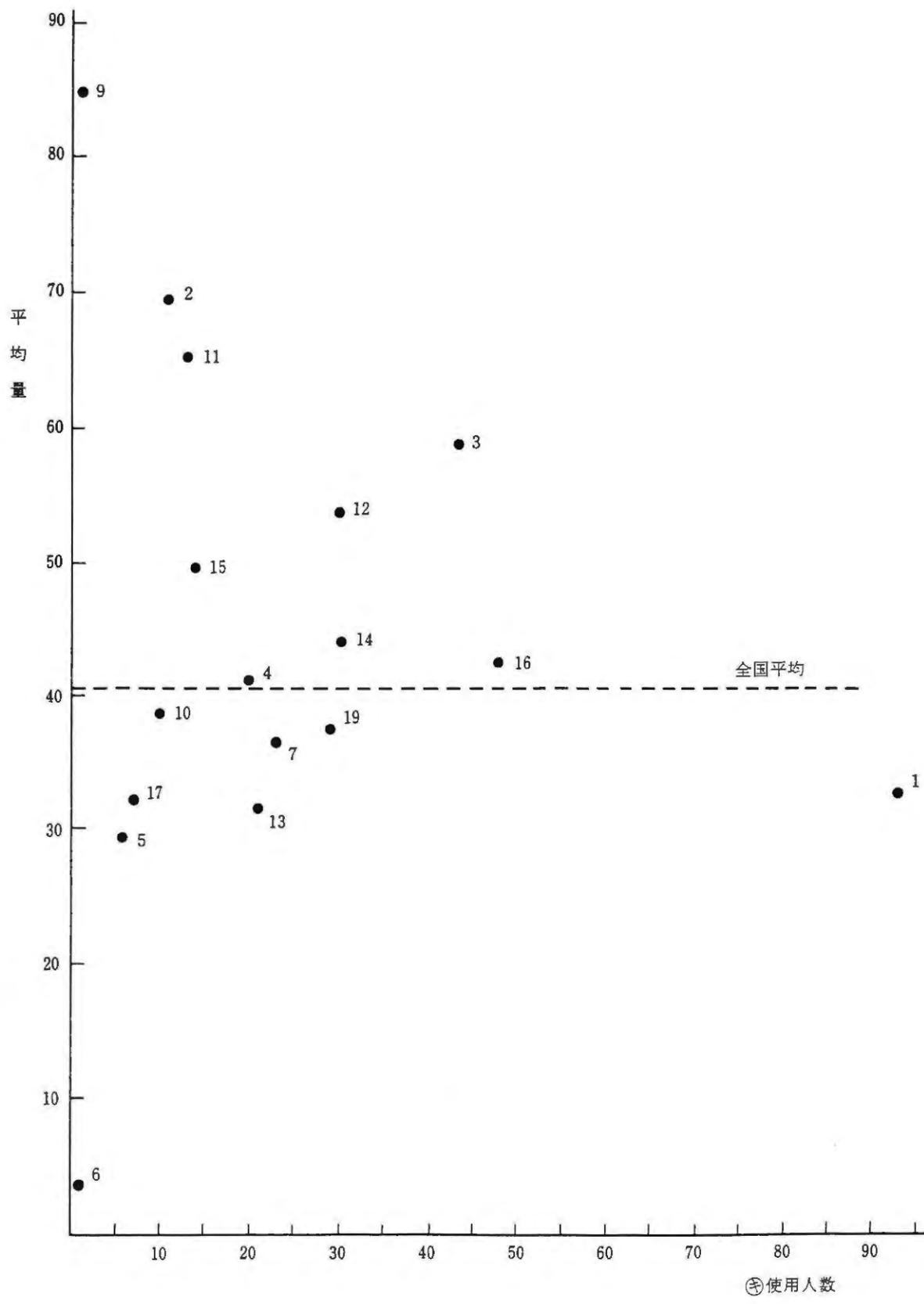


図8 病院別神経症状発現前6ヶ月(⊕)平均使用量の分布

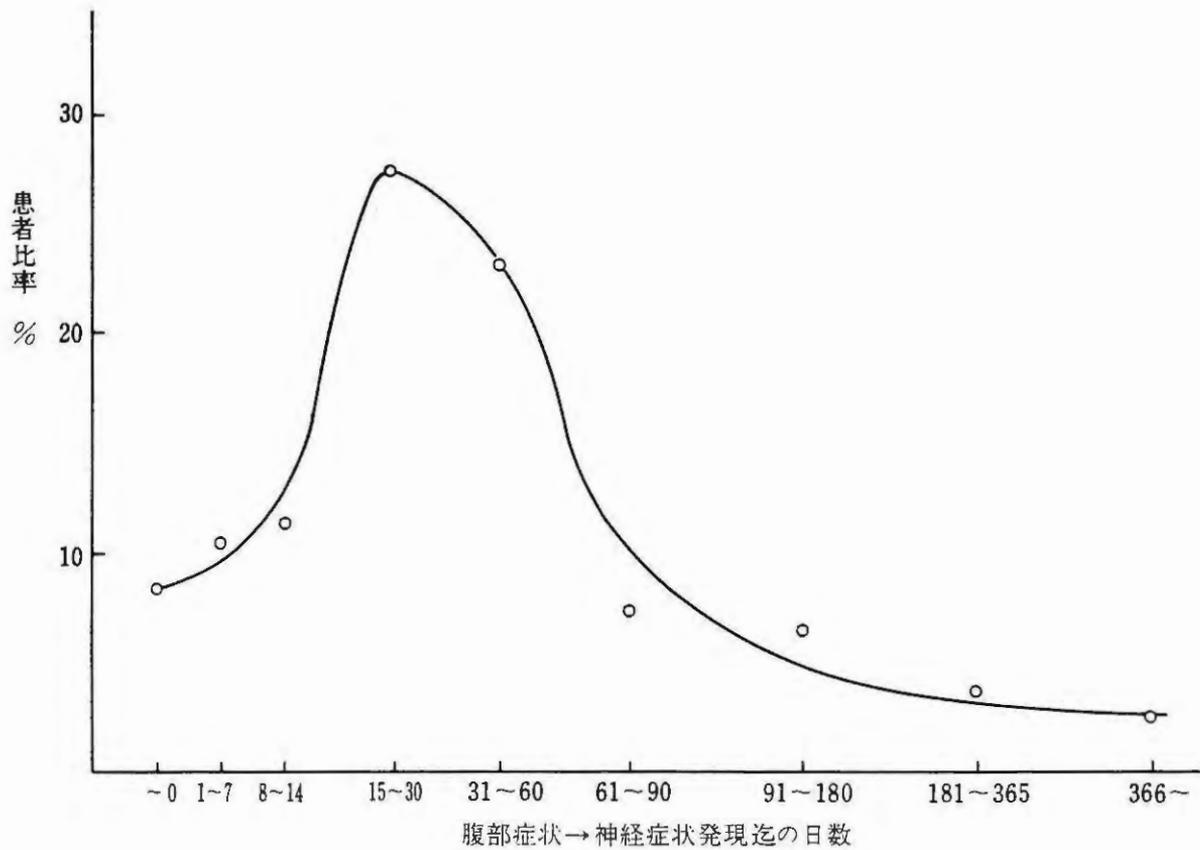


図9 腹部症状発現から神経症状発現迄の期間別患者分布(全国)

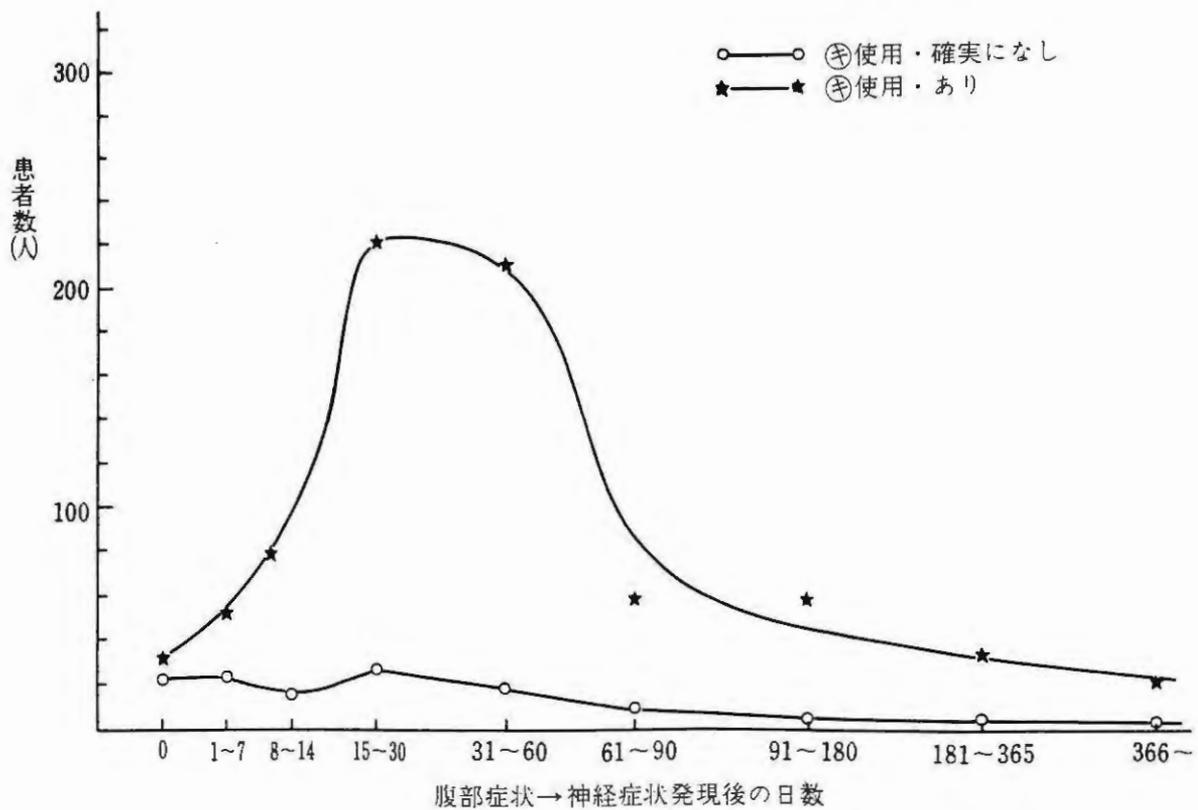


図10 神経症状発現前6ヶ月の(⊖)使用の有無別、腹部症状発現から神経症状発現迄の期間別患者分布

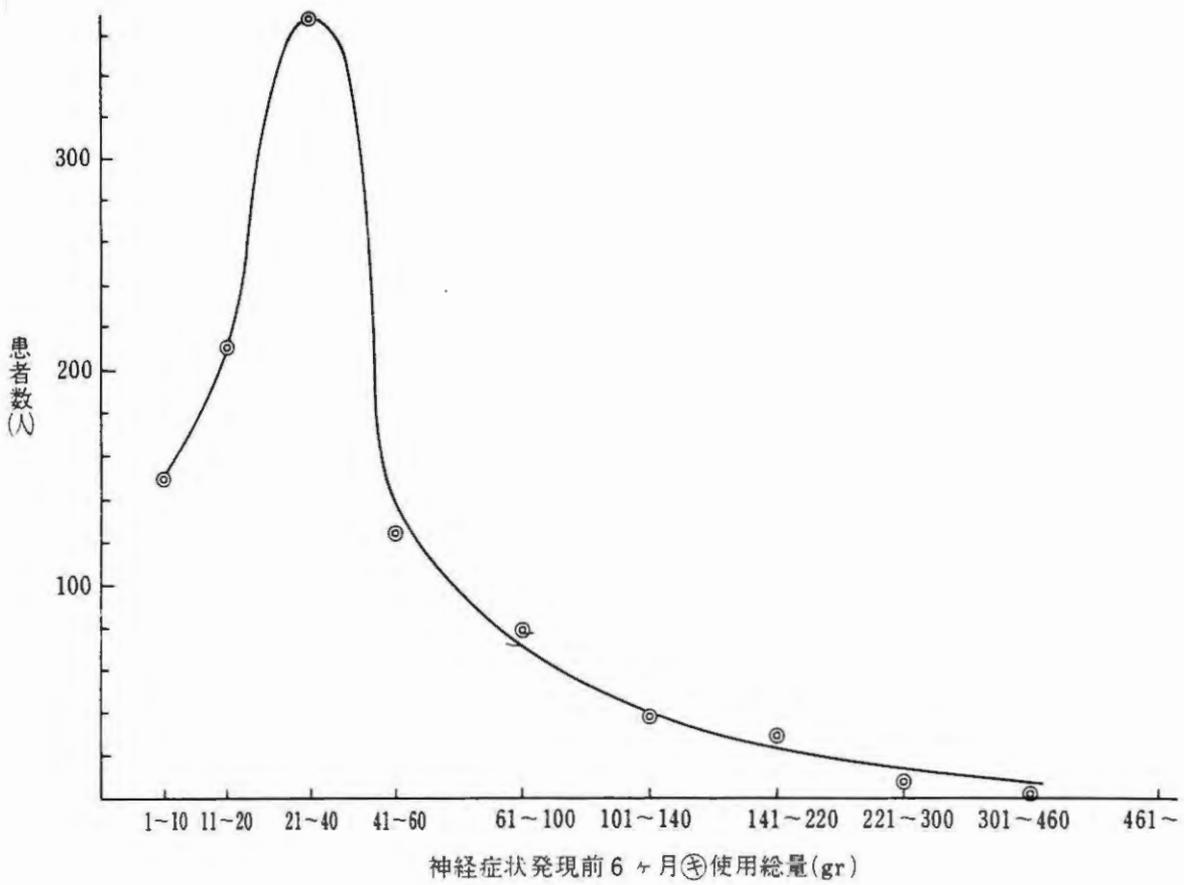


図11 神経症状発現前6ヶ月Ⓢ投与量別、患者分布(全国)

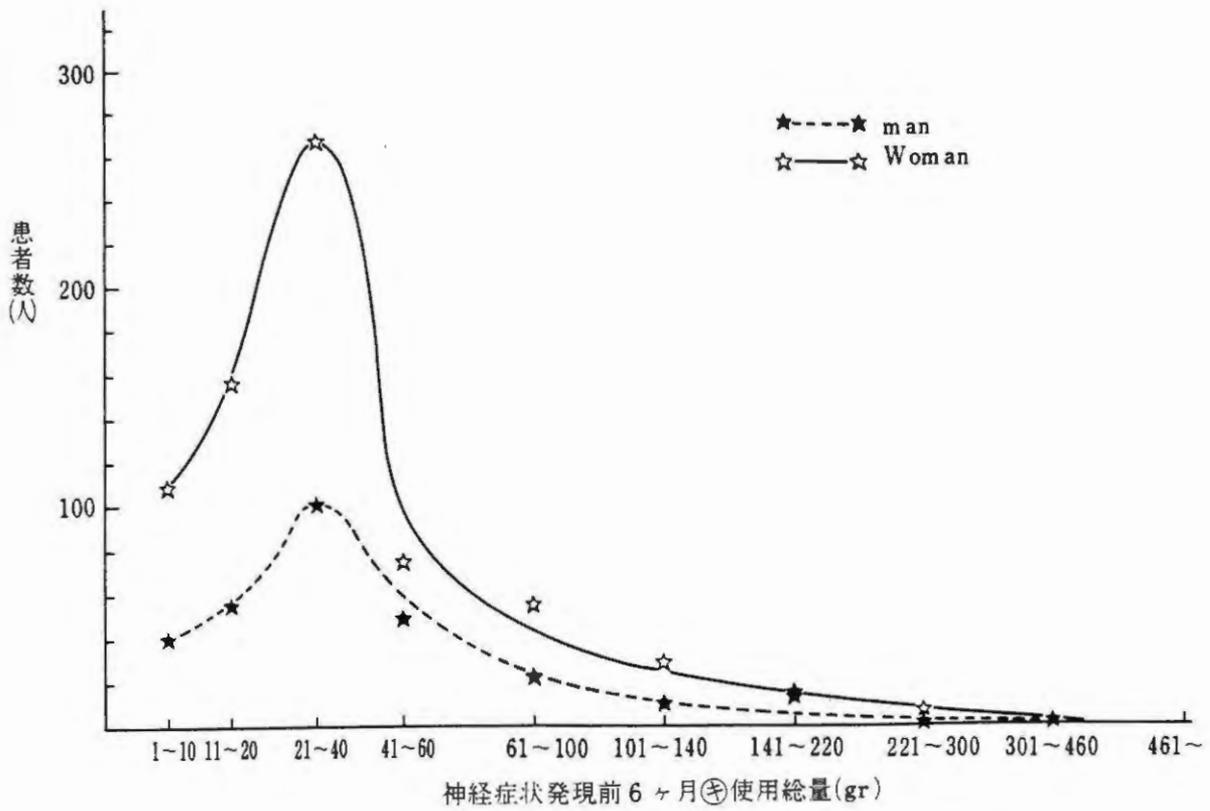


図12 神経症状発現前6ヶ月Ⓢ投与量別患者分布(性別)

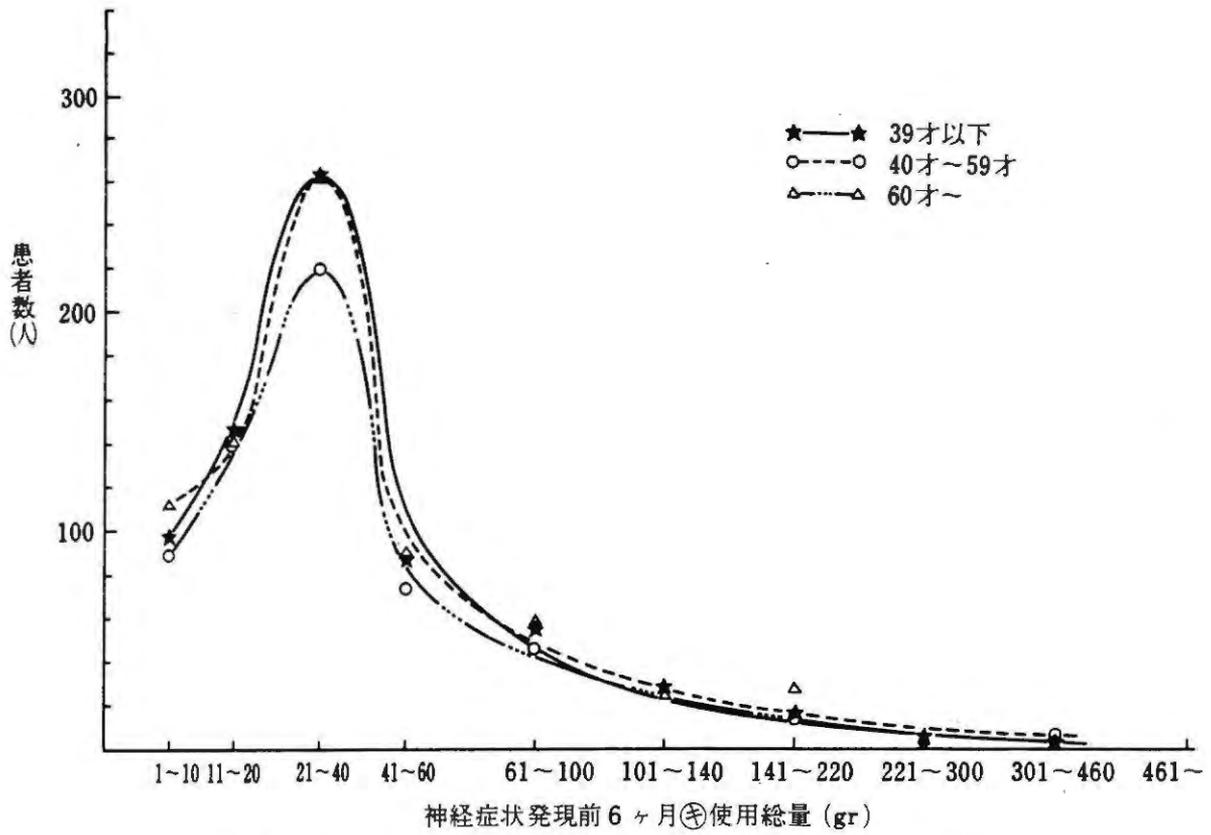


図13 神経症状発現前6ヶ月Ⓢ投与量別患者分布(年齢別)

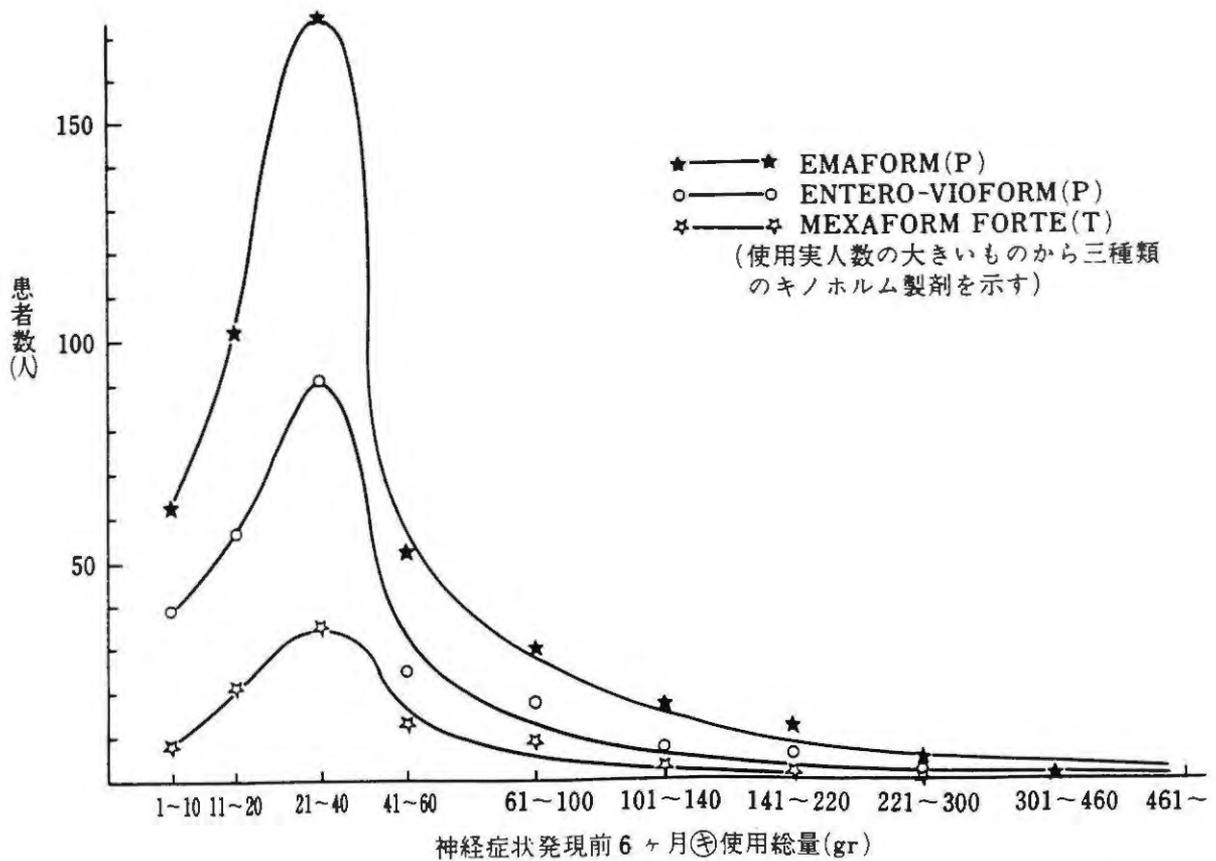


図14 神経症状発現前6ヶ月Ⓢ投与量別、患者分布(キノホルム製剤別)

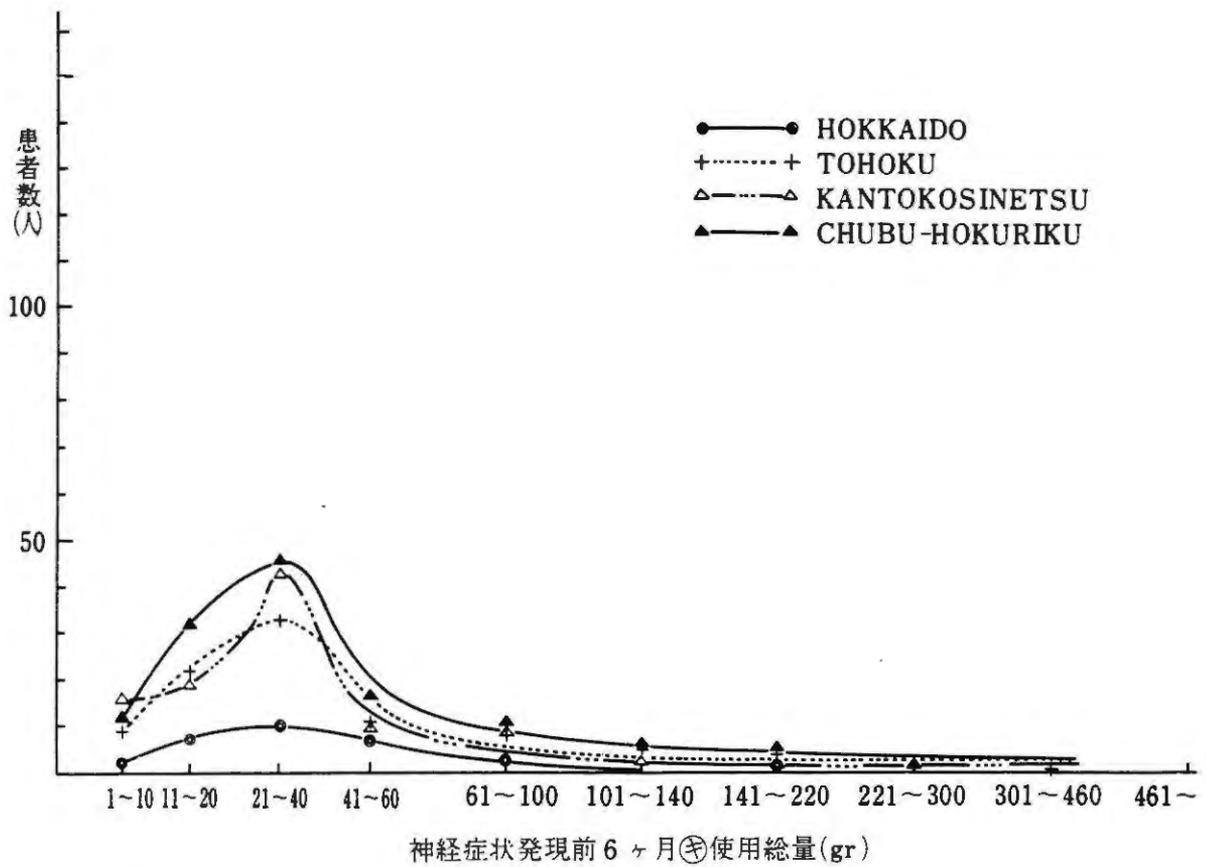


図15 神経症状発現前6ヶ月ⓧ投与量別患者分布(地区ブロック別)

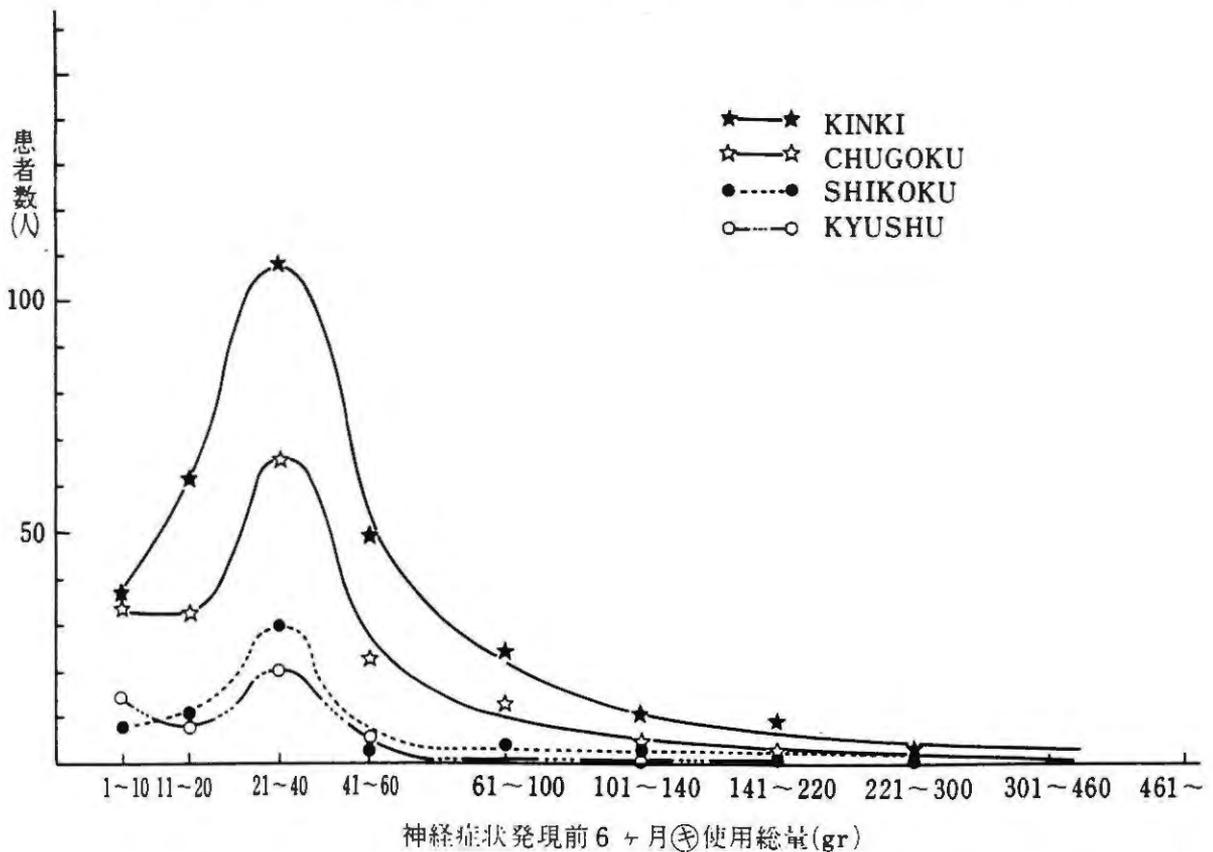


図16 神経症状発現前6ヶ月ⓧ投与量別患者分布(地区ブロック別)

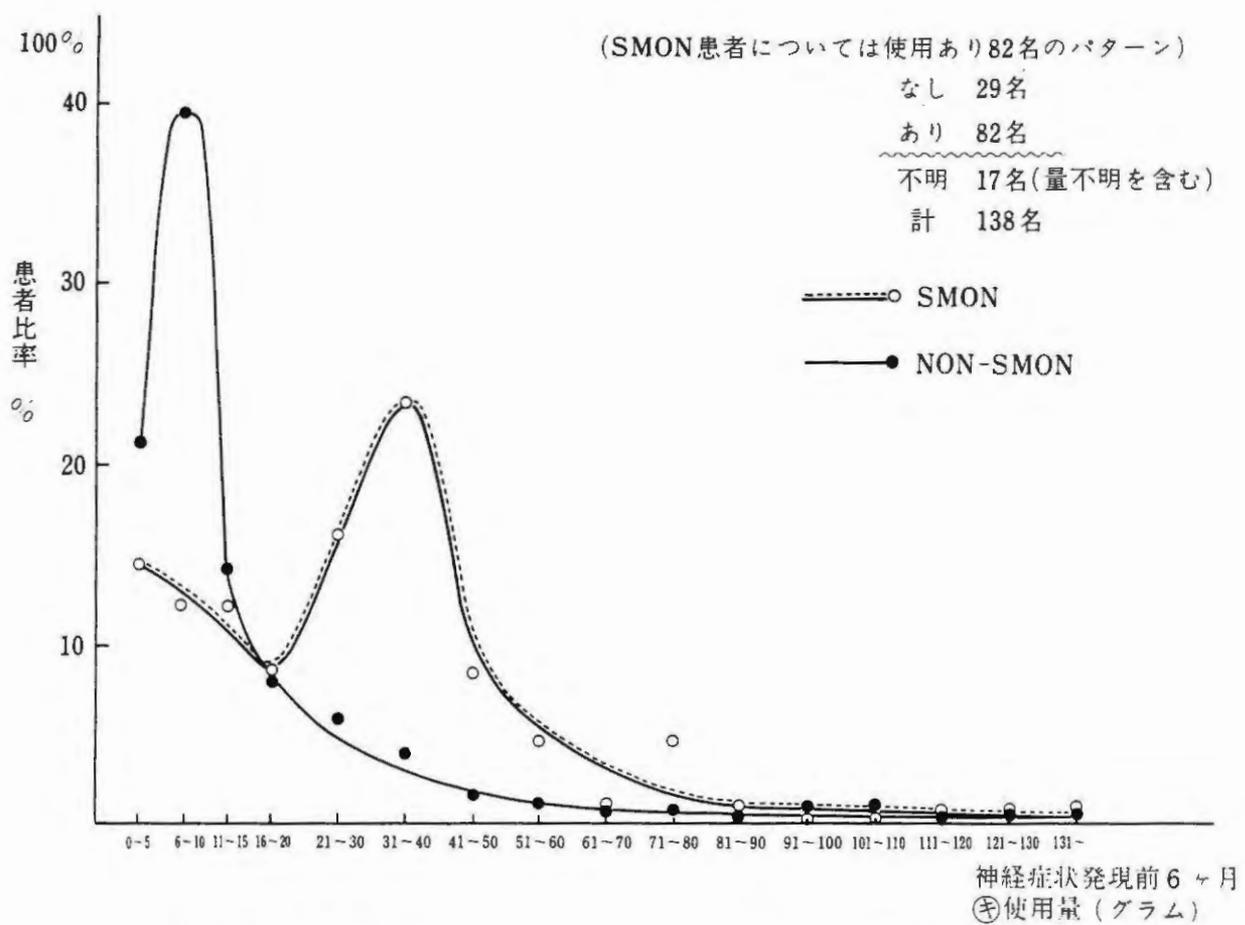


図17 岡山県I病院におけるSMON例および非SMON例に対するキノホルム投与パターン(神経症状発現前)

I . 戸田・蕨地区における疫学的研究

II . キノホルム投与状況と発症との関  
連についての理論的考案

班員 山本俊一 (東京大学医学部疫学教室)

共同研究者 中江公裕 (同 上)

井形昭弘 (鹿児島大学医学部第三内科)

# I 戸田・蕨地区におけるSMONの疫学的研究

戸田市と蕨市は隣接する二市で埼玉県南部に位置し、行政区はそれぞれ異にするが、地理的、社会的、歴史的にはほとんど区別し得ない連続性と同質性を有する(図1-1)。すなわち、北を浦和方面の台地に、南を東京板橋方面の台地に狭まれ、武蔵野一沼沢地帯を流れる荒川によって沃土を運ばれた平坦地である。両市の歴史によれば、平安末期にすでに開墾が始められたと言われ、鎌倉時代には村落的形態を成していたと伝えられる。徳川時代には、中仙道(国道17号線)の交通量の増加に伴って、板橋宿に次ぐ第二駅(蕨宿)としての宿場町として発展する事になった。宿駅制度は明治維新と共になくなるが、近代的商工業都市、首都圏の衛星都市として飛躍的に発展し、昭和34年4月には蕨市が、昭和41年10月

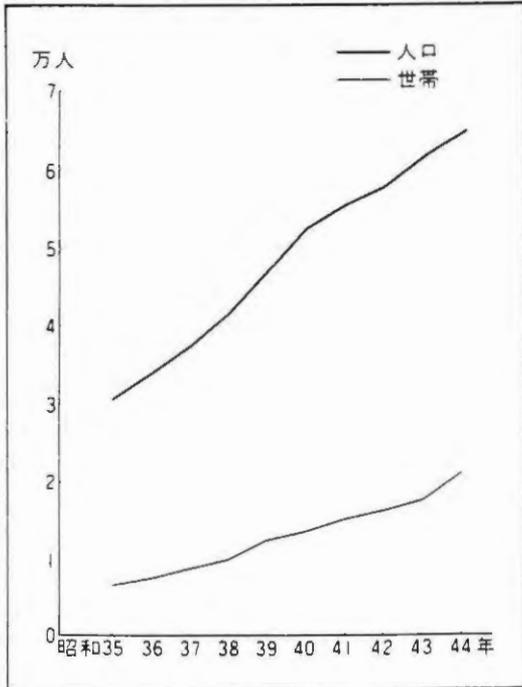
図1-1



には戸田市が誕生している<sup>1)</sup>、<sup>2)</sup> 昭和46年11月1日現在の人口は、戸田市70,222人蕨市77,288人で、人口順位では埼玉県内では11位、12位に位置し、人口増加も急速である。(図1-2)。人口動態を見ても図1-3、(戸田市)、図1-4、(蕨市)に示す如く、転入

図 1 - 2

人口と世帯（戸田市）  
（各年10月1日）



転出ともにも多い傾向を示している<sup>3), 4)</sup>

又、首都圏のベッドタウンの性格を示す一方、地市よりの通勤者も多く、両市が商工業都市としての性格をもつ事を物語っている。<sup>3), 4)</sup>

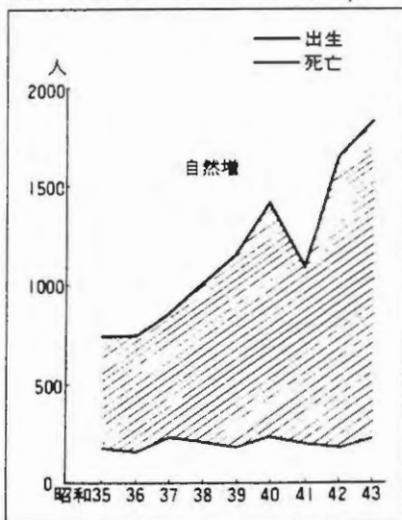
両市を産業面から眺めると、蕨市が商業を中心とするのに対し、戸田市は中小企業（一事業所平均の従業員数10.7人、従業者30人以下の事業所は全体の94%）を多く抱えた商工都市である。<sup>3) 4)</sup>

両市は衛生行政及び地域医療機関の立場からも一括管理されている。（戸田・蕨保健所、戸田・蕨医師会）。

中央保健所の資料<sup>5)</sup> でみると、乳

図 1 - 3

人口の推移（自然増）（戸田市）



人口の推移（社会増）（戸田市）

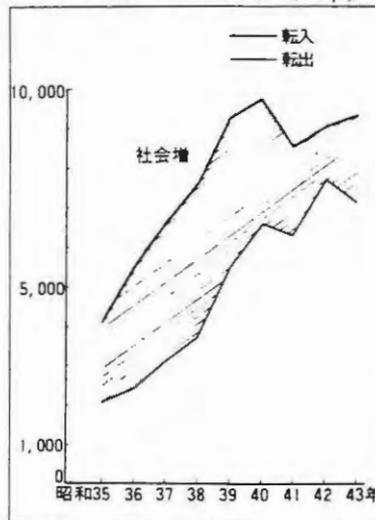


図 1 - 4

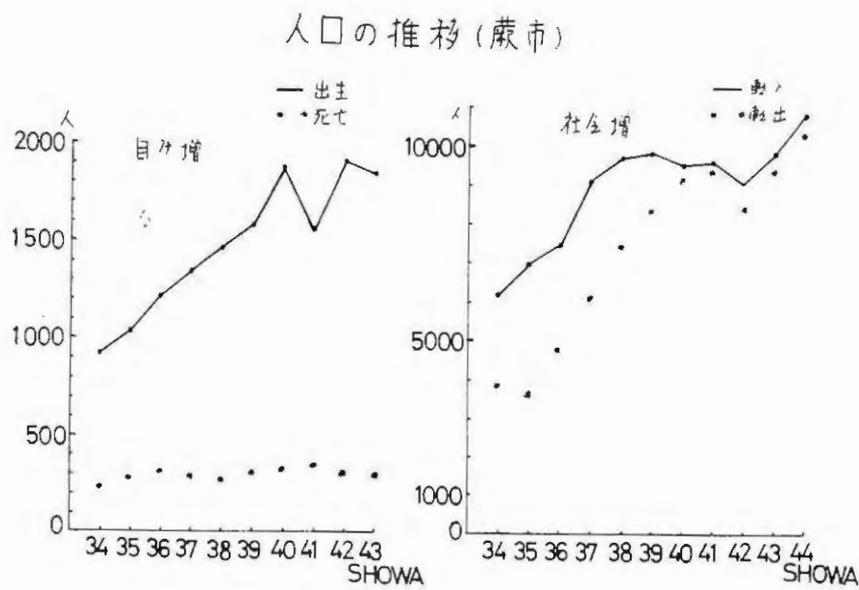


図 1 - 5

戸田市 ( S. 4 0 . 1 0 . 1 )

夜間人口	流出人口	流入人口	昼間人口
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">52311人</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">- 12647人</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">+ 6188</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">= 45852</span>

児死亡率の推移は表 1 - 1 の如く、年々減少しており、全国平均の 1 4 . 9 ( 昭和 4 2 年 ) を下廻る成績である。その他の事を併せ判断すると、戸田市・蕨市の Health Level は大都会に準じ、決して悪くはない。

表1-1 乳児死亡率

昭和	蕨市	戸田市	昭和	蕨市	戸田市
23	51.6	56.4	33	24.5	33.3
24	55.6	36.9	34	23.2	30.2
25	45.2	37.2	35	24.7	16.7
26	44.7	47.2	36	15.9	15.9
27	34.5	38.8	37	19.3	26.2
28	36.8	16.3	38	17.7	20.4
29	35.8	39.9	39	20.1	13.7
30	30.7	45.7	40	17.9	18.4
31	29.3	20.9	41	18.4	14.8
32	37.8	38.1	42	12.6	13.1

## I-2 予備調査と本調査

はじめに

SMON(Subacute Myelo-Optico-Neuropathy)が戸田・蕨地区に発生したのは昭和38年秋頃からであるが、当地区の専門医の間で、そのきわだった臨床的特徴により他疾患と鑑別され、問題化し始めたのは昭和39年春先の事であった<sup>6)</sup>。当時この病気は「戸田の奇病」として問題になり、発病者の中にオリンピック(昭和39年の日本オリンピックのボートコースは戸田競漕場)関係者2人が含まれていた事もあって、前川孫三郎(博士)を班長とする厚生省のSMON調査班によってかなり大規模な調査が、戸田地区を中心として早急に行われた。更に昭和39年当時の豊倉・井形らの調査<sup>7)8)</sup>昭和44年の井形らの調査<sup>9)</sup>等、当地区のSMONの実態はこれ迄にもかなり明らかにされた。そしていずれの調査も、全国各地のSMONの疫学像と略同一の結果を示しているが、ただ岡山県でみられた様な<sup>10)・11)</sup>高い家族内、職場内集積性を示さない発生例として報告されている。しかし、この度重なる詳細な調査にもかかわらず、SMONの病因についての手がかりは当時何一つ得られず、唯SMON患者のうち20~30%の舌苔が暗緑色を呈する(緑色舌)事がSMONに特異的な事実として、手がかりと言えれば手がかりであった。<sup>12)</sup>

この様な状況において、再度、戸田・蕨地区のSMONの疫学像を明らかにし、SMONの病因解明に迫ろうとする為には、少なくとも次の様な点に考慮を払った上で為されねばならなかった。

- a) 過去の調査において、未だ調査されていない項目はないか
- b) SMON疫学像の時間的・空間的広がりと変化が、的確にとらえられているか

- c) 調査のやり方自体にもっと事実をくみとれる様改善すべき点はないか
- d) 集計結果は正しく評価出来ているか

少なくとも以上の点は、再度、戸田、蕨地区のSMONの実態を明らかにして行く上で、最初から重点をおいた項目である。

#### 調査方法

調査はまず、SMONを全体的に把握し、問題点や困難な点を明らかにする為の「予備調査」と、予備調査及び過去のSMONに関する報告に基づいて焦点をいくつか絞った上で行う「本調査」の二段構え方式をとった。予備調査、本調査とも戸別訪問面接調査を行った。

#### A) 予備調査

##### 調査対象

戸田・蕨地区に居住中に発病したと思われるSMON患者及びSMONの疑いのある患者を次の6つの資料及び情報を参照して、全てlistingした。

- ① 埼玉県衛生部に昭和39年～昭和45年3月迄の間に県下680の医療機関より報告された資料<sup>(3)</sup>(この中には厚生省SMON調査研究協議会が県衛生部を通して行った調査を含む)
- ② 昭和39年当時、厚生省SMON研究班が戸田・蕨地区で行った疫学的調査資料<sup>14)</sup>
- ③ 豊倉・井形ら(東大神経内科)が昭和39年当時当地区で行った調査資料<sup>7)</sup>
- ④ 戸田市中島病院を受診したSMON患者及びSMONの疑いのある患者並びにその他の若干の他の医療機関による資料の一部
- ⑤ 戸田・蕨地区のSMON患者組織の資料
- ⑥ 地区の一般住民から得られる可能な限りの情報

これらの資料並びに情報から79名をlistingした。この79名については、戸田市・蕨市の住民台帳と照合して現在の居住地を確かめると同時に、調査可能と思われる58名を選び、調査協力を依頼する手続きをとった。その結果当地区に居住していて、調査に協力的な38名のSMON患者について調査を行った。

調査に当っては、参考1の如き予備調査用紙に従って、面接調査を行ったが、会話は自由な雰囲気の中で行われる様留意し、case by caseでカウンセリングなども折りまぜながら、患者の話す内容は何事でも書きとめる様留意した。又これとは別に、内容的にはこの予備調査に相応する調査が昭和39年に、豊倉・井形ら(東大神経内科)によって戸田・蕨地区において、為されていたので、その資料<sup>7)</sup>をも用いた。ただしこれらのデータは、患者の再確認を行ったこの予備調査とは質的に劣ると考えられるので、これを未確認データと呼ぶとともに、予備調査データに数の上でプラス事によって、予備調査データと対比してみる事を試みた。

予備調査結果

1) 調査対象者 38 名の内訳

○ 確診：井形（もと東大神経内科）により SMON 確実と診断されたもの 25 名

○ 疑診 i) 井形により、どちらとも判断のつきかねるもの 4 名

ii) 豊倉（東大神経内科）が昭和 39 年当時 SMON と診断をつけたもので井形の未確認のもの 9 名

以上、確診 25 名、疑診 13 名、合計 38 名

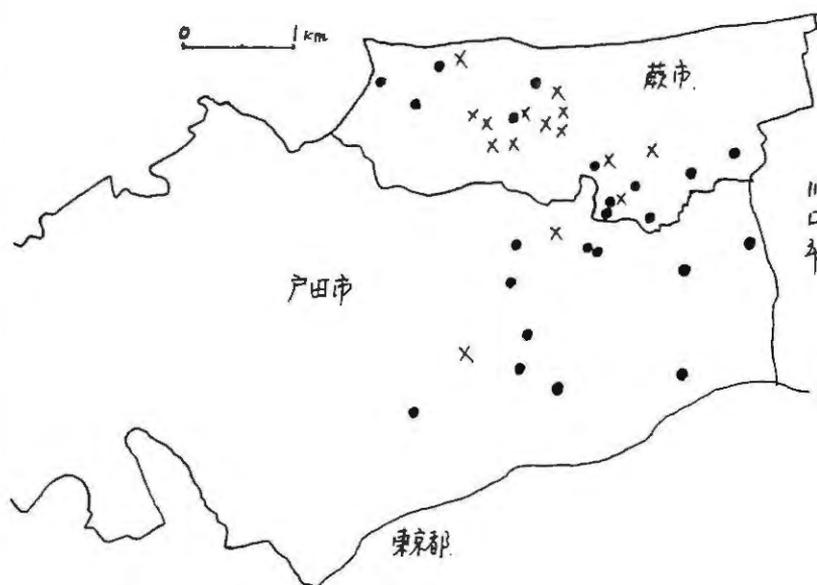
2) 発病の時間・空間的特徴

発病時点は、神経症状の発現時点をもってした。表 2-1 に予備調査 38 名、及び、未確認データ + 予備調査者 = 68 名の年次別発生状況を示してある。この予備調査対象者 38 人を、発病時の居住地別に地図上にプロットすると図 2-1 の如くなる。

表 2-1

昭和	予備調査対象	未確認データ + 38 名
38 年	2 人	2 人
39 "	18 "	39 "
40 "	3 "	5 "
41 "	6 "	7 "
42 "	6 "	9 "
43 "	2 "	3 "
44 "	1 "	3 "
計	38 人	68 人

図 2-1 患者分布



●印：昭和 38. 39. 40 年の発病者

×印：昭和 41. 42. 43. 44 年の発病者

初発は昭和 38 年 9 月

最終は昭和 44 年 8 月

以下、予備調査対象38名の発生状況の特徴をいくつか述べてみると、

- 昭和38年発生の2名の患者はいずれも蕨市居住者であった。（戸田市に最初に患者が発生したのは4番目の患者であった。（昭和39年3月12日））。
- 昭和39年に戸田市に多発している。
- 昭和42年に蕨市中央4，5丁目で地域集積性がみられる。
- 昭和43年，44年は散発的発生になった。
- 昭和38年，39年の発生には季節的変動が見られるが，昭和40年以後の発生にはそれが見られない。

### 3) 性別分布

予備調査対象

表2-2

	計	確診	疑診	未確認データ+38名
男	15人	8人	7人	28人
女	23	17	6	40
計	38人	25	13	68人

男女比は 確診が約1:2

疑診が約1:1

確診，疑診を合すると(1:1.5)

未確認を含む全対象;(1:1.4)

以上の様に疑診を含めた男女比は，いずれの場合でも約1:1.5となつている。(表2-2)

性別・年次別分布は表2-3の如くであり，昭和39年度に爆発的発生がみられる。その後41年，42年度にも，小さな山がみられる。

表 2-3

	予備調査対象		計	未確認データ+3.8名		計
	男	女		男	女	
昭和						
38年	0人	2人	2人	0人	2人	2
39	10	8	18	17	22	39
40	3	0	3	4	1	5
41	0	6	6	0	7	7
42	1	5	6	4	5	9
43	1	1	2	2	1	3
44	0	1	1	1	2	3
計	15人	23人	38人	28人	40人	68人

4) 神経症状発症時の年齢(満年齢)

表 2-4

予備調査対象 (男 女)	確診 (男 女)	疑診 (男 女)
10代 2人 (0. 2)	1人 (0. 1)	1人 (0. 1)
20代 7 (6. 1)	3 (2. 1)	4 (4. 0)
30代 11 (6. 5)	8 (4. 4)	3 (2. 1)
40代 9 (1. 8)	5 (0. 5)	4 (1. 3)
50代 5 (0. 5)	4 (0. 4)	1 (0. 1)
60代 3 (1. 2)	3 (1. 2)	0
70代 1 (1. 0)	1 (1. 0)	0
計 38 (15. 23)	25 (8. 17)	13 (7. 6)

表 2-5

	未確認 データ +38名	(男 女)
10代	4人	(0. 4)
20代	16	(12. 4)
30代	17	(10. 7)
40代	14	(2. 12)
50代	9	(2. 7)
60代	5	(1. 4)
70代	2	(1. 1)
80代	1	(0. 1)
計	68人	(28. 40)

発病の最年少者は11才

最年長者は82才

未確認を含む全対象者の平均年齢は

男 34.4才

女 43.2才

男女平均 39.6才

であった。

又、年齢別の特徴として、以下の点が認められた。

- 40才代、50才代の発病者のほとんどが女性である。(表2-4)
- 男性の発病者は20才代、30才代に多い。(表2-4)
- 10才以下の発病者はない。
- Mode及び平均は30才代にある。

5) 飲食品に関する調査成績(予備調査38名のみの集計)

a) 飲食品摂取状況(神経症状発現前)

発病前の飲食品(43品目)摂取状況を次の7段階に従ってRetrospectiveに聞きとり調査を行った。

- ⑦ ほとんど毎日たべた 得点 7.  
 ⑥ かなりよくたべた " 6.  
 ⑤ たべた方である " 5.  
 ④ 普通 " 4.  
 ③ 時々たべた程度 " 3.  
 ② あまりたべなかった " 2.  
 ① たべた記憶がない " 1.

調査した飲食品群は表 2-19 に示す如くである。SMON 確診 25 例のみ（表中、上段の数字は平均得点を示している。）

σ：標準偏差

表 2-19 確診 SMON 患者発病前飲食品摂取態度

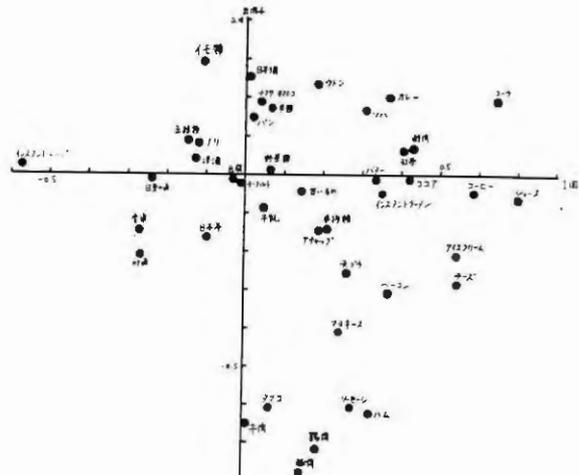
食品	米	パン	インスタントラーメン	ソバ	うどん	イモ類	豆腐	甘いもの	バター	天プラ	青魚
平均	7.0	3.4	2.8	3.9	4.0	4.3	4.2	4.2	3.8	4.1	4.0
σ	0	1.4	1.1	1.2	1.3	1.2	1.1	1.3	1.5	1.3	1.4
食品	白身魚	川魚	貝類	ノリ	チクワ カマボコ	牛肉	豚肉	鶏肉	鯨肉	ハム	ソーセージ
平均	4.3	2.7	3.7	5.0	4.0	3.7	4.3	3.9	3.3	3.7	3.5
σ	0.5	1.0	1.1	0.7	1.0	1.2	1.2	1.0	1.3	0.5	0.6
食品	ベーコン	鶏卵	牛乳	ヨーグルト	アイス クリーム	チーズ	野菜類	果物類	缶詰	コーヒー	ココア
平均	2.8	4.8	3.8	2.6	3.2	3.3	4.7	4.8	3.2	2.9	2.8
σ	1.1	1.1	1.6	1.4	1.3	1.4	0.8	0.9	0.7	1.3	1.3
食品	日本茶	日本酒	洋酒	コーラ	ジュース	紅茶	カレー	マヨネーズ	ケチャップ	インスタント スープ	
平均	6.2	3.3	2.4	2.7	3.3	3.2	3.6	4.1	3.0	1.9	
σ	1.4	1.7	1.2	1.3	1.3	1.3	0.9	1.3	1.3	0.3	

- 高頻度で共通して摂取されるもの 米(7.0)
- かなり高頻度で共通に摂取されるもの 日本茶(6.2), ノリ(5.0), 果物(4.7), 鶏卵(4.8), 野菜(4.7)
- 普通に一様に摂取されているもので、②又は①を含まないもの。ナン
- 普通に一様に摂取されているもので、②をわずか含むもの。

イモ類( 4.3 ), 豆腐( 4.2 ), 白身の魚( 4.3 ), チクワ・カマボコ( 4.0 ), 豚肉( 4.3 ),  
カレー( 3.6 )

表2-19に示す43の飲食品群について, SMON確診25名の摂取状況から43×25の得点表を作り, 因子分析を行った結果が図2-2である。

図2-2 SMON患者食品摂取状況因子分析表  
(第1因子~第2因子)



横軸は第一因子, 縦軸は第二因子による分析結果である。

b) 飲料水調査

飲料水については, 予備調査対象38名全員の家庭に上水道設備がすでに発病時ひかれていた。なお, 勤務先の会社にある井戸水を飲んでいたので3名(7.9%)居た。発病前の飲用状況は, 表2-20の如くである。

表2-20

	合計	確診	疑診
よく生水をのんでいた。	19人(50.0%)	14人	5人
時々生水をのんだ。	4(10.5%)	1	3
沸してのんだ。	15(39.5%)	10	5

c) 果物・野菜の洗浄調査(発病時)

表2-21

	合計	確診	疑診
洗剤で洗った。	25人	16人	9人
水だけでよく洗った。(塩水を含む)	13	9	4
あまり洗わなかった。	0	0	0

- 神経質な人程、よく洗うと言う人が多い。
- 洗剤が問題になり始めて（昭和38年頃）、洗剤使用をやめた人が少数見られた。

6) 環境要因調査成績（予備調査対象のみ）

- ① 家屋様式：38戸全部が木造建築であった。

表 2-22

	合計	確診	疑診
一戸建ち	32 (84.2%)	23	9
アパート・団地等	6 (15.8%)	2	4

表 2-24

- ② 転居後発病迄の同一居住地、居住年数

	確診	疑診
平均居住年数=14年	平均=17年	7年
	Max 56年	Max 20年
	Min 5ヶ月	Min 5ヶ月

表 2-25

③ 立地条件

	合計	確診	疑診
住宅地	28 (73.7%)	21	7
農耕地	8 (21.1%)	4	4
工業地	2 (5.3%)	0	2

- なお、住宅地、農耕地、工業地と必ずしもはっきり区別出来ない場合が多い。

表 2-26

- ④ 尿尿処理（発病時）

汲取車（バキュームカー）による処理	37
畠に散布	1

- ⑤ 衛生害虫

- 地域全体に蚊、蠅、ゴキブリが多い。
- 又、戸田、蕨地区は湿地帯でドブネズミが多い。

⑥ 飼育動物（発病時）

表 2 - 2 7

		確 診	疑 診
飼育動物あり	21 (50%)	13	8
内訳	犬 11		
	猫 5		
	小鳥 7		
	ニワトリ 4		
	その他 4		
飼育動物なし	14 (40%)	11	3
不 明	3		

7) 行動調査成績（予備調査対象のみ）

表 2 - 2 8

① 食事前の手洗い	合 計	確 診	疑 診
洗 う 人	35人 (92.1%)	24人	11人
ほとんど洗わない人	3 (7.9%)	1	2

表 2 - 2 9

② 入浴	合 計	確 診	疑 診
毎日	24人 (63.2%)	14人	10人
2～3日おき	13 (34.2%)	10	3
1週間に1回程度	1 (2.6%)	1	0

表 2 - 3 0

③ 外出から帰った時などのうがい	合 計	確 診	疑 診
必ずした	10人 (26.3%)	7人	3人
時々した	8 (21.1%)	6	2
ほとんどしない	20 (52.6%)	12	8

表 2 - 3 1

④ 混んだ乗物には	合 計	確 診	疑 診
のる機会が多かった	5人 (14.7%)	2人	3人

ほとんど乗った事がない 29人(85.3%) 20人 9人  
 よくわからない 4

注) 通勤などは自転車と徒走がほとんどである。

8) 職業について(予備調査38名について)

表2-32

① 発病時, 就業の有無

	計	男	女
有	29 (76.3%)	15	14
無	9 (23.7%)	0	9

表2-33

② 職業分類

		男	女
専門的・技術的	1	1	0
管 理 職	2	2	0
事 務 的	4	1	3
販 売 業	5	1	4
農 林・漁 業	1	0	1
採 鉱・採 石	0	0	0
交 通・運 輸	1	1	0
技 能 職	15	9	6
保安・サービス	0	0	0
サ ー ビ ス 業	0	0	0
そ の 他	7	0	7
	主婦	0	2
	学生	0	2
計	38人	15	23

9) 発病前受診状況(確診患者25名のみ)

25名の確診患者のうち神経症状発症前に通院(入院)していたもの 24名  
 通院(入院)していなかったもの 1名

表 2 - 3 4

医療機関名	所在地	発病前受診患者数	医療機関名	所在地	発病前受診患者数
A病院	戸田市	15	J病院	戸田市	1
B病院	蕨市	9	K病院	蕨市	1
C病院	蕨市	4	I病院	川口市	1
D病院	蕨市	3	M病院	東京都	1
E病院	蕨市	3	N病院	千葉県	1
F病院	川口市	2			
G病院	東京都	2			
H病院	蕨市	1			
I病院	戸田市	1			

これら24名の受診者のうち11名は1つの医療機関のみを、13名は複数の医療機関に通院した経験を持っていた。24名の患者が受診していた医療機関名と患者数(延人数)とは表2-34の如くであり、24名の全てが、A病院又はB病院のいずれかに通院した経験をもつものであることが明らかとなった。なお表2-35は、神経症状発病前に1つの医療機関のみを受診していた、11名の内訳である。

表 2 - 3 5

医療機関名	所在地	発病前受診患者数
A病院	戸田市	6
B病院	蕨市	5

## 10) ワクチン接種歴

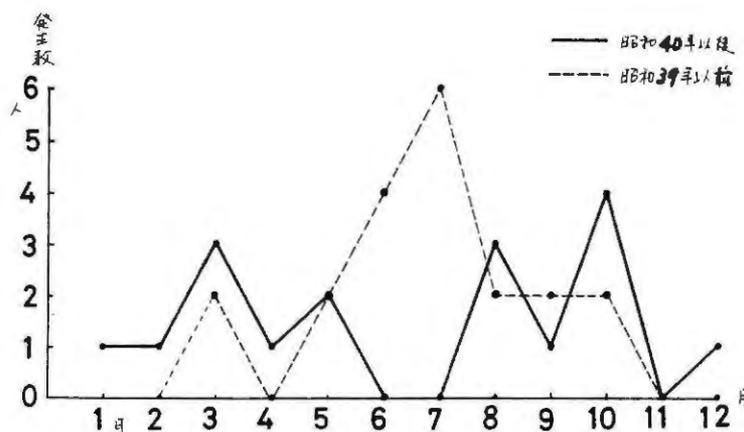
- ・記憶がはっきりしないが10名(26%) ( 確診6人、疑診4人 ) が腸パラ混合ワクチン接種を発病前に受けたとしている。

## 予備調査結果のまとめ

- ① 図2-1, 表2-1に示す如く, 昭和39年に戸田市, 昭和41, 42年に蕨市中央に地域集積性がある。
- ② 昭和38年, 39年の初発時に季節的变化(夏期に多い)が見られるが, 昭和40年以後の発生にはそれが見られない。( 図2-3 )
- ③ 岡山で示された様な高い家族集積性・職場集積性はない。又, 病院職員内の発生も一例もない。
- ④ 男女比は25名の確診患者では1:2, 未確認患者を含めた全対象68名では1:1.5であった。
- ⑤ 40才代, 50才代の女性に多い。
- ⑥ 10才以下にない。

- ⑦ 神経症状発現前に受診していた医療機関は、二つの特定のものに集中している。
- ⑧ 体質については、患者はやせて神経質な人に多い。

図 2 - 3 月別発生数 (SMON) 38 名 不明 1



## B) 本調査

予備調査の結果に基づき、次の如き4つの柱に従って本調査の内容を構成した。

- (1) 何故昭和39年に戸田市、昭和41年、42年に蕨市中央に患者発生が集積したかを解明する手がかりとして
  - 1) 飲料水の水質、及びその地域の地下水の水質関係調査
  - 2) 下水溝又はVectorの問題
- (2) 医療機関に内在する因子の存在
  - 1) 院内感染の問題
  - 2) 使用薬剤の問題
- (3) 重症度と再燃の問題の中に手がかりがないか。
- (4) 個体側に共通する要因はないか。

調査対象者のlistingは予備調査と全く同一の資料に拠ったが、特に⑥の「地区の一般住民から得られる情報」には留意し、井形(もと東大・神経内科)ともども戸別訪問をして廻り、SMON患者の診断と新たな発見に努めた。又、国鉄東北線以西の川口地区も、戸田・蕨地区と地理的に連続性を有するので調査対象地区に追加した。調査対象者は全て戸別訪問面接調査をした。

## 本調査結果

調査を終える事の出来たものは、全部で61名であった。その内訳は井形の診断により

- SMONと診断されたもの 51名

- 診断の確認が出来ないもの  
(うち1例は、調査を始める前に自殺した) 2名
  - 確実にSMONだが他地区で発病後、当地区に転入したもの 1名
  - SMONの疑いは残るがSMONでないとしたもの 2名
  - SMONでないとしたもの 5名
- 計61名

なおlisting者のうちで、調査対象者として取り上げるべきもののうち、未調査のものが26名残ったが、その内訳は、

- 調査の難しい家庭内の立場で生活しているもの 10名
- 当地区外の遠隔地に移住したもの 9名
- 転居先が不明のもの 7名

1) 発病のtime-place plot

SMON患者51名の発病時点を、腹部症状発現及び、神経症状発現の時点で別々に集計した結果

表3-1 年次別発生状況

昭和	腹部症状を発病の時点を考える場合	神経症状を発病の時点を考える場合
37	2	1
38	2	1
39	<u>20</u>	20
40	4	2
41	7	9
42	<u>8</u>	9
43	5	5
44	2	2
不明	1	2
計	51例	51例

は表3-1の通りである。神経症状発現時点をグラフに書くと図3-1の如く二峰性の発生パターンが得られるが、これを戸田市、並びに蕨市の発生状況にわけて書くと、1964年(昭39)の多発は戸田市での多発であり、1966年(昭41)、1967年(昭42)の多発は蕨市におけるそれである事がわかる。神経症状発現の時点をSMON発症と考えて、対象者51名のうち戸田・蕨地区の発病者47名(4名は川口市)を神経症状発現の時点別(昭38~40, 昭41~42, 昭43以降)に、その発病時の居住地をプロットすると、図3-2の如く、時期によって発生場所に次の様な特徴が見られる。

図 3 - 1

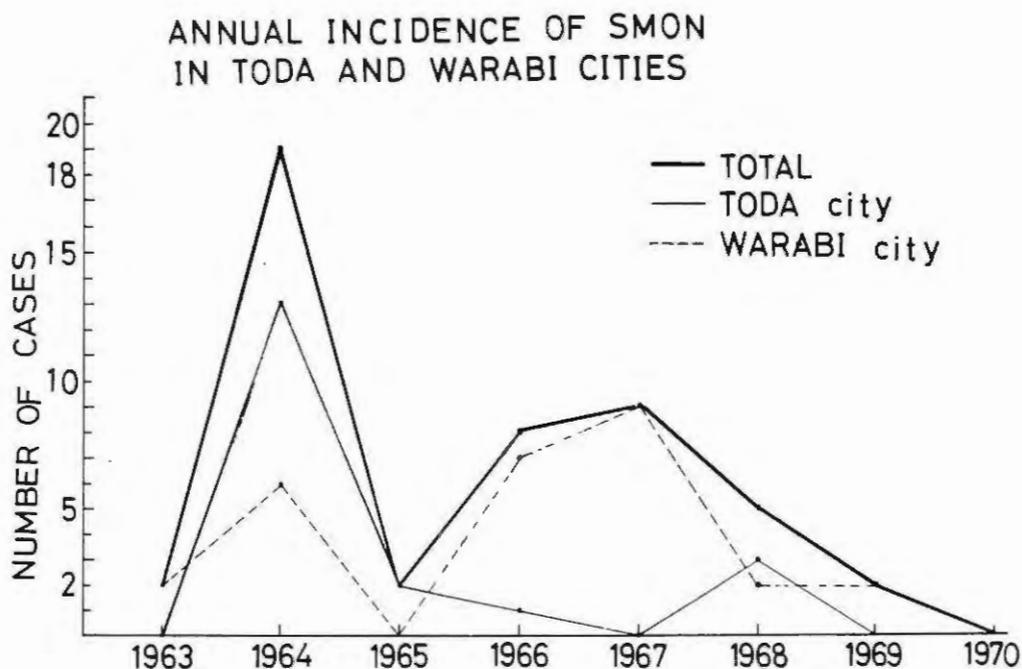
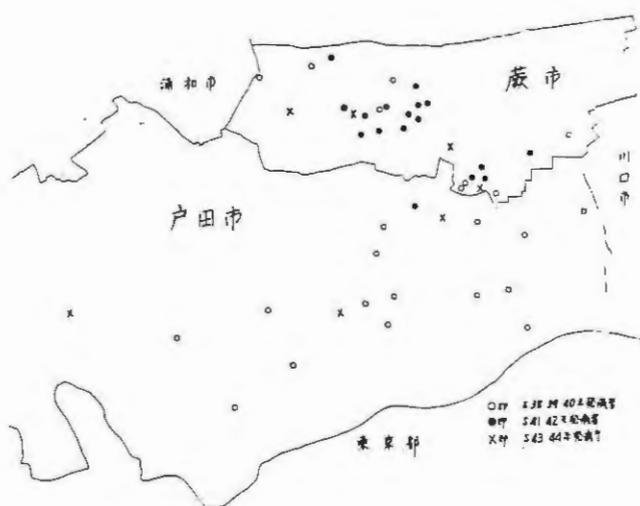


図 3 - 2 SMON患者の神経症状発症時居住地分布



すなわち

- (1) 昭和 37 年～38 年にかけての初期段階での発生場所は、蕨市北部である。
- (2) 昭和 39 年には戸田市に集中的に多発し昭和 40 年にも 2 例戸田市で続発している。
- (3) 昭和 41 年～42 年にかけては蕨市中央 4, 5 丁目を中心に多発した。

(4) 昭和 43 年以後の発生は散発的になり、発生地区にも特徴が認められない。

次に、本調査対象の 51 名を、神経症状発現前に受診していた医療機関別にみると、表 3 - 2 の如くなる。表中、単独とあるのは、発病前はその医療機関以外の他の医療機関は一切受診した事のない患者数である。この表に示す通り、神経症状発現前に受診していた医療機関は、j, k の二つのそれに

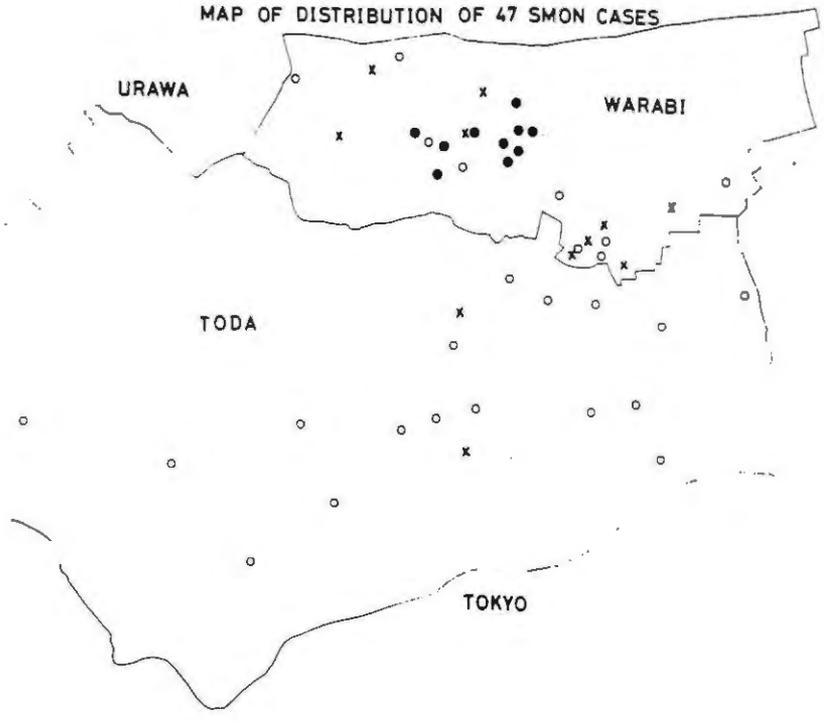
集中している事がわかる。次にこの51名のうち、戸田・蕨地区で発病した47名を、神経症状発現時に受診していた医療機関別に患者居住地をプロットしてみると図3-3の如くなる。

表3-2

神経症状発現前受診医療  
機関別患者数(51例)

医療機関	発病前 受診数 (延数)	発病前 受診数 (単独)
+	31	19
k	12	8
r	5	
—	4	
∩	4	
∪	2	
—	2	
—	1	1
—	1	
J	1	
—	1	
l	1	
s	1	
—	1	
—	1	
—	1	
通院ナン	2	2

図3-3



○印は戸田市A病院を受診中に神経症状を発現したものの居住地。

●印は蕨市B病院を受診中に神経症状を発現したものの居住地で、この

A、B2つの医療機関だけで36名(80%)にも達する。残りの×印で示される11名は、A・Bを含む他の複数の医療機関(県外も含む)を、神経症状発現時に受診していた者、又は、その間の事情の明らかでないもので、この中には神経症状発現前には医療機関を受診した事のない2名を含んでいる。

戸田市には、歯科・助産婦・接骨医を除く医療機関は32あり、蕨市には37ある。

更にA病院の診療圏は表3-3、表3-4の如くであり、SMONの発生地区とA病院の診療圏は略一致するが、ただ、蕨市中央と北町の発生は、A病院の診療圏からは説明がつかない。

次に、発生を季節的に眺めると、表3-5の如く、昭和39年度以前の発生は、5月～8月の間に集中しているのに、昭和40年度以後の発生には季節的特徴が見られない。なお近接家屋内の発生は調査51名中1件(2名)のみであった。戸田、蕨地区に、当時何らかの流行病がなかったかどうかを、埼玉県中央保健所の資料で調査すると、赤痢が図3-6に示す如く、昭和39年に戸田市に流行している。

この時期は、同市におけるSMON患者の集中発生と一致している。

表 3 - 3

町名	人口(P)	N病院 通院者(A)	Aの標準化(C)	SMON(B) 患者数	Bの標準化(D)	D/C
K・S	7896	707	1	5	1	1
Kg	4038	83	0.230	1	0.391	1.7
Kz	8063	66	0.091	1	0.196	2.1
Km	3000	27	0.101	0	0	0
Ss	7464	198	0.296	3	0.635	2.1
Sm	5117	200	0.437	1	0.309	0.7
So	825	50	0.677	0	0	0
Tk	506	25	0.552	0	0	0
Nk	5359	135	0.281	1	0.295	1.0
Nz	6654	278	0.467	2	0.475	1.0
Nm	2695	136	0.564	2	1.172	2.0
B	3700	114	0.344	0	0	0
Hw	1499	44	0.328	0	0	0
Hn	6810	299	0.490	3	0.696	1.4
Mi	1606	86	0.589	1	0.983	1.7
計	65223	2448	0.419	20	0.484	1.2

表 3 - 4 A病院診療圏 戸田市

町名	人口(P)	N病院 通院者(A)	Aの標準化(C)	SMON(B) 患者数	Bの標準化(D)	D/C
K・S	7896	707	1	5	1	1
Kg	4038	83	0.230	1	0.391	1.7
Kz	8063	66	0.091	1	0.196	2.1
Km	3000	27	0.101	0	0	0
Ss	7464	198	0.296	3	0.635	2.1
Sm	5117	200	0.437	1	0.309	0.7
So	825	50	0.677	0	0	0
Tk	506	25	0.552	0	0	0
Nk	5359	135	0.281	1	0.295	1.0
Nz	6654	278	0.467	2	0.475	1.0
Nm	2695	136	0.564	2	1.172	2.0
B	3700	114	0.344	0	0	0
Hw	1499	44	0.328	0	0	0
Hn	6810	299	0.490	3	0.696	1.4
Mi	1606	86	0.589	1	0.983	1.7
計	65223	2448	0.419	20	0.484	1.2

(注) 標準化はK・S地区を1とする。

表 3 - 5

月別発生状況 (SMON51例)

月	昭和30年以前	昭和40年以後
1	0	1
2	0	2
3	1	0
4	1	2
5	3	4
6	5	2
7	4	1
8	4	5
9	1	4
10	2	4
11	0	0
12	1	2
不明	1	1
計	23例	28例

神経症状発現時点を発病時とする。

図 3 - 6

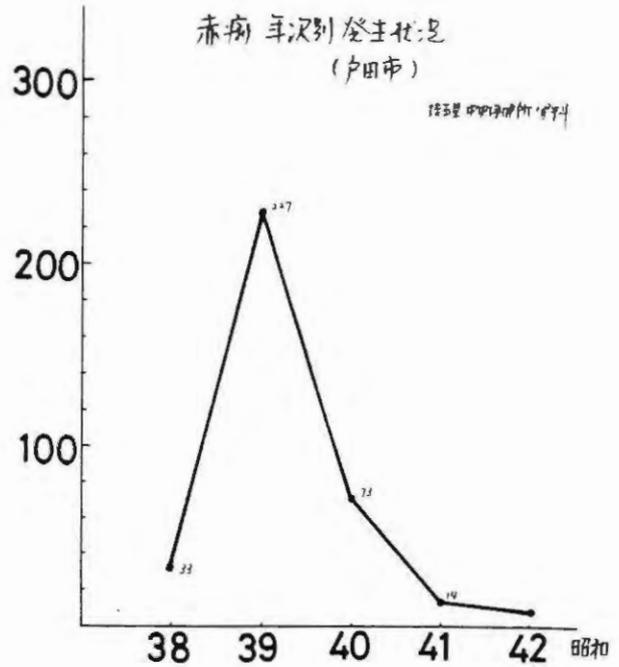
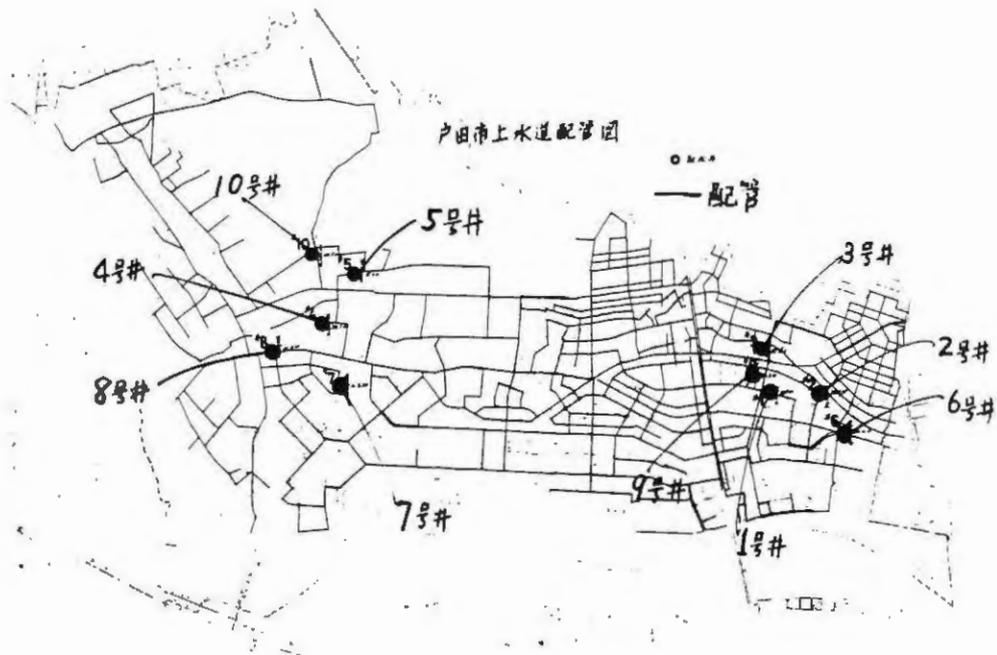


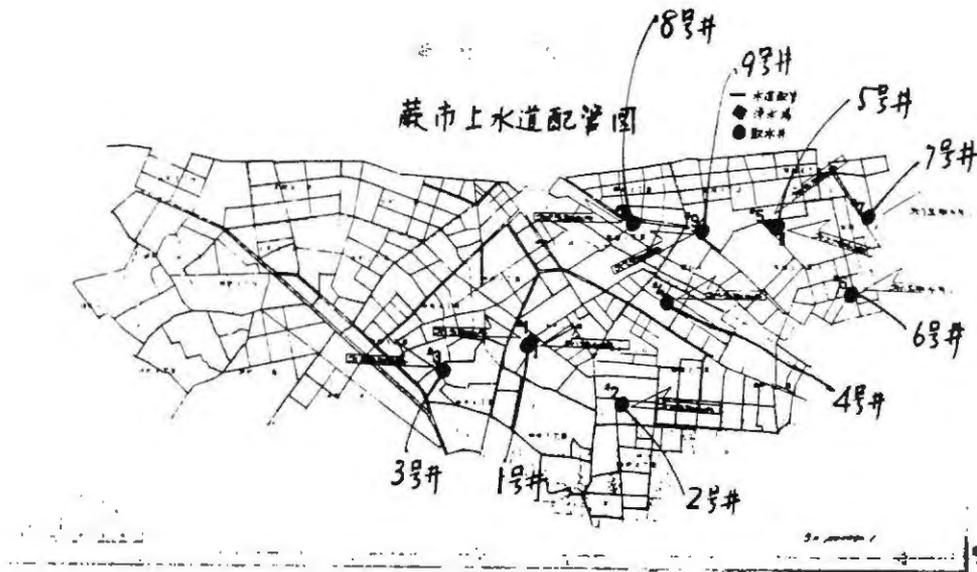
図 3 - 7 15)



2) 水質調査<sup>15) 16)</sup>

戸田市に上水道設備の普及が始まったのは昭和31年8月からで、SMONが戸田市に多発した昭和39年当時は、90%に近い水道の普及率であった。(表3-6)、ちなみに昭和39年当時は、少なくとも、本調査対象者(51名)の家庭へは全戸に上水道がひかれていた。図3-7では、戸田市の水

図 3 - 8 35)



道配管の状態と、取水井（戸田市の給水は井戸水である）の位置及びその番号を示している。取水井の完成年月日は、

第 1 号井	昭和 3 1 年	8 月 1 0 日	（戸田市 東部）
第 2 号井	" 3 3 年	6 月 2 5 日	（同 上）
第 3 号井	" 3 5 年	1 1 月 3 日	（同 上）
第 4 号井	" 3 8 年	7 月 2 0 日	（戸田市 西部）
第 5 号井	" 3 9 年	7 月 3 0 日	（同 上）
第 6 号井	" 4 0 年	6 月 1 0 日	（戸田市 東部）
第 7 号井	" 4 1 年	3 月 2 4 日	（" 西部）
第 8 号井	" 4 1 年	6 月 2 4 日	（" 西部）
第 9 号井	" 4 2 年	7 月 2 1 日	（" 東部）
第 10 号井	" 4 2 年	9 月 1 0 日	（" 西部）

なお浄水場は第一号井の場所に東部浄水場が、第4号井の所に西部浄水場がある。

又蕨市に上水道設備の普及が始ったのは、昭和 3 3 年 4 月からで、蕨市に多発した昭和 4 1 年、4 2 年当時は 9 8 % の高い給水率であった。（表 3 - 6 ），図 3 - 8 は、蕨市の水道配管の状態と取水井（蕨市も井戸水による給水）の位置及びその番号を示している。第一浄水場は第 1 取水井の場所において蕨市西部に給水し、第二浄水場は第 5 号井の場所において蕨市東部に給水している。戸田市・蕨市の各号井についての水質検査成績は表 3 - 7 ，表 3 - 8 ，表 3 - 9 。表 3 - 1 0 ，表 3 - 1 1 ，表 3 - 1 2 ，

表 3-6 水道普及率

昭和	戸田市	蕨市
34	70.5%	70.1%
35	74.9	80.9
36	76.2	88.4
37	76.6	88.6
38	98.6	87.3
39	88.5	92.5
40	91.9	95.6
41	92.7	98.8
42	93.3	97.9
43	99.8	99.1

表 3-13, 表 3-14, 表 3-15, 表 3-16 (以上戸田市)  
 表 3-17, 表 3-18, 表 3-19, 表 3-20, 表 3-21,  
 表 3-22, 表 3-23, 表 3-24, 表 3-25, (以上蕨市)  
 に示す如くであり, これら飲料水調査から SMON 発症との関連上,  
特に問題となる点を見出す事は出来なかった。

野菜は地域産のものが多く摂取されている。生野菜の摂取状況は,  
 (発病前)

よくたべた	26名 (51%)
あまりたべない	23名 (45%)
不明	2名 (4%)

であった。

水質検査 戸田市<sup>15)</sup>

第1号井

戸田市

	38		39		40		41		42		43		44											
	6	10	22	5	8	11	3	5	6	10	3	7	8	10	2	4	6	8	10	4	8			
外観	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
味	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
臭気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水素イオン濃度	7.6	7.4	7.5	7.3	7.3	7.3	7.2	7.2	7.3	7.3	7.3	7.4	7.3	7.8	7.4	7.4	7.4	7.5	7.6	7.5	7.4	7.4	7.4	7.4
アンモニア性窒素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜硝酸性窒素	±	-	+	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
硝酸性窒素	±	-	-	-	±	±	-	±	±	-	-	±	±	±	±	±	±	±	±	±	-	-	-	±
塩素イオン	6.1	4.9	5.2	6.3	1.0	8.2	6.3	6.7	7.1	7.1	7.1	7.5	6.0	6.0	7.5	6.8	8.1	8.2	12.9	8.5	8.7	9.5	15.9	
KMnO <sub>4</sub> 消費量	1.1	4.4	1.5	0.9	1.2	1.4	1.5	1.4	2.5	1.7	1.6	1.0	1.3	2.2	0.6	0.8	1.9	0.8	0.6	0.6	1.0	2.2	0.6	
残留塩素	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大腸菌群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一般細菌(個/ml)	3	25	0	200	0	0	0	3	3	3	3	0	3	0	4	3	3	14	0	55	1	1	0	
判定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

表 3-7

第2号井

产地

	38			39			40			41			42			43			44					
	4	9	13	7	10	13	4	7	9	8	11	13	7	9	11	1	4	8				7	10	13
外觀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
味	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
臭気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水素価濃度	73	74	73	74	73	73	72	71	71	72	71	74	78	76	77	77	78	78	78	74	74	78	71	76
アモニア性窒素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜硝酸性窒素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	±	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
硝酸性窒素	±	-	±	+	-	-	-	-	-	-	-	±	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩素イオン	51	21	63	56	61	49	56	46	50	57	61	80	54	54	61	57	60	60	49	85	87	97	117	76
KMnO <sub>4</sub> 消費量	13	12	05	18	28	11	15	22	25	11	20	16	13	06	31	35	15	16	12	10	22	26	03	19
硫酸塩素	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太陽菌 群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般細菌(4℃)	5	0	0	250	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3	4	0	2	1	55	1		0	1	0
判定	-	-	-	疑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表3-8

第3号井

产地

	38			39			40			41			42			43			44							
	5	10	12	2	4	8	10	2	4	5	6	11	9	3		5	7	11	2	5	9				4	9
外觀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
味	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
臭気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水素価濃度	75	76	74	76	74	76	75	76	76	74	73	76	77	76	76	78	76	78	77	75	75	78	78	78	78	78
アモニア性窒素	±	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜硝酸性窒素	±	±	±	±	+	+	-	±	±	±	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
硝酸性窒素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	±	±	±	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩素イオン	48	63	56	63	70	64	63	49	50	64	64	48	68	68	61	64	80	56	61	75		55	90	76		
KMnO <sub>4</sub> 消費量	19	58	09	10	23	17	18	09	22	25	43	21	03	21	0	38	06	15	10	08		17	05	10		
硫酸塩素	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太陽菌 群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般細菌(4℃)	0	150	5	0	0	0	3	3	15	3	3	3	3	3	3	40	1	1	1	17		0	0	2		
判定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表3-9

水質検査 戸田市<sup>15)</sup>

第4号井

戸田

	38			39			40			41			42			43			44				
	9	12	23	5	7	8	9	4	8	11	3	6	9	12	8	1			4	7	12	5	10
外觀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
味	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
臭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水素イオン濃度	75	74	75	76	76	76	75	75	74	74	76	73	76	76				78	76		75	76	76
アモニア性窒素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜硝酸性窒素	+	+	±	+	-	+	+	+	-	+	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
硝酸性窒素	±	±	-	±	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩素イオン	42	46	49	49	0	85	35	0	49	43	43	48	48	47	54	47		43	42		48	54	31
KMnO <sub>4</sub> 消費量	2.1	0.9	0.7	2.1	0.8	1.9	1.0	0.9	1.6	1.6	2.4	1.1	0.3	1.0	1.0		1.2	0.9		0.3	0.2	0.5	
3次93塩素	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0
大腸菌群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-		-	-	-
一般細菌(4℃)	0	10	200	200	200	100	100	100	3	3	30	3	3	3	7		0	2		2	25	0	
判定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表3-10

第5号井

戸田

	38			39			40			41			42			43			44				
				9	10	2	5	10	22	4	7	10	1	4	5	9	1	5	10	3	8	1	
外觀				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
味				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
臭				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水素イオン濃度				74	75	75		74	75	75	75	77	75	77	76	76	79	78	76	76	76	75	73
アモニア性窒素				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜硝酸性窒素				±	-	+		±	-	+	+	±	±	-	-	-	+	-	-	-	-	-	
硝酸性窒素				-	-	-		±	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
塩素イオン				49	49	42		49	46	48	44	41	47	54	41	54	47	60	42	48	43	49	
KMnO <sub>4</sub> 消費量				1.5	1.0	1.1		1.7	1.6	1.3	1.0	1.1	0.6	2.5	0.3	2.5	1.4	1.3	0.7	2.2	0.9	0.3	
3次93塩素				0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大腸菌群				-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	
一般細菌(4℃)				10	0	3		3	3	3	3	3	0	0	3	3	3	0	5	5	198	1	
判定				-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

表3-11

第6号井

戸田市

	38	39	40	41	42	43	44
			11		12 2	7 1 2	6 1 1
外觀			-		-	-	-
味			-		-	-	-
臭気			-		-	-	-
水素イオン濃度			7.2		7.9 8.0	7.5 7.9 8.0	8.0 8.0
アモニウム窒素			-		-	-	- +
亜硝酸性窒素			-		+ +	- + +	- -
硝酸性窒素			±		-	-	-
塩素イオン			7.1		35 3.5	68 3.1 3.7	62 7.6
KMnO <sub>4</sub> 消費量			1.8		2.5 2.6	1.0 0.2 0.6	1.0 1.7
総硬度			0		0 0	0 0 0	0 0
大腸菌数			-		-	-	-
一般細菌(100)			3		0 1	75 0 1	1
判定			-		-	-	-

表3-12

第7号井

戸田市

戸田市

	38	39	40	41	42	43	44
			9, 3	5 8 2	6 10 2	8	6 1 1
外觀			-	-	-	-	-
味			-	-	-	-	-
臭気			-	-	-	-	-
水素イオン濃度			7.7 7.5	7.6 7.8 7.7	8.0 7.8 7.6	7.6	7.6 7.8
アモニウム窒素			0.04 0.02	-	-	-	-
亜硝酸性窒素			0.02 0.02	+ + -	-	+	-
硝酸性窒素			1.4 1.8	-	-	-	-
塩素イオン			5.2 6.5	4.8 6.7 4.1	5.7 5.0 4.9	4.1	7.6 1.0
KMnO <sub>4</sub> 消費量			3.0 0.7	1.2 1.3 0.5	1.1 0.3 3.7	1.5	1.3 1.4
総硬度				0 0 0	0 0 0	0	0 0
大腸菌数			+ -	-	-	-	-
一般細菌(100)			4 0	3 3 3	3 0 0	0	0 1
判定			合格	-	-	-	-

表3-13

第8号井

阳平

	38	39	40	41	42	43	44
			1.	5.11.3.	7.11.12.3.9.2.		8.12.
外觀			-	- - -	- - -	- - -	- - -
味			-	- - -	- - -	- - -	- - -
臭			-	- - -	- - -	- - -	- - -
水素価濃度		75		77.76.77	77.78.78.77.76.77		76.78
アモニア性窒素		006		- - -	- - -	- - -	- - -
硝酸態窒素		-		± + -	+ + -	- - -	- - -
硝酸態窒素		02		01 + -	+ - -	- - -	- - -
硫酸イオン		4.6		53.4.15.4	64.5.0.4.9.4.8.4.8.4.9		97.10.4
KMnO <sub>4</sub> 消費量		1.2		1.1.3.0.1.2	3.5.1.2.2.1.1.7.0.8.0.9		2.2.1.7
硫酸イオン		-		0 0	0 0 0 0 0 0		0 0
一般細菌(40)		18		0 3 3	8 1 0 3 0 2		0 0
判定		基準		基準	基準		基準

表3-14

第9号井

阳平

	38	39	40	41	42	43	44
					10.3.	7.1.	8.1.
外觀					- -	- -	- -
味					- -	- -	- -
臭					- -	- -	- -
水素価濃度					76.75	75.76	73.80
アモニア性窒素					- -	- -	- -
硝酸態窒素					- -	- -	- -
硝酸態窒素					+ ±	- -	- -
硫酸イオン					7.0.7.5	6.8.6.2	3.1.9.7
KMnO <sub>4</sub> 消費量					1.2.2.1	1.0.0.5	0.3.2.6
硫酸イオン					0 0	0 0	0 0
一般細菌(40)					6 0	7.5 1	0 1
判定					- -	- -	- -

表3-15

第10号井

戸田

	38	39	40	41	42	43	44
				7.		6.11.	4.9.2.
初				-		-	-
味				-		-	-
臭				-		-	-
水素化濃度				7.7		7.7	7.7
水素化濃度				0.04		-	-
水素化濃度				-		+	-
水素化濃度				0.04		-	-
水素化濃度				5.4		4.4	5.8
水素化濃度				1.0		0.6	0.9
残留塩素						0	0
太陽菌群				+		-	-
一般細菌(每)				2		0	0
判定				適合		-	-

表 3 - 1

水質検査 表 3 - 1 7 蕨市<sup>16)</sup>

試験項目	年度	1号井	2号井	3号井	4号井	5号井	6号井	7号井	8号井	9号井
マンガン	40	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05
	41	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0
	44	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05
亜鉛	40	不検出								
	41	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	44	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1
鉛	40	不検出								
	41	"	"	"	"	"	"	"	"	不検出
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	44	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05
クロム	40	不検出								
	41	"	"	"	"	"	"	"	"	不検出
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	44	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005
水銀	40	不検出								
	41	"	"	"	"	"	"	"	"	不検出
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	44	"	"	"	"	"	"	"	"	"

試験項目	年度	1号井	2号井	3号井	4号井	5号井	6号井	7号井	8号井	9号井
有機磷	40	不検出								
	41	"	"	"	"	"	"	"	"	不検出
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	44	"	"	"	"	"	"	"	"	"
銅	40	不検出								
	41	"	"	"	"	"	"	"	"	不検出
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	44	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05	>0.05
鉄	40	>0.01	0.02	0.03	0.01	>0.01	0.02	>0.01	>0.01	
	41	0.04	0.10	0.01	0.08	0.01	0.01	0.01	>0.01	>0.01
	42	>0.01	>0.01	0.02	0.01	0.01	>0.01	0.01	>0.01	>0.01
	43	0.01	0	0.01	0	0	0	0	0.07	0.01
	44	>0.01	>0.01	>0.01	>0.01	0.02	0.03	0.02	0.01	0.01

水質検査 表 3-18 蕨市<sup>16)</sup>

試験項目	年度	1号井	2号井	3号井	4号井	5号井	6号井	7号井	8号井	9号井
砒素	40	不検出								
	41	"	"	"	"	"	"	"	"	不検出
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	0.001	0.005	0.004	0.002	0.001	0.004	0.003	0.002	0.003
	44	>0.01	>0.01	>0.01	>0.01	>0.01	>0.01	>0.01	>0.01	>0.01
弗素	40	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	
	41	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1
	42	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1
	43	0.04	0.01	0.09	0.07	0.07	0.07	0.11	0.07	0.07
	44	>0.2	>0.2	>0.2	>0.2	>0.2	>0.2	>0.2	>0.2	>0.2
硬度	40	41.1	40.5	44.5	39.6	37.2	40.9	37.5	39.1	
	41	45.2	43.1	52.6	46.4	44.4	31.5	41.6	43.4	12.6
	42	47.5	43.0	52.7	47.0	40.2	40.6	40.1	43.5	43.2
	43	43	41	52	48	40	40	39	46	43
	44	18.2	16.3	52.9	51.0	46.3	45.4	41.5	52.0	45.1
発残留物	40	100	124	111	124	110	143	163	147	
	41	137	11	101	95	128	127	130	127	130
	42	99	98	112	156	116	118	131	135	132
	43	111	104	113	115	85	97	95	108	99
	44	153	146	147	137	80	72	76	157	131

試験項目	年度	1号井	2号井	3号井	4号井	5号井	6号井	7号井	8号井	9号井
フェノール	40	不検出								
	41	"	"	"	"	"	"	"	"	不検出
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	44	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005	>0.005
陰イオン 活性剤	40									
	41	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1
	42	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1
	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1	>0.1
PH値	40	7.6	7.6	7.7	7.7	7.7	7.6	7.6	7.7	
	41	7.5	7.5	7.7	7.7	7.7	7.5	7.5	7.7	7.5
	42	7.7	7.5	7.7	7.5	7.5	7.5	7.5	7.7	7.5
	43	7.4	7.4	7.6	7.6	7.4	7.4	7.4	7.6	7.6
	44	7.5	7.3	7.4	7.4	7.5	7.5	7.4	7.5	7.4
濁度	40	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0
	41	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0
	42	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0
	43	0.7	0.5	0.3	0.4	0	0.2	0.2	0.3	0
	44	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0	>1.0

水質検査 表3-19 蕨市<sup>16)</sup>

試験項目	年度	1号井	2号井	3号井	4号井	5号井	6号井	7号井	8号井	9号井
アンモニア 性窒素	40	痕跡	不検出	痕跡	不検出	不検出	痕跡	不検出	痕跡	
	41	不検出	"	不検出	"	痕跡	"	"	"	不検出
	42	"	"	0.04	"	不検出	不検出	"	0.04	"
	43	0.05	0.06	0.05	0.03	0.03	0.02	0.01	0.03	0.01
	44	痕跡	不検出	不検出	"	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
亜硝酸 性窒素	40	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	痕跡	不検出	不検出	
	41	"	"	痕跡	痕跡	"	"	"	"	痕跡
	42	"	"	不検出	"	"	不検出	"	痕跡	不検出
	43	0.002	"	"	不検出	0.006	"	"	不検出	
	44	痕跡	痕跡	"	痕跡	不検出	不検出	"	痕跡	"
硝酸性 窒素	40	0.28	0.28	0.12	0.06	0.08	0.18	0.26	0.03	
	41	0.16	0.28	0.19	0.14	0.14	0.16	0.12	0.08	0.10
	42	0.18	0.72	0.68	0.14	0.10	0.08	0.08	不検出	0.06
	43	0.04	0.03	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04
	44	0.49	0.75	0.54	0.64	0.60	0.48	0.40	0.24	0.68

試験項目	年度	1号井	2号井	3号井	4号井	5号井	6号井	7号井	8号井	9号井
塩素 イオン	40	4.76	4.35	4.62	5.03	3.80	4.42	4.28	4.76	
	41	4.6	5.4	5.9	5.2	4.1	4.3	4.2	4.6	4.4
	42	6.1	5.5	3.4	4.8	4.9	6.1	2.0	6.1	5.5
	43	2.5	2.5	3.5	5.0	2.1	3.2	2.1	3.5	3.5
	44	5.6	4.9	6.7	7.7	5.6	4.9	4.9	4.9	4.9
KMNO <sub>4</sub> 消費量	40	1.01	0.63	0.73	0.63	1.11	0.85	0.79	0.95	
	41	0.8	1.1	1.5	0.9	4.3	1.2	1.1	4.5	1.2
	42	2.0	1.3	1.2	1.3	0.8	0.95	0.8	0.9	1.5
	43	0.7	0.6	1.0	0.6	0.5	0.6	0.6	0.7	0.4
	44	1.6	0.8	1.8	1.5	1.9	1.3	3.7	0.8	1.1
一般細菌	40	0	1	0	0	1	0	0	2	
	41	8	0	0	0	3	2	85	0	0
	42	0	1	1	1	2	2	2	0	0
	43	7	4	5	7	5	0	0	3	0
	44	1	2	0	0	0	1	1	0	0
大腸菌群	40	(一)								
	41	"	"	"	"	"	"	"	"	(一)
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	44	"	"	"	"	"	"	"	"	"
シアン イオン	40	不検出								
	41	"	"	"	"	"	"	"	"	不検出
	42	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	43	"	"	"	"	"	"	"	"	"
	44	"	"	"	"	"	"	"	"	"

### 3) 個体要因調査成績

発病前後の症状、体質及び気質などについての調査結果は表3-20に示す如くである。

表3-20

♀↑印は女性が比較的多いもの  
はい いいえ

問1 1-1.	よく頭が痛くなりますか。	31人	18人	♀↑
1 1-2.	この病気になる前も痛くなる事がよくありましたか。	22	27	♀↑
問1 2-1.	時々めまいを感じる事がありますか。	21	28	
1 2-2.	この病気になる前もめまいを感じる事がありましたか。	19	30	
問1 3-1.	物がぼやけて見える事が時々ありますか。	※ 21	28	
1 3-2.	この病気になる前も時々ぼやけていましたか。	4	45	
問1 4-1.	目が疲れやすいですか。	※ 34	15	
1 4-2.	この病気になる前も目は疲れやすかったですか。	7	41	♀↑

		はい	いいえ	
問15-1.	いつも耳なりがしますか。	14人	35人	
15-2.	この病気になる前も耳なりがしていましたか。	11	38	
問16-1.	よくのどのつまるような感じがしますか。	※17	32	
16-2.	この病気になる前もそういう感じがありましたか。	8	41	
問17-1.	よく寝汗をかきますか。	※15	34	
17-2.	この病気になる前もよくかいていましたか。	6	43	
問18-1.	息苦しくなる事がありますか。	※12	37	
18-2.	この病気になる前も息苦しくなっていましたか。	5	44	
問19-1.	ちょっと緊張すると心臓がドキドキと早く打ちますか。	※20	28	
19-2.	この病気になる前からそうでしたか。	8	40	
問20-1.	夏でも足がひえますか。	※33	16	♀↑
20-2.	この病気になる前からそうでしたか。	18	30	♀↑
問21-1.	時々背中や腰が痛みますか。	※40	8	
21-2.	この病気になる前からそうでしたか。	6	43	
問22-1.	皮膚が非常に敏感で、まけやすいですか。	17	32	
22-2.	この病気になる前からそうでしたか。	11	38	
問23-1.	よくできものができますか。	4	44	
23-2.	この病気になる前からよくできていましたか。	4	44	
問24-1.	切傷を作るとなかなか治りにくいですか。	9	40	
24-2.	この病気になる前もそうでしたか。	8	41	
問25-1.	冬でもひどい汗をかきますか。	9	40	
25-2.	この病気になる前からそうでしたか。	6	43	
問26-1.	特定の食物や薬をのむとジンマシンの出る体質ですか。	13	36	
26-2.	この病気になる前からその様な体質でしたか。	10	38	
問27-1.	手で掻いたりすると、あとが赤い筋になりますか。	23	26	
27-2.	この病気になる前からそうでしたか。	19	30	
問28-1.	ちょっと仕事をしただけで大変疲れますか。	34	15	
28-2.	この病気になる前からそうでしたか。	7	42	
問29-1.	やせている方ですか。	25	23	
29-2.	この病気になる前もやせていましたか。	23	25	
問30-1.	ねつきが悪い、又は眠りが浅い方ですか。	25	24	
30-2.	この病気になる前からそうでしたか。	17	32	

	はい	いいえ
問3 1-1. 体の毛は薄い方ですか。	19人	26人
3 1-2. この病気になる前から薄かったですか。	16	30
問3 2-1. 乗り物に酔いやすい方ですか。	16	33
3 2-2. この病気になる前からそうですか。	13	36
問3 3-1. 感情のたかぶる事がよくありますか。	29	18
3 3-2. この病気になる前からそうですか。	23	24
問3 4-1. ちょっとした事でもよく気になりますか。	38	11
3 4-2. この病気になる前からそうですか。	36	13
問3 5-1. ひとくくられて自分は神経質な方だと思いますか。	37	10
3 5-2. この病気になる前からそうですか。	37	10

※印は病前と病後の差の比較的大きいものである。

発病前の状況については表3-21に示す如くである。

表3-21

a) 胃腸の状況

普段から弱かった	42人	(82%)
弱くはなかった	9	(18%)

b) 生活状況

神経を使う生活だった	22人	(43%)
それ程神経は使わなかった	24人	(47%)
よくおぼえていない	5人	(10%)

c) 発病直前のストレス

無理をした	22人	(43%)
それ程無理はしなかった	26	(51%)
よく憶えていない	3	(6%)

4) 腹部症状発現から神経症状発現迄の期間、腹部症状の程度をも参考にしながら、腹部症状発現から神経症状発現迄の期間をみると、その分布により3つの群が認められる。

すなわち

- (1) その期間の短いもの (急性)
- (2) その期間の長いもの (亜急性又は慢性的)
- (3) いずれとも判定し難いもの (不定型)

である。各群についてその期間の平均及び標準偏差( $\sigma$ )を計算した結果、表3-22に示す如くなる。

表 3 - 2 2

	患者数	期間(平均)	標準偏差(6)
急性	23人	14日	8.5日
亜急性又は、慢性的	18	2.6ヶ月	2.7ヶ月
不定型	9		

注 1.) 急性群には、神経症状が初発して、腹部症状がこれに続いたものが1例ある。

2.) 亜急性又は、慢性的群には2年6ヶ月というのが1例あるが、これは計算から除外した。

#### 5) 再燃について

再燃は、表 3 - 2 3 に示す如く、約 27%に見られる。

表 3 - 2 3

	再燃あり	なし	計	再燃率(%)
男	5	14	19	26.3
女	8	22	30	26.6
計	13	36	49	26.5%

#### 予備調査・本調査の小括と考察

予備調査の結果、戸田・蕨地区の SMON の示す疫学的事実は、全国各地の示すそれとほぼ一致する事がわかったが、当地区に特徴的な事実もいくつかある事がわかった。すなわち、

- (1) 図 2 - 1 の示す如く、昭和 39 年に戸田市、昭和 41 年 4、2 年に蕨市中央 4、5 丁目を中心に地域集積性があること。
- (2) 神経症状発現前に受診していた医療機関は、当地区の二つの特定のものに集中していること。
- (3) 岡山県で示されるような高い家族内集積性がないこと。又、同一職場内の発生も全く認められないこと。

であった。

これらの事実にもとずき、本調査を行った結果、飲料水、飲食品摂取状況、住宅環境の点では、疫学的に病因解明の手がかりとなる点のはっきりしなかったのに反し、神経症状発症前の受診医療機関については、A、B二つの医療機関に80%も集中している事がわかった。当地市には、歯科、助産婦、接骨医を除く医療機関が69(戸田市32、蕨市37)もある事、Aは総合病院だが、Bはそれ程大きくない開業医で、近所には5つ程の開業医が競っている事、調査対象者は可能な限り広く求めた事を併せ考える時、医療機関に内在する因子の存在を強く疑わしめるものである。一方では、当地区の SMON の家族内集積性が極めて低い事(51名中、同一家族内発生例は0件、隣接家屋での発生例が1件(2名)あったにすぎない)、職場内集積がない事、病院職員からの発生が1例もない事が調査の結果からわかったので、たとえ SMON が感染症だとしても、極めて感染力が弱いか、特異な感染経路

(例えば注射)をとるものであるか、人の常在菌が病院に内在する因子で活性化される場合が想定される。

一方、以上の様な事実を説明できるもっとも直接的な病因として、医療機関の使用する薬剤の可能性が極めて大きくなった。

以上の可能性を調査検討する為には、A、B二つの医療機関が地域の他の医療機関とどの様に違うのかを調査検討する必要がある。

### I-3 医療機関調査

SMON患者の神経症状発症前に受診していた医療機関が、A、B二つに特に高い集中傾向を示すことは、A、B医療機関の中に、SMON発症に関与する内在因子がある事を疑わせるものである。一方で、SMONに特異的とされていた緑色物質<sup>12)</sup>がキノホルムに由来するという報告<sup>7).8)</sup>に続いて、椿の提唱した「SMONの発症に整腸剤キノホルムが関与している」との仮説<sup>19)</sup>もあり、使用薬剤特にキノホルムに焦点をあてながら、このA、B医療機関と、地区の他の医療機関との間に、どの様な相違があるかを調査検討した。

調査はA) 蕨市の国保Receipt 調査(16,4000件)と

B) 戸田・蕨地区の7つの医療機関訪問調査

の両面から行った。

#### A) 蕨市国民健康保険診療明細請求書調査 (国保Receipt 調査)

国保Receipt の保存期間は5年と定められており、戸田市の昭和39年多発時については戸田市に国保Receipt の保存がない。そこでB医院の問題点と、蕨市中央の昭和41年42年度多発を解明する手がかりの一つとして、蕨市の国保Receipt を閲覧調査した。

調査したReceipt 件数は以下の通りである。

• 昭和41年度分	70,623件	(41年度請求全数)
• 昭和42年度分	78,614件	(42年度請求全数)
昭和43年度分	} 約15,000件	(蕨市中央4.5 丁目のみ)
昭和44年度分		
計約164,000件		

#### 調査結果

表4-1、表4-2、表4-3はSMON患者が集中している問題のB医院と、それと地理的に非常に近接し、同じ診療科、診療規模、初診患者層をもつD医院との比較対照を行った成績を示したものである。

表4-1 B、D医療機関の比較(昭41~44年)

医療機関	診療内容	受診圏	所在地間距離	1日平均受診数	10才以下患者の全受診数に対する比率	腸疾患患者の全受診数に対する比率	男女比	受診中神経症状発現	キノホルム使用状況		
									キノホルム剤	1日投与量(グラム)	使用期間
B	内科小児科	ほぼ同	30m	前後 80人	37%	10%	1:1.2	10人	エマホルム	1.5~3.5	2~25日
D	内科小児科	一		前 100人	40%	11%	1:1.3	0人	エマホルム	0.3~1.2	2~40日

B、D両病院を比較すると表4-2に示す如く受診圏はほとんど同一である。又、表4-3に示す如く腸疾患患者の受診比率も略同一であり、その他表4-1に示す如く、受診患者の男女比、小児：成人の比率も略同一である。診療内容、診療規模の点でも、それ程差がない、しかし図4-1に示す如く、キノホルムの使用状況において大きな相違があり、B病院は

表4-2 受診圏

町	B 医院		D 医院	
	受診数	rate	受診数	rate
北町	226	14%	347	14%
南町	18	1%	27	1%
中央	1162	73%	1924	78%
中央4丁目	(533)	(33.5%)	(787)	(32%)
塚越	28	2%	51	2%
錦町	157	10%	127	5%
計	1591	100%	2476	100%

キノホルム1日投与量(Dose)が1.35~3.15g/day(キノホルム量)ときわ立って多い。

昭和42年度国保Receipt調査

表4-3

	D 医院			B 医院		
	総数	腸疾患	非腸疾患	総数	腸疾患	非腸疾患
北町 1丁目	176	19	157	82	5	77
北町 2丁目	117	16	101	83	12	71
北町 3-5	54	3	51	61	6	55
小計	347	38	309	226	23	203
南町 1丁目	8	0	8	16	0	16
南町 2丁目	13	9	4	0	0	0
南町 3丁目	0	0	0	0	0	0
南町 4丁目	6	1	5	2	1	1
小計	27	10	17	18	1	17

表4-3のつづき

	D 医院			B 医院		
		腸疾患	非腸疾患		腸疾患	非腸疾患
中央 1丁目	1 2 2	7	1 1 5	5 4	1	5 3
中央 2丁目	1 1 0	1 5	9 5	5 5	8	4 7
中央 3丁目	2 9 7	4 0	2 5 7	1 0 8	1 4	9 4
中央 4丁目	7 8 7	9 0	6 9 7	5 3 3	5 1	4 8 2
中央 5丁目	3 1 5	3 2	2 8 3	2 8 9	3 1	2 5 8
中央 6丁目	2 3 8	2 5	2 1 5	8 8	1 0	7 8
中央 7丁目	5 5	2	5 3	3 5	6	2 9
小 計	1 9 2 4	2 1 1	1 7 1 3	1 1 6 2	1 2 1	1 0 4 1
塚越 1丁目	1 4	1	1 3	5	1	4
塚越 2丁目	1 9	2	1 7	0	0	0
塚越 3丁目	1 7	5	1 2	0	0	0
塚越 4丁目	0	0	0	1 0	3	7
塚越 5丁目	1	0	1	0	0	0
塚越 6丁目	0	0	0	1 3	0	1 3
塚越 7丁目	0	0	0	0	0	0
小 計	5 1	8	4 3	2 8	4	2 4
錦町 1-3	7 5	9	6 6	1 4 1	2 1	1 2 0
錦町 4-6	5 2	4	4 8	1 6	4	1 2
小 計	1 2 7	1 3	1 1 4	1 5 7	2 5	1 3 2
総 計	2 4 7 6	2 8 0	2 1 9 1	1 5 9 1	1 7 4	1 4 1 7

昭和42年国保Receipt(蕨市)

図4-1

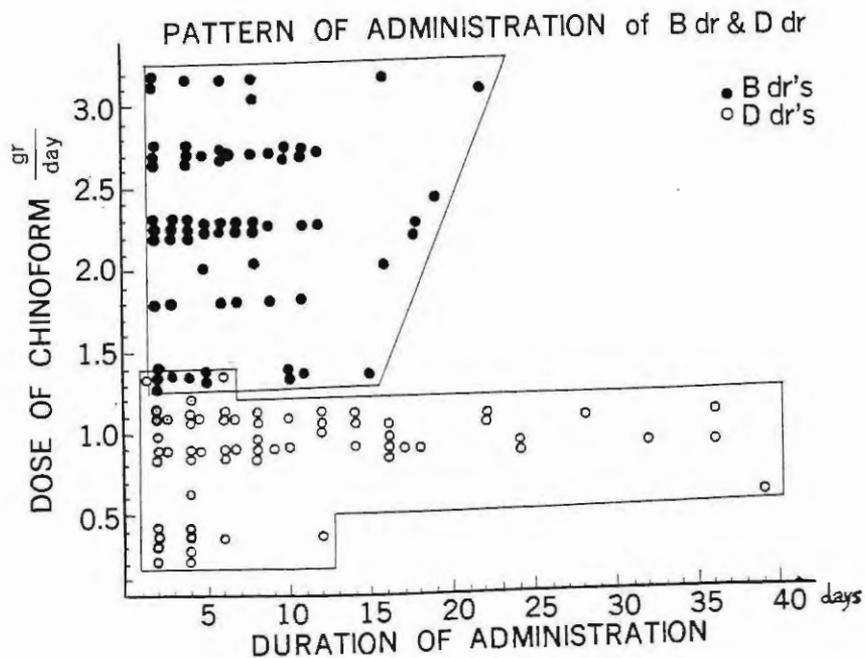
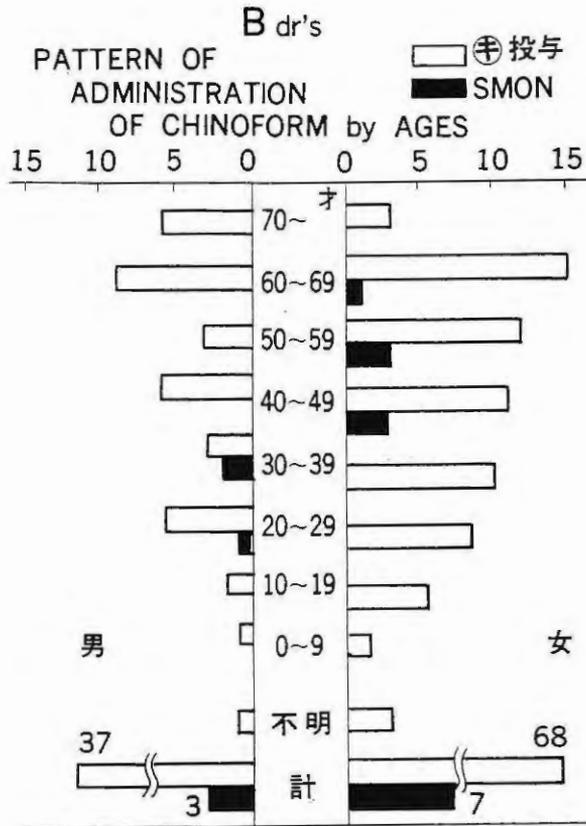


図 4 - 2



次にB医院受診の国保患者に対し、B医院がキノホルムを投与した患者を性・年齢別に表わすと、図4-2の如くなる。これを図4-3の蕨市国保被保険者年齢階級別分布<sup>20)</sup>と比較してみると、年齢が上昇するにつれてキノホルム投与の比率が高くなる事がわかる。又、性年齢別にみたSMON発生状況とキノホルム投与状況は、性別に見れば比較的上よく一致しているが(図4-2)、年齢別にみれば必ずしもよく一致していない。

次に、蕨市全体をみると、歯科、助産婦、接骨医を除く37の医療機関のキノホルム使用状況は、図4-4の如くである。問題のB医院は、蕨市全体の中でキノホルム1日投与量が最高である。

昭和41年度42年度にキノホルムを使用しなかった医療機関は27(72%)

図 4 - 3

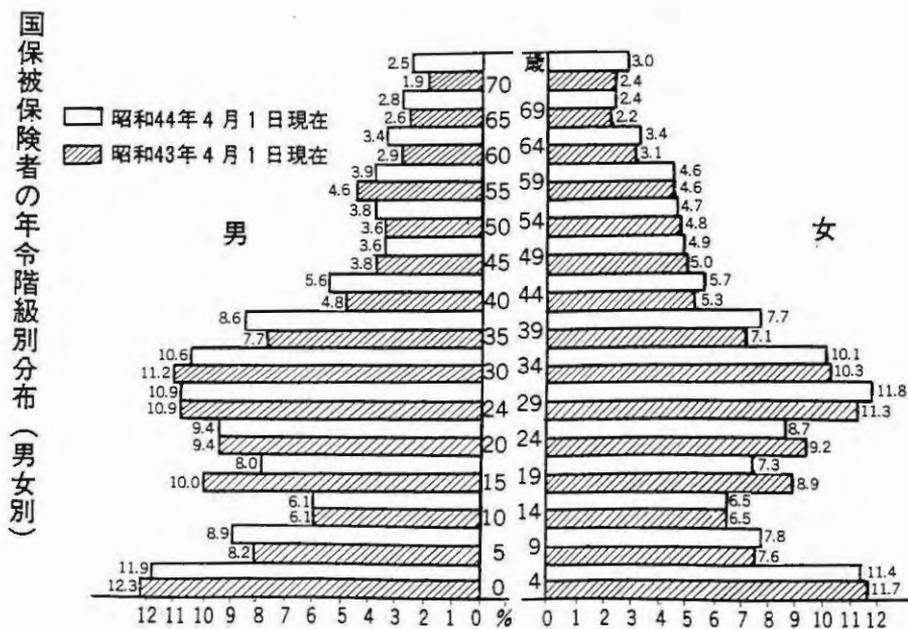
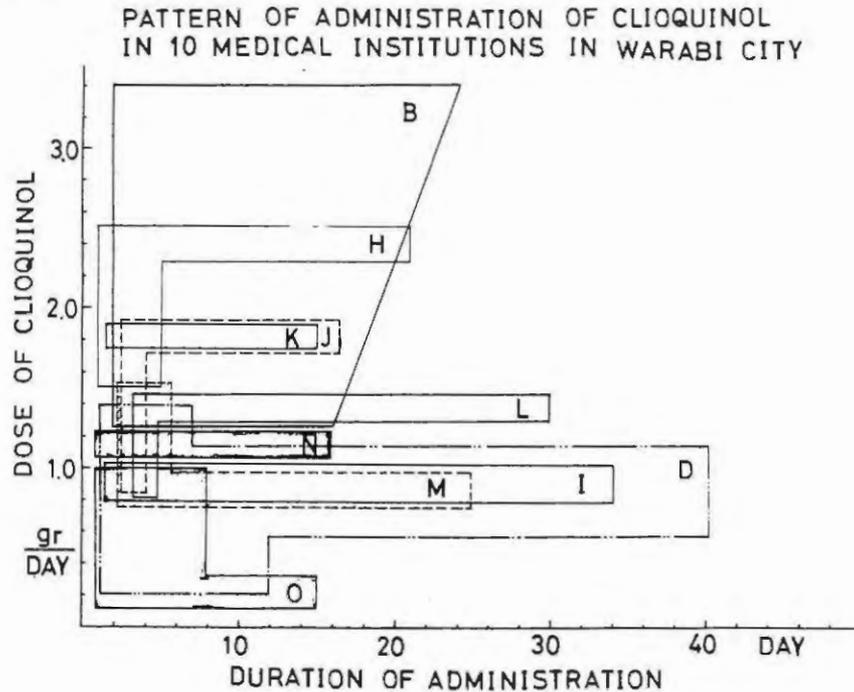


図 4 - 4



あるが、これらのうち、SMON患者が発病前に一度でも受診したとしても名前をあげたものは1つも含まれていない(表3-2参照)

次に昭和42年度国保Receiptの内訳をみると、表4-4、表4-5に示す如く、消化器疾患(全体の29.7%)患者にキノホルムを投与した件数の割合は2.4%ときわめて低い。キノホルム

表 4 - 4

昭和42年蕨市国保Receipt

昭和42年		
総請求件数(A)	78614件	100%
消化器系疾患(B)	23381件	29.7%
キノホルム使用 件数 (C)	566件	0.72% (C/A) 2.4% (C/B)

表 4 - 5

性別キノホルム投与件数

性	件数	%	男女比
男	252	44.5%	1
女	281	49.7%	1.1
不明	33	5.8%	

昭和42年蕨市国保Receipt

投与患者の男女比は、1:1.1で性差は殆んどない。

一方、小児に対するキノホルム投与状況を見ると、表4-6の如くであり、小児の受診率が10%(表4-1)前後であるという事実から、小児へのキノホルム投与頻度が大人より少ないという事はなく、むしろ多い位である。その1日投与量も0.2~1.8g/dayに及び体重1kgあたりに投与量を換算すると大人よりむしろ多い。しかし、連続投与日数をみると、表4-7、図4-5にみる如く、1週間以内がほとんど(91.4%)であり、2週間以上の連続投与例は極めて少ない(1%)。この事は、小児の

表4-6  
 年齢別・キノホルム投与患者数  
 (566 cases)

	キノホルム 投与患者数	%	%
9才以下群	74人	13.1%	14.8%
10才以上群	425人	75.1%	85.2%
年齢不明	67人	11.8%	

昭和42年蕨市国保Receipt

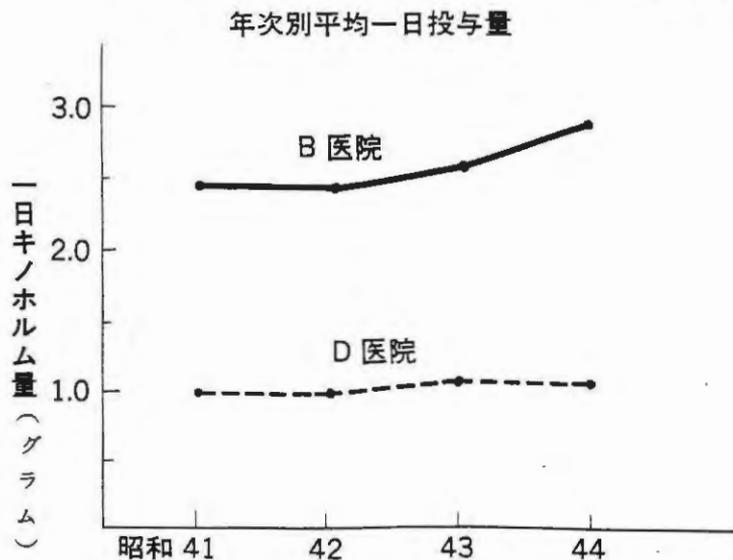
表4-7

DURATION OF ADMINISTRATION OF  
 CHINOFORM by AGE

キノホルム 投与日数	4日 以内	5日～ 7日	8日～ 14日	15日 以上	計
9才 以下	131 80%	18 11%	13 8%	2 1%	164 100%
10才 以上	439 63%	81 12%	107 15%	69 10%	696 100%
計	570	99	120	71	860

昭和41～42年国保Receipt (蕨市)

図4-6

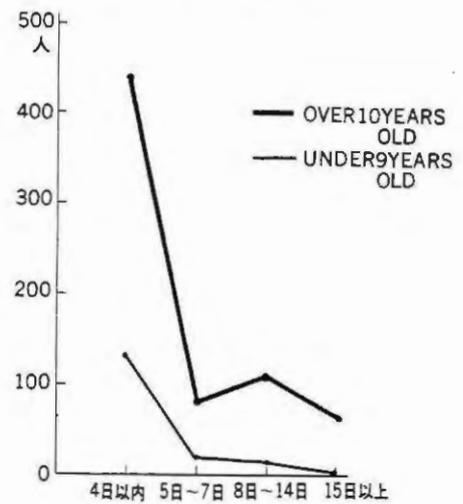


SMONが極めて少ない事と一致する。

B医院におけるSMON患者数は、10名でありいずれも昭和41年、昭和42年度に発病しているが、B医院のキノホルムの1日投与量は図4-6に示す如くむしろ昭和43年、44年と増加の傾向にあり、この事は蕨地区におけるSMON発生の減少傾向と矛盾する。

図4-5

DURATION OF ADMINISTRATION  
 OF CHINOFORM by AGE



## B) 地区医療機関の訪問調査

国保Receipt 調査は、B病院と同地区の他の医療機関との間で、キノホルムの使用状況が極めて異なる事を明らかにした。

これとは別に、戸田市・蕨市の7つの医療機関の協力を得て、直接訪問調査した結果は表4-8に示す如くである。

すなわち(1) B、D医療機関のキノホルム使用状況は、国保Receipt 調査の結果と略一致する。

表4-8

地区医療機関におけるSMON患者数とキノホルム投与状況

地域の 医療機関	受診 SMON 患者数	受診中、神経症 状を発現した SMON患者数	キノホルム投与状況		
			薬 剤 名	1日常用量g/day	投 与 期 間
A	114	32	エンチロヴィオフォルム	<u>1.0~3.0</u>	長期間使用例多い
C	2	1	エマホルム	<u>1.0~1.2</u>	長期間使用例はSMONの2例のみ
B	12	10	エマホルム	<u>2.5~3.0</u>	ほとんど1週以内
D	4	0	エマホルム	1.0~1.2	ほとんど1週以内
E	1	0	ナシ	0	0
F	1	0	ナシ	0	0
G	0	0	エマホルム	1.0~1.5	ほとんど5日以内

注1) A、Cは400mの距離で、病院の規模、診療内容、1日の外来患者数に於いて、大差がない。

注2) B、Dは30mの距離で、医院の規模、診療内容、1日の外来患者数に於いて、ほとんど差がない。

(2) A病院と同じ総合病院で、相互の距離が約400mしか離れていないC病院では、受診中神経症状を発現したSMON患者が1名と極めて少なく、キノホルムの使用量も1日0.9~1.08g/day(キノホルム量)とA病院とくらべると少ない。又、使用期間もC病院では、長期に亘る例が2例と少ない。

(3) キノホルムを投与しない、あるいは投与しても一定量(0.9~1.35g/day)を5日~7日以内の投与の仕方をする医療機関では、受診中神経症状を発現したSMON患者が居ない。

### 医療機関調査の小括及び考察

「予備調査」並びに「本調査」の結果、戸田・蕨地区で発病したSMON患者について神経症状発現

前に受診していた医療機関は、当地区のA、B二つの医療機関に80%(36名)集中している事がわかった。この事実に基づいて、当地区の医療機関について、蕨市国保Receiptと医療機関訪問の両面から調査を行った結果

- ① SMON患者の集中しているB医院とは約30mしか離れていず、診療内容、患者の受診圏、診療規模、受診患者の性・年齢別分布、腸疾患患者の受診比率、地域における信頼度がほぼB医院と同一としても差しつかえないD医院では、そこを受診中にSMONとなった患者が居ないし、キノホルムの使用量も、B医院に較べて量的に著しく低くかった。
- ② ①の事実は、ほぼ同じ質の患者がB、D医院を受診するのに、(患者数からみると多少B<Dの傾向あり)B医院受診中にSMONを発症した患者が10名あるのに対し、D医院においては0名であるという事である。このことは、B医院にSMON発症と関連する内在因子が存在する事を強く疑わしめるものである。この内在因子は、④SMON発病後にも患者がひき続き受診する事により、院内感染機会が高くなること、⑥処方薬剤の問題などが考えられる。
- ③ もし④の可能性を考えるならば、地域の中で家族内・職場内集積性がほとんどない事を説明し難い。又B医院よりもはるかに多くのSMON患者(114名)が、広範な地域より診療を求めて来院したA病院では、年毎に、受診・入院のSMON患者数は増えているにもかかわらず、新規SMON患者の発生は年間2~6例で、しかも年次的に増加する傾向はないし、病院職員(140名)内の発生患者は1例もない事実と矛盾する。又、B医院は一開業医で、地区のSMON患者が治療を求めてB医院に集るという傾向はないし、B医院を受診する患者の初診時条件はD医院とは大差ないと考えてよい(表4-1, 表4-2, 表4-3)。Bの職員中にSMON患者は居ない。以上の事実から判断すると、④より⑥の可能性、つまり処方薬剤の問題がよりSMON発症の直接的因子として説明しやすい。
- ④ 蕨市内37の医療機関を国保Receiptで調査した結果、キノホルム投与をしていない27の医療機関の名前は、SMON患者が神経症状発症前に受診した事のある医療機関として挙げたものが1つも含まれていない。又、キノホルム投与を行う医療機関でも、投与量が一定量以下であり、投与日数が短ければ、受診中にSMON患者が発症した例が極めて少ない。
- ⑤ A病院のキノホルム使用状況に比べ、これと病院の規模、診療科目(一部相違はあるが)、受診圏、地域における信頼度が略同一と考えられるC病院では、SMON患者の発生も1名と少なく、キノホルムの1日投与量・投与期間ともに短い。

以上5つの事実及び可能性は、「キノホルムの過剰投与とSMON発症との間に、密接な関係がある」事を示唆するものである。

又、小児にSMONが少ない事も、井形らが、小児へのキノホルムの連続投与日数が短い事を理由の1つに挙げているが<sup>21)</sup>この事実を表4-7は支持している。

昭和41~42年にかけて蕨市中央4~5丁目を中心に発生したSMONは、以上のようなキノホル



状況をプロットしたものである。この図でSMON患者(●印)については、神経症状発現の時点迄キノホルムの投与をうけていた事が明らかなものだけを取り、そのキノホルム1日投与量と投与日数(日数の計算に当っては、非投与期間が連続2週間以上の場合には、それ以前のキノホルム投与期間を計算から除外)をプロットした。一方、一般腸疾患患者(○印)については、全受診期間中のキノホルム1日投与量と投与日数をプロットした。この図の示す通り、両群の間にはキノホルム1日投与量・投与日数に於いて明らかな差が認められる。又、この調査の過程で、これ迄見過ごされていた症例中にキノホルムの大量投与をうけ、投与開始後数週以内に下肢のしびれ等を訴えている事が病歴上発見され、再検討の結果、診断基準に合ったSMONと判断された例が3例あった。特に※印のついたSMON1症例は腹部症状を予防する目的で患者側の希望によりキノホルム(1.875g/day)が投与され、10日にSMONになった例である。5-1図は一見して、SMON群の示すキノホルム投与パターンと、非SMON群とのそれが異っていることを示している。すなわち、SMON群は1日投与量が多いと少

表 5 - 1

SMON  
NON-SMON 判別関数  
直線  $ax+by+c=0$  の場合  
 $0.054x+y=2.0$

診断領域	SMON	non-SMON
SMON領域	13人	8人
non-SMON	1人	47人

$K\epsilon=0.993$   
誤って分類される確率  
の推定値=16%

表 5 - 2

SMON  
NON-SMON 判別関数  
双曲線  $(x-a)(y-b)=k$  の場合  
 $(x+55)(y+2.2)=-3.3$

診断領域	SMON	non-SMON
SMON領域	13	7
non-SMON	1	48

$K\epsilon=0.992$   
誤って分類される確率  
の推定値=16.1%

表 5 - 3

SMON  
NON-SMON 判別関数  
双曲線  $x(y-a)=0$  の場合  
 $x(y-0.435)=1.22$

診断領域	SMON	non-SMON
SMON	9	5
non-SMON	5	50

$K\epsilon=0.899$   
誤って分類される確率  
の推定値=18.4%

い日数で発病し、1日投与量が少いと発病迄の日数が長い事を示している。試みにこの両群の投与パターンを異るものとして、これに判別関数を適用してみると、直線を仮定した場合には表5-1の如く、最もよく判別出来るが、双曲線でも表5-2、表5-3の如くかなり判別力は高い。

#### 小括及び考察

これ迄、戸田市A病院を受診したSMON患者(疑診を含む)数は、114名にのぼる事がわかっている。しかしこのうち今回調査したカルテが、一部の受診期間と対象に限られた結果、神経症状発現時点迄のキノホルム投与状況が明らかになった症例は14名を数えるのみであった。残りのほとんどのSMON患者については、神経症状発現前の受診カルテを見出す事が出来なかった。(神経症状発現後A病院を訪れたSMON患者もかなり居る。)

なお、SMON患者で神経症状発現前受診状況のわかるカルテは21枚を閲覧調査出来たが、そのうち少なくとも4例(19%)は、発病前にキノホルムの投与を受けていない事がわかっている。これら4名のキノホルム非投与患者が、いずれも診断基準すれすれの軽症SMONであった事は、SMONの診断基準の問題を含めて、今後検討して行く必要があると思われる。

14名のSMON患者例ではあるが、この患者群の神経症状発症前キノホルム投与状況にある一つの量的関係を認めた事は重要であると考ええる。

#### I-5 キノホルム大量投与群と少量投与群・非投与群との間のSMON発症頻度に関する調査

以上の調査から、キノホルムの過剰投与がSMON発症に強く関与している事が示唆される。もしこれが事実ならキノホルムの過剰投与群と少量投与群・非投与群との間には、SMONの発症頻度に有意の差がなければならない。

藤市の国保Receipt 調査の結果、昭和41~44年の4年間(43年、44年は一部の地区のみ)にキノホルム投与を受けた者は886人(昭和42年度国保加入者の3.74%)居る。そのうち総量1.0g以上のキノホルム量の投与を受けた者は、177人(国保加入者の0.75%、⊕投与群の20.0%)居るが、これと総量4g以下の少量投与者97名(昭和42年度からrandom sample)を対照者として選び、二群を全くBlindにして調査を行った。SMONか否かの判定は井形(もと東大神経内科)の診断に拠ったが、井形はSMON患者に投与されたキノホルム量に関する一切の資料を知らないで診断をつけた。その結果は表5-1に示す如く、SMON確診者は大量投与群のみにみられた。表中、非回答者の中にSMON確実6名とあるのは、既に以前、井形によってSMONと診断をつけられたもの又はカルテ上SMONの診断がつけられているものである。なお、この調査は続継中であり、キノホルム非投与群についても目下調査中である。

蕨市国保Receipt (s. 4.1.4.2.4.3.4.4.)

	㊦ 大量投与群		㊦ 少量投与群	
調査対象者	177		97	
	回答者	非回答者	回答者	非回答者
総数	54	123	27	70
有症者数	16		9	
受診者数	13		5	
スモン確	③	⑥	0	0
スモン疑	5	?	3	?

小括および考察

厚生省スモン調査協議会の診断基準に合致するSMON確実例が10名以上のキノホルム大量投与群のみに見られた事は、最初の仮説、「SMONはキノホルムの過剰投与によって起る」事が一応支持されたと言える。しかしこの事実が原因か、結果かについては、発病時点とキノホルム投与時点の時系列的分析に欠けているので、この結果だけから速断は出来ない。前記4つの調査結果と併せて判断されるべきである。

少量投与者群の中からSMONの疑いを持たれる例が3例出ている事は注目されてよい。何故なら、少量のキノホルム服用でも、人によってはSMON類似の知覚障害が出現するかどうかという問題についてこの結果は肯定的示唆を与えていると思えるからである。但し例数が少ないので、今後もっと大がかりな調査を行う必要がある。

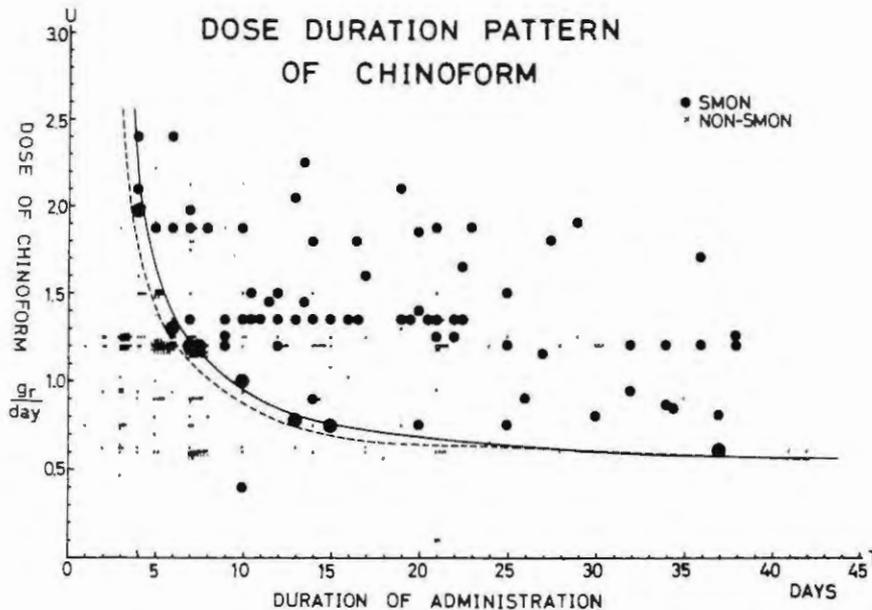
## II SMON 発症とキノホルム投与状況との関連についての理論的考察

前記の戸田・蕨地区におけるSMONの疫学調査成績から、SMONの発症とキノホルム過剰投与との間に密接な関係があること、そしてそれはキノホルム1日投与量・投与日数と関連をもつことが示された。このキノホルム1日投与量・投与日数の関数として示されるSMON群のパターンを、Dose-Duration pattern と名づけ、このパターンに従ってSMONの発症曲線を理論的に導き出し、実際への適用を試みた。

### SMONのDose-Duration pattern

図6-1は、井形(東大神経内科)の調査にもとづく資料に、戸田・蕨地区での成績を加えたものである。すなわち、東大神経内科を受診したSMON患者及び都内の若干の病院と戸田市A病院におけるSMON患者と非SMON患者(10才以上)について、カルテ閲覧、医療機関への問合せ等、可能な限りの調査をして各患者についてのキノホルム1日投与量と連続投与日数(2週間以上の非服用期間の

図6-1



ある場合はそれ以前の投与の効果を除く)をプロットしたものである。特にSMON患者については神経症状発現までの連続投与に限った。調査対象は、SMON患者75例、非SMON患者、241例である。

この図を一見して、SMON群(●印及び●印)の殆んどは、破線で示すようなある曲線より上の範

囲に分布する事がわかる。この事は、キノホルムのDose-Duration patternがある基準を満たした時にはじめてSMONが発症する事を示していると考えられる。そこでより一般的な前提に従って、この様な基準を理論的に求める試みを以下のように行った。

### SMON発症の理論曲線

次のような前提に従ってSMON発症の理論式を導いた。

前提1：「SMONはキノホルムの過剰服用を原因とする中毒症である」

今、キノホルムを $Ug/day$  連続して服用している服用者のキノホルム体内濃度 $y$ の時間による変化率は、

$$\frac{dy}{dt} = p \cdot u - a \cdot y \quad (22) \quad \text{①}$$

$p$  : 1日平均吸収率/体重 $1kg$

$pu$  : キノホルム1日吸収量/体重 $1kg$

$a$  : 解毒率(ここで言う解毒とは、抱合、解離、排泄等の機能を全て含んでいる)

$t$  : 時間

①式を積分すると初期条件( $t=0$ の時、 $y=0$ )より  $y = \frac{p \cdot u}{a} (1 - e^{-a t})$  ②

前提2：「キノホルムの生体に対する作用は、体内濃度 $y$ の時間による積分値 $S$ に比例する」

初期条件( $t=0$ の時  $s=0$ )より

$$S = c \int y dt \quad (c: \text{定数})$$

$$= c \int \frac{p \cdot u}{a} (1 - e^{-a t}) dt$$

$$= c \left( \frac{p \cdot u}{a} t + \frac{p \cdot u}{a^2} e^{-a t} - \frac{p \cdot u}{a^2} \right) \quad \text{③}$$

一方、生体側には回復能力がある事が知られている。<sup>23)</sup>

放射線障害における生体回復能力の理論モデル<sup>43)</sup>を、SMONの場合にあてはまるものとする。

前提3：「Biological Recovering speed は一定である。」

すなわち、Recovery Value (R) は

$$R = b t \quad \text{④}$$

$b$  : 回復係数

すると、服用者の神経組織に実際に残る残留障害度(Risidual Damage Value)  $D$ は、

$$D = S - R$$

$$= c \left( \frac{p \cdot u}{a} t + \frac{p \cdot u}{a^2} e^{-a t} - \frac{p \cdot u}{a^2} \right) - b t \quad \text{⑤}$$

前提4：「残留障害度 $D$ が $k$ (各々の個人に特有な値)になった時、その服用者にSMONの神経症

状が顕在化する」

⑤式より

$$c \left( \frac{p \cdot u}{a} t + \frac{p \cdot u}{a^2} e^{-a t} - \frac{p \cdot u}{a^2} \right) - b t = k$$

$$\therefore a u t + u e^{-a t} - u - \frac{b}{c \cdot p} a^2 t - \frac{k}{c \cdot p} a^2 = 0$$

$$b' = \frac{b}{c \cdot p}, \quad k' = \frac{k}{c \cdot p} \text{ とおけば次の式が得られる。}$$

$$\therefore a u t + u e^{-a t} - u - b' a^2 t - k' a^2 = 0 \text{ ----- ⑥}$$

$$u = a b' + \frac{b'(1 - e^{-a t}) + a k'}{t - \frac{1 - e^{-a t}}{a}} \text{ ----- ⑦}$$

k'は個体に依存する量であって個人差があると考えられる。患者集団でk'値のもっとも低いものをk'

min とすれば ⑦式より

$$u \geq a b' + \frac{b'(1 - e^{-a t}) + a k'_{\min}}{t - \frac{1 - e^{-a t}}{a}} \text{ ----- ⑧}$$

ここで直角座標の縦軸にu, 横軸にtをとった曲線⑦の性質を検討してみると,

i) 単純減少曲線である ( $\frac{du}{dt} < 0$ )

ii)  $u_0 = a b'$  という漸近線を有する。

iii) a t が小さい時

$$u = \frac{2 b'}{t} + \frac{2 k'}{t^2} \text{ に近似し}$$

a t が大きい時

$$u = a b' + \frac{b' + a k'}{t - \frac{1}{a}} \text{ に近似する}$$

ここで⑧式の等号が成立した時に解として得られる曲線を「最小発症曲線」と名づけると、最小発症曲線は

$$u = a b' + \frac{b'(1 - e^{-a t}) + a k'_{\min}}{t - \frac{1 - e^{-a t}}{a}} \text{ ----- ⑨}$$

最小発症曲線の実際へのあてはめ

⑨式を図6-1に適用する為、SMON患者群のうち●印で示す8例がk'\_{min} を特性値として有するとすれば、W.E. Deming の最小自乗法を適用して<sup>24)</sup>

$$a = 0.62 \quad b' = 0.71 \quad k' = 5.8$$

$$\sigma_a = 0.0036 \quad \sigma_{b'} = 0.0059 \quad \sigma_{k'} = 0.13$$

が得られ

$$u = 0.44 + \frac{0.71(1 - e^{-0.62t}) + 3.6}{t - \frac{1 - e^{-0.62t}}{0.62}} \quad \text{⑩}$$

となる。

⑩式は次の様な事実と符合する。

- (1) 最近経験した例で、エンテロビオフォルム（キノホルム含有量、1 Tab 中 0.25 mg）を 25 Tab/day 服用し、翌日下肢末端に SMON 様のしびえを訴えた。
  - (2) 椿らの報告によれば、1 日投与量、と発症迄の連続最小服用日数との関係は、600 mg/day で 33 日、1200 mg/day で 7 日であった。<sup>25)</sup>
  - (3) 祖父江らの報告によれば、SMON 発症の危険が比較的高いと推定される 1 日量・服用期間の組合せは、0.9～1.0 mg/day 以上 10 日以上であった。<sup>26)</sup>
  - (4) 塚越の毛呂病院（埼玉県）における経験では、約 50 人に隔日 0.7 mg のキノホルムを 1 年余にわたって投与したが、SMON 発症はなかった。<sup>27)</sup>
- 又、祖父江・青木らの報告によれば、1 日量 0.5 mg 以下では発症者はなかった。<sup>26)</sup>

## 考 察

図 6-1 から SMON 群の神経症状発症前キノホルム投与パターンは、破線で示すようなある曲線より上の範囲に存在する事がわかる。この事は、キノホルムの Dose-Duration pattern がある基準を満たした時にはじめて SMON が発症することを示していると考えられる。従来の概念からは、このように中毒症を Dose（1 日量）と Duration との関係からとらえる考え方は殆んどなかったもので、今後 Dose Response relationship を考える上で新しい方法を示すものと言えよう。

さて、この考えにたつて、SMON の Dose-Duration pattern（1 日投与量・投与日数のパターン）を幾つかの前提の上に理論的に求めた所、⑥式が得られた。特に  $k'$  の最小値  $k'_{min}$  が、図 6-1 の 8 症例（●印）の有する特性値であるとして最小発症曲線を求めると、⑩式が得られる。

⑩式は、 $t$  軸（横軸）に平行な漸近線  $u_0 = 0.44$ （図 6-1）をもつが、これは 1 日投与量 0.44 mg 以下では長期にわたってキノホルムを服用してもほとんど発症しない事を意味するが、塚越の経験<sup>47)</sup>、祖父江らの報告<sup>46)</sup>がこの事実と一致する事は、極めて興味深い。又、この理論モデルが、他のいくつかの地区での成績とかなり一致した事は、<sup>26), 27)</sup> 逆にこれらの前提に著しい誤りがあるとは考え難い事を示唆している。従つてこの発症曲線を各種成績について検討する事により、このモデルの適否を論ずるならば、さらに多くの SMON 発症機構についての情報を得ることも可能であると思われる。

なお、この理論モデルでは、連続投与を前提としているので、間歇的不規則に投与された場合は適用されない。

## 総括及び考察

SMON (Subacute Myelo-Optico-Neuropathy) の診断は、その殆んどが臨床診断である。臨床診断だけから特定疾患の病因を解明する際には、その中に全く別の類似疾患が混入している恐れのある事を絶えず考慮していなければならない事は、これ迄の幾多の例が示している所であるが、この事はSMONについても (SMONは非常にはっきりした臨床症状をもっているといわれているが) やはりあてはまると考えるべきであろう。その為にSMON患者を選ぶに当っては、井形 (もと東大神経内科) の診断にのみ頼り、他の医師によってSMONと診断されたものは疑診として処理するという手順をとった。その中で、更に戸田・蕨地区 (国鉄東北線以西の川口市も含む) で発病したSMON患者だけを選んだのは、地区に特有な要因があるとするならば、それをみつけやすくする為であつた。調査対象もある特定集団だけに偏らない様、地域内での全患者を網羅する事を目標に、可能な限り広く求めた。その結果、まず「予備調査」で、SMON患者は神経症状発症前に地区の特定の医療機関を受診している傾向のある事がわかり、「本調査」でそれがA、Bと名付けた二つの医療機関である事がはっきりした。この二つの医療機関へのSMON患者の集中度は、はっきりしたものだけでも約80%であつた。この事より次の三つの可能性が考えられる。

- (1) A、B医療機関に特有な、何かの内在因子がSMONを発症させる。
- (2) A、B医療機関の受診圏の中に特有なSMON発症因子がある。
- (3) A、B医療機関に特に問題があるわけではなく、SMONの調査対象者がたまたまA、Bの受診者層の中から多く選ばれる結果になつた。

しかし(2)については、医療機関調査によってA、B医療機関の受診圏は特にA、Bだけのものではなく、他のC、Dその他の医療機関と受診圏を共有している事が明らかになつた。その他、BとDの比較によりBの初診患者群とDのそれは、質的に同一と考えていいのである。こゝでSMON発症に地域に特有な因子がPrimary Agentとして作用しているという仮説は一步後退する。

次に③については、調査対象者をlist-upした6つの資料 (情報) の中に、B医院を特に多く含む要素はないし、統計学的検定によりこの可能性は薄い。

そこで①の、A、Bに特有な内在因子は何かという問題で、蕨市のReceipt調査、医療機関訪問調査によって、当時一部の研究者の間で問題となり始めていたキノホルムがSMONの病因である可能性が、極めて高いこと、特にキノホルムの1日投与量が多い場合か、投与期間が長い場合にSMON発病の危険が増大することが示唆された。さらにこの問題を追求した結果、A病院でのキノホルム投与状況調査成績から、1日投与量と連続投与日数に関してプロットするならば、SMON患者は非SMON患者にくらべ、ある判別曲線より上の領域に多く分布する事がわかつた。

A、B医療機関に特有な内在因子という事からキノホルムを問題にしたが、他にもA、Bに特徴的なintrinsic factorがあり得る事は考えられる。例えばその他の薬剤、それに院内感染の可能性である。

院内感染説によっては我々の資料だけについては次の点が説明されにくい。

- (i) 戸田・蕨地区の調査対象者47名の中には、家族内発生職場内発生は1件もない事。
- (ii) A病院はSMONで全国的に有名になり、年毎にA病院を受診するSMON患者の数は増えているのに、逆にA病院通院中SMONを発症する症例は年間2～6名と少ない事。病院職員(140余名)の中にはこれ迄1名の発生もない事。これらの事実は、戸田・蕨地区のSMONを院内感染の結果によるものとは考え難い事実である。

以上の結果から、SMON発症にキノホルムが強く関与している示唆を得たので、SMON発症とキノホルム投与状況との関連について理論的考察を試みた。四つの仮定を前提として得られた発症の理論式は、⑦式で示され、図6-1の8症例のSMON(●印)を $k'$ の最小値 $k'_{min}$ を特性値に持つと仮定すると⑩式が得られる。

$N$ の小括と考察で述べたように、この式は1日投与量 $0.44\mu$ 以下では、長期にわたってキノホルムを服用してもほとんどSMONを発症しない事を意味するが、塚越の毛呂病院<sup>27)</sup>での経験、祖父江らの報告<sup>26)</sup>が、この事実と一致する事は極めて興味深い。なおこのように、薬物中毒をDose(1日投与量) - Duration(投与日数)のパターンとして認識する方向性は、これ迄はあまり試みられなかった方法だけに、今後、Dose Response relationshipを考える上で新しい方向を示すものと言えよう。

本論文の一部は医学のあゆみ vol 75 No.11及びvol 76 No.9に発表しました。又Lancet No.7723, vol 11(1971)にも発表しました。

本調査研究にあたっては、蕨・戸田医師会長、公平勇博士、戸田・蕨保健所長・小島哲雄博士、中島病院院長、中島穰博士の御協力を得た。

## 文 献

- 1) 蕨市役所発行(1970) 「わらび」
- 2) 戸田市役所発行(1970) 戸田市勢要覧
- 3) 蕨市市長室秘書企画課(1969) わらび(統計)
- 4) 戸田市長室秘書企画課(1968) 戸田市の統計
- 5) 埼玉県中央保健所(1963, 1964, 1965, 1966, 1967, 1968, 1969)  
衛生の動向
- 6) 椿忠雄ら(1965) 腹部症状を伴う背髄炎症(仮称)の臨床-釧路, 戸田, 東京地区の症例の総括と比較- 臨床神経 5: 361
- 7) 豊倉康夫 私信
- 8) 井形ら, (1965) 戸田地区における腹部症状を伴う脳背髄炎症(仮称)の経過観察  
臨床神経 5: 235

- 9) 井形昭弘ほか(1970) 戸田・蕨地区のSMONその後の観察日本医事新報 2395, 47  
~49
- 10) スモン調査研究協議会(1970); スモン調査研究協議会疫学班研究報告書(№.1) 39-  
91
- 11) 島田宣浩(1969), 疫学的研究, 最新医学24: 2424-2430
- 12) 高須俊明ほか(1970), SMON患者にみられる緑毛舌について, 医学のあゆみ 72:  
539~540
- 13) 埼玉県衛生部 SMON関係資料
- 14) 松田心一他, 腹部症状を伴う脳背髄炎症の原因と治療の研究-疫学部門研究班報告書・資料(私信)
- 15) 戸田市水道部資料
- 16) 蕨市水道部資料
- 17) 井形昭弘他, (1970) SMON患者の緑色色素-緑色尿を呈した二症例, 日本医事新報,  
2421, 25~28
- 18) 田村善蔵(1970), SMON患者の緑色色素の本態 スモン調査研究協議会  
昭和45年6月30日
- 19) 椿 忠雄他(1970) SMONの原因について, 日本神経学会関東地方会発表, 1970年  
9月5日
- 20) 蕨市役所(1970) 蕨市国民健康保険20年のあゆみ
- 21) 井形昭弘他(1970), 小児のSMON-キノホルム剤との関連; 医学のあゆみ 76; 727
- 22) 松原純子(1971), 医学研究における数学的モデルのあてはめかた(II)-応用例とあてはめ技  
法, 医学のあゆみ, 77, 737-741
- 23) 江上信雄編(1970), 放射線障害の回復, 朝倉書店
- 24) W. E. Deming (森口訳)(1965), 推計学によるデータのまとめ方, 岩波書店
- 25) 椿 忠雄他(1970) SMONの原因としてのキノホルムに関する疫学的研究, スモン調査  
研究協議会, 総会 昭和45年11月13日
- 26) 祖父江逸郎他(1970) SMON症例のキノホルム剤使用状況の検討, スモン調査研究協議  
会, 総会 昭和45年11月13日
- 27) 塚越, 広 私信

## スモン疫学調査個人表（予備調査用）

参考1

（昭和45年 月 日調査）（場所 ）

患者氏名	男女	明治 大正 昭和	年	月	日生	才	(イ) 確診 診断井形先生 ( 病院 先生 )	
							(ロ) 疑診 診断井形先生 ( 病院 先生 )	
患者現住所	都 県	区 市郡	町 村	番地 TEL( )		才	(ハ) 自分でSMONではないかと思う→(イ), (ロ), SMONではない	
家族構成 (当時の同居人を含む)	氏名	年齢	続柄	健康状態並びに 体質	既往症	(子供については発病当時 何か変化がなかったか。)	職場 学校名	備 考
			父 母					
			子 供					
			同居人					

H O S T 側 の 要 因	A 腹部症状発現 昭和 年 月 日頃、期日不明				B 神経症状発現 昭和 年 月 日頃、期日不明			
	発症時の症状と時間的経過							
	現在は？ ( if not, last care)							
	発病前の胃腸の状態 (詳しく)							
	発病前の呼吸器系の状態 (詳しく)							
	神経質かどうか、(自覚的) if so, その形成過程を							
	発病前の体質 (何に罹患しやすく、どこがどう変化し、どの位で治るか。)							
	手足は	手足にしびれを	シンマシンは	発病前は	発病前の視力は	ツベルクリン反応	立ちくらみが	学 歴
	いつも冷たかった	よく感じた	よく出た	やせていた	弱かった	陰 性	よくあった	小学校 卒業
	時々冷たかった	時々 "	時々出た	普 通	少し弱かった	疑陽性	時々あった	高 小 "
冷い方ではなかった	感じた事はない	出た事はない	ふとっていた	普 通	陽 性	ない	中学校 "	
発病前接種ワクチン(又その時期)							高 校 "	
							高 専 "	
あなたは双子(である, でない)							大 学 "	
<備考欄>								

S 2 0 年～S 4 5 年に至る 生活の場				自宅・病院・ アパート	住宅地・工業・ 海岸・山間・農 耕地の例	上水道・ 飲用水間易・浄水・	水洗 便所 汲取	特に 環境 ( )
場 所 的 要 因	戦時中	都府 県	区 市郡	町 村	番地 ( S 年 月 入 )			
		都府 県	区 市郡	町 村	番地 ( S 年 月 入 )			
		都府 県	区 市郡	町 村	番地 ( S 年 月 入 )			
		都府 県	区 市郡	町 村	番地 ( S 年 月 入 )			
		都府 県	区 市郡	町 村	番地 ( S 年 月 入 )			
		都府 県	区 市郡	町 村	番地 ( S 年 月 入 )			
		都府 県	区 市郡	町 村	番地 ( S 年 月 入 )			
		都府 県	区 市郡	町 村	番地 ( S 年 月 入 )			
		都府 県	区 市郡	町 村	番地 ( S 年 月 入 )			
発病前 職業歴を詳しく、( 事業所名, 所在地, 業務内容, 就業期間, 交通機関, その混み様, etc, 無職の場合は生活行動圏を )								
発病前・旅行 ( はよくした, 時々した, ほとんどしない )				旅行先	昭 年 月	旅行先	昭 年 月	
旅行先				昭 年 月	旅行先	昭 年 月	旅行先	昭 年 月
穀 類	米	パン	インスタントラーメン	ソバ	うどん	イモ類		
甘 味 類	砂糖	アン入り菓子	ピーナッツ	洋菓子				
油 類	バター	マーガリン	天ぷら	サラダオイル				
魚 類	青 魚	白身の魚	乾干魚	川 魚	貝類	つくだ煮	のり	ちくわ・かまぼこ → 刺身は?

○印 腹部症状発現  
◎神経症状発現

飲 食 物 関 係	獣肉	鳥肉	牛肉	豚肉	鶏肉	鯨肉	ハム	(ウインナーを含む) ソーセージ	ベーコン	
	卵類	鶏卵							→生で?	
	乳類	牛乳	ヨーグルト	アイスクリーム	粉乳	チーズ				
	野菜類									
	果実類	みかん類	イチゴ	リンゴ						
	きのこ類									
	缶詰類									
	嗜好飲料	コーヒー	ココア	日本茶	日本酒	洋酒	コーラ	ジュース	紅茶	
	調味品	カレー	しょうゆ	マヨネーズ	ソース	ケチャップ				
	その他	インスタントスープ								
発 病 前 の 行 動	水は、	果物・野菜は	洗剤を使ったあとは	食事の前には	大便のあとでは	風呂には	外出から帰った時			
	生水をのんだ	洗剤で洗った	きれいに水で洗った	必ず手を洗った	石けんをつけて 手をきれいに洗 った	毎日のように 入った	うがいを必ずした			
	時々、沸してのんだ	水だけでよく洗った	さっと流す程度	時々 "	水だけで"	2日~3日おき	時々 "			
	沸してのんだ	あまり洗わなかった		ほとんど手を洗 った事はない	洗わない事もあ った	1Wに1回位	ほとんどした事がない			
	発病前は	混んだ乗物には	飼育動物名(発病前)とその数							
	相当無理をした	のる機会が多かった								
	ちょっと "	たまにのった	発病前の興味( Hunting を中心に )							
	それ程無理はしなかった	ほとんど乗った事はない								

## SMON 患者生活歴調査

出生・小児期・学童期・学生時代・就職・ <span style="float: right;">・結婚・出産・更年期に於ける状況・並びに既往歴と・通院の場所・再発の状況・薬剤投与</span>

Impression & Speculation

現在一番の悩みは？

近所・職場・病院 etc でSMONでお悩みの方があれば！（氏名，性別，連絡先，知りあいの場所，期間）

## 戸田・蕨・（川口）地区の SMON に関する疫学調査

参考 2

（昭和 4 5 年 月 日面接 アンケート）

ふりがな 氏 名		性別	1. 男	2. 女	1 <input type="checkbox"/>
生年月日	明治 大正 昭和	年 月 日生	( 満 才 )		2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/>
現住所	都 県	区 市 郡	町 村	TEL	方・荘

発病時の住所	都 県	区 市 郡	町 村	方・荘	4 <input type="checkbox"/>
発病年月日	昭和	年 月 日	( 頃 )		5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> - 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/>
	満	才で発病			9 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/>
再燃の有無	1. 有		2. 無		11 <input type="checkbox"/>
重症度	1. 重症 ( Severe )				12 <input type="checkbox"/>
	2. 中等症 ( Moderate )				
	3. 軽症 ( Mild )				
診 断	1. 確実に SMON である。				13 <input type="checkbox"/>
	2. 疑診 ( SMON かどうか疑わしい。 )				
	3. SMON ではない。				

保険証番号
-------



問3-1. この病気が起った頃何か別の病気で、病院にかかっていましたか。

1. 病院にかかっていた。
2. 病院にはかかっていなかった。

15  
□

問3-2. その少し前(1年位前迄に)何か別の病気で病院にかかった事はありませんか。(風邪でも皮フ病でも何でも病院にかかったものを)

問3-3. 上と同じ頃、御家族又は同居人の誰かで病気をなされた方はいらっしゃいますか。

Time	
本人欄	
家族欄	

問3-4. 常備薬としてよく飲んでいた薬があれば教えてください。

--

16  
□

記入例  
7.23 病院名(入院)  
妻 52才  
Appe Ope(+)  
看病(+)  
Mittel(+)  
inj (+)

問3-5 発病后病院への通院の有無  
1.あり 2.なし  
いつ頃か

101  
□

問 4 - 1. 足のしびれは、最高どこ迄あがりましたか。

1. 足のしびれなど感じたことはない。
2. 足のうら、又は足先だけ。
3. 足首から下
4. 膝関節から下
5. 太腿部から下
6. 下腹部から下
7. 胸まで来た。

17

問 4 - 2. その時歩く事にどの程度支障がありましたか。

1. 全く支障がなかった。
2. 杖をついて歩いていた。
3. 何かにつかまって歩いた。
4. 全く歩けなかった。

18

問 4 - 3. 眼には全く異常がありませんか。

1. 全く異常がない。
2. いちじ、ものがゆがんだり、かすんで見えた時期があったが現在は何ともない。
3. 病気をしてから視力が落ちた。
4. 新聞がやっとよめる程度である。
5. 人の顔の目分けがつかない。

19

関連項目 1. 赤緑色盲テスト (色盲検査表)

関連項目 2. 100 Hue Test

関連項目 3. Panel D-15

問5-1. あなたの病状は、よくなって来てますか。

- 1. 段々によくなって来た。
- 2. 始めの頃と較べて変化がない。
- 3. 始めの頃より悪くなった。

20

問5-2. よくなりかけた病状が再び悪くなったことがありますか。

- 1. ある ( 回 )
- 2. ない

21

→「ある」とお答えの方は以下の関連質問にお答え下さい。

関連質問1. 再び悪くなった時の病状の程度は次のいずれでしょうか。

- 1. 初発の時と同じ様な症状が再び起った。
- 2. 初発の時以上に悪くなった。
- 3. 小さい波のくり返しである。

22

関連質問2. それはいつ頃の事ですか。

- I s t 昭和 年 月頃 初発から( 年 ヶ月後)
- II r d 昭和 年 月頃 初発から( 年 ヶ月後)
- III r d 昭和 年 月頃 初発から( 年 ヶ月後)

23

24

25

関連質問3. その時あなたは次のどの場所で生活をしていましたか。

- 1. 初発と同じ所で生活していた。
- 2. 病院に入院中であった。
- 3. その他 ( 新住所 ; )

26

関連質問4. 初発の頃と較べて、食生活の上で何か変化があったでしょうか。

- 1. あり
- 2. なし
- 3. よくわからない

27

関連質問5. 悪化したきっかけとして何か思いあたる事はありませんか。

通院中の有無

問6. 現在の体の調子は如何ですか。(治療中ですか。)

1. 全く元気である。	} 治療中でない。	28 <input type="text"/>
2. 時々大変疲れを感じる。		
3. 治療中である。		

▶関連質問 最後に病院においでになったのはいつですか。

昭和 年 月 頃。 よくおぼえていない。
----------------------

問7. この病気になる迄は、体は丈夫な方でしたか。

1. 大変丈夫であった。	29 <input type="text"/>
2. それ程丈夫な方ではなかった。	
3. 病気治療中であった。	

問8. この病気になる前と現在とを較べて、体質として変わった点がありますか。

( どういう所か! )


問9. この病気になる前のあなたの生活は、神経を使う事が多かったでしょうか。

1. 大変神経を使う事が多かった。	30 <input type="text"/>
2. ごく普通の生活で、別に神経を使う事もなかった。	

問10. この病気になる前のあなたの生活には、相当無理がありましたか。

1. 相当無理をしていた。	31 <input type="text"/>
2. それ程無理はしなかった。	

- 問11-1. よく頭が痛くなりますか。 はい いいえ  <sup>32</sup>
- 11-2. この病気になる前も頭が痛くなる事がよくありましたか。 はい いいえ  <sup>33</sup>
- 問12-1. 時々めまいを感じる事がありますか。 はい いいえ  <sup>34</sup>
- 12-2. この病気になる前もめまいを感じる事がありましたか。 はい いいえ  <sup>35</sup>
- 問13-1. 物がぼやけて見える事が時々ありますか。 はい いいえ  <sup>36</sup>
- 13-2. この病気になる前も時々ぼやけていましたか。 はい いいえ  <sup>37</sup>
- 問14-1. 目が疲れやすいですか。 はい いいえ  <sup>38</sup>
- 14-2. この病気になる前も目は疲れやすかったですか。 はい いいえ  <sup>39</sup>
- 問15-1. いつも耳なりがしますか。 はい いいえ  <sup>40</sup>
- 15-2. この病気になる前も耳なりがしていましたか。 はい いいえ  <sup>41</sup>
- 問16-1. よくのどのつまるような感じがしますか。 はい いいえ  <sup>42</sup>
- 16-2. この病気になる前もそういう感じがありましたか。 はい いいえ  <sup>43</sup>
- 問17-1. よく寝汗をかきますか。 はい いいえ  <sup>44</sup>
- 17-2. この病気になる前もよくかいていましたか。 はい いいえ  <sup>45</sup>
- 問18-1. 息苦しくなる事がありますか。 はい いいえ  <sup>46</sup>
- 18-2. この病気になる前も息苦しくなっていましたか。 はい いいえ  <sup>47</sup>
- 問19-1. ちょっと緊張すると心臓がドキドキと早く打ちますか。 はい いいえ  <sup>48</sup>
- 19-2. この病気になる前からそうでしたか。 はい いいえ  <sup>49</sup>
- 問20-1. 夏でも足がひえますか。 はい いいえ  <sup>50</sup>
- 20-2. この病気になる前からそうでしたか。 はい いいえ  <sup>51</sup>
- 問21-1. 時々背中や腰が痛みますか。 はい いいえ  <sup>52</sup>
- 21-2. この病気になる前からそうでしたか。 はい いいえ  <sup>53</sup>
- 問22-1. 皮フが非常に敏感で、まけやすいですか。 はい いいえ  <sup>54</sup>
- 22-2. この病気になる前からそうでしたか。 はい いいえ  <sup>55</sup>
- 問23-1. よくできものができますか。 はい いいえ  <sup>56</sup>
- 23-2. この病気になる前からよくできていましたか。 はい いいえ  <sup>57</sup>

- 問24-1. 切傷を作るとなかなか治りにくいですか。 はい いいえ  <sup>58</sup>
- 24-2. この病気になる前もそうでしたか。 はい いいえ  <sup>59</sup>
- 問25-1. 冬でもひどい汗をかきますか。 はい いいえ  <sup>60</sup>
- 25-2. この病気になる前からそうでしたか。 はい いいえ  <sup>61</sup>
- 問26-1. 特定の食物や薬をのむとジンマシンの出る体質ですか。 はい いいえ  <sup>62</sup>
- 26-2. この病気になる前からその様な体質でしたか。 はい いいえ  <sup>63</sup>
- 問27-1. 手で掻いたりすると、あとが赤い筋になりますか。 はい いいえ  <sup>64</sup>
- 27-2. この病気になる前からそうでしたか。 はい いいえ  <sup>65</sup>
- 問28-1. ちょっと仕事をしただけで大変疲れますか。 はい いいえ  <sup>66</sup>
- 28-2. この病気になる前からそうでしたか。 はい いいえ  <sup>67</sup>
- 問29-1. やせている方ですか。 はい いいえ  <sup>68</sup>
- 29-2. この病気になる前もやせていましたか。 はい いいえ  <sup>69</sup>
- 問30-1. ねつきが悪い、又は眠りが浅い方ですか。 はい いいえ  <sup>70</sup>
- 30-2. この病気になる前からそうでしたか。 はい いいえ  <sup>71</sup>
- 問31-1. 体の毛は薄い方ですか。 はい いいえ  <sup>72</sup>
- 31-2. この病気になる前から薄かったですか。 はい いいえ  <sup>73</sup>
- 問32-1. 乗り物に酔いやすい方ですか。 はい いいえ  <sup>74</sup>
- 32-2. この病気になる前からそうですか。 はい いいえ  <sup>75</sup>
- 問33-1. 感情のたかぶる事がよくありますか。 はい いいえ  <sup>76</sup>
- 33-2. この病気になる前からそうですか。 はい いいえ  <sup>77</sup>
- 問34-1. ちょっとした事でもよく気になりますか。 はい いいえ  <sup>78</sup>
- 34-2. この病気になる前からそうですか。 はい いいえ  <sup>79</sup>
- 問35-1. ひとくくられて自分は神経質な方だと思いますか。 はい いいえ  <sup>80</sup>
- 35-2. この病気になる前からそうですか。 はい いいえ  <sup>81</sup>

問36-1. 発病なさった頃、飲んでた水は次のいずれですか。

1. 上水道	2. 井戸水	3. 両方(上水道 井戸水)	4. その他	82 <input type="checkbox"/>
--------	--------	-------------------	--------	--------------------------------

問36-2. 水は生水のままお飲みになりましたか。

1. 生水をのんだ。	83 <input type="checkbox"/>
2. 一度沸してのんだ。	
3. 生水をのむ事もあれば、沸してのむ事もあった。	

問36-3. 1日に飲む量(夏季に)は、お茶を含めて1日にコップ何杯位でしたか。

(発病前)

1. 水類は、ほとんど飲まない体質だった。	84 <input type="checkbox"/>
2. コップに1~6杯程度	
3. コップに7~12杯程度	
4. それ以上	

問36-4. お茶はよくのむ方ですか。 2. はい 2. いいえ 85

問36-5. 飲み水に濁り、悪臭を感じた事がありますか。 1. はい 2. いいえ 86

問37. どこで発病なさいましたか。

1. 自宅( 都 区 町 番地 県 市郡 村 )	87 <input type="checkbox"/>
2. 入院中( 病院 )	
3. その他	

問38. 発病時の住所(上記37-1)には昭和○年○月に移って来ましたか。

1. 昭和 年 月 転入 発病迄に○年○ヶ月 ( 年 月 )	88 <input type="checkbox"/>	89 <input type="checkbox"/>	年
2. 生れた時からずっと住んでいる。			

問 3 9. この前はどこに住んでいましたか。

都 県	区 市 郡	町 村	番地	荘 方	90 □
--------	-------------	--------	----	--------	---------

問 4 0. 発病時、家の広さは何畳ありましたか。

畳	畳/人	91 □
---	-----	---------

問 4 1. 便所はバキュームカーによる汲取便所でしたか。 1. はい 2. いいえ 92  
□

問 4 2. 蠅は居ましたか。 1. はい 2. いいえ 93  
□

問 4 3. 下水がつまる様な事が時々ありましたか。 1. はい 2. いいえ 94  
□

問 4 4. 家の近くをふたをしていない下水道(ドブ)が通 1. はい 2. いいえ 95  
□

っていましたか。

問 4 5. ゴキブリをみかけましたか。 1. はい 2. いいえ 96  
□

問 4 6. 生野菜はよくたべますか。

1. よくたべる。	97 □
2. あまりたべない。	

関連質問 1. この病気になる前からよくたべましたか。 1. はい 2. いいえ 98  
□

関連質問 2. どんな野菜をよくたべましたか。


問 4 7. 現在も通院中ですか。

1. 通院中である。	99 □
2. 通院中でない。	

→関連質問 最後に病院に行ったのはいつですか。

昭和 年 月(頃) 発病より( 年 ヶ月)	100 □ - □
-----------------------	--------------

# 大都市におけるSMON発生の疫学的研究(その1)

## —疫学モデルによる地域集積性の検討—

疫学班員 青木 国雄 (愛知県がんセンター研究所疫学部)

共同研究者 大谷 元彦 ( )

SMONは狭い地域に集中的に発生する現象が報告されているが、大都市ではおおむね散発という形容がより適していると考えられてきた。人口200万のN市で最近10カ年間の発生状況を年次別、発生時期地域別に観察すると、幾つかの狭い地区に発生が多い傾向も否定できないが、急性伝染病の如く短期間に多発する型をとっているわけでもない。

こうしたSMONの発生状況を、発病時点(time)と、患者住居間距離(Space)との関連においてとらえ、所謂clusteringがみられるか否か、あるとすればどういう性格をもつかを疫学的に検討し、SMON発生機構をさぐるうとした。

### I 疫学モデルとTime-Space Relationshipの検討

Time-Space Relationshipの疫学的検討はPinkelら<sup>1)</sup>、Knox<sup>2) 3)</sup>、及びEdererら<sup>4) 5)</sup>により、主として白血病のClusterの検討に用いられ、本邦では山田ら<sup>6)</sup>、西山<sup>7)</sup>の報告がある。これは任意の患者ペアの発生時期と相互間の距離についての頻度分布からClusterの有無や発生状況を疫学的に検討しようとしたものである。著者らはすでに白血病のClustering検討のため疫学モデルによる解析<sup>8)</sup>を進めているが、ここではSMON発生状況に類似した疫学モデルを設定し、このモデルから患者発生のTime-Space Relationshipのバタンを分析し、実際の流行像と比較検討しようとした。

大都市の人口密度は郡部に比べれば比較的均一であるので、大都市のModelとして人口密度が均一な円形の地域を仮定した2, 3の疫学モデルを設定し検討した。

1) Model 1: 人口密度が均一な半径 $R_0$ の円形な地域の内に、N人の患者がrandomに発生したと仮定し、その住居を点で表現すると、住居間距離 $r$ をもつ患者ペアの数の分布は以下の数式で表わしうる。

$$P(r) dr = \int_0^{R_0} \frac{1}{2} n \cdot 2\theta r dr \cdot 2\pi n R dR \quad \dots\dots\dots (1)$$

$$P(r) = \int_0^{R_0} n^2 \cdot 2\pi \theta r R dR \quad \dots\dots\dots (2)$$

ここで

$R_0$  : 地域の半径

$$n = \frac{N}{\pi R_0^2}$$

半径  $R_0$  の円の中心を  $O_1$  , 円内の任意の 1 点  $O_2$  とすると, (図 1)  $O_2$  を中心に半径  $r$  の円を描くと, この地域内に含まれる円周上 (破線) 巾  $dr$  に距離  $r$  の点が分布している。この数は  $n \cdot 2\theta \cdot r \cdot dr$  である。  $O_1, O_2$  の距離を  $R$  とすると,  $O_1$  を中心に半径  $R$  の円周上巾  $dR$  に  $O_2$  と同様の点が分布しており, それらの点全体について

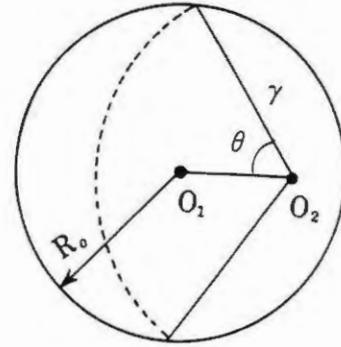


図 1

$O_2$  と同じことが言えるので, これらの点のペアの数は数式 (1), (2) の如くなる。  $r$  は  $R_0$  によって規定されるので, (2) 式を変形すると,

(i)  $0 \leq \frac{r}{R_0} < \sqrt{2}$  の範囲内では

$$P(r) = \frac{N^2}{\pi R_0} - \left(\frac{r}{R_0}\right) \left\{ \pi - \frac{1}{2} \left(\frac{r}{R_0}\right)^3 \sqrt{1 - \frac{1}{4} \left(\frac{r}{R_0}\right)^2} - \text{Sin}^{-1} \left[ \frac{r}{R_0} \sqrt{1 - \frac{1}{4} \left(\frac{r}{R_0}\right)^2} \right] - \frac{r}{R_0} \sqrt{1 - \frac{5}{4} \left(\frac{r}{R_0}\right)^2 + \frac{1}{2} \left(\frac{r}{R_0}\right)^4 - \frac{1}{16} \left(\frac{r}{R_0}\right)^6} \right\} \dots\dots\dots (3)$$

(ii)  $\sqrt{2} \leq \frac{r}{R_0}$  の場合は

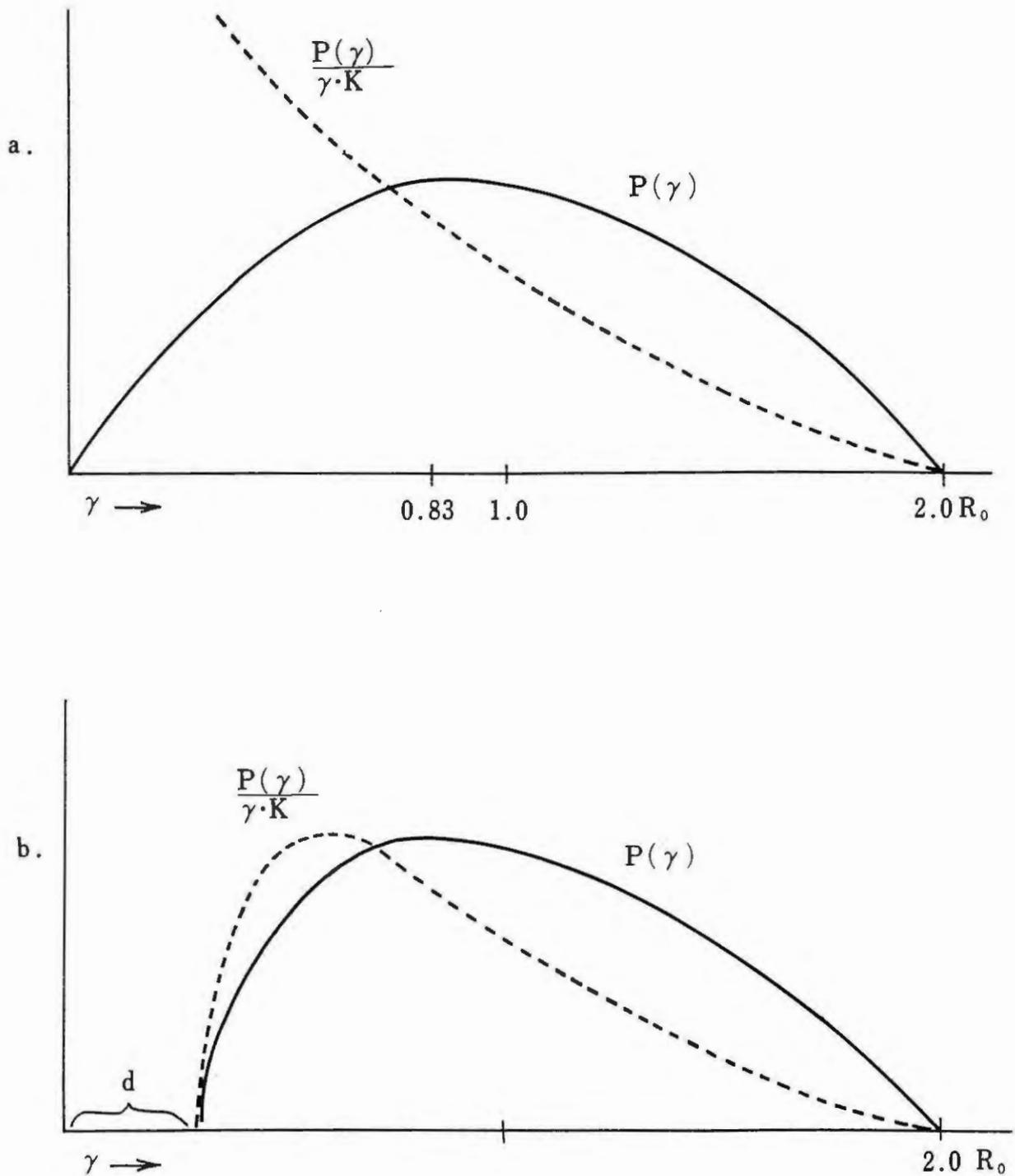
$$P(r) = \frac{N^2}{\pi R_0} - \left(\frac{r}{R_0}\right) \left\{ \text{Sin}^{-1} \left[ \frac{r}{R_0} \sqrt{1 - \frac{1}{4} \left(\frac{r}{R_0}\right)^2} \right] - \frac{1}{2} \left(\frac{r}{R_0}\right)^3 \sqrt{1 - \frac{1}{4} \left(\frac{r}{R_0}\right)^2} - \left(\frac{r}{R_0}\right) \sqrt{1 - \frac{5}{4} \left(\frac{r}{R_0}\right)^2 + \frac{1}{2} \left(\frac{r}{R_0}\right)^4 - \frac{1}{16} \left(\frac{r}{R_0}\right)^6} \right\} \dots\dots\dots (4)$$

又  $P(r)/r, P(r)/r \cdot K, K = \frac{N^2}{\pi R_0^2}$  は, 分布の密度と考えうる。この組合せの分布を図で表わすと

図 2 の如くなる。

即ちペアの数の分布は,  $0.83 R_0$  を Peak とする一峰性の山を描き,  $P(r)/r$  は破線の如き減衰曲線となる。もし患者間距離  $r$  の最少値がある値  $d$  以上であるとするところの一峰性の分布は図 2 b の如く,  $d$  だけ右方へずれて表われ  $P(r)/r$  は破線の如くなる。

図2 半径 $R_0$ の地域にランダムに患者発生があった場合



2) Model 2: 人口密度の均一な半径 $R_0$ の円形地域の中に、半径 $R_1$ なる円形小地区が $N_0$ 個 random に分布し、患者は小地区のみにそれぞれ、 $N_1$ 人ずつ発生し、他の地区では発生しなかったと仮定する。全地域内の患者発生数は $N_0 N_1$ 人となる。

患者間の距離  $r$  のペアは

- (A) 小地域内の患者間距離  $r$  のペアの数 ( $R_1(r)$ )  
 (B) ある小地区と、他の小地区の患者間の  $r$  のペアの数  
 数 ( $P_2(r)$ ) の和になる。

$P_1(r)$  は、Model 1 と同様の数式が応用できるので、 $0.83 R_1$  に Peak をもつ 1 峰性の分布曲線となる。

$$\text{即ち } P_1(r) = \frac{N_1^2}{\pi R_1} \left(\frac{r}{R_1}\right) \int \left(\frac{r}{R_1}\right) \cdot N_0 \dots\dots\dots (5)$$

( $N_0$  : 小地区の数)

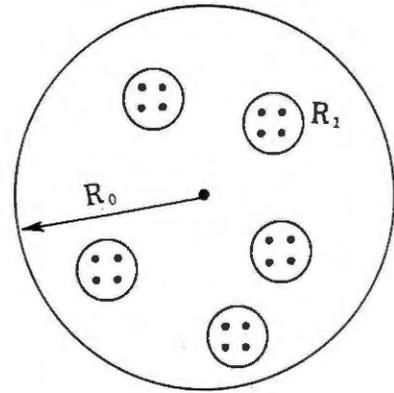


図 2

(B) の場合は計算が複雑になるので、小地区の半径  $R_1'$  より、小地区間の距離  $d$  の方が相当大きい ( $d \gg R_1'$ ) とし、小地区内の点はすべて地区の中心部に集まっているとして計算することにした。勿論実際には、任意の 2 小地区間の点の距離は右図の如くに分布していると考えてよいので、この計算結果は若干修正を必要とするわけである。

$$P_2(r) = \frac{N_0^2}{\pi R_0} \left(\frac{r}{R_0}\right) \int \left(\frac{r}{R_0}\right) \cdot N_1^2 \dots\dots\dots (6)$$

( $N_1$  : 小地区内の点の数)

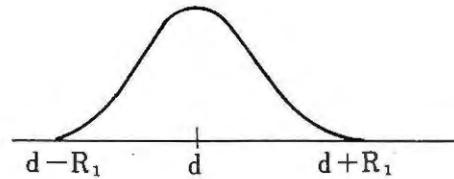


図 3

全体の  $r$  の分布は(4)+(5)となる。

$$P_t(r) = P_1(r) + P_2(r) = \frac{N_1^2 N_0}{\pi R_1^2} r \left[ \int \left(\frac{r}{R_1}\right) + \frac{N_0}{\left(\frac{R_0}{R_1}\right)^2} \int \left(\frac{r}{R_0}\right) \right] \dots\dots\dots (7)$$

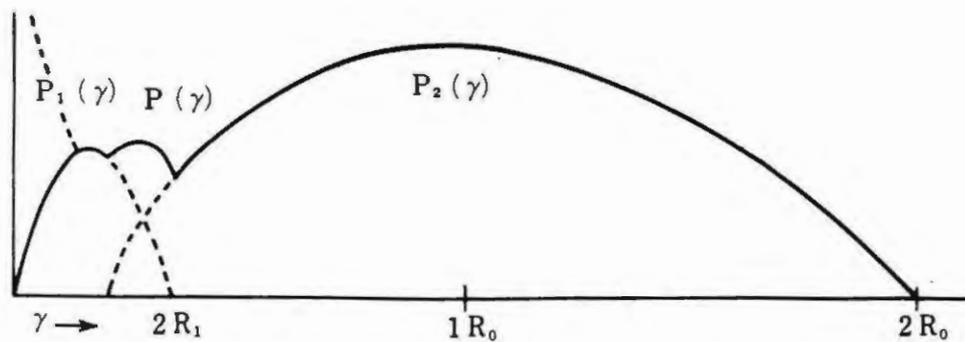
$\frac{N_0}{\left(\frac{R_0}{R_1}\right)^2}$  は小地区の面積の総和と全体の地域面積との比で 1 より小である。

$$P_t(r) = \frac{N_0 N_1^2}{\pi R_1} \left[ \int \left(\frac{r}{R_1}\right) + \frac{N_0 R_1}{R_0} \int \left(\frac{r}{R_0}\right) \right]$$

$$\frac{P_t(r)}{r} = \frac{N_0 N_1^2}{\pi R_1^2} \left[ \int \left(\frac{r}{R_1}\right) + \frac{N_0}{\left(\frac{R_0}{R_1}\right)^2} \int \left(\frac{r}{R_0}\right) \right] \dots\dots\dots (8)$$

$P_t(r)$ ,  $P_t(r)/r$  を図式化すると図 4 a. b. c. の如き曲線となる。

图 4 a



4 a'

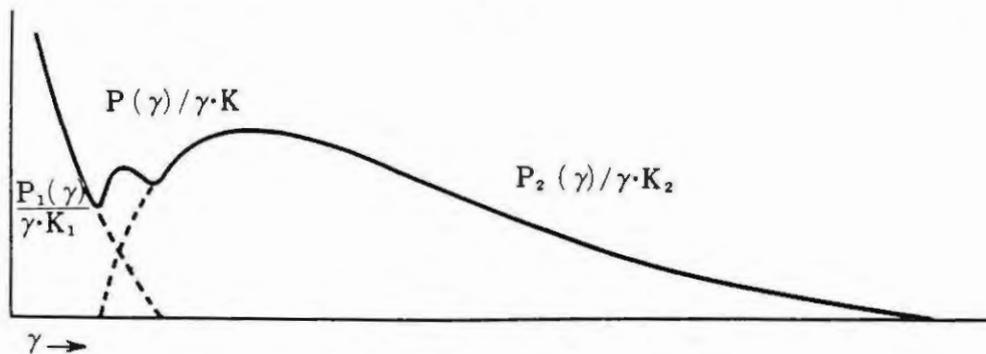


图 4 b

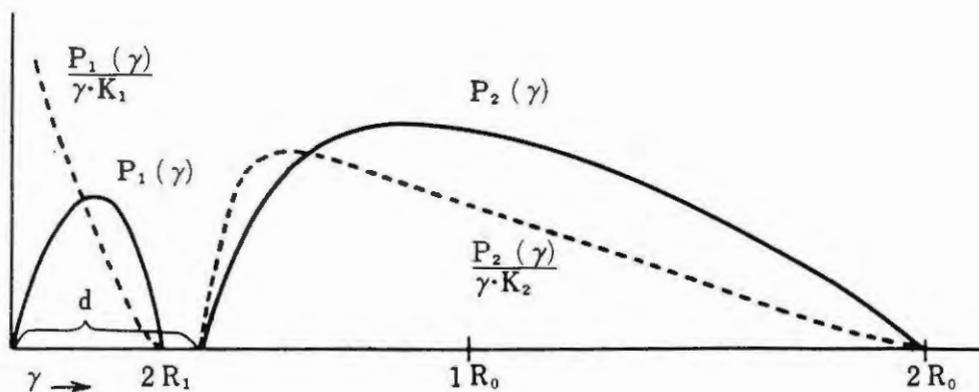


图 4 c

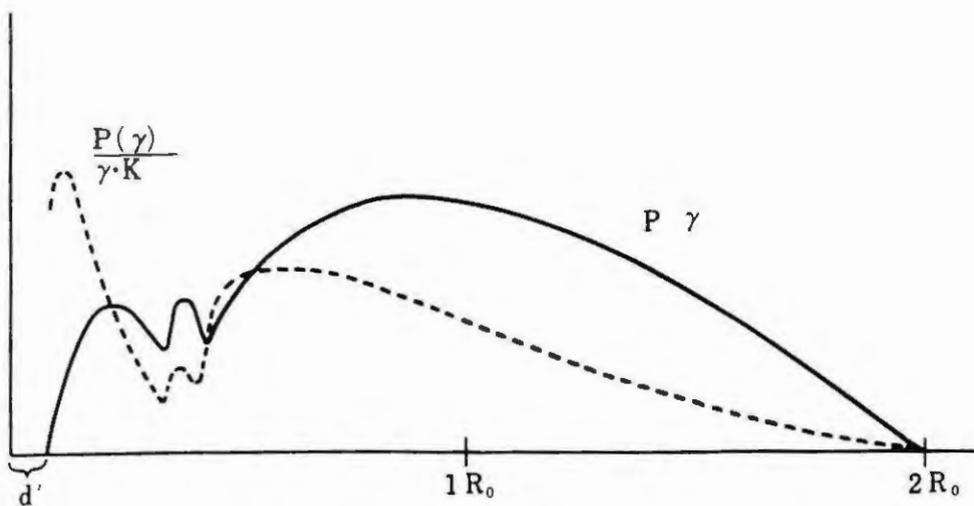


图 4

これからみて小地区のみに患者が集中した場合は、4a, 4d の如く、2峰性の分布を示し、その密度としての  $P(r)/r$  は図の破線の如く、距離  $r$  の小さいペアの相対頻度が高く、Model 1 に比しより急峻な下りカーブを示し、ついで小地区間の平均距離  $d$  と  $2R_1$  の間に小峰を生じ減衰するカーブを示す。小地区の径が小さくかつ小地区間の距離が更に大となると、図2bの如く  $2R_1$  と  $d$  の間に谷が生ずる。 $R_0/R_1$  により、 $P_1(r)$  と  $P_2(r)$  のPeakの高さはいろいろに変わってくるかつ、 $P_1(r)/r$  は急峻に下降しており、 $P_2(r)/r$  は低いflatな漸減曲線となる。

実際の場合は、小地区内以外にも発生があるので、 $P_2(r)$  は原点に近い所から始まり、又  $P_1(r)$  も  $r$  がある値  $d'$  より大きい時には、図2cの如くなる。

半径  $R_1$  の他、 $R_1'$  と  $R_1$  の間の距離に第2のClusterがあれば、同様に第3の峰が生ずる。 $R_1'$  の大なる程この峰は  $P(r)/r$  では小となる。

実際には、 $P(r)$  は合成曲線となるので  $P(r)/r$  は小地区間距離別にことなる一峰性の曲線の和として表わされるが、小地区の数が多く random にあれば、なだらかな一峰性曲線となると考えてよい。

3) Model 3 : ある期間に半径  $R_1$  の幾つかの小地区にのみ患者発生があり、次の連続的な期間に、小地区の周辺に患者が波及、発生した場合を仮定した。

これは伝播型発生モデルと考えたのである。この場合患者ペアの分布は

① ドーナツ型地区内の患者ペアの頻度 ( $P_a(r)$ ) と、② 地区間の患者ペアの頻度 ( $P_b(r)$ ) の和と考えてよい。

$P_a(r)$  は、 $(\Delta R = R_2 - R_1) \Delta R$  の巾で若干ことなるが、 $\Delta R$  よりペア間距離  $r$  が大きい時は、 $6a_1$ 、 $r$  が小なる時は  $a_1$  の矢印の位置に小さいPeakを生ずる。又、一定以上の大きさ  $d$  まで  $r$  のペアがない場合は、 $a_3$  の如くなる。一方地

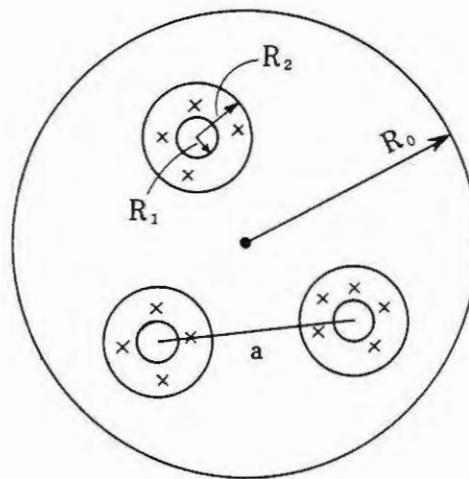


図 5

区間では  $a \pm 2R_2$  の範囲で一峰性の幾つかの分布曲線の和としての  $P_b(r)$  をもつが、小地区が、random に十分な数ある場合は1峰性のなだらかなカーブとなってくる。

$P_a(r) + P_b(r)$  は、 $2R_2$  附近に第2のピークをもつ3峰性の曲線で、 $P_a(r) + P_b(r)/r$  は、 $2R_2$  附近で段階的に減少し、その後漸減する曲線となる。従って、2次的集中発生がこの様な型でおこれば、幾つかのPeak と  $2R_1$  より更に大きい  $2R_2$  の距離に谷が出来る事になる。期間と地

区の発生頻度のずれをみることによって、その伝播の型を知ることができる。

4) **Model 4** : これは時間的因子のモデルで図7に示す如く有限の観察期間Tの中で、tという時間間隔で均等に患者が発生した場合の患者のペアの分布をみようとしたものである。Tとtの大きさの比に従って図7の如き関係がある。

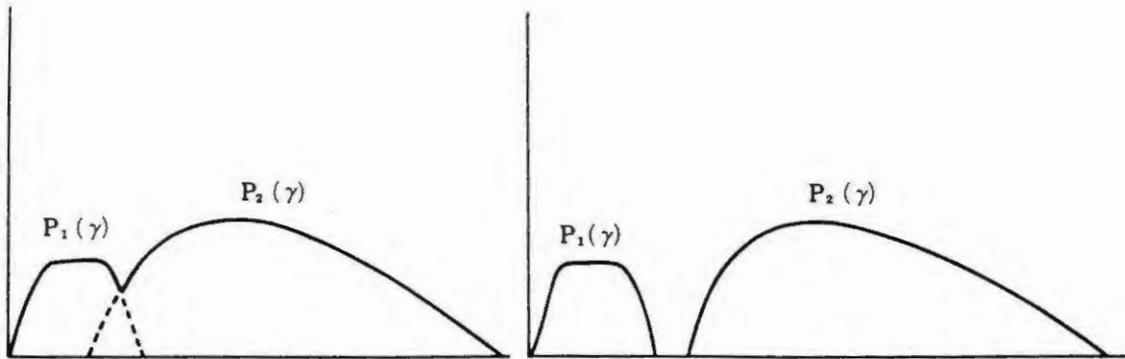
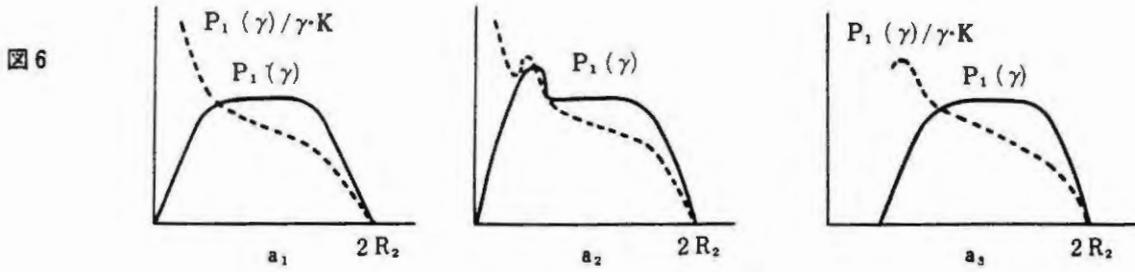


図6b

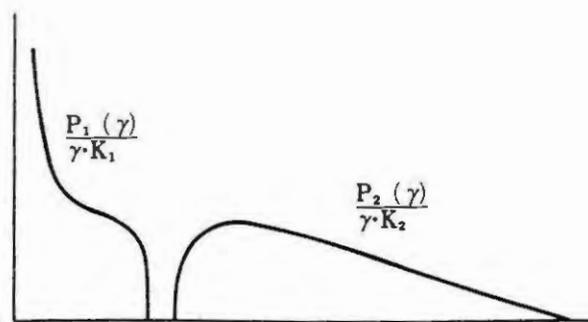


図6c

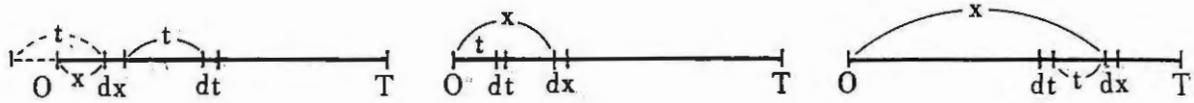


図 7

a)  $x < t$

$$P(t) = \frac{1}{2} \int_0^t \left(\frac{N}{T}\right)^2 dx = \frac{1}{2} \left(\frac{N}{T}\right)^2 t \quad \dots\dots\dots (1)$$

b)  $t < x < T-t$

$$P_2(t) = \frac{1}{2} \int_t^{T-t} 2 \left(\frac{N}{T}\right)^2 dx = \left(\frac{N}{T}\right)^2 \cdot (T-2t) \quad \dots\dots\dots (2)$$

c)  $T-t < x < T$

$$P_3(t) = \frac{1}{2} \int_{T-t}^T \left(\frac{N}{T}\right)^2 dx = \frac{1}{2} \left(\frac{N}{T}\right)^2 t \quad \dots\dots\dots (3)$$

$$P_t(t) = P_1(t) + P_2(t) + P_3(t) = \left(\frac{N}{T}\right)^2 (T-t) \quad \dots\dots\dots (4)$$

$P_t(t)$ を図式化すると図8の如くなる。

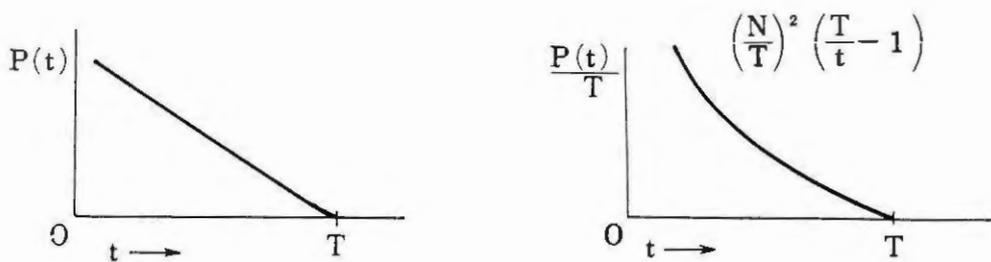


図 8

即ち  $P_t(t)$  は  $t$  の大きさと共に直線的に減少するわけであり、 $P_t(t)/t$  も単調になだらかに減少する。

もし、患者発生が均等でなく、幾つかの時間帯  $a_0$  の間のみ発生が集中があったとすれば、 $a_0$  の時間帯におけるペアと、 $a_0$  図表の間のペアの頻度との和になり、単純な減少は示さず、

$P_t(t)/t$  は、2 峰性を示すようになる。

これらの組合せは、距離間隔  $r$  の場合と同じ様に考えてゆけばよい。

一定の時間帯を限って空間的な分布の観察をするか、一定の空間での時間的な分布を検討することによって、患者発生の Time - Space Relationship の検討ができるわけである。

## II 総括と考按

この疫学モデルは、人口密度を一定としたこと、対象集団の疾病感受性の差を無視したこと、一定の期間内の時間的因子を均一なものとしたこと、患者の発生状況が有限空間内に random にあらわれるか、或は同じ大きさの小地区が random に存在し、しかもその地区のみに患者が発生したとの幾つかの仮定をもっている。

実際には患者発生は、地域内、地区内とも random の場合は稀であり、又小地区集積があったにもせよ、それ以外にも発生することが多い。地域内の地形、建造物も異なれば、人口密度も均一でなく、住民の疾病に対する感受性も異なるので単純にはゆかない。しかしこの Model を基本型として現実の発生状況を観察し、これを時間的空間的に観察し、それを montage してゆけば患者発生の機序の一端を伺い知ることができるかと思われる。

## 文 献

1. Pinkel, D, et al ; Cancer 16:28, 1963
2. Knox, G. ; Brit. J. Prit Soci. Med. 17:121, 1953
3. ; Ibid, 18:17, 1964
4. Ederer, F, et al ; Biometrics 20:626, 1964
5. ; J. Nat. Cancer Inst. 35:625, 1965
6. 山田一正, 空野寿一; 日本臨床 26:304, 1968
7. 西山 宏; 私信
8. 大谷元彦, 青木国雄; 第 30 回日本癌学会総会発表

# 大都市における S M O N 発生の 疫学的研究 (その2)

## Time-Space Relationship

疫学 班員 青 木 国 雄 (愛知県がんセンター研究所疫学部)  
 共同研究 大 谷 元 彦 ( " )  
 " 祖父江 逸 郎 (名古屋大医学部第一内科)  
 " 安 藤 一 也 ( " )

前条で検討した疫学モデルから得られた結果を基礎に、人口200万のN市でのSMON発生状況を Time-Space Relationship でとらえその疫学特性を検討しようとした。

表1 N市区別人口密度

昭和44年7月1日現在

区 名	面 積 (km <sup>2</sup> )	世帯数 (戸)	人 口			1 世 帯 当り人口 (小数点)	人口密度
			総 数	男	女		
全 市	(小数点) 32567	559,354	2,013,101	1,017,630	995,471	360	6,181
千種区*	3602	60,631	205,488	101,477	104,011	339	5,705
東 区	768	23,316	78,336	38,523	39,813	336	10,200
北 区	1757	49,667	175,894	88,089	87,805	354	10,011
西 区	1757	46,180	173,864	84,542	89,322	376	9,896
中村区	1619	54,548	199,155	99,164	99,991	365	12,301
中 区	1122	25,992	91,586	45,552	46,034	352	8,163
昭和区*	3436	58,341	193,794	101,874	91,920	332	5,640
瑞穂区	1111	38,640	133,185	66,878	66,307	345	11,980
熱田区	915	23,010	84,284	42,923	41,361	366	9,211
中川区*	3200	46,078	178,808	91,438	87,370	388	5,588
港 区+	4222	32,020	122,686	64,756	57,930	383	2,906
南 区	1888	52,862	191,907	99,787	92,120	363	10,165
守山区**	3401	24,276	94,098	47,897	46,201	388	2,767
緑 区**	3769	23,793	90,016	44,730	45,286	378	2,388

(1) (1)  
 面積は、編入されたもの。その後の公有水面埋立は、昭40国調報告による。人口推計は、昭和40年国調報告による。世帯数は、前回の基本台帳より、その後の公有水面埋立による増分を差し引いたものとする。

\* 新編入周辺地区をふくむ。 + 工場地帯が多い。 \*\* 新しく編入された周辺地区。

N市は14区に分れ、区別の人口密度は表1の如くで、周辺部の新編入地区或いは工場地帯をもつ港、守山、緑区は非常に低く、千種、昭和、中川の3区でも人口疎な地区を周辺部にもつので低い。こうした周辺地区をのぞく旧市内に相当する地域での人口密度は1.5倍と差はなく、又学区別にもそれ程の差はなかつた。N市は東西21km、南北23kmの地域を占めるが、その中央地帯東西、南北各15kmの間に発生した患者について、任意の患者ペアの時間と距離の関係Time-Space Relationshipから、本症の発生要因を追求しようとした。

## I 対象及び方法

対象は昭和33年より45年6月までに、N市に届出され、名大第一内科でSMONと確診された市内在住患者401名(男142, 女259)である。

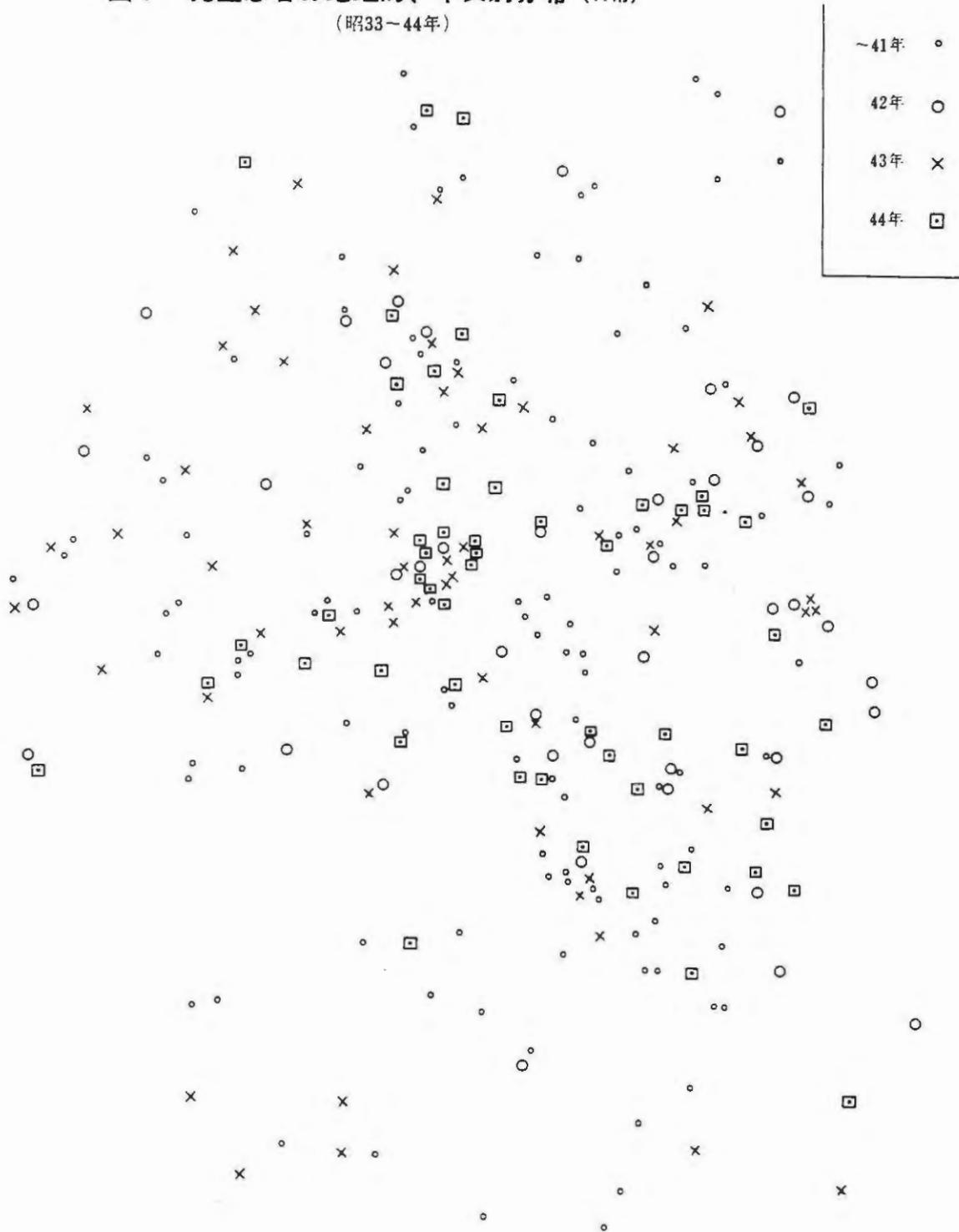
神経症状初発時期は、昭33~36年25, 37~39年49, 40年31, 41年55, 42年56, 43年71, 44年79, 45年1~6月35で、性比は届出の増加した37年以降は大体各年1:2の割合である。性、年齢別では19才以下男2.8%, 女1.9%, 20才台それぞれ9.2, 11.2, 30才台20.4, 17.4, 40才台17.6, 18.1, 50才台24.6, 24.3, 60才台19.7, 19.7, 70以上, 56, 7.3%で年度で分布に差はなく一括して取扱うことにした。患者の市内地区別分布は図1の如くである。

神経症状発症日を発生時点とし、N市の $\frac{1}{300} \sim \frac{1}{500}$ の町名別住宅地図を参照に、1/30,000の地図上に患者住居をPlotし、その位置をXY座標で表現した。住所を確認しえたのは366(91.2%)であった。残りの35例は正確に住所は把握しえなかつたが特定の地区(区)に偏在していたわけではない。

366例の任意の2症例の組合せは、計66,795ペアであるが、それらの住居間距離と発生間隔の分布を、距離100m単位、期間1月単位区分にComputerを用い計算し、分布・配列した。

前報の疫学モデルは一定期間の一定地域でのものであるもので、時間を限って患者間距離(r)別にペアの数の分布を観察した。一定面積の地域内での観察であるので、rの距離に従って占有面積が異ってくる。そこで相対頻度として発生密度をとった。これは単位面積当りでもよいが、比較する距離間隔の大きさを一定にすれば、それぞれの患者間距離rで除しても相対的には同じであるので $P(r)/r$ を用いることにした。一方観察期間も有限であるので、各ペアの時間間隔(t)別でも同様なことが言える。このためには、tに対応する期間の大きさで補正する必要がある。全観察期間は、13.5年であるが、始めの2~3年は患者数も少ないので、最大時間間隔を120ヶ月とし、それぞれの発生間隔期間の占める大きさによって補正をした。実際にはComputerで計算するので、全観察期間を $\ell$ カ月とすると、 $(x-1)$ 月から $x$ カ月間の時間帯の大きさは、 $K\{(\ell-(x-1))^2 - K(\ell-x)^2\}$ で示される。ここでは $\ell=120$ とし、Kは共通恒数なので省略し計算した。 $\ell$ を多少大にしても、患者数が少ないので、殆んど差はなかつた。即ち $P(r)/r \cdot \{(\ell-(x-1))^2 - (\ell-x)^2\}$ で相対頻度を算出したわけである。

図1 発生患者の地理的、年次別分布 (N市)  
(昭33-44年)



次に、東西、南北、15kmの地域内で、25km毎に均等に患者が発生した場合の Simulation Modelを想定し、それぞれの患者座標を Computer に記憶させた後、任意の患者ペアの組合せを単位距離別に算出させた。その単位距離別分布の百分比は表2の如くで、前報の Model 1 と非常に類似し、 $0.83R_0$  から  $1.0R_0$  の辺りに最も高い頻度を示す一峰性曲線となった。この値を更に時間因子で補正した。観察した366例の患者ペア66,795組がもし random に発生した場合には、この様

表2 住居間距離(r)と、その占める面積の百万比  
(Simulation modelにより計算)

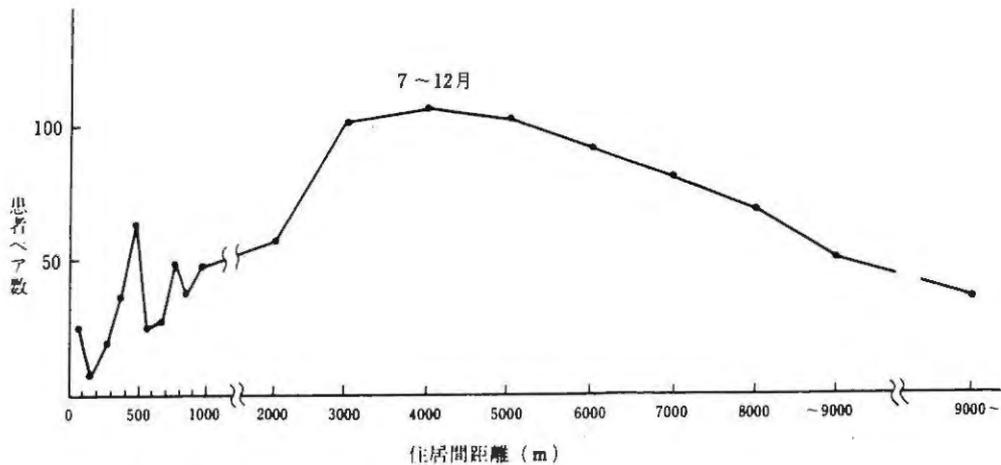
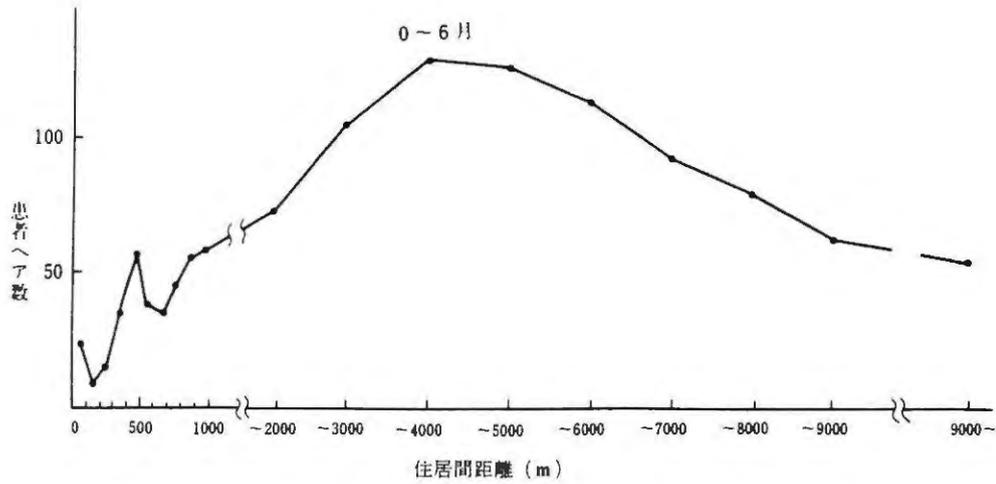
Index Case からの距離間隔 (r)	距離間隔 r とその占める面積の比率 (全地域 100とする)
100 m 以内	0.16
101 ~ 200 m	0.44
200 ~ 300 m	0.69
300 ~ 400 m	0.99
400 ~ 500 m	1.26
500 ~ 600 m	1.44
600 ~ 700 m	1.76
700 ~ 800 m	1.99
800 ~ 900 m	2.20
900 ~ 1000 m	2.51
1 ~ 2 km	3.66
2 ~ 3	5.56
3 ~ 4	7.02
4 ~ 5	8.11
5 ~ 6	8.83
6 ~ 7	9.01
7 ~ 8	9.25
8 ~ 9	9.01
9 ~ 15 km	38.00

な分布をとるものと考えて、期待値(E)を計算し、実際の観測値(O)との比率O/E(Relative Risk)をみる事により数量的にClusteringの強さを検討しようとした。

## II 結 果

Computerにより算出された366例66,795ペアを1カ月単位、距離100m単位毎に区分配列し、6月以内の間隔のペアと7~12月の間隔ペアの両群について、ペアの距離別分布を示すと図2の如くである。即ち4~5kmの所にPeakをもつ大きな山が、rの増大につれて右方にゆるやかな減少をみせるが、左側のrが1000m以下では、100mが高く一旦下降した後500m附近で鋭いピーク

図2 発生時間間隔別、住居間距離別患者ペア頻度

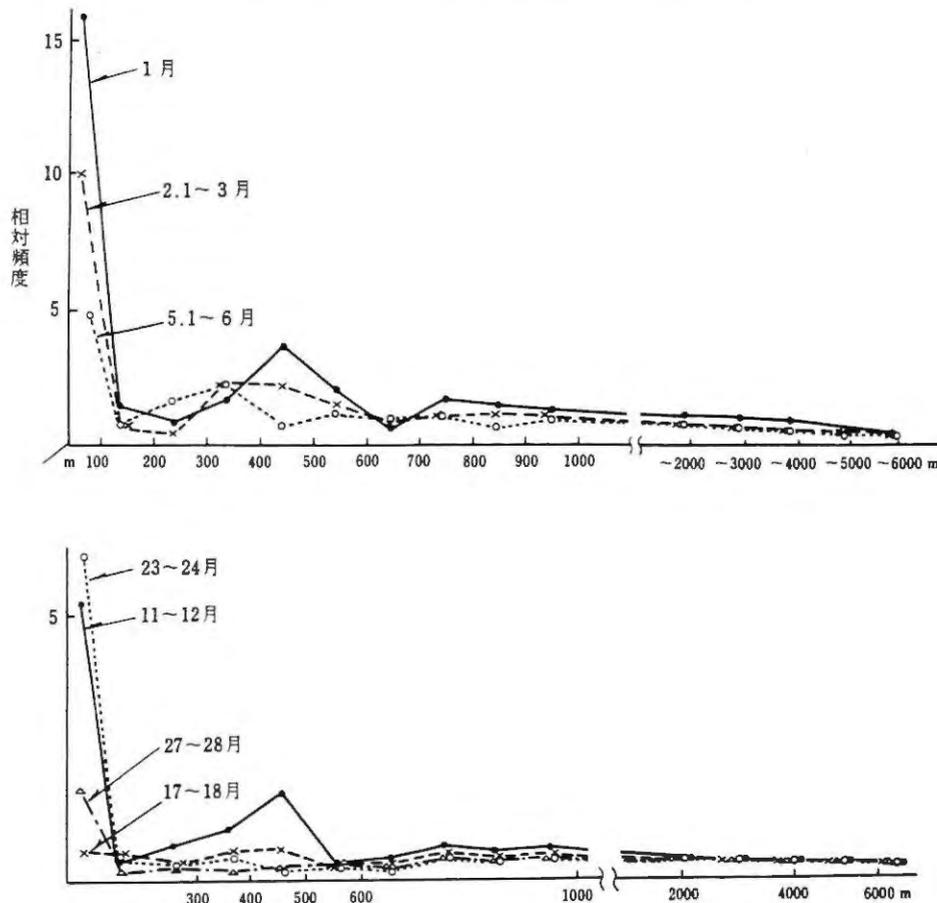


をつくり又下降した後ゆるやかに上昇する。7~12カ月間隔群では700~800mに第3の小峰がある。これらのことは、本患者groupが市内にrandomに発生したのではなく、幾つかの小地区で集中発生があったことを示唆している。1カ月単位にみても同様な傾向である。最も高いpeakが4~5kmの所にあることは、Model 1から考え、N市の患者はほぼ直径10kmの円形地域内の発生が殆んどと考えてもよいかと思う。

ペアの頻度は前述した如く、期間の大きさを補正した上、住居間距離rで補正した相対頻度、 $P(r)/r$ を算出し比較した。図3は横軸にrをとり、発生時間間隔別に相対頻度を示したものである。

$P(r)/r$ は、1カ月以内のペアでは100m以内が非常に高く、急峻な下り勾配であり、100~400mは低い谷となり、400~600mで再び比較的高いピークをつくり一旦下降した後700~800mから漸減する。1km以後はP(r)の高い頻度に比し、 $P(r)/r$ は低いなだらかな減少曲線となる。2~3月群では100m以内では1月以内の $\frac{2}{3}$ 位となるが依然として高く100~200mの谷と300~500mに

図3 発生間隔別にみた住宅距離別患者ペア相対発生頻度

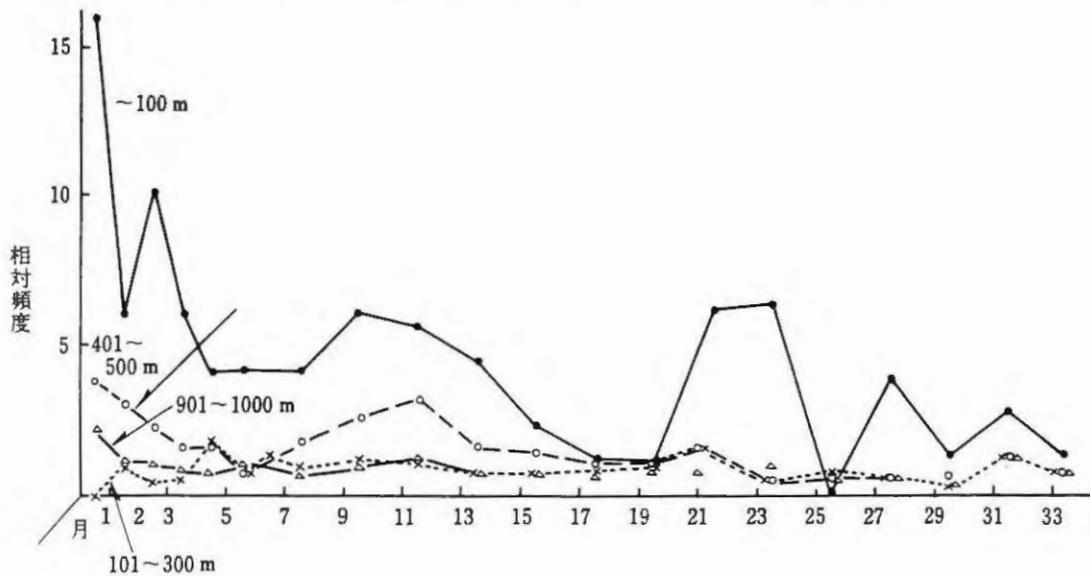


小さい山をもってその後漸減する。5~6月群では100m以内は低いが、100~200mに谷をもち、200~500mに小さい山をもって漸減する。17~18月、29月以降は特定のピークはないが、11~12月群は2~3月群と同様のパターンを示し、23~24月群は、100mは高いが、400~500mの山はない。図4は時間的因子を横軸にとり、100m単位毎の相対頻度を図示したものである。

100m以内はどの月も相当高く、ついで400~500m群であるが、他は相似て低い単調な推移である。100m以内群では、1月以内、2~3月に高いピークがみられ、ついで9~14月、21~24月、27~28月、31~32月などに山がみられる。400~500mでは、1月以内から漸減し、9~12月のピークをへて漸減する。900m以上の間隔群では相対頻度も低く、平坦な曲線となる。

前報の疫学Modelからの結果と比較し考察すると、患者相互が100m以内という近い距離の者が多いことを意味しており、かもこれはかなりの年月(3年位)継続する様である。即ち狭い地区に何年もつづいて発生がみられていることを示している。400~500mの峰は、この間隔の患者が多いことと同時に、100m以内のcluster群の距離の平均が500m前後ということを示している可能性が大きい。700~800m附近にも小さな山が存在する様であるが、図2とも考え合せこれはCluster地区間距離を示すかもしれない。

図4 患者住居間隔別、発生間隔(月)別患者ペアの相対頻度



実際にN市内の1多発地区での調査では、約40例の患者は、同一町内、隣切町内での発生が大部分であり、患者間距離は、1000m以内が多く、ほぼ半径500mの地域にあった。これらは本計算結果を裏付しているものと言える。

一方100~300mの谷は、1月、3月、6月或いは11~12月間隔群のいずれにもみられ、期間rの大きさで著変がないことはModel 3の検討から考えて、始めのClusterから次の時点で連続的に周辺に伝播してゆく発生状況を示していないといえる。

時間的に1~3月、9~12月、21~24月という間隔はいずれも夏の流行時に相当しており、小地区で夏毎に患者が多発したものと考えられる。

### Ⅲ Relative Risk の算出

以上の観察は主にパターンによる分析であるが、患者ペアの相対頻度がrandomな発生とどれ位相違しているか数量的に表現しようとした。方法の項でのべた如く、一定期間の間に、一定地域でrandomに患者が発生した場の、単位期間、単位距離別頻度をSimulation Modelにより算出し、前節の66,795ペアをその比率に分配して期待値(E)とし、観察値(O)との間のO/E Relative Riskを観察した。

表3はそのO/Eである。7~16月は2カ月毎、17~24月は4カ月毎、25月以上は1年毎、4年以上は一括して、単位月当りの平均値として示した。表から明らかな如く、100m以内は、3月以内及び9~12月で50倍以上の高いRelative Riskを示し、2~4年でも約10倍の高さを保持している。これに反し、100~200mでは10倍を示すものはなく大部分が5.0以下であり、期間の大きさによる周辺地域への移動の現象もない。400~500mの距離では3カ月以内で、10倍以上、4カ月以後12月まで8~13倍と高く、一旦減少した後17~24月で5~7倍となっている。

表3 スモン発生の時・空間別Relative Risk (1月間隔, 100m単位に算出)

間隔 (月) 距離 (m)	0	1	2	3	4	5	6	7 { 8	9 { 10	11 { 12	13 { 14	15 { 16	17 { 20	21 { 24	25 { 36	37 { 48	48 { 120	計	注
	~ 100 m	60.0	51.5	30.9	52.1	30.0	22.2	22.2	22.2	61.1	55.6	23.5	11.8	5.9	31.3	9.0	10.9		
~ 200	0	7.1	0	3.6	7.4	7.4	3.7	5.4	3.8	3.9	4.0	2.0	5.3	9.8	3.2	1.8	0.5	1.8	1月: 1月差
~ 300	0	4.4	4.4	2.2	11.6	0	9.3	4.7	9.6	7.3	2.8	6.7	5.9	6.1	4.9	4.6	0.8	2.6	2月: 2月差
~ 400	6.3	6.3	3.2	12.9	8.1	11.3	11.5	10.7	9.2	10.3	1.8	3.6	7.4	4.8	3.1	2.0	0.6	2.4	
~ 500	20.0	11.1	16.3	12.5	8.9	8.9	3.8	10.4	13.9	18.2	8.9	9.1	6.1	6.0	5.0	4.1	1.1	3.6	期待値(E)は
~ 600	4.3	9.7	4.3	8.7	7.8	2.2	6.7	8.5	2.3	2.9	5.4	1.8	2.2	4.0	2.9	4.0	0.9	2.1	一定の空間に均
~ 700	3.5	1.7	7.9	5.3	6.3	2.7	5.5	4.1	5.2	3.3	3.0	6.0	3.8	3.7	2.6	1.6	0.5	1.6	等の患者が発生
~ 800	9.8	5.4	3.9	6.3	4.8	4.0	6.5	5.3	8.3	6.4	5.2	6.6	4.3	4.5	4.5	2.4	0.7	2.2	した場合の患者
~ 900	4.2	7.0	7.0	6.4	7.1	6.5	3.6	3.0	6.0	5.4	4.3	4.4	3.5	3.9	3.4	4.1	0.9	2.2	ペアの数を時間
~1000	7.3	4.3	6.2	6.3	5.7	4.5	5.8	3.6	5.6	6.7	4.5	4.6	4.7	4.7	3.7	3.1	1.1	2.3	因子で補正した
1 ~ 3 km	5.0	4.4	5.2	4.6	4.5	4.4	4.7	4.8	4.6	4.1	3.8	3.8	3.7	3.6	3.2	3.2	0.6	2.0	ものを用いた。
3 ~ 5	4.0	4.3	4.3	4.0	4.4	4.5	3.8	4.0	3.8	3.7	3.9	3.5	3.5	3.3	3.1	2.7	0.5	1.7	
5 ~ 8	3.0	2.5	2.7	2.4	2.7	2.4	2.4	2.5	2.4	2.5	2.4	2.5	2.4	2.3	2.0	1.9	0.4	1.1	
8 ~ 9	1.8	1.6	1.5	1.6	1.8	1.7	1.5	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6	1.4	1.5	1.3	1.1	0.3	0.7	
9 ~ 15	1.0	1.0	0.8	0.9	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8	0.9	0.8	0.7	0.7	0.2	0.4	
計	2.5	2.3	2.4	2.2	2.4	2.3	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.0	2.0	1.8	1.6	0.4	1.0	

600m 以上は前2者に比べると低くなり、1kmまでは5倍以上を示すものが多く、3kmをこすとO/Eは4倍以下となってくる。下線の部分はO/E=5.0以上の地区を示している。全体としてみると100m以内は9.4倍、300~500などが2.5以上で、時間間隔別では同時発生を除くと、2年以内は2.0~2.4となっている。

同月発生(O月)のO/Eをみると、100m以内60、400~500 20、70~1000 4~10、1~5km 4.0~5.0で高く、これは多中心的な発生を示しているかもしれない。

N市肺がん、或いは白血病の同様な検討では、7.0倍或いは2.5倍がclusterを示す地区になっており、SMONのこの集積は異常という程高いと考えねばならない。

#### IV 総括及び考按

SMON発生の時、空間別分布に何らかの法則性が見出されるのではないかと本研究に着手したわけである。<sup>1)</sup>

疾病発生のTime-Space Relationshipを疫学的に観察する方法はいくつか開発されているが、ここではKnox<sup>2)</sup>やPinkelら<sup>3)</sup>が試みた患者ペアの時間と距離の相関の概念を利用することとした。患者ペアの組合せ数は多く、時空間的に複雑な関係が予想されるので、結果をより容易にするため2~3の疫学モデルを設定することにより患者ペア分布の基礎的な意味を把握し、それを参考資料に現実のDataの解析を試みたわけである。本法はすでに著者らが白血病で試みていたものであるが<sup>4)</sup>これを更に発展させたものである。

対象の発病時点は神経症状発現時をとったが、これは腹部症状発現が発病時点にするには不安定すぎると考えたからである。年次的に性、年齢別分布に差がなかったので一括して取扱った。

366例、6,6795 ペアの時間、空間別分布はN市全体の発生図からうける散発型とは逆に、100m以内にO/E=50~60という著しい集積を示したが、これはN市での肺がん、白血病の、2.5~7倍に比し著しく高い値と言わねばならない。人口密度については均一という仮定で始めただけに問題があるが、市の周辺部や新編入地区をのぞくと、区別で1.5倍の差であり、肺がんや白血病と比べて最高O/Eで8倍以上も高いことは、集積の異常な大きさを物語ると言えよう。

ただ、表4のO/Eをみると、距離8km以上で0.7、0.4、期間4年以上で0.4と低すぎる嫌いはある。これは周辺部が人口密度が低いことと、観察期間が13.5年でも発生の多くなったのは最近5年間ということに問題がある。もう少し狭い範囲で、5~8年位の期間にしぼるべきであったかもしれない。

いずれにしてもSMONは狭い地域の中で多発し、周辺に拡がる様子はみえないこと、一旦数例の患者が発生すると、同じ地域で2~3年以上継続して多発する傾向にあることが示されている。同様の成績は北海道でも得られている。<sup>5)</sup>

Clusterのある地区について更にきめの細かい観察が要求されよう。

文 献

- 1) 青木国雄他 ; 医学のあゆみ 75:597 昭45年
- 2) Knox,G, ; Brit.J. Prev.soc. Med 17:121, 1963
- 3) Pinkel,D. etal ; Cancer 16:28, 1963
- 4) 大谷元彦他 ; 第30回日本癌学会総会発表, 昭46年
- 5) 金光正次他 ; スモン研究協議会総会 昭46年3月



表1 住居間距離1000 m以内の患者ペアの頻度

Time Space	発 生 間 隔 ( 月 )			計
	～3月	～6月	～12月	
～ 100 m	16	7	25	48
～ 200	3	5	7	15
～ 300	6	9	18	32
～ 400	16	19	36	71
～ 500	40	17	64	121
～ 600	23	15	24	62
～ 700	19	16	27	62
～ 800	26	19	48	93
～ 900	32	24	38	94
～1000	33	25	48	106
計	213	156	335	704

## II 結 果

最も密接な関係にあると考えられる100 m以内の患者ペアについて、どのような関係にあるかを、100 m以内、1 km以内の患者ペアについて連鎖をつくってみた。表2の aの如く48ペアの内容は、2人でペアを作っているのが最も多く13組、Inlex caseが他の2人と100 m以内の距離をもつが他の2人は100 m以上離れている組が2、3人とも100 m以内に発生したのが4組、5人で4ペアをもつ1組と、6人で15ペアの連鎖をつくる1組があった。

後2者は少なくとも小地区での多発と考えてもよいかもしれない。3人で3ペアの組の周辺にも患者はあったが届出の面でもれており、これらも或いはClusterを形成したかもしれない。表2 bはTime factorを多発期と考えられる3カ月以内にしぼって同時期発生ペア数を調べたもので、2人で1ペアが27組と多いが、5～23名で多数のペア網(net)を形成しており、径1 km内外で多発した幾つかの地区があったことを物語っている。366例中前者には51名の、后者には181名の

表2. a 100 m以内、1年以内の患者ペア

密接な関係ある群の 患者数とペア数	組	ペア数
2人で 1ペア	13	13
3人で 2	2	4
3人で 3	4	12
5人で 4	1	4
6人で15	1	15
患者数 計 51人	21	48





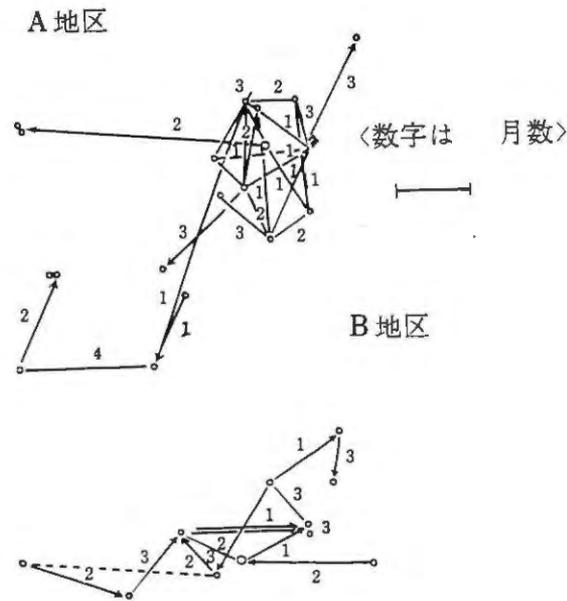


図3 A, B両地区における患者発生状況 (Space-Time Relationship)  
(矢印は発生順序を示す)

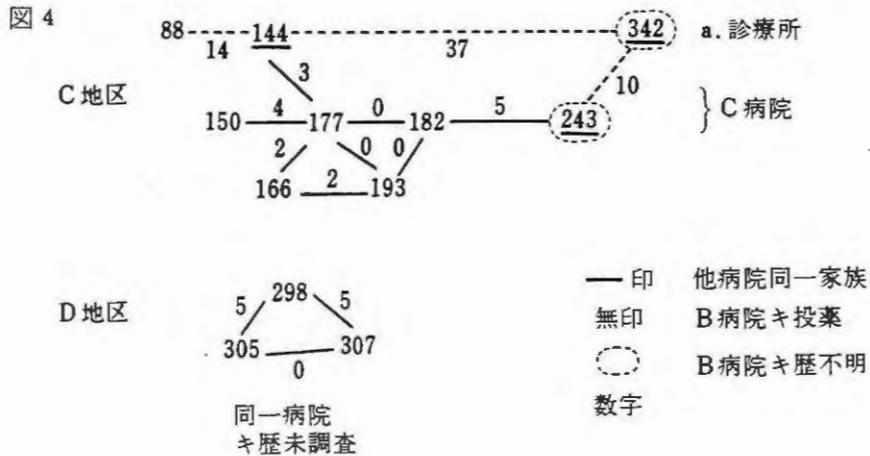
図3は最も患者の多発したA地区と、東部の集積地B地区での患者発生状況を地図上にPlotし、患者発生間隔(月)を数字で、発生順を矢印で示したものである。いずれも3カ月以内の者のみである。A地区では半径500mの範囲内に大部分が集まり、B地区は扇状をなしている。これは市街の中の人家の集簇のし方、交通機関、医療施設との関係を示すことが分った。A地区の大きく外側へのびた矢印は、最初の患者◎の近くの医療機関へ長く受診しつづけSMON発症した患家を示すが、これについては後で触れたい。

以上の結果からSMONは前報(その2)の成績の如く、患者間距離100m以内、又は400~500mに多く、この観察の如く、半径500m内外の地区に多発するが、患者が感染症の如く、逐次周囲に連続的に拡がるというより、狭い地区内に散発的に発生する型をとり、患者間の関係はそれ程明確でない。そこで前述のA, Bその他の地区で患者の発生状況を医療機関の診療録、住居環境、患者間の接触歴などの調査によって確かめようとした。

実際の住居周辺の調査では地図でみるより患家の距離はかなり離れており、交際、買物、交通機関など全く関係のない者が多く、A地区で共通していることは医療機関のみであった。B地区は東西に長い商店街と周辺の住宅街の混合地区で医療機関も幾つかに分れて共通してなかった。市の東部C地区は2つの大病院をもつ住宅地であるが、11名のうち6名が病院が共通しており、3名は同一家族で1診療所の患者であった。(図4)市の中央部、中南部の多発地帯でも患者の生活環境については一定の傾向はなく、医療機関についても100m以内のペアでも異なる医療機関に通院していた。

患者は中年以上の婦人が多く、主婦が主体であり、職業を有するものも職場で発生があった例は少な

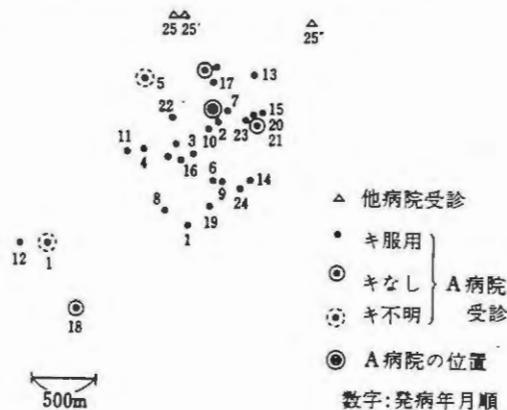
く、事務員、教員、医療関係者に多く、やせ型で胃腸障害をくり返す者が多い。同一家族又は100m以内の発生例をとり上げて接触歴から計算した潜伏期は1カ月から37カ月に及んでいた。



A地区、C地区では医療機関の診療録を全例検討しえた。抗生物質投与と本症発生の関係はみとめられないので、主にキノホルム服用との関係を調査した。

A地区でTime-Space Chinoform Relationshipを示したのが図2で、○印のキノホルム投薬なし2例と、調査しえなかった他病院受診例(Underline例)をのぞく全員がキノホルム10日以上0.9-2.7g服用していた。これを地図上にplotすると図5の如くで、◎は病院の位置でこれを中心とする半径500mの地域に患者が発生していた。№1, 12, 18の如く遠方からの来診患者中にも発病者がある。彼らは昔からの本病院の患者で、遠方からも受診しつづけた者であった。しかし3例は投薬もなく、服薬歴もなく、うち1例は内科医であった。

図5 A地区2年間の発病(住居地との関係)



C地区では図4の如くで、a診療所の同一家族3と、C病院での6例が調査しえた。前者の症例144と后者の177が3カ月以内500m以内のペアを形成しているが全く無関係であった。C地区の症例342, 243のキノホルム歴不明をのぞき、すべてキノホルムを投薬されていた。尙前述した如くこの3例の家族発生の間隔は14カ月と37カ月であった。

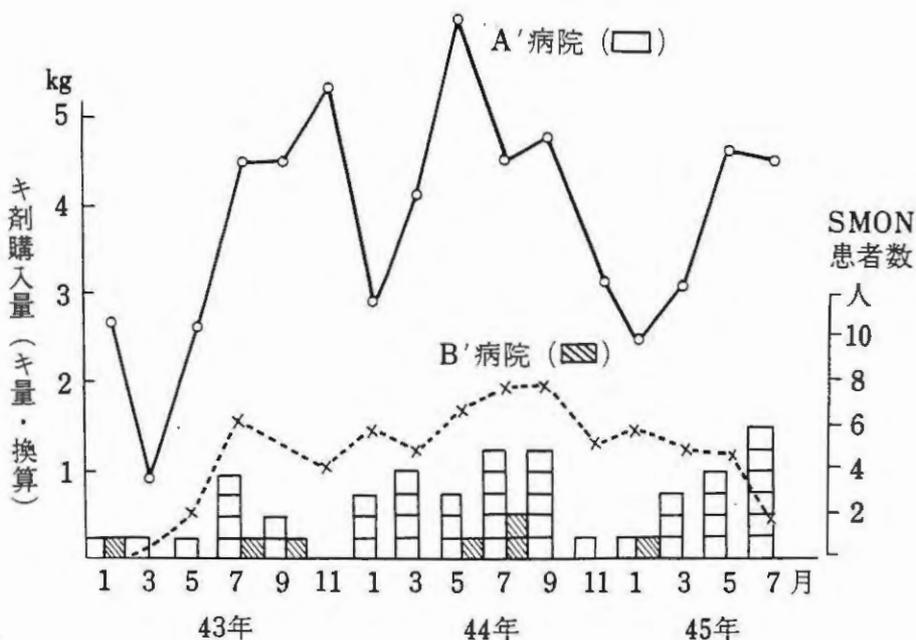
D地区では45年冬より患者が発生する様になったが、同一病院の患者でしかもキノホルムの比較的

大量投与をうけていた。

その他の薬剤と発症との関係はみられなかった。

図6は、上記A地区A病院と、C地区C病院の最近3カ年間のキノホルム剤購入量と患者発生数を示している。A病院の方が大量であり、また一日の平均投薬量も多かった。

図6 キノホルム剤購入量と患者発生状況



### III 総括及び考按

人口200万のN市において、SMON患者をTime-Spaceの関係においてとらえ、その疫学特性を検討したが、患者間距離100m以内、恐らく半径500m前後の小地区に著しく集積することを見出し、更に患者間の関係について臨床疫学的調査を実施した。

その結果、患者住居間は近い様でも、実際には全く交際の無い関係が多く、交通、買物、職場等接触層と発症の関係はみとめ難かった。職場内発生も医療機関をのぞいてはうすく、現在の知識では感染型と考えるには無理があると思われる。

同一家族内でも100m以内のPairでも潜伏期が不定なものも特異的とすら思われる。

一方問題となったキノホルムに関しては大部分の症例がキノホルムをかなりの期間投薬されており、又常時愛用者もあったこと、特定医療機関に集中して発生がありキノホルム購入量が多かった事実と考合せ、大きな要因であることが確められた。最も多発したA地区は、市の中心部で、その中のA病院は歴史も古く、およそ半径500mの診療圏をもつが、この範囲に患者は多発していた。殆んど患者はキノホルムの投与をうけて発症しており、キノホルム服用者は距離に関係なく遠方からの受診者でも発症者があつた。この病院はキノホルム投与量も比較的多い傾向にあつた。しかしキノホルム未服用発

症例もあり，うち1例は内科医であったことは考慮に入れる必要がある。

甲野<sup>3)</sup>は感染を示唆する疫学現象として，小地域での流行，家族集積性，院内発生，2次患者の潜伏期，流行地での長注度前進現象，職業差（医療職，事務職に多い），夏季の多発，逐域伝播現象などをあげているが，私共の Time Space Relationship Study の結果からは，潜伏期が不定，長注度前進現象はなく，その他の現象も伝播する感染症としてよりも医療機関集積として説明しうると思われ，その大きな部分はキノホルムと関連していると考えられるのでキノホルムとスモン発症との因果の追求が重要と思われる。

## 文 献

- 1) 青木国雄他 : 医学のあゆみ 75:597, 昭45年
- 2) 青木国雄他 : スモン調査協議会研究報告 昭45年11月, 昭46年3月
- 3) 甲野礼作 : 最新医学 26:1875, 昭46年

# キノホルムとスモン発症に関する臨床疫学的研究

疫学班員 青木 国雄（愛知県がんセンター研究所疫学）

共同研究者 大谷 元彦（愛知県がんセンター研究所疫学）

〃 祖父江逸郎  
（名大第一内科）

〃 安藤 一也

スモン患者に特異な緑尿，緑舌<sup>1),2)</sup> からキノホルムが3価の鉄とキレートする<sup>3)</sup>ことが分り，更に椿ら<sup>4)</sup>，吉武，井形ら，<sup>5)</sup>の研究からキノホルムとスモン発症との密接な関係が示唆されるに至った。

著者らはキノホルムとスモン発症との関係を解明すべく，昭和46年6月より，N市内の患者多発地区における1病院でのキノホルム使用状況と患者発生との関係を調査し，更に東海地方2，3の病院におけるスモン患者についてキノホルム服用と発症の関連についても検討した。

## I 対象と方法

N市の中央部のA地区は昭和41年頃よりスモン患者が多発し始め，43年以降年間10～20例の発生を示していた。本調査病院は多発地区の中心近くにあり，昭和41年から45年7月迄に53例のスモン確実例が診断され，届出されている。今回はスモン患者21例の発生をみた昭和44年度外来患者4,318例を診療録を中心にキノホルム服用状況を調査した。調査は，性，年齢，住所，病名，使用薬剤，治療期間，受診日時等で，キノホルム投薬例は一日量，投与日時，期間，1カ年間の使用状況，量を調査し月間使用分布も同時に作製した。スモン発症例については発症と関連するキノホルムの使用一日量，日数，総量などを算出した。

キノホルム剤は数種使用されていたが，すべてキノホルム量に換算して示した。発症例はすべて名大第一内科で再精査し確認した例のみである。

東海地方の4病院については発生患者について主治医に調査を依頼し，キノホルム投薬状況，投薬から発症までの経過，その位の状況を調査したものである。

## II 結 果

### 1) 多発地区A病院における成績

表1は，昭和44年1年間の受診者の性，年齢別，キノホルム投薬別分布である。総患者数4318例で，男2322，女1986，年齢別には，20台が最も多く，ついで30台，20～59才までは略同数で，10台，60台がやや少なく，70才以上は男85，女90である。キノホルム投薬率は

表1 年間受診者数

年齢(才)	女	男	計
～ 9	179	206	385
10～19	278	270	548
20～29	466	700	1166
30～39	288	427	715
40～49	269	226	495
50～59	240	225	465
60～69	176	193	369
70～	90	85	175
計	1986	2332	4318

表2 キノフォーム投与者 ( )は受診者に対する%

年齢(才)	女	男	計
～ 9	22/179 (12.3)	34/206 (16.5)	56/385 (14.5)
10～19	30/278 (10.8)	31/270 (11.5)	61/548 (11.1)
20～29	59/466 (12.7)	70/700 (10.0)	129/1166 (11.1)
30～39	37/288 (12.8)	67/427 (15.7)	104/715 (14.5)
40～49	28/269 (10.8)	35/226 (15.5)	64/495 (12.9)
50～59	34/240 (14.2)	20/225 (8.9)	54/465 (11.6)
60～65	25/176 (14.2)	20/193 (10.4)	45/369 (12.2)
70～	13/90 (14.4)	6/85 (7.1)	19/175 (10.9)
計	249/1986 (12.5)	283/2322 (12.1)	<u>532</u> /4318 (12.3)

各年令とも著差はなく、わずかに男の50台、70以上が低い。全体として性差はない。キノホルム投薬あり、なし別のスモン発生状況は表2の如く、あり17、なし4で、キノホルム投薬例では22%、なし0.1%と有意で、とくに女子では5.6と0.2で差が著しかった。年令別では29才以下(男135、女111)には発症なく、30台で女2/37(5.4)男0/67、40台、女1/29(3.4)男2/35(5.7)50台、女3/34(8.8)、男0/20、60以上女8/38(21.0)、男1/26(3.8)であった。

発生患者の性、年令、病名、キノホルム一日量、投薬開始から発病迄の日数、総使用薬量は表3の如くである。患者を疾患別にみると慢性疾患で長期間受療中に胃腸障害がありキノホルムを投与された例と、感冒後の急性胃腸障害がありキノホルムを投与された群、慢性胃腸障害、便秘などで本剤を使用し効果をみとめたことから患者が連用を怠した例などがあるが、特定の疾患との関係はみとめなかった。投与量は一日1.8gr以上の者が多く投与開始から神経症状発症までの日数は投与後40日以内が多い。キノホルム未服用発症は、女3、男1で、問診でもキノホルム含有医薬品の服用を確認できなかつた。男の1例は内科医師である。

表4は、キノホルム服用532例、548回についての一投薬量別、連続投与日数別の分布と、発症状況を示している。9才以下では男女とも1gr以下、19日以内の者が多く1.5grをこした者は殆んど6日以内であるが、10才をこすと、1.5gr以上、7日以上率が高くなる。6日以内の投薬では2.7grでも1名の発症もなく、0.9~1.0gr、20日以上で1、あとはすべて1.5gr以上であった。女子ではDose-Responseの関係を伺わしめる様であるが、男子では明瞭ではない。

月別受診者総数は、1,264~1,404で月によって殆んど差なく、月別キノホルム投与者の比率は4.4%~10.3%で、9月が最も高くついで6~8月で、11、12月は低かった。月間30gr以上投与者の比率は21.3%~48.3%でこれは12月に最も高く1月が最低、夏期は35~40%で、いずれも有意差はなかったが0.9gr10日以上という処方件数は図1の如く夏期に高い傾向があった。

胃腸炎、下痢等に対するキノホルム処方件数は、女627例中191(30.5%)、男677中194(28.7%)で性差なく、年令別では9才以下では男が高く、10~49才で性差なく、50以上で若干女が高かった。下痢患者のみについてキノホルム一日投与量をみると0.5gr以下は、2.1%、0.6~0.9、17.2%、1.0~1.4、6.5%、1.5~1.9、37.6%、2.0~2.7、36.6%で比較的大量投与が多かったが、総量としては30gr以下が88.2%で長期投与者は少なかった。

表5は受診月別キノホルム投与状況を示したが、発症者は付下線の如くで、6月服薬開始7月発症5例、2、9、10月発症おのおの2例、3、5、8月各1例であった。

季節別の発症頻度には有意差はなかった。

女子のみについて年令別、キノホルム0.9gr以上、10日以上服用者からの発症をみると表6の如く、29才以下にはなく50才以上で非常に高率となる。又、表7の如く一日量と継続日数をくみ合せた群別にするとDose Responseの関係が明瞭となった。表8はキノホルム7日以上服用者のみに

表3 SMON患者の背景疾患とキ剤投与状況

性	年令	病名	キ剤 一日量	ホルム 発病迄の日数	総量
女	33	胆炎	2.7 gr	28日	137日 369.9 gr
	39	冠不全, 遊走腎, 胃腸炎	2.7 gr	13日	13日 35.1 gr
	44	結核性腹膜炎	1.8 gr	49日	50日 90.0 gr
	57	胃腸炎	1.8 gr	43日	43日 77.4 gr
	59	胃炎, 貧血	1.0→1.2→2.7 gr	(2.7 gr 43日)	274日 534.9 gr
	59	冠不全, シッシン	1.8 gr	71日	71日 127.8 gr
	61	神経痛, 胃腸炎	1.8→2.7 gr (9日)(10日)	19日	19日 43.2 gr
	62	高血圧, 胃腸炎 甲状腺機能低下	1.0 gr	42日	334日 33.4 gr
	64	腎盂炎	1.8 gr	27日	27日 48.6 gr
	67	感冒, 胃腸炎	1.8 gr	90日以内	360日 64.8 gr
	68	感冒, 胃腸炎	1.35 gr	18日	42日 56.7 gr
	71	心不全, 肝炎	2.7 gr	33日	33日 59.4 gr
	74	心筋障害, 胃腸炎	2.7 gr	33日以内	33日 89.1 gr
	81	心筋障害, 胃腸炎	1.8 gr	9日	9日 16.2 gr
男	41	三叉神経痛, ロイマ, 高血圧, 肝障害	1.5 gr (1.8)	11日	17日 17.1 gr
	46	肝障害, 胃炎	2.7 gr	166日	166日 448.2 gr
	66	心筋障害, 肺結核, ロイマ	1.8 gr	29日	209日 376.2 gr
女	41	低血圧, 貧血	0	0	0 0
	57	感冒, ロイマ	0	0	0 0
	63	肺結核, 糖尿病	0	0	0 0
男	57	腸炎 (内科医師)	0	0	0 0

表4 性・年齢別キ剤一日量と連続投与日数及びSMON発生状況

・印 患者 (A病 1969)

1日量(g)	連続投与 日数(日)	～9才	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60才～	計	SMON 投与者%	
女	0.5g	—	3(12.5)	0	4(10.8)	1(2.5)	0	1(2.0)	0	9(3.6)	0
	0.9～1.0g	1～19日	18(84.9)	3(9.6)	8(22.6)	3(7.5)	1(3.4)	8(15.7)	1(2.4)	42(16.4)	0
		20日～	1(4.2)	1(3.2)	0	0	2(6.8)	6(11.8)	4(9.7)	14(5.5)	7.1
	1.5～1.8g (1.35)	～6日	1(4.2)	11(54.2)	1(2.7)	7(17.5)	5(17.5)	10(19.6)	8(19.4)	43(16.8)	0
		7～19日	0	3(9.7)	4(10.8)	5(12.5)	6(20.6)	6(11.8)	11(26.7)	35(13.7)	5.7
		20日～	1(4.2)	4(12.9)	4(10.8)	7(17.5)	7(24.1)	8(15.7)	7(17.1)	38(14.8)	15.8
2.7g	～6日	0	9(29.0)	9(24.3)	8(20.0)	3(10.3)	5(9.8)	4(9.7)	38(14.8)	0	
	7～19日	0	0	5(13.5)	5(12.5)	5(17.2)	5(9.8)	2(4.9)	22(8.6)	4.5	
	20日～	0	0	2(5.4)	4(10.0)	0	2(3.9)	4(9.7)	12(4.6)	33.3	
計		24(100)	31(100)	37(100)	40(100)	29(100)	51(100)	41(100)	13253(100)	5.13	
男	0.5g	—	7(17.5)	0	1(1.9)	1(1.3)	1(2.7)	0	0	10(3.3)	0
	0.9～1.0g	1～19日	19(47.5)	2(5.5)	3(5.8)	7(9.3)	3(8.1)	3(11.1)	3(10.7)	40(13.3)	0
		20日～	2(5.0)	2(5.5)	5(9.6)	2(2.7)	5(13.5)	4(14.8)	4(14.3)	24(7.9)	0
	1.5～1.8g (1.35)	～6日	11(27.5)	12(33.2)	9(17.3)	15(20.0)	8(21.6)	2(7.4)	4(14.3)	61(20.1)	0
		7～19日	1(2.5)	4(11.1)	5(9.6)	10(13.3)	1(2.7)	3(11.1)	1(3.6)	25(8.3)	4.0
		20日～	0	1(2.3)	2(3.8)	12(16.0)	3(8.1)	8(29.6)	8(28.6)	34(11.2)	2.9
2.7g	～6日	0	12(33.2)	20(38.4)	12(16.0)	5(13.5)	4(14.8)	5(17.9)	58(19.1)	0	
	7～19日	0	2(5.5)	6(11.5)	13(17.3)	6(16.2)	2(7.4)	1(3.6)	30(9.9)	0	
	20日～	0	1(2.3)	1(1.9)	3(4.0)	5(13.5)	1(3.7)	2(7.1)	13(4.3)	7.7	
計		40(100)	36(100)	52(100)	75(100)	37(100)	27(100)	28(100)	295(100)	1.02	

表5 受診月別キノホルム投与状況(1日量と継続日数)

(A-1969)

1日量	日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	SMON
0.5g	—	5 (10.9)	1 (2.2)	0	0	2 (3.6)	2 (4.0)	1 (1.6)	1 (1.7)	1	0	0	0	0
0.9 } 1.0g	19日以内	14 (30.4)	9 (19.6)	6 (17.1)	7 (20.6)	7 (12.7)	1 (2.0)	5 (7.9)	6 (10.0)	4 (6.8)	3 (7.9)	1 (4.5)	9 (34.6)	0
	20日以内	3 (6.5)	4 (8.7)	4 (11.4)	4 (11.8)	5 (9.1)	6 (12.0)	6 (9.5)	6 (10.0)	6 (10.4)	6 (15.8)	5 (22.7)	2 (7.7)	1
1.5 } 1.8g (1.35)	6日以内	10 (21.8)	14 (30.4)	5 (14.3)	3 (8.8)	14 (25.4)	4 (8.0)	11 (17.4)	10 (16.7)	5 (8.5)	4 (10.5)	1 (4.5)	5 (19.2)	0
	7日以上	14 (30.4)	16 (34.8)	17 (48.6)	17 (50.0)	19 (34.5)	27 (54.0)	22 (34.9)	21 (35.0)	20 (33.9)	16 (42.1)	8 (36.4)	6 (23.1)	8
2.7g	6日以内	0	2 (4.4)	3 (8.6)	2 (5.9)	4 (7.3)	5 (10.0)	13 (20.6)	9 (15.0)	13 (22.0)	4 (10.5)	2 (9.1)	0	0
	7日以上	0	0	0	1 (2.9)	4 (7.3)	5 (10.0)	8 (12.7)	7 (11.7)	10 (16.9)	5 (13.2)	5 (22.7)	4 (15.4)	5
計		46 (100)	46 (100)	35 (100)	34 (100)	55 (100)	50 (100)	63 (100)	60 (100)	59 (100)	38	22	26	
SMON		0	2	0	1	1	0	5	1	2	2	0	0	

表6 キ剤服用量と発生頻度

(A病)

服用量	SMON	女
0.9♂×10日以上	1/48 (2.1)	1/20 (5.0)
1.8♂×10日以上	7/99 (7.0)	6/51 (11.8)
2.7♂×10日以上	6/57 (10.6)	5/19 (21.0)

表7 年齢別キ剤0.9♂×10日以上服用者からの発病

(A病)

	~29才	~39	~49	~59	60~
SMON 0.9×10日以上	0/52	2/52 (3.8)	2/33 (6.1)	5/31 (16.1)	6/34 (17.7)

表8 キ剤1週以上服用者中の発病

(A病)

年齢	~29才	~39	~49	~59	60~
女子・7日以上	0/25	2/25 (4.0)	1/23 (4.3)	3/19 (15.8)	6/26 (23.8)

表9 キ剤1日2.7♂服用者からの発病

(A病)

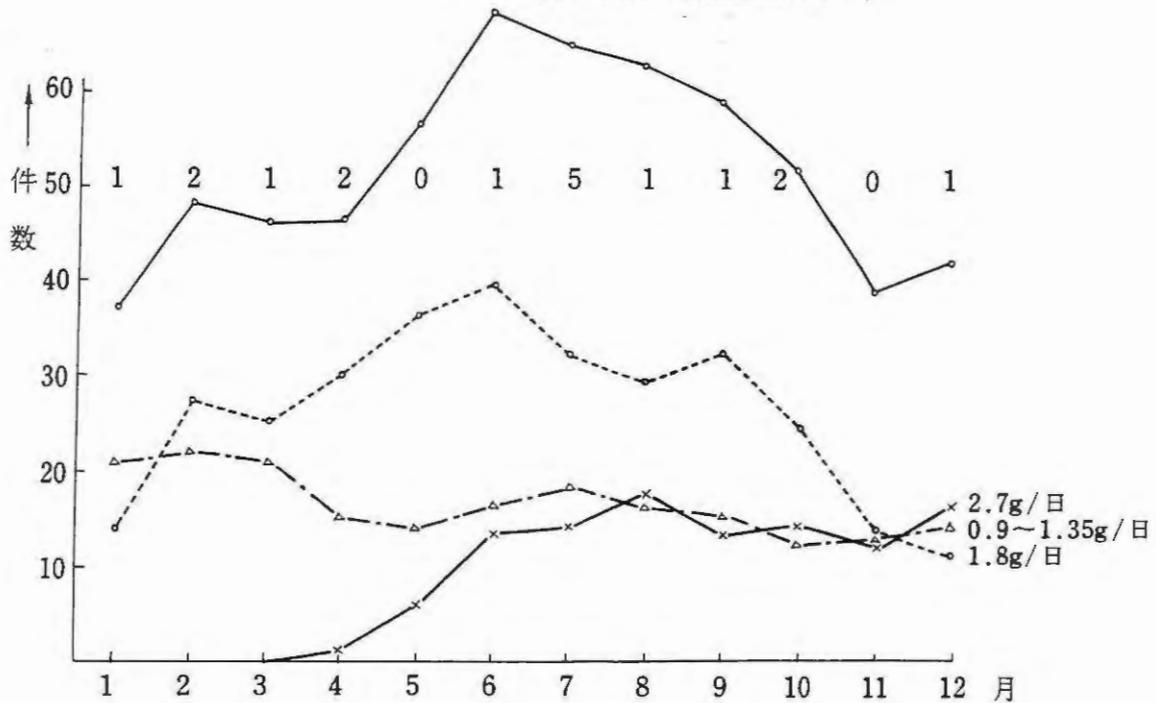
	~29才	~39	~49	~59	60~
女 全例	0/33	2/16	1/7	1/8	2/8
子 7日以上	0/6	2/12	1/4	1/4	2/4

表10 神経症状発現までのキ剤投与日数, 量

(東海地方)

病院名	例数	平均使用日数	平均使用量
A	48	25.3±15.5	30.3±15.4
B	24	26.7±19.4	44.9±28.2
C	15	21.2±21.5	60.7±58.3
D	11	23.4±13.6	22.1±11.9
E	34	50.7±62.9	93.8±96.2
所謂散発例	91	44.0±87.0	64.7±186.5

図1 0.9g/日以上10日以上服用件数の月別頻度  
( 図中数字は発生SMON )



についての年齢別分布であるが、高令者に発症率が高い。一方一日量 2.7 gr という大量服用者のみで見れば 30 才以上の年齢差が少なくなることが示された (表 9)。

胃腸障害ありの患者に対するキノホルム以外の薬剤の関係については、化学療法剤には関係がなく、M<sub>2</sub>やA<sub>1</sub>などの金属を含む薬剤の併用が若干の関係が疑われていることはすでに祖父江<sup>9)</sup>が報告したが、これらの薬品は胃腸障害時しばしば用いられており、更に検討を要する。

キ剤使用中止后 1 年間、A 病院での発生は 1 例もなく、それ迄 4 年間の 53 例の発症に比し劇的な変化であった。<sup>10)</sup>

## 2) 東海地方 5 病院での患者のキノホルム服用歴

東海地方で比較的多数の患者を診療している 5 病院と、その他の診療機関でスモン患者のキノホルム服用歴を調査、すでに著者の一人安藤によって調査しえた 285 例中服用あり<sup>1)</sup> 264, なし 21 (7.4%) と発表した<sup>6)</sup> が、一方全日本の実態調査<sup>7)</sup> では 720 例中、あり 610, なし 110 (15.3%) である。この 285 例中 5 病院の患者、132 例と散発発生と考えられた 91 例について、キノホルム服用開始から神経症状発症までの期間、キノホルム量の平均値を算出すると表 10 の如くなる。即ち、地域、病院規模、対象患者が著しく異なるにも拘わらず、1 病院と散発例をのぞいて平均使用日数 21~27 日とかなり類似していることであり、平均使用量はかなりばらついてはいるが大部分 30~60 gr であった。これらの例のうち一日量が発症まで同一であり、しかもスモン特有の高度の

表 1 1 キ剤投与から高度腹痛発症までの日数(一日量別)とRank Test

(東海地区 5病院)

一日量	例数	発症日数	(最短~最長)	Rank Test	Rank Test	Rank Test
0.6~0.9g	18	44.8日	(8~315)	4525 4570 3185	/ /	/
1.2~1.5	28	21.2	(2~83)	6120 / /	8005 6095	/
1.8	26	19.7	(3~64)	/ 5100 /	6610 /	5305
2.7	9	8.4	(2~16)	/ / 580	/ 855	925

表 1 2 病初期の神経症状の重症度と発病前使用キノホルム一日量

(東海三県患者)

	例数	軽症	中等症	重症
未使用	25	11 (44.0%)	7 (28.0%)	7 (28.0%)
0.9g/日以下	45	10 (22.2%)	26 (57.8%)	9 (20.0%)
1.2~1.8g/日	134	31 (23.1%)	72 (53.7%)	31 (23.3%)
2.7g/日以下	35	4 (11.4%)	17 (48.6%)	14 (40.0%)

表 1 3 SMON発症とキノホルム使用状況

(名古屋市 3病院)

医療機関	計	使用中に 発症	キノホルム			未 使 用
			中止後に発症			
			10日以内	11~30日	31日以上	
A	44	28	5	1	1	9
B	27	22	1	1	2	1
C	15	11	2	2	0	0
計	86	61 (80.2)	8 (10.5)	4 (5.3)	3 (3.9)	10 (11.6)
		76 (88.4)				

腹痛を訴えた 81 症例について、キノホルム投与から激腹痛発症までの日数をみると表 11 の如く 0.6 ~ 0.9  $\mu$ r では 45 日, 1.2 ~ 1.8  $\mu$ r では 20 ~ 21 日, 2.7  $\mu$ r では 8 日と短くなり, Rank Test で検定すると 0.9  $\mu$ r 以下, 1.2 ~ 1.8  $\mu$ r, 2.7  $\mu$ r の間に差を示し, Dose と腹痛との因果関係を示している。この他病状の重さとキノホルム服用量, 一日量との関係を示唆されている。(表 12)

スモン発症とキノホルム使用状況との関係は表 13 の如くで, 3 医療機関 86 例の調査では, 使用中発病 80.2%, 中止後 10 日以内 10.5%, 11 ~ 30 日 5.3%, 1 月以上 3.9% で, 使用中止後の発症もキノホルム服用発症例の 19.7% をしめている。昨年秋からのキノホルム使用禁止以后再燃例も減少している事実から考えると, 一定量のキノホルムの服用があれば発症或いは再燃の条件をみたすことも暗示している。

### III 総括および考接

1 病院における全外来患者を母集団として, キノホルム服用とスモン発症の関係および東海地方の 2, 3 の病院におけるスモン患者のキノホルム服用歴の case history study からキノホルムとスモン発症との因果関係がかなり明確に示しえたと思う。とくにキノホルム禁止後に当地方では 1 例の発生もみないことは, 昨秋以降, 他に特別な環境因子の変化をみとめえなかったことから, キノホルムの発生要因としての位置は非常に大となったと言えよう。

キノホルム原因説については, 昭和 45 年秋以来いろいろな調査研究成果が示されており, 当地方の成績とはほぼ一致していると考えられる。Dose Response に関しては必ずしも一致した結果はなかったが, 岡本らが入院患者について観察した 51 例のスモン患者とキノホルムとの関係を著者らが解析した結果は以下の如くである。全例入院中にキノホルム投与を開始し, 経過を十分観察しえた者のみである。即ちキノホルム服用から神経症状発症までの期間は消化器の炎症あり群で 18 日, なし群で 23 日, 投与量はそれぞれ 24g, 28 - 29g, 年齢別では, 39 才以下 25 日, 40 才以上 20 日, 男 22 日, 女 21 日, 体重  $K$  当り 男 0.63, 女 0.57 であり, キノホルム総投与量と投与中止時の病状の重さと密接な相関があった。これは入院患者でキノホルム投与量は全員同じ, MF 1.2  $\mu$ r で, キノホルム投与時期, 服用の確実性, 発症時の臨床所見が一人の専門医により観察されただけに資料は貴重なものと言いうる。ここで注目すべきは消化器の炎症症状ある例は発症が早くなっており, 岡山の流行時の報告<sup>11)</sup>と考え合せ下痢, 腸炎の役割も無視しえないかもしれない。

キノホルムの問題点として, 女性に高率なこと。年齢の影響, 日本人のみに発症が特異的に高いことが上げられるが, これらの点の解明が急がれる所である。

### 文 献

- 1) 高須俊明他; 医学のあゆみ 72; 637, 昭 45
- 2) 井形昭弘他; 日本医事新報 2421, 25, 昭 45

- 3) 田村善藏他；スモン調査研究協議会総会 昭45年11月
- 4) 椿 忠雄他；日本医事新報 2448；29, 昭46
- 5) 吉武泰男他；医学のあゆみ 74；598, 昭45
- 6) 安 一也他；スモン調査研究協議会総会 昭和45年11月
- 7) SMON患者全国実態調査成績 昭和45年11月, 46年3月
- 8) 岡本 進他；スモン調査研究協議会総会 46年3月
- 9) 祖父江逸郎他； 同 上 46年3月
- 10) 祖父江逸郎他；未発表
- 11) 大平昌彦他；スモン調査研究協議会研究報告書 №.1；39 昭45年

# 岡山県におけるSMONの疫学的研究

疫学班員 緒方正名（岡山大学医学部公衆衛生学教室）

共同研究者 林 澄子，角南重夫，松島あやめ

（岡山大学医学部公衆衛生学教室）

## I 緒 言

前報<sup>1)</sup>において岡山県特にその多発地におけるSMON患者の発生状況を報告した。今回は井原市を主として昭和38年より45年に到るSMON以外の一部の伝染性疾患の発生状況を報告する。なおGuillain Barreについては昭和25年より30年に本地区に発生した事実について浜本の詳細な報告<sup>2)</sup>がある。

## II 調査方法

患者の集計は主として井原市において主たる病院に於ける患者のカルテを集計したものを井原市衛生課に報告されたものを用いた。下痢及び胃腸炎、神経系疾患（精神病、精神神経症、人格異常、中枢神経血管損傷を除く）の発生状況については「国保岡山」新聞の「疾病分類別件数及び医療費の分析」より調べた。赤痢の集団発生については、岡山県伝染病統計<sup>3)</sup>より調べた。なお赤痢の集団発生については患者のうち最少一名の菌型決定は行なわれているが（D<sub>1</sub>型）、一部臨床決定の者を含むと推定される。

## III 調査成績及び考 按

1), SMONと下痢及び胃腸炎と神経系疾患との関係について。

井原地区及び芳井地区の国保受診者より見た下痢及び胃腸炎の発生状況を昭和38年より昭和46年まで年次別、月別に調べ、これをSMON発生数の少ない備前、美作地区と比較した（図1）、下痢及び胃腸炎の総件数に対する受診率比は井原市においては昭和40年8月頃より減少しはじめ43年2月頃まで季節による変動は認められず、43年2月以降はやや夏期に受診率の高い傾向がある。芳井地区では全般に季節による変動が著しいが、41年以前に高かったものが41年夏より42年11月頃までやや減少し、43年5月以降、45年12月に涉って増加の傾向が見られた。一方、備前町、美作町においては季節変動があり夏期に受診率比の増加が見られるが、38年に受診率比の高い他は年次的には各年ともほぼ差は認められなかった。

伝染病食中毒統計<sup>4)</sup>による赤痢発生については図2-Aに示す如く井原地区で昭和39年、43年に多く、芳井地区で40年、43年に発生が認められる。但し本例では個々の発生例も含むので臨床決定の例も含まれる。備前、美作地区では40年以降殆んど認められない。なお芳井地区において集団発生の

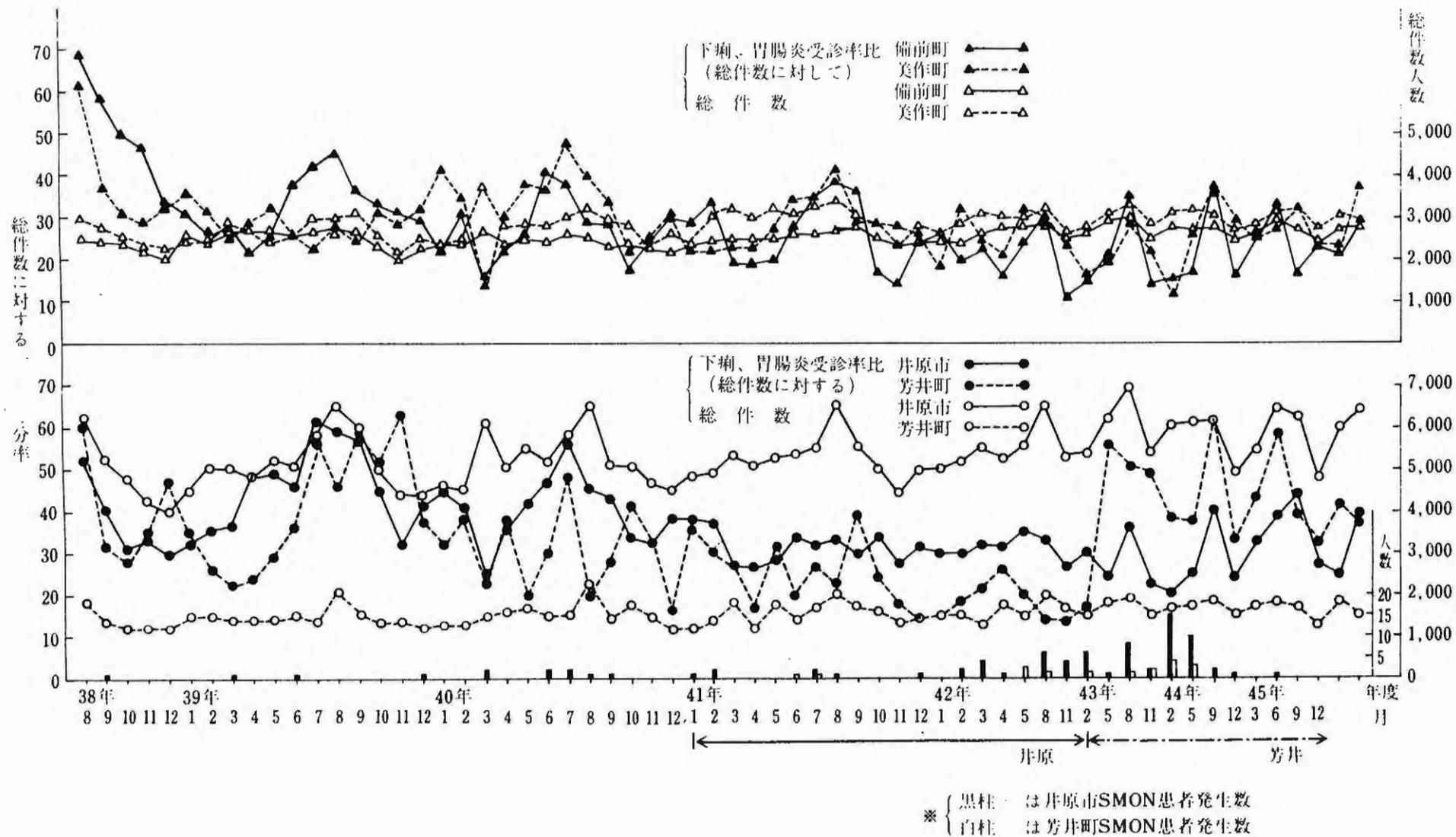


図1 国保受診者より見た年次、市町村別下痢、胃腸炎の発生状況(総件数に対する1,000分率の変動)

A. 赤痢

B. 食中毒

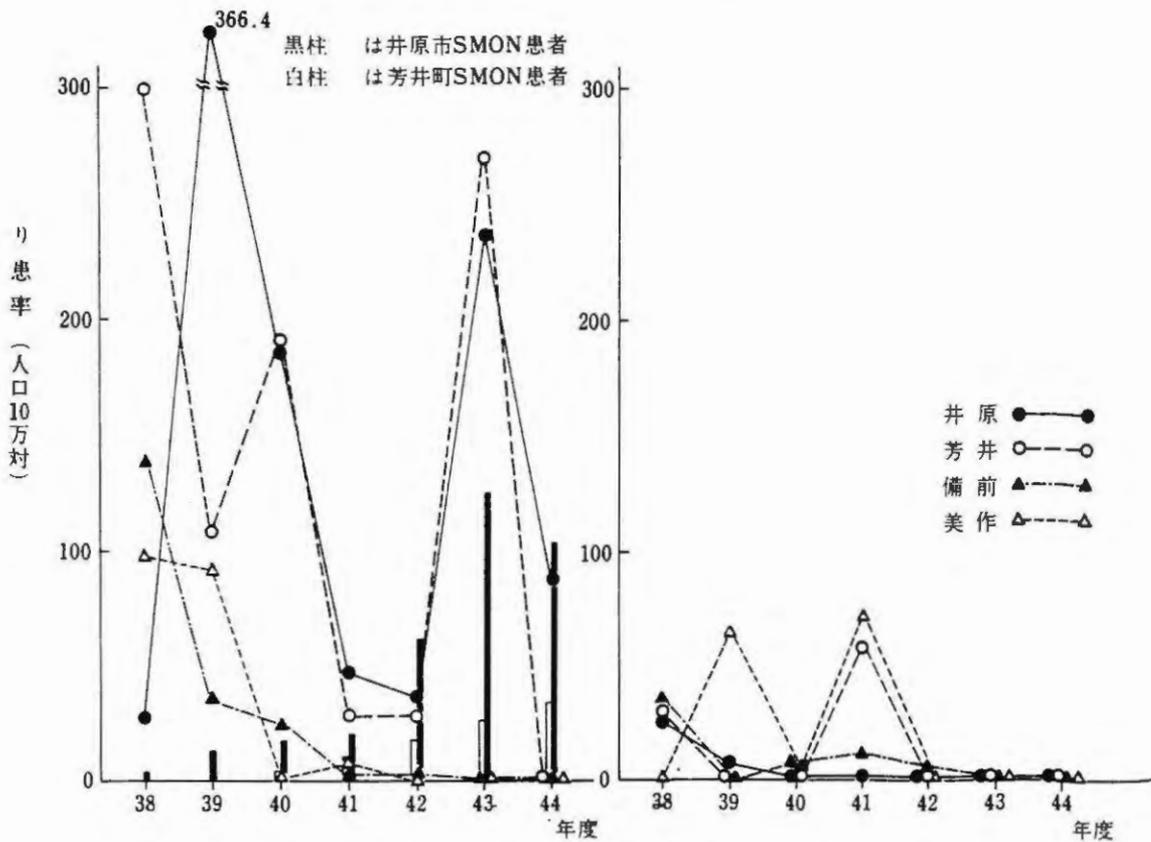


図 2. 赤痢, 食中毒, と SMON との関係

赤痢患者より SMON に転症したものが一名認められた。

一方食中毒<sup>5)</sup>については図 2-B に示す如く美作地区で 39 年, 41 年, 芳井地区で 41 年に認められた以外井原及び備前では目立った発生はなかった。

神経系疾患(精神病, 精神神経症, 人格異常, 中枢神経血管損傷を除く)については図 3 に示す如く, 芳井町において月別の変動が他地区に比べて大きいこと以外, 各地区, 各年とも著しい変動はなかった。

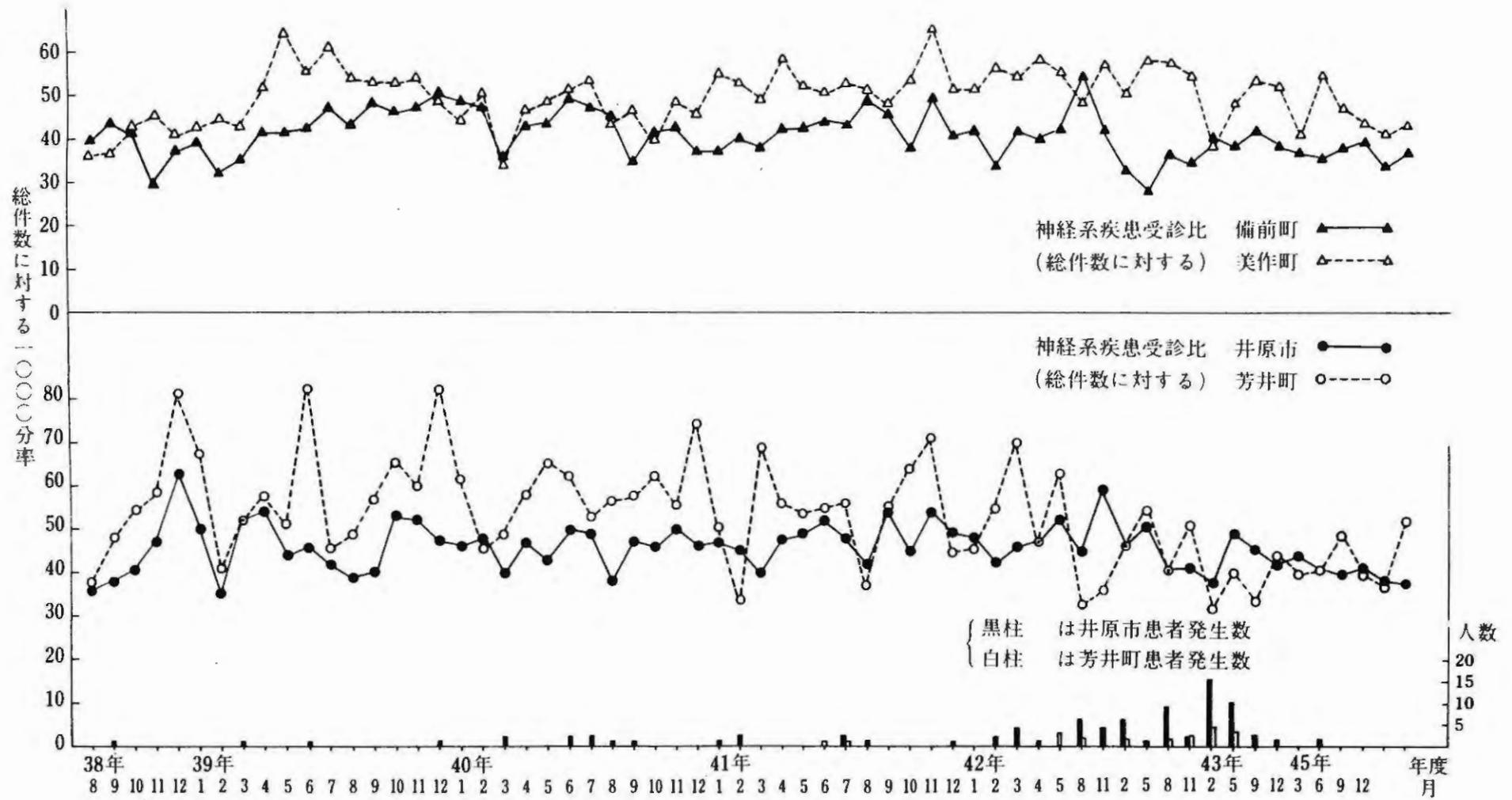
2). 年次別赤痢, <sup>3)</sup>Aseptic meningitis 発生状況

井原市における年次別発生状況では(図 4), SMON は, SMON 発病調書によれば昭和 37 年頃より患者が見い出され 45 年に及んでいる, 患者発生は 43 年より 44 年が Peak である。赤痢の集団発生<sup>3)</sup>は昭和 39 年, 40 年及び 43 年に多い。Aseptic meningitis の井原の地区別, 年令別発生に関してはすでに小児科のカルテに基づき島田が報告<sup>6)</sup>を行なっているが, これを更に年次, 月別に見ると昭和 39 年に最も多く, 且つ夏期に多い傾向がある。そして 42 年にほぼ終結している。芳井地区では(図 5)赤痢の集団発生は昭和 43 年, 44 年に多い。

赤痢, Aseptic meningitis の発生を井原市について年次, 月別, 地区別に精細に検討すれば以下の如くである。

3). 井原市地区別発生状況

井原市の各地区は図 6 に示し, 各地区の年次別, 月別の SMON 発生状況は図 7 に示す如くである。



※ 精神病、精神神経症、人格異常、中枢神経血管損傷を除く

図3. 国保受診者より見た年次、市町村別神経系疾患の発生状況（総件数に対する1,000分率の変動）

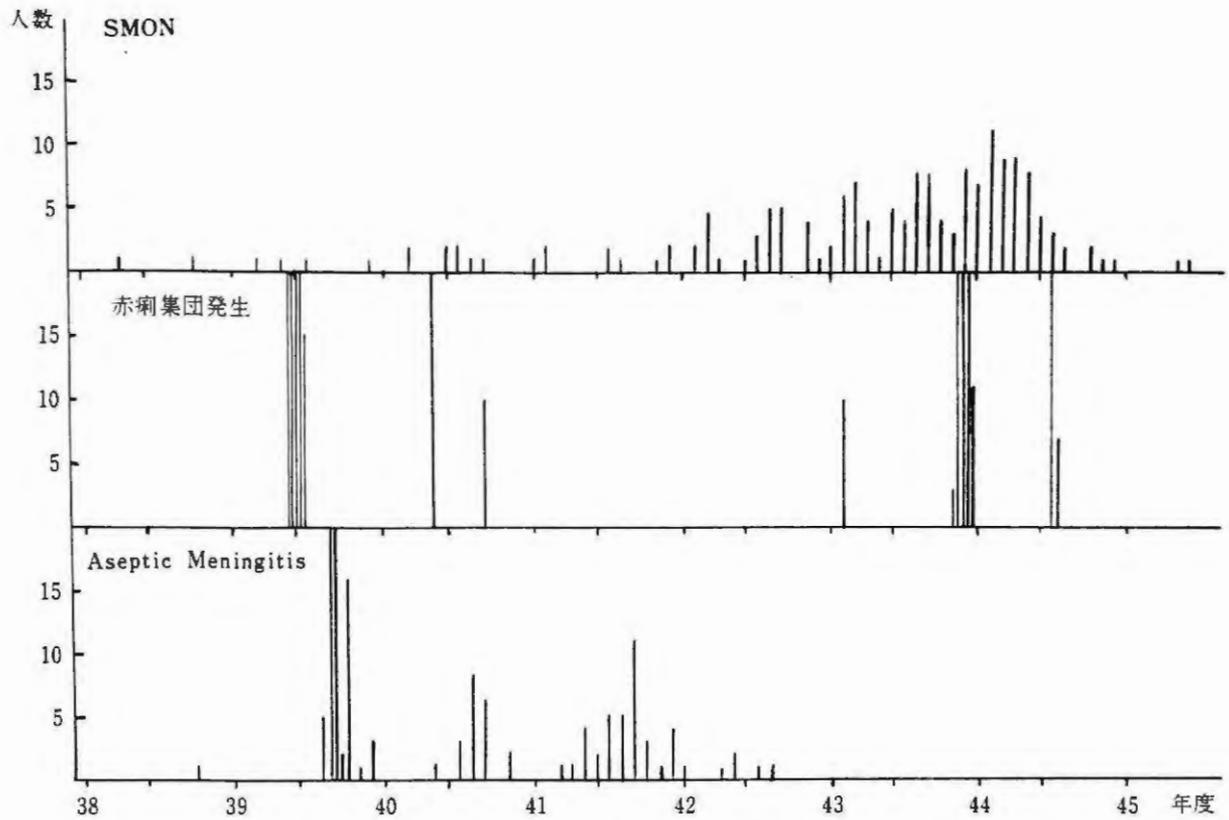


図 4. 井原市における S M O N, 赤痢, Aseptic Meningitis の発生状況

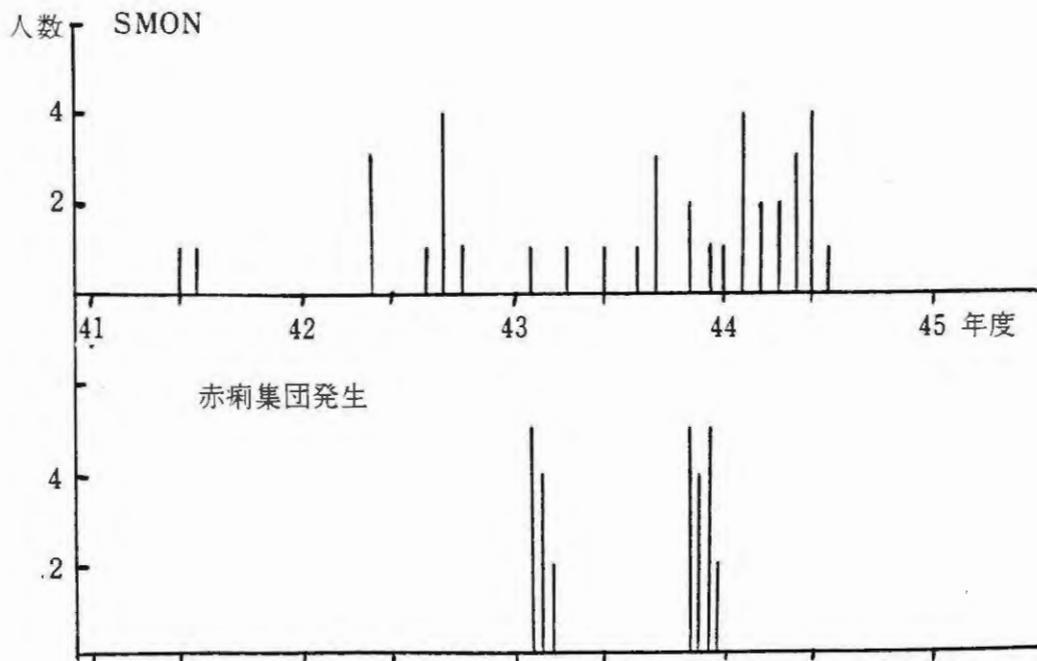


図 5. 芳井町における S M O N, 赤痢発生状況

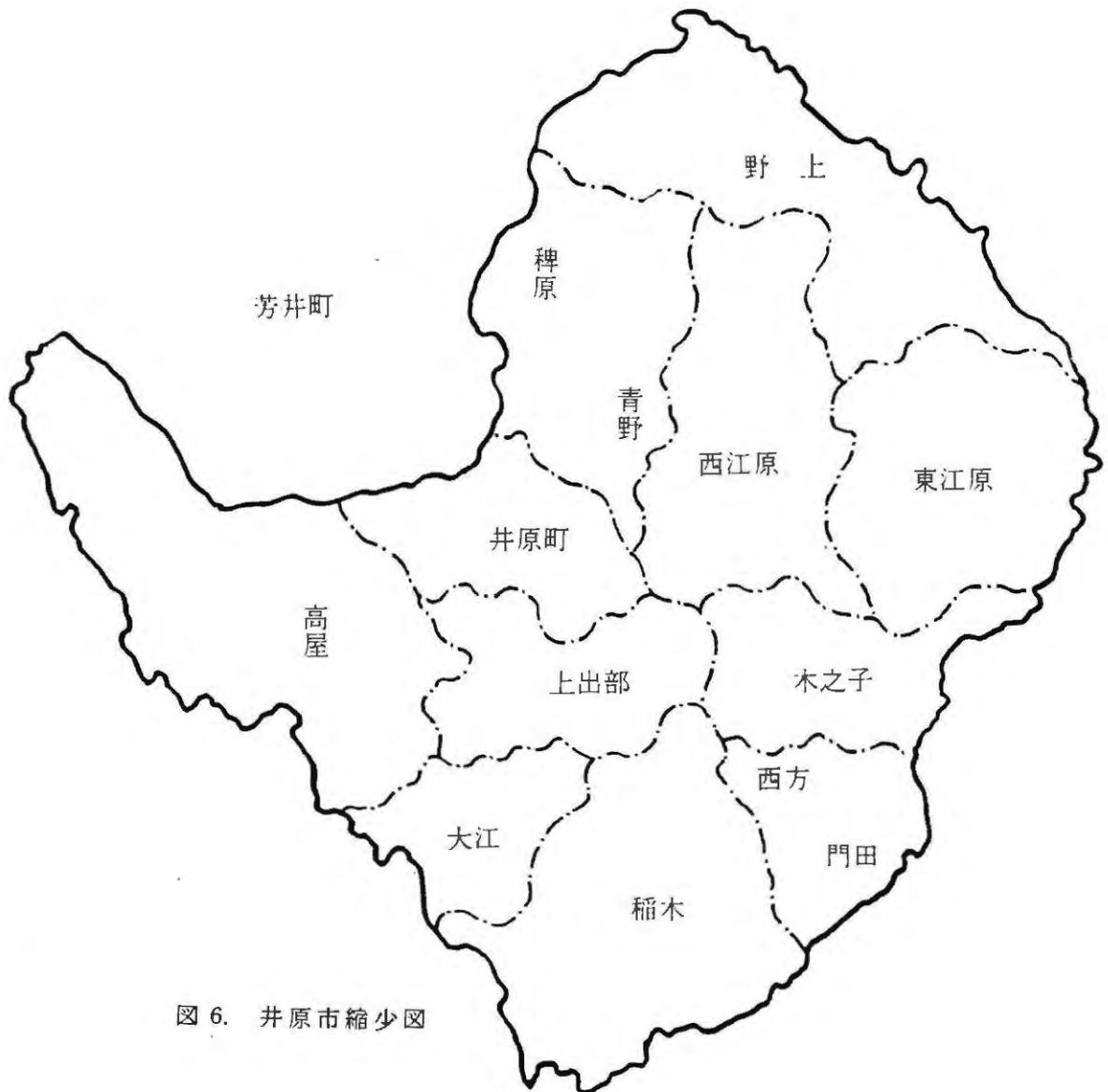


図 6. 井原市縮少図

SMONは地区別では、井原、高屋、西江原、大江の順に患者発生が多く、年次別に見ると、井原、大江、稲木、西江原、高屋において昭和39年、40年頃より患者発生が見られ、昭和43年、44年に最も多い発生が認められた。東江原、門田などでは患者発生がやや遅れて昭和42、43年頃より始まっている。月別に見ると43年頃までは夏期に患者発生の多い傾向があるが、44年では1月～5月に多く6月以降減少している。その他、一部の伝染性疾患との関連につき調査を行なった。赤痢の集団発生については、<sup>3)</sup> 昭和39年に高屋で19名、40年に井原町で10名の患者発生があるがその後43年に木之子43名、青野31名、44年に東江原27名の患者発生が見られた。即ち井原市全体に比べて地区別ではSMON発生の時期と赤痢集団発生の時期との関係はあまり著明でなかった。しかしながら、集団発生以外の赤痢及び疑似赤痢の発生状況等については今後の検討も必要であろう。

Aseptic Meningitis の年次別地区別発生については前述の如く島田の報告<sup>6)</sup>があるが、これを更に月別地区別に比較検討すると図7に示す如くである。Aseptic Meningitis の発生

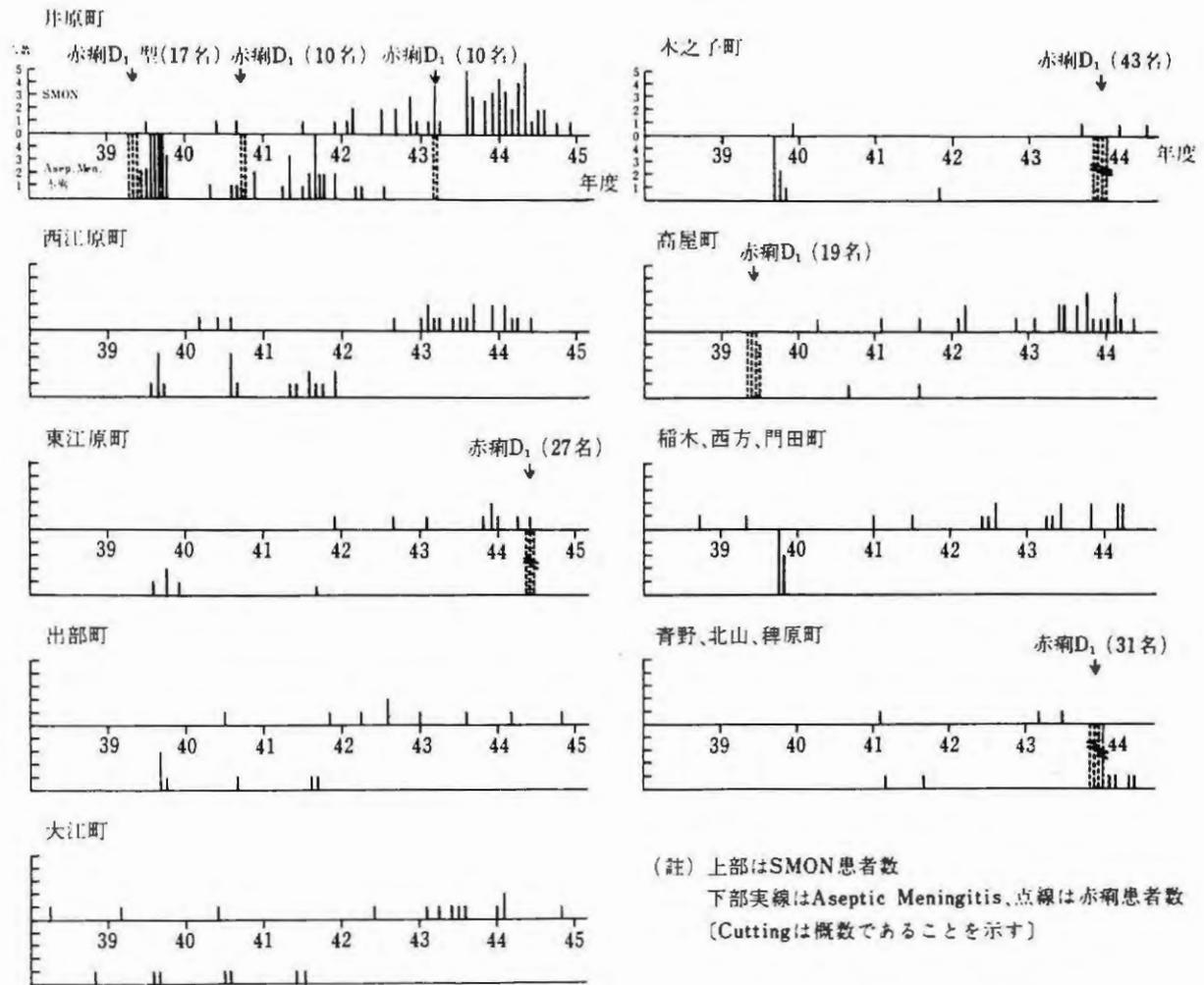


図 7. 井原市地区別月別 SMON, Aseptic Meningitis, 赤痢発生状況

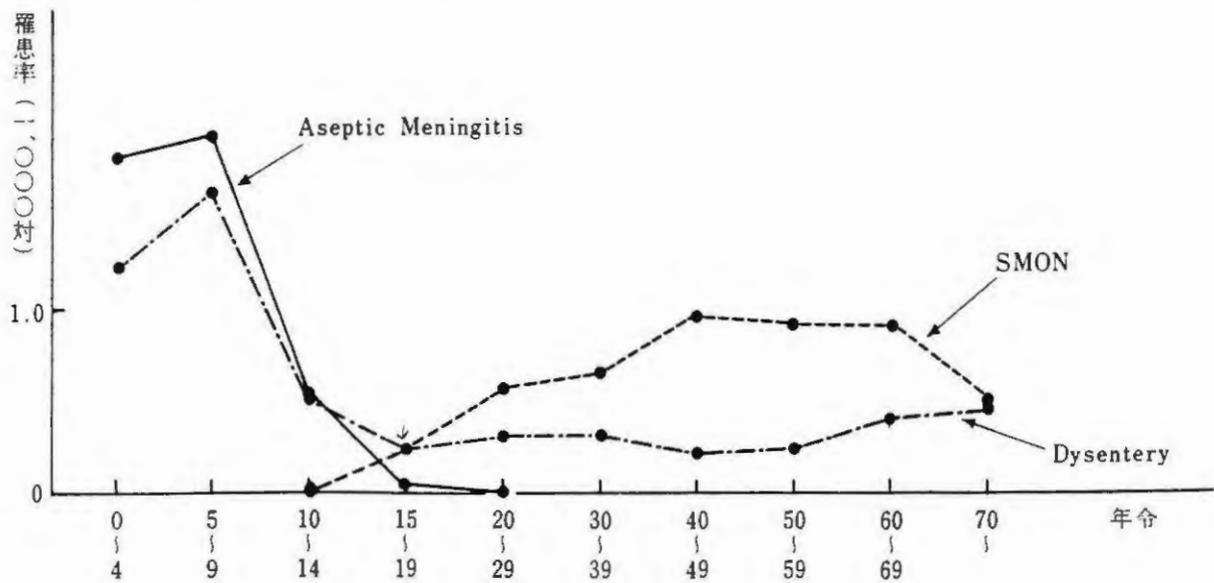


図 8. 井原市における SMON, Aseptic Meningitis, Dysentery の年齢別罹患率

は比較的夏期に多く、昭和38年より42年においても年次別にはSMONより患者発時期の早い傾向が認められた。地区的な発生数は人口の多い井原町に両者とも多いことを除いてはあまり密接な関係は認められなかった。なお小児科、喜多村助教授により、昭和41年9月21日採集の15材料中脳脊髄液から2株、尿便から5株（その内2株については脳脊髄液からの2株と共通）を用い、FL細胞でCPE Agentが分離されている。<sup>7)</sup>

又、年齢別罹患率（図8）ではSMONは15才以上より始まり平均して40才～60才に多く、Aseptic Meningitisは0～9才が多く、15才～19才以上はほとんど認められなかった。赤痢は0～9才が多く、10才以上はほぼ0.3/1000人付近のレベルを保っていた。

#### 4) 既往歴特に虫垂炎切除術との関係

松島、角南の成績によれば、井原市における虫垂切除者はSMON患者146名中52名（36%）開腹術者は146名中14名（10%）、その他の手術を行なったものが146名中17名（12%）であった。（注 なお、当時松島が井原市、北川地区で集団検診を行なったものでは、非SMON患者の虫垂切除術者率は10/59（17%）を示していた。）

## IV 結 論

井原地区においてSMON及びSMON以外の疾患の一部を月別、地区別に比較検討を行なった。その成績は以下の如くである。

1) 国保の下痢及び胃腸炎について、井原及び芳井地区の受診率比を備前、美作地区と比較した。井原地区は43年2月頃まで季節的変動は見られず恒常的であった。芳井地区は43年頃より受診率比の増加の傾向が認められた。

2) 赤痢の集団発生は井原では昭和39年より43年に涉って発生し、43年に芳井地区に発生していた。

3) 食中毒は美作地区に多く、芳井地区で41年に認められたが、井原、備前地区では殆んど認められなかった。

4) 神経系疾患（精神病、精神神経症、人格異常、中枢神経血管損傷を除く）については38年から40年に芳井地区に多い以外には、井原地区と、美作、備前地区の間に特記すべき差異は認められなかった。

5) 月別、地区別のAseptic Meningitisの年次別発生はSMON患者発生より早く、赤痢の集団発生は井原市では39年から43年まで、木之子、青野、東江原では43年以後に患者発生が認められたが、それらとSMONとの関連性については明確には認められなかった。

6) 既往歴については、SMON患者の虫垂切除術の者は36%であった。

## 文 献

- 1) 緒方正名, 林澄子, 実成文彦, 目黒忠道, 角南重夫, 岡山県, 特に頻発地井原 ; 湯原地区における SMONの疫学的研究 (第10報), スモン調査研究協議会研究報告書, №1, 昭和44年度疫学班研究報告, 64-91, 1970
- 2) 浜本英次; ギランバレー症候群を呈する - 多発性神経根炎に就て, 日本小児科学会雑誌, 60(8) 661-681, 1956
- 3) 岡山県衛生部公衆衛生課; 伝染病統計, 1970
- 4) 岡山県衛生部; 伝染病食中毒統計年報, 1963~1970
- 5) 厚生省環境衛生局食品衛生課編; 全国食中毒事件録, 1963~1970
- 6) 島田宜浩, 福原純一, 岩野郁造, 高木新, 広田滋; 腹部症状を伴う脳背髄炎症 (SMON) の疫学的研究, 岡山県井原市における観察, 日本伝染病学会誌, 43(6), 1969
- 7) 喜多村勇; Personal communication

スモン調査研究協議会研究報告書  
No. 8

昭和46年度疫学部会研究報告

昭和47年3月25日発行

発行所 スモン調査研究協議会  
東京都品川区上大崎2-10-35  
国立予防衛生研究所内

代表者 甲野礼作

印刷所 瑞穂印刷産業有限公司  
渋谷区幡ヶ谷3-69-5